建築と社會

都市問題號

第十一輯
第壹號

昭和三年一月一日
日本建築協會

Tookyoo Mitsui 3 gookwan
Sekkei: Yokogawa Koomusyo.
Sekoo: S'mizu Gum'.



Tatemasi no mado 300 kasyo subete N. K. B. Sotohimobiki no *Shutter* wo torituketatokoro, Aketate no tegaruikoto, sukosimo itamanaikoto nado, hokano *Shutter* ni kurabete amarini sugurete irunode odorokarete orimasu.



Goomei Kwaisya Hanken Seisakusyo.
Oosakasi Konoharaku Okizima Kitanotyoo 11.
DENWA: TOSABORI 4020.

Dairiten {Mitui Bussan Kabusiki Kwaisya.
Sanki Koogyoo Kabusiki Kwaisya.

會告

本協會定款第十八條ニ據リ評議員半數改選ニ付十二月二十二日開會ノ通常總會ニ於テ選擧執行左ノ通當選決定致候

昭和二年十二月

社團法人 **日本建築協會**

當選	二一八票	八木幸次郎氏	當選	二一〇票	池田實氏
同	二〇六票	吉井長七氏	同	一五三票	波江悌夫氏
同	一四六票	前內文二郎氏	同	一四三票	久保田筆雄氏
同	一四二票	高田利一郎氏	同	一三七票	熊澤榮太郎氏
同	一三六票	樋口辰太郎氏	同	一三一票	大澤幸平氏
同	一二八票	古宇田實氏	同	一二六票	宗兵藏氏
同	一二六票	村上徹一氏	同	一一八票	阪井米吉氏
同	一一五票	竹內綠氏	同	一一四票	大野直平氏
同	一一三票	岡部顯則氏	同	一一三票	中島智喜氏
同	一〇九票	橫濱勉氏	同	一〇八票	本間乙彥氏
次點	一〇七票	山田初次氏	次點	一〇五票	姬野武氏
同	一〇五票	小川久市氏	以下略		

本協會定款第十七條及第二十條ニ據リ昭和二年十二月二十七日評議員會ノ議ヲ經テ役員決定スルコト左ノ如シ

昭和二年十二月二十七日

社團法人日本建築協會

理事會長　片岡安氏　　常務主計　吉井長七氏

理事副會長　宗兵藏氏　　常務主計　浦英之助氏

理事副會長　野村一郎氏　　常務主計　岡部顯則氏

監事　池田實氏　　常務編輯　波江悌夫氏

監事　松本禹象氏　　常務編輯　八木幸次郎氏

常務主記　横濱勉氏　　常務編輯　本間乙彦氏

常務主記　坪井誠一氏　　常務編輯　木村寛一氏

常務主記　和田貞治郎氏

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして内外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ヶ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎖堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脫落、鎖鎖の破壞を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の効を奏したること

以上數多の實蹟に徵し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地　電話高輪 二二二三 七七五五 長

取付員詰所・大阪北區花上幅島中二　電話土佐堀二七二五番

口繪

現在の大阪（其一）……飛行上より見たる中ノ島附近
同（其二）……大阪府廳屋上より天滿方面を望む
同（其三）……同　都島方面を眺む
同（其四）……大阪市役所屋上より梅田方面を見る
同（其五）……同　西方中ノ島及兩岸
同（其六）……堂ビル屋上より見たる大阪府廳方面
同（其七）……同　御堂方面を撮る
同（其八）……北濱ビルより望みたる堺筋一帶

▼都市計畫時代……佳山生……一
▼都市計畫事業の一大危機……工學博士　片岡安……二……五
▼都心地の土地の共同利用……工學博士　直木倫太郎……七……一〇
▼交通機關と建築……會員　八木幸次郎……一一……一四
▼都市周邊部の改良問題……醫學博士　藤原九十郎……一五……二〇
▼大阪港灣を圍む都市計畫……會員　置塩章……二一……二六
▼市民心の表現……藤田進一郎……二七……二九
‖都市計畫の綜合的果效‖
▼高速鐵道都市計畫觀……大阪市技師　花井又太郎……三一……四八

題號

▼都市問題より觀たる港灣……大阪市港灣部技術課長 松田健作……四九…五四
▼堺都市計畫地域に就て……堺市都計畫部總務課長 磯村遠……五五…六五
▼都市美と法律……溝江五月……六七…七七
▼市街地建築物法令及規則に關する改正の意見及希望……社團法人日本建築協會々長工學博士 片岡安……七九…八二

中插寫眞

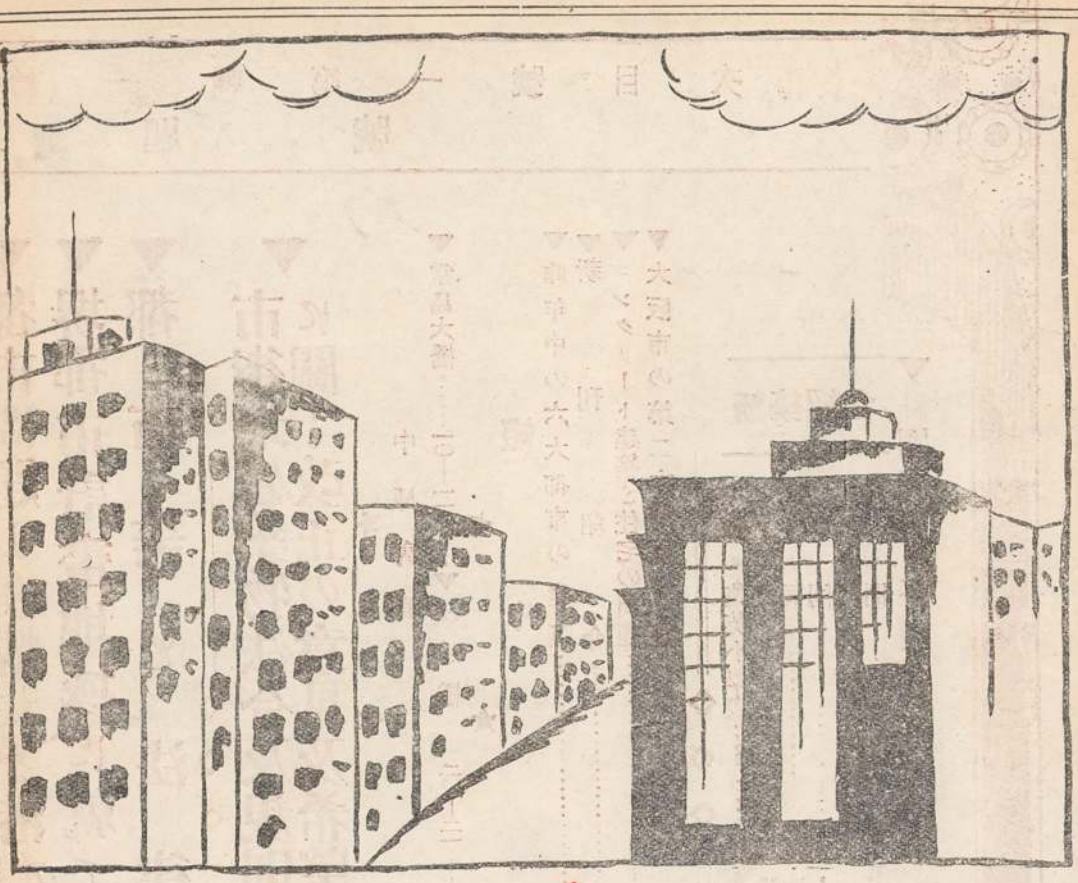
▼堂島大橋……一〇—一……▼渡邊橋……一〇—二……▼ひごばし……一〇—三……▼末吉橋……六六—六七

短片

▼昨年中の六大都市の建築……六
▼新刊紹介……三〇
▼コンクリート建築と住宅の問題……六六
▼大阪市の第二次都市計畫……七七…七九

新築紹介

▼社團法人日本建築協會々報……
大阪●集英小學校……外觀
同●同……大講堂……同
同●同……作法室……同
同●同……プール……同
同●同……平面……同
同●同……工事概要……同
大阪●芝川ビルデング……外觀
同●同……窓……同
同●同……玄關……同
同●同……平面……同
同●同……工事概要……同



I.S

伊奈製陶株式會社

本社 愛知縣常滑町 電 七〇五 二〇〇

土木工事用

各種高級陶管
井堰中壁瓦管

建築工事用

テラカッタ
タイル
モザイク
タペストリ
スクラッチ



現在の大阪・（其一）・飛行機より見たる中ノ島附近

現在の大阪・〔其二〕・大阪府廳屋上より天滿方面を望む







現在の大阪・（其三）・大阪府廳屋上より都島方面を眺む

現在の大阪・（其四）・大阪市役所屋上より梅田方面を見る





現在の大阪・（其五）・大阪市役所屋上より撮りたる西方中ノ島及雨岸



現在の大阪・（其六）・堂ビル屋上より見たる大阪府廳方面

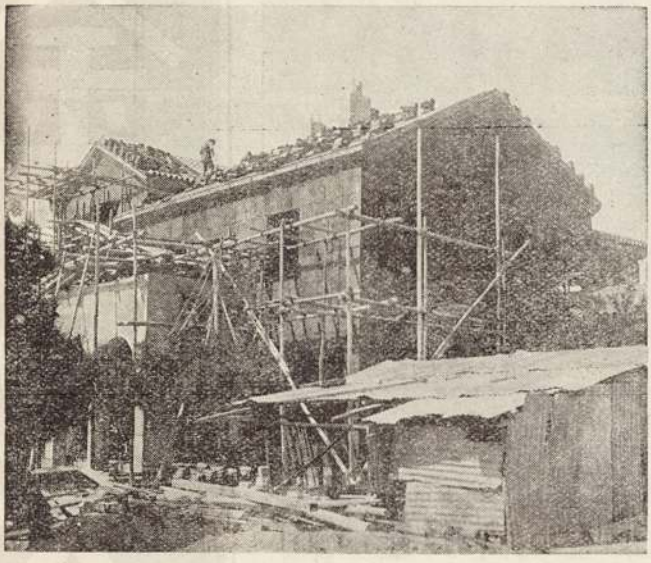


現在の大阪・（其七）・堂ビル屋上より御堂方面を撮る



現在の大阪。（其八）・北濱ビル上より望みたる堺筋一帯

壓搾コルク



コルク樹皮直輸入並卸販賣
コルク粒並壓搾コルク製作
コルクパイプカバアー製作
コルクパッキング製作
コルク栓コルクヂスク製作

熱氣防止ノ點ニ於テハ一吋ノコルク層ハ優ニ二十吋厚ノ煉瓦壁ニ相當ス

壓搾コルク及コルク粒ハ艦舶陸上ノ冷藏庫ハ申スニ及バズ官衙病院ビルヂング及一般住宅ノ屋根壁天井床ニ使用スル完全ナル防暑熱防音材料ニシテ現代ニ於テハコルク層ヲ措キテ他ニ適當ナル熱ノ絶緣材料ナシ

創立明治廿九年

JKN 合資會社 **永柳商店**

本店營業部　東京市日本橋區久松町三五　電話長浪花二五七番

本店製造部　東京市日本橋區久松町三五　電話浪花一一四六番

壓搾コルク工場　東京府下寺島町曳船驛前　電話墨田一〇〇九番

支店營業部　大阪市東區高麗橋一丁目　電話本局二四四六番　本局四六三一番

支店製造部　大阪市東成區鳴野町御茶屋前　電話東五一四六番

アルゼリア出張所　2,Rue Lestienne, 2, ALGIERS, Algeria, North Africa

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の＝菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレツクス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲舶來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフェルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

型錄進呈

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬飯工場

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

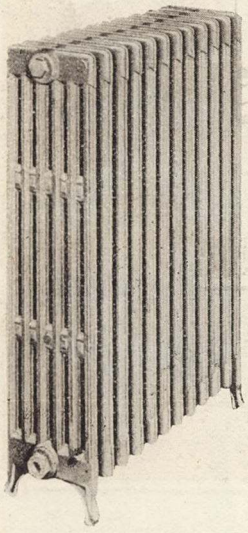
工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇

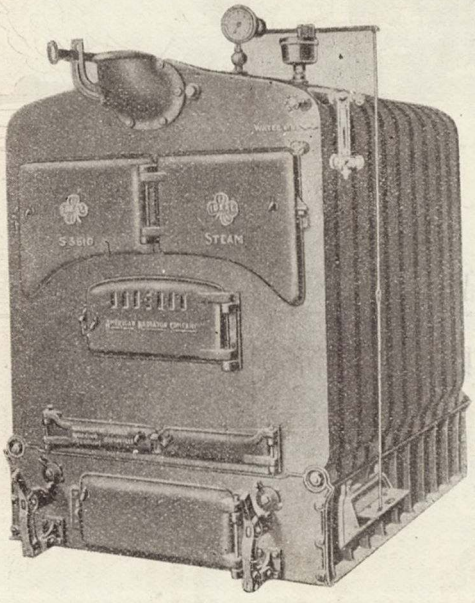
AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

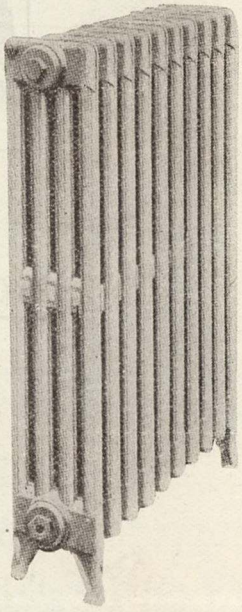
（型錄在庫表進呈）

アメリカンラヂエーター
ナショナルラヂエーター
會社製
罐汽器熱放用房煖
各種並ニ附屬品一式

（在庫豊富）







Ideal Classic
Six Column Radiator
Patent No. 2489/1914

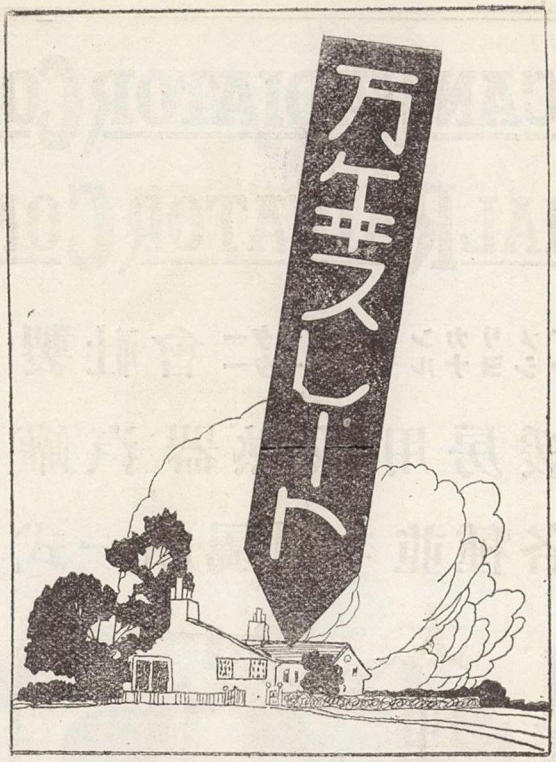
36″ Ideal Water Tube Boiler

Ideal Classic
Four Column Radiator
Patent No. 2489/1914

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　大阪北濱



石綿セメント製……スレートと壁板

斯界に一新紀元を畫する……

品　質　卓　絶
絶　對　低　廉
在　庫　豊　富

万年スレート株式會社

大阪市西區新町南通三丁目

電話新町四〇七〇番

大理石

貯藏石材製板豊富
諸機械設備完全
尚伊太利産石材モ多數在庫ニ付キ御下命ヲ乞

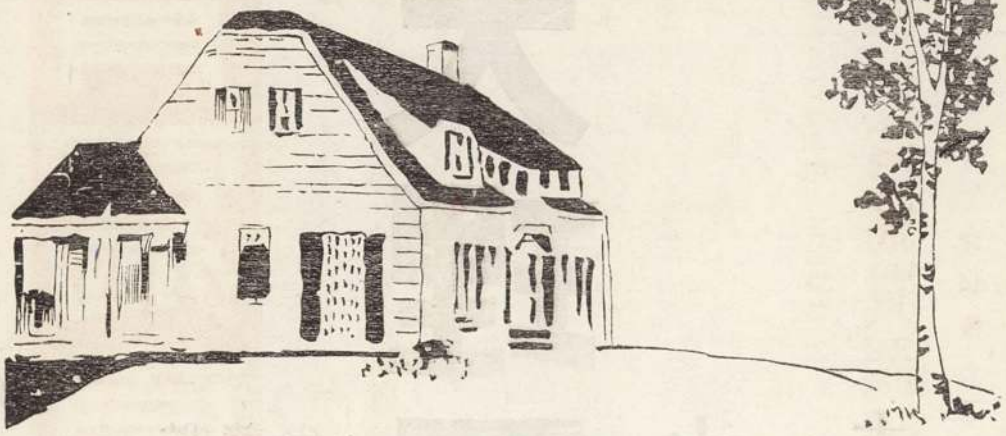
期限確實施工入念

大理石工業株式會社

大阪市港區市岡町（市岡元町停留場南）
電話西七六七番　西八〇三番

大理石工業株式會社東京出張所

東京市本郷區駒込富士前町八〇
電話小石川七三七八番



コンクリート建造物の防水と美裝

◉槌印コンクリートペイントの推奬

事務所、住宅等總べてのコンクリート建造物の內外壁は本塗料の塗裝により完全に防水と美裝の效果を揚げ得る事が出來ます。

新らしい設計にて是非御採用を願ひます。

見本說明書
塗見本帳　贈呈

製造元　日本ペイント製造株式會社

發賣元　大元商會

大阪市西區薩摩堀東町
電話新町　長二六五
二二一六

青寫眞

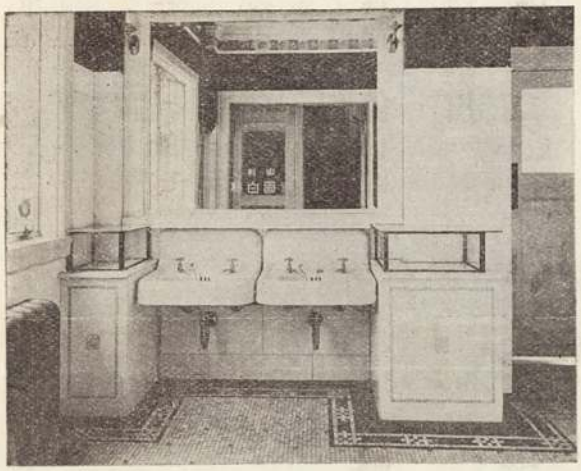
▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町一丁目四九

河村青寫眞調製所

電話長土三七四二



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瑤材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

大阪ビトロライト工事株式會社

電話櫻川二二一四番

出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

國産ソリデチツト應用
建築材料の出現

「型錄進呈」

ソリデチツト タイル
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室內及外裝用

ソリデチツト 安全壁
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル強靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室內水場用

ソリデチツト スタイン
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

ヒノデリユーム 鋪床料
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生セズ
用途應接室廊下及一般床敷用

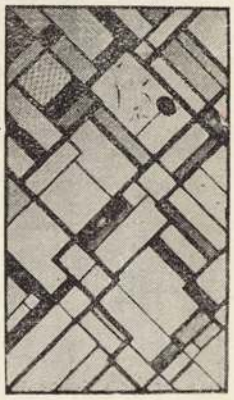
「特約販賣店募集」

內外一手販賣元
三井物産株式會社大阪支店

製造元
日本化學産業株式會社
大阪市西區南堀江通三丁目四三
電話櫻川 一四番 五四番 三八番 七一番

ステインドグラス

グラスモザイク



VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

SS ルイタル品

最近當社獨特の
新製品嶄新なる
高級マット

奕秋（エキシユウ）タイルの出現

各種タイル販賣

大阪市西區靭北通一丁目二六
品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

電話土佐堀七一一番



淺野煙突

石綿セメント製でありますから
燒けません・錆びません・腐りません

淺野壁板

強靭の石綿纖維と純良のセメントが主要原料ですから石膏紙板のやうに濕潤することなく日本壁のやうに剝落することがありません、下見・内壁・天井・間仕切・塀等に用ひて誠に比類なき適品であります

長……六尺
幅……三尺 四尺
厚……一分五厘 二分以上

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	札幌
東京市麻布區三十間堀三	大阪市北區曾根崎新地三	門司市白木崎	札幌市北一條東四丁目
電話銀座 1860 1861 1862	電話北 5081 5082	電話 1931 1228	電話 598
振替口座東京 68000	振替口座大阪 78246	振替口座門司 10964	振替口座小樽 5864

日本ペイント

創業明治十四年

資本金五百萬圓

東京　大阪

橋印　コンクリートペイント

本品は近代建築様式の變化に伴ひ其必要に應ずべく製造販出せるものにして　コンクリート建造物の欠點たる水分の吸收を防ぎ且つ美觀を呈せしむるを目的としたるものなり　其特長は

一　アルカリに對する抵抗力至大なる事
二　耐水性にして水分の浸透を防止する事
三　天候風雨等の諸作用に對し耐力あり長く其効果を保つこと

普通ペイントにては此場合セメント成分中のアルカリと一種の化學作用を起して完全に塗覆の目的を達するを得ず　本品は全然これに對する要件を具備しコンクリート　セメント　モルタル　漆喰等に使用して十分の効果を現はすものなり

平常　白　鼠　卵　桃　青　茶褐の六色を用意　尚賞需により調製す詳細なる使用法は御申越次第送呈致すべし



冷藏防熱用（製産高工場設備）東洋第一位!!
住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



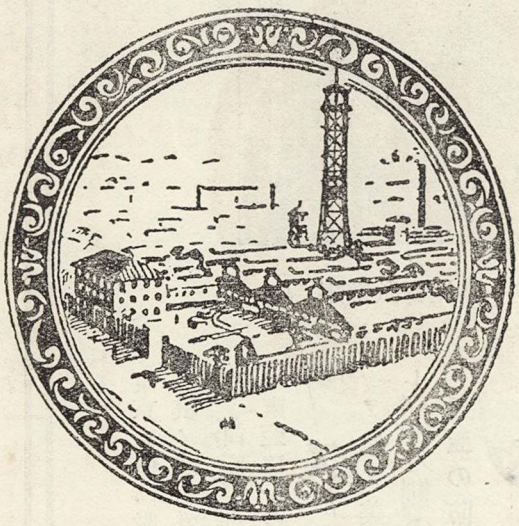
東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二
大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九
東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

◆特許山添式防水工事
◆タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話櫻川一六一〇番

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367 . 3805 . 5642 番

取締役社長 工學博士 片岡安

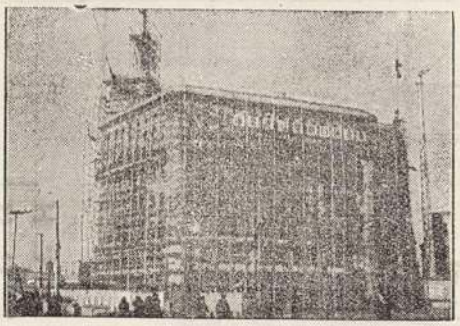
專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073 . 3074 番

專賣特許 東松式外二拾四件



東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ

下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ

上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備ヘ

更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

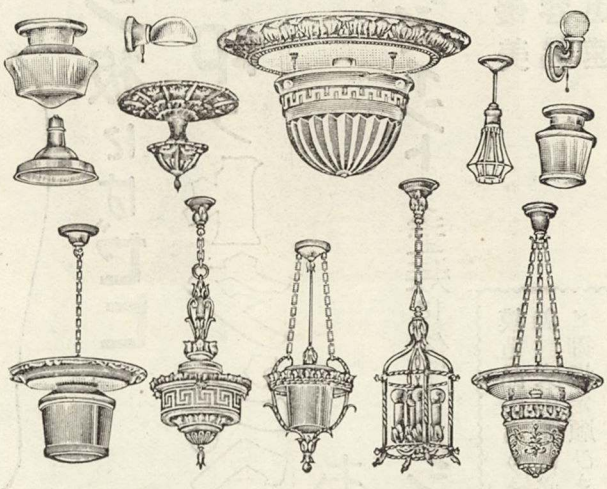
營經河古

東亞ペイント株式會社

一般電氣工事

設計、請負、監督

最新式高級電燈器具
在庫豊富



大阪市南本町四丁目 駒井商店

暖房、冷房
換氣、排氣
蒸汽配管
炊事、衛生
給水、給湯

設備ニ關スル一切ノ必要品

専門製作販賣

大阪市此花區玉川町二丁目二五

阿波田良之助商會

電話土佐堀三九七四番



日本ペイント製造株式會社
特約販賣店 合資會社 **横山商店**
神戸市元町通一丁目
電話三宮 五二〇・二五五二・三二五五

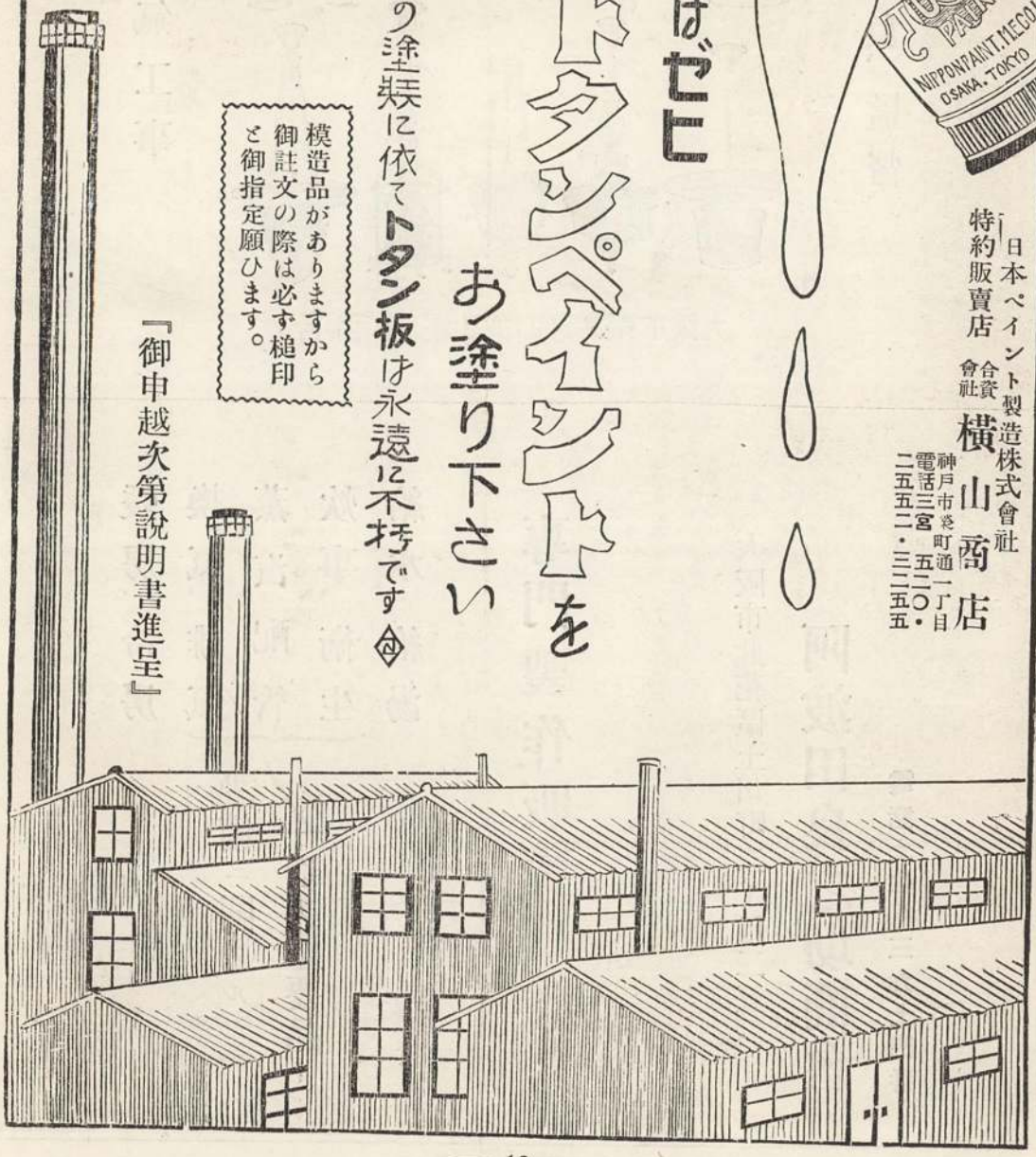
トタン板には㊎印のトタンペイントをお塗り下さい

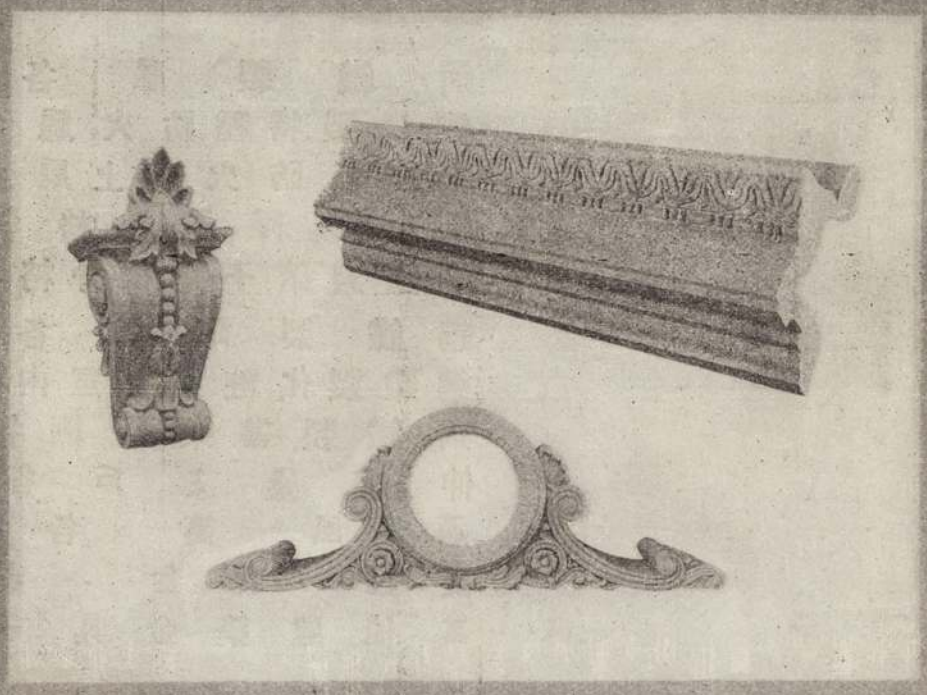
◈トタンペイントの塗裝に依てトタン板は永遠に不朽です◈

▲外觀優美
▲塗工容易
▲乾燥迅速
▲皮膜强靱
▲頗る經濟

模造品がありますから御註文の際は必ず槌印と御指定願ひます。

『御申越次第說明書進呈』





特許中村式グラニット

特許中村式グラニツトの特徴

色合石理ハ眞ニ天然石カト見ラルル迄テ巧妙ニ作製致シテアリマス

型狀ハ如何ニ繊細美妙ヲ極メタル裝飾物ニテモ其ノ意匠計畫ハ遺憾ナク表現サレテ居マス

肌合ハビシヤン、小叩、研出等其他如何樣ニモ製作致シマス

製産能率ハ東京大阪兩工場ニテ一ケ月三萬七千平方尺ノ能率ヲ上ゲテ居リマス

耐火度攝氏1,410度 吸水量二十四時間後0.57%

最近御指定ノ光榮ニ浴セル十大建築物

（御指定事務所）	（施工建築物）
辰野葛西事務所	盛岡貯蓄銀行本店
佐藤建築事務所	農工銀行本店
設樂建築事務所	江南ビルデイング
片岡建築事務所	福徳生命金澤支社
橫河工務所	三越呉服店神戸支店
宗建築事務所	三十四銀行兵庫支店
岡田建築事務所	赤十字社東京支部
清水建築事務所	川崎貯蓄銀行大崎支店
渡邊建築事務所	横濱正金銀行大阪支店
曾根中條事務所	德川公爵邸

中村グラニット商會

大阪本店 大阪市住吉區住吉町五〇三
全　工場 大阪市西淀川區海老江町1200
電話土佐堀一三五七番

東京支店 東京市芝區月見町二丁目四
全　工場 全
電話高輪二八六八番・六五〇一番

製作科目

鋼鐵製扉各種
鋼鐵製特種防火扉各種
鋼鐵製防火捲上扉各種
鋼鐵製障子骨格各種
鋼鐵製硝子屋根骨格各種
鋼鐵製階段各種
鋼鐵製化粧室及室內隔塵
鋼鐵製書架戶棚各種
伸縮疊ミ戶各種
通風筒各種
支柱・窓金・鐵棚
其他建築金具一切

大阪市東成區中濱町字橋下島四百番地

合會社名 **關西建鐵製作所**

營業部

大阪市東區谷町四丁目二番地

電話東 二四六九番 一九四一番

SPECIAL ✿ BORING

ボーリング ト 鑿井

○ 明治十八年創業 斯界之権威 ═ 高キ歴史ト経験 特許ノ機械器具 獨特ノ優秀ナル技術 ═ 他ノ追従ヲ許サズ

○ 標語

岩盤、玉石、土質ノ硬軟水壓ノ別ナク
工事ノ多少ニ不拘迅速正確低廉

○ 特長

設備 ボーリング ═ 屈下簡易 水密満ゼズ 任意ノ水階鑛水ニ集水 鐵管肉厚ク接手ソケット綴合 井側鐵管ト同様ノ強力
裝置ノ「ストレーナー」 湧水不浸 挿入安全 土壓ニヨル鐵管破壊ノ憂ナシ 生命永久
粒土ヲ用ヒズ 地層ノ區別完全 標本正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレンヤー フレクション
モ鮮明 耐壓モボーリング表ニテ明瞭メ

○ 光榮

請官衙 技術大家 諮會社ヨリ多數ノ成績證明ヲ賜ル 宮内省特ニ御用命ノ拜ス
大阪東京兩市電氣局高速度鐵道課 東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

○ 推奨

基礎工事費ヲ減ジ 震害豫防ニ 費用僅少定評アル 森川ノ名稱ボーリング
水ノ解決ノ爲メニ 合理的ナル 森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側裝置
揚水裝置
杭打試驗
載荷力試驗

森川組

店主 森川鳥爾

本店 大阪市西區幸町一丁目 電話川 長四一三〇一
支店 東京市神田區金澤町 電下谷 五五三二

謹賀新年

主要製品

特許專賣 アサダプラスター
セメント防水劑 特許專賣 リクタイト
アサダ白色ポートランドセメント

飾磨化學工業株式會社

兵庫縣飾磨町
電話一〇一番
六六番



（鶴龜竹垣鏡）　（長生殿鏡）

都市計畫時代

現代に於て取分け我國は都市計畫の必要に迫まられて居ることは一般都人士の等しく痛切に感じて居る所である、俄然我國に於ては未曾有の都市計畫時代とも云ふべき時代を出現するに到つた。

往昔の都市の構成は洋の東西共に主として首府の威儀と軍略上との方面に重きを置かれたる形跡あり。眞に都人の生活上より割出されたるものではない樣に察せられる。

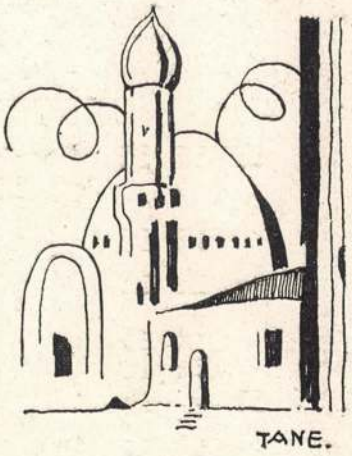
都市の位置は水陸兩方面の交通上の要衝にあるを通例とする關係上政事及商業上の繁瑣なる關係は遂に人口の調密を來し從つて多數の通路を生ずるに到つた。然し之等の通路は何等近代的都市計畫的考量を巡ぐらされたものではなく人が通交するから其通路に當る地面が即ち道路と成つたと云ふに過ぎない極めて幼稚なものである。故に都市の面積は自然平面的にダラ〳〵と擴張され來つた。建築上の發達は天幕より平屋に平屋より二階に更に三階四階五階と立體的に進んだ。一方道路は天幕時代平屋時代其儘の面積にして古人は全く此方面には一考だも費す所なかりし樣である、而もホン最近迄此狀體を繼續し來つたことはそこに當然起るものは保安、衛生、交通等の所謂近代的都市問題の惹起である。

現在も然りであるが特に將來に於ては都市隣接地よりする交通機關の發達と大建築との出現は多々益々都市の混雜を助長せしめる結果となるは火を見るよりも瞭かなことである、此の事象に對し現代人が必要なる計畫を立て進めることは餘りに當然なことである、乍然通路面積の比例と高層建築に於ける延坪數即收容人員の比例との平衡を適當に保たざる以上單なる美裝道路の擴築のみにては終局迄都市の亂雜は取除かれない。

現代の都人は都人の生活上より割出さるべき近代的都市問題的傾向に對して無關心なりし古人の遇意が其子孫たる吾人に對して幾多の都市的苦痛と悲慘なる境遇とを與へたることを思ひ相當なる犧牲的覺悟を以て現在及將來の都人の幸福の爲に都市問題に對して此際緊褌一番するの要なき哉。

多端なる都市問題を有する昭和三年の劈頭に際し聊か吾人の希望を述べ以て新年の辭に代ゆ。

（三・一・一、佳山生）



都市計畫事業の一大危機

工學博士　片岡安

都市計畫の立案とその實現に力を盡さねばならぬことは洋の東西を問はず又其大小を論せず現代の文明都市の齊しく課せられたる最大の責務であると見て差支はあるまい。我國に於ては大正九年以來先づ六大都市にその法律が布かれ、それぞれ重要なる計畫が立案されて、其一部は已に實現の途上にあることも、我文明史上特色すべき重大事項であると考へられる。殊に大震災後の帝都復興計畫を始め、大阪市の幹線街路擴築の如き、或は其他幾多の大中小の都市に於ける街路擴築計畫の着々實現されつゝある、此重大時機に於て、若しその計畫宜しきを得ざるが如きことあらんか或は又其實現方法宜しきを得ざるに於ては、其損害は多大にして且つ永久に回復し得ざるような恐るべき結果を生ずるのである。余輩は今此處に帝都復興計畫その他各都市の已に決定せる計畫に就きて一々それに批判を加へんとするのではないが、其間に一貫して甚だ不徹底なる計畫遂行上の缺陷あるを遺憾とし、その結果の重大なるを感じ、聊か當局關係者の反省を促がさんとするのである。

一般に舊都市の狹隘なる街路は到底現在及將來の都市發展に對して其交通、保安及經濟上の幹根をなす街路として役に立たぬのであるから、少くともその幹線街路が適當なる系統と十分なる幅員を有するものに改造されねばならぬことは餘りに明かな事情であるから、それに就ては說明するの要を見ないのである。而して現在帝都始め大中の都市は何れも其重要なる幹線街路の計畫を定めて其實行に移り已に其等の一部は完成に近づきつゝあるが、可なり多くの場合に其處に大なる缺陷が取遺されて、永久に其回復を期待し得ざるやの憾があることを發見する。其缺陷とは何であるかといふに、其街路に面する適當なる建築敷地の造成を考へずして、唯徒らに街路そのものゝ擴築に沒頭することである。そもそも街路の用は唯交通上の利便を計るのみではなくして、むしろ經濟上の活用と保安上の施設に重きを置かねばならぬのである。即ち其街路に面する建築物が何れも現代式の完全にして經濟上又美觀上缺陷の少きものでなくては、其街路が如何に交通上の利便に良好なるものであつても、都市の街路としては其目

印銅眞鍮板

壁張 分銅屋根板 應用

特許

分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります

現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓内外デ立派ナモノガ葺上リマス尚坪當リ葺上拾參圓位デ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります

普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い

本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス



大阪電氣分銅株式會社

大阪市北區天神橋筋四丁目

電話北四七〇〇至四七〇五番

最近御用命先

南滿鐵道　適當に溶解したる塗料
阪神國道西成大橋高欄　にして塗布面の强靱と
阪神國道佐門殿川橋梁　色澤の優秀なる事既に

陸軍運輸部
大阪市電氣局
大阪市役所
大林組
清水組
大阪商船　富島倉庫
陸軍造兵廠　名古屋工廠
千種機器製作所
宇治川電氣
木津川發電所



住友伸銅鋼管株式會社
日本絹綿紡織高槻工場
日本電力柳河原發電所

定評あり
塗工部の設けあり實費
にて貴需に應ず

製造元
大東塗料株式會社

品目錄

△船底塗料　鐵鋼船底塗料
△水線塗料　鐵鋼船塗料
△ホールドペトント　同
△コツパーペイント　木船底塗料
△セクロン　鐵材裝飾防腐
△ハウスセクロン　木材裝飾防腐
△グラフアイトペイント　鐵材防蝕專用
△シーゲル　殺蟲液
△セトラ　木材防蟲防腐液

營業所
大阪市北區中ノ島大阪ビル八二四號室
電話土佐堀一八三二番

本工社及場
尼崎市外　小田村長ス
電話尼崎二二三七番

出張所
橫濱市林町一番地
神戸市榮町三丁目三十五
東京市京橋區南大工町十一

東洋鑛粉

『チヨコレート色』

◆ 辨柄・黒
◆ 綠・黄

用途	
鋪床・壁塗用	
スレート用	
セメント瓦用	
タイル用	
各種塗料用	
建築材料用	

合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
電話櫻川四二四六番

東京營業所
東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絕緣材料

大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長土佐堀五六〇一番

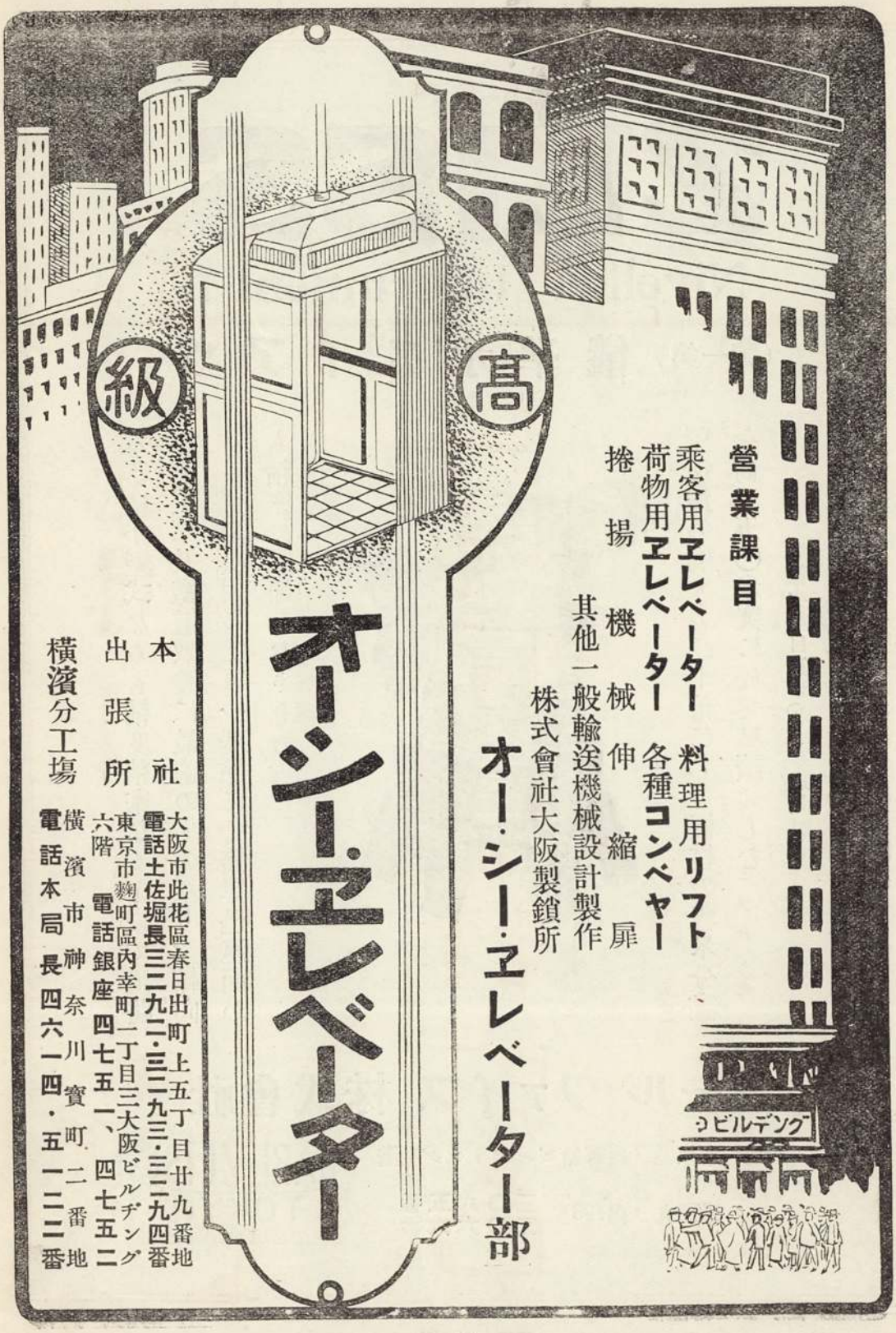
弊店は 眞面目が**モットー**
皆様方の使用人

營業科目

和洋家具設計製作
室内裝飾設計施工
店頭裝飾設計施工
和洋住宅設計施工
圖案及廣告看板
其他一般木材加工

世岡家具裝飾店

營業所
工場　大阪市西淀川區海老江町一四八五番地
電話　土佐堀二九六九番
　　（ニクロク綠）
振替口座　大阪七九七三三番



營業課目

乘客用エレベーター　料理用リフト
荷物用エレベーター　各種コンベヤー
捲揚機械伸縮扉
其他一般輸送機械設計製作

株式會社大阪製鎖所
オー・シー・エレベーター部

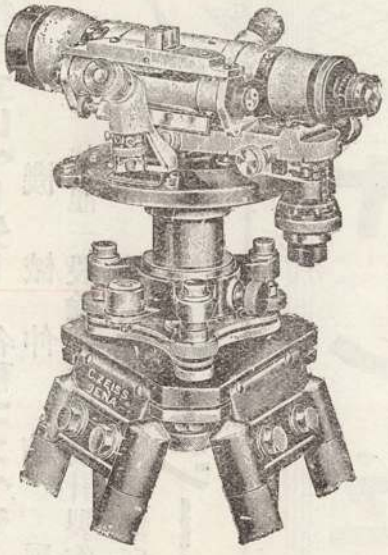
本社　大阪市此花區春日出町上五丁目廿九番地
電話土佐堀長三二九二・三二九三・三二九四番
出張所　東京市麹町區內幸町一丁目三大阪ビルヂング六階
電話銀座四七五一、四七五二
横濱分工場　橫濱市神奈川寶町二番地
電話本局長四六一四・五一二二番

ZEISS

Nivellier Instrument I

ツアイス水準儀（第一號）

本器は小型式なるも精度精密なるを以て道路水道工事及鐵道敷設に最適のものなり、轉向バルブの具用により一基點にて簡單迅速而かも精密に調節をなさしむ



望遠鏡の廓大力二十倍にして標柱の珊米分畫を尚二五〇米突に於て精讀せしむ

御報次第目錄 Geo.2 進呈

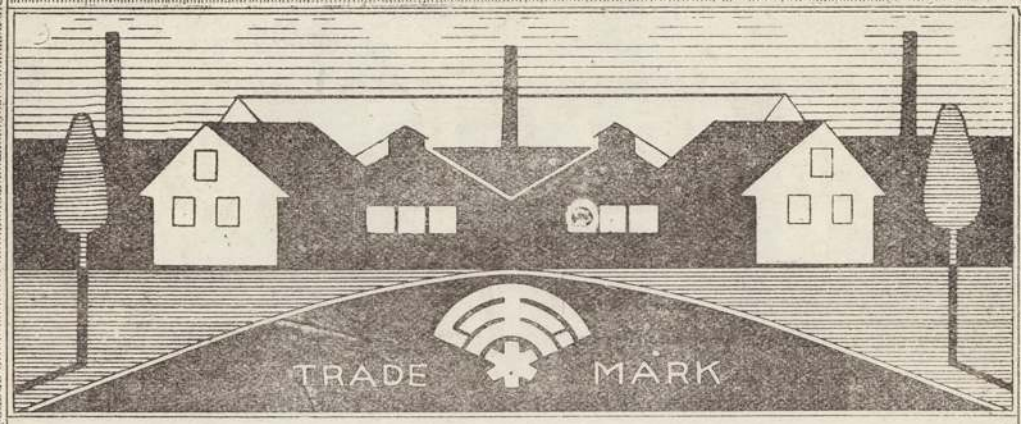
弊社製測量機全體ニ亘リ詳細說明ニアル邦文カタログ最近出來マシタ御一報アリ次第早速御送附致シマス

カール ツァイス 株式會社

東京丸ノ内郵船ビルデイング七階

電話丸ノ内(23) 三〇六五番 三〇六六番

CARL ZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA



國産パイロキシリン、ラッカー

KB セルバ塗料

五〇〇番　鋼鐵車、自動車、鋼鐵家具、其他
二一〇番　木製家具、一般建築車輛樂器其他

建築用特種塗料

「ケービー」ミラーペイント　高級光澤塗料
「ケービー」フラットエナメル　高級艶消塗料
「ケービー」コンクリーハイド　高級コンクリト塗料
扇印ルーフペイント　牡丹屋根用塗料

關西ペイント株式會社

兵庫縣川邊郡小田村神崎

電話　土長四八二六番
　　尼崎四三四九番
　　二〇四一番
電略　發信（カ）又ハ（カン）
　　受信　アマガサキ
　　カンサイペイント
振替口座　大阪五〇三四五番

（說明書進呈）

出張所

大阪市東區北濱四丁目四十三番地
東京市京橋區柳町三番地
神戸市仲町四十四番地
名古屋市西區本重町一丁目乙二〇三
福岡市住吉宮崎町九二〇番地

關西ペイント株式會社

神崎・大阪・神戸・東京・名古屋・福岡



京都　大丸呉服店増築工事　葵式フローリングブロック舗床

衛生工事

特許葵式浄化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

實剝 檜床板

特許ピトリウム床
特許ピトチック内外壁
葵式人造大理石

特許專賣 練革床

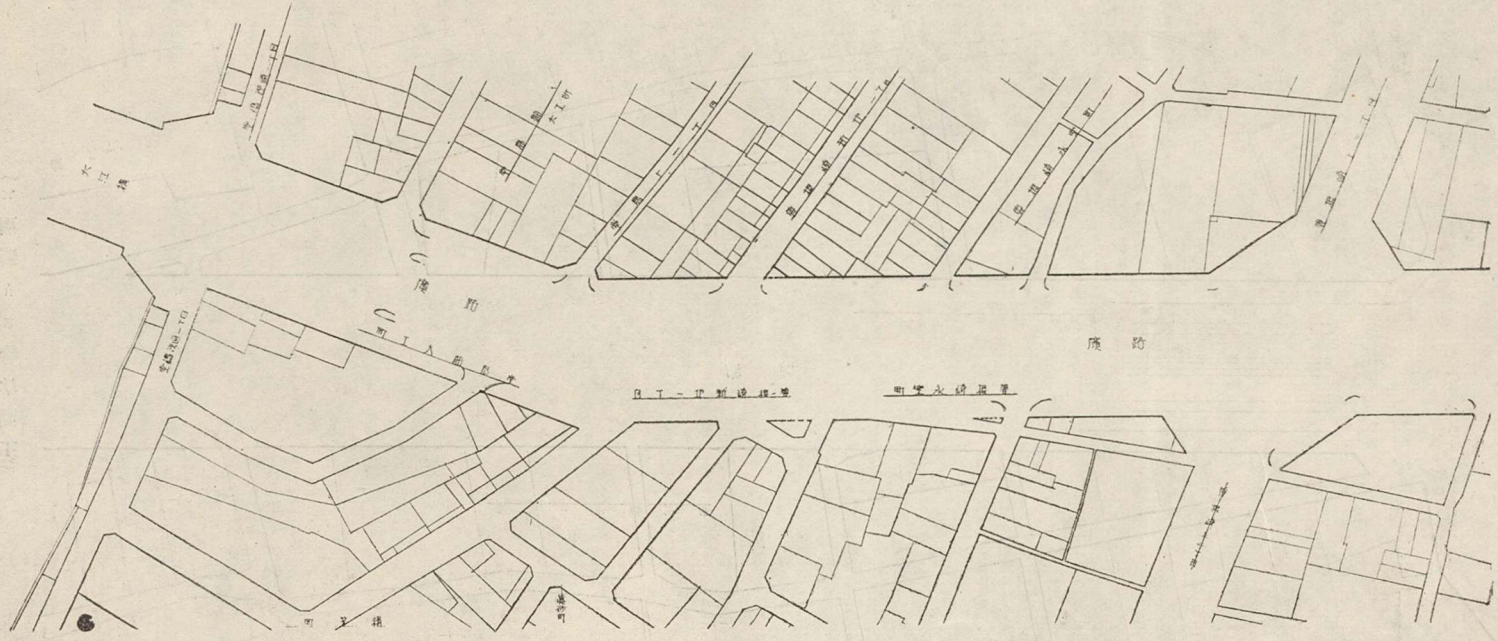
葵式フロリングブロック
各種寄木張床
堅木乾燥材挽立

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區銀座尾張町二の二　電銀座(57)七八七・七二三〇

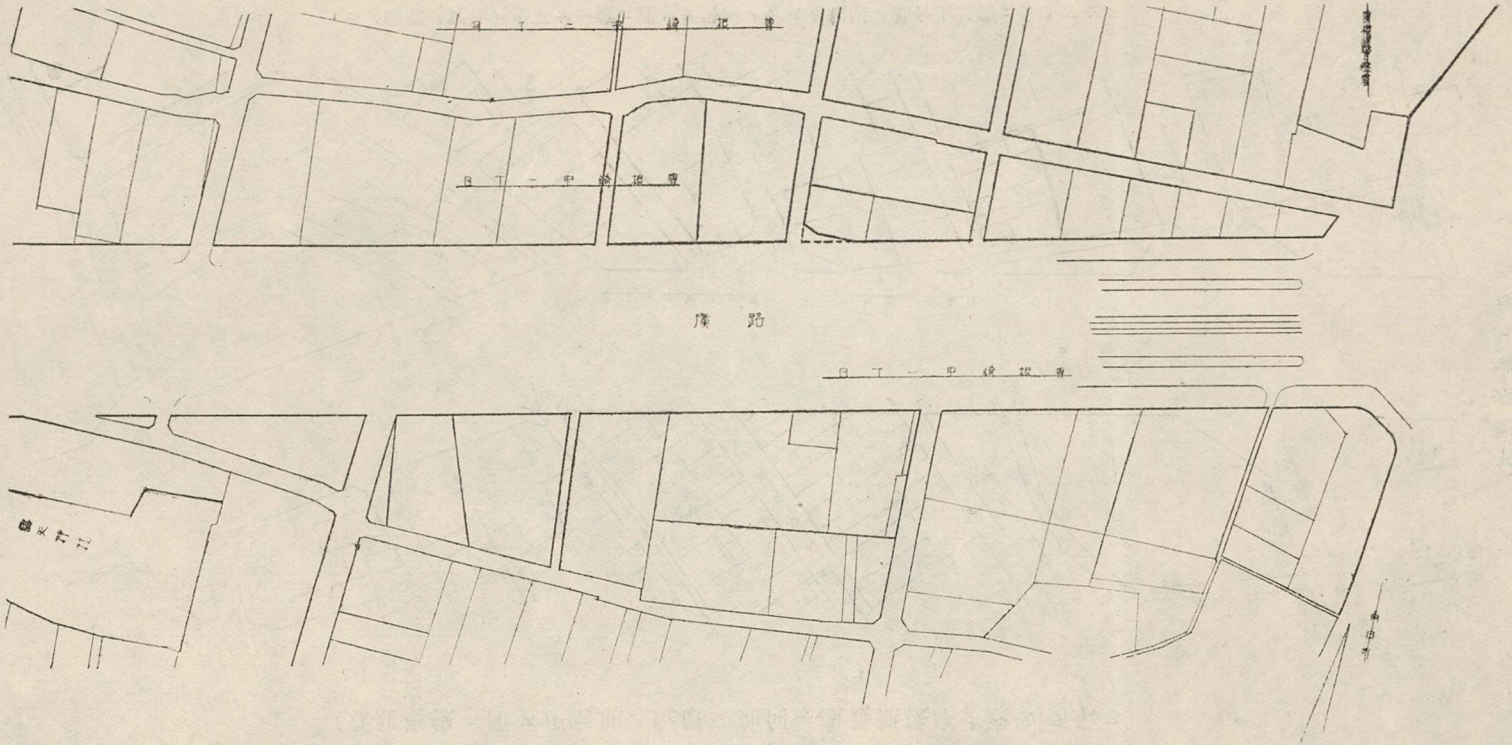
大阪市都市計畫幹線街路廣路之圖(擴築成レル廣路ノ一部)

(新建築線ニ面スル宅地ノ配置ノ如何ニ亂雜無秩序ナルカヲ示ス)



(下圖左端ニ接續ス)

コノ圖面ノ實物ハ上下ガ一葉ニ連ツテ居ルノデスガ組版ノ都合上二葉ニ分ケマシタ。



（上圖右端ヨリ接續ス）

的の一半をも達し得ないのである。もしそれが甲乙兩地を連絡する郊外の道路であるならば、其幅員を擴濶にし、路面の鋪裝を完備することに依つて道路としての使命を完全に果し得るのであるが、都市の街路殊に廣路とか一等大路とかいふような幹線街路に於ては唯その街路の交通が便利であればそれで其使命を全ふするが如く簡單に考ふる譯にはゆかない。もとより斯かる誤れる考を有つものは恐らく都市計畫事業の當局やその利害關係者間には有り得ないことゝ信ずれども、實際に當つては斯かる錯誤が可なり深刻に瀰蔓して居ることを見出すのである。

帝都復興の街路計畫に於ては帝都の燒失地區全般に亙り區劃整理を斷行し、適當なる建築敷地の造成と街路網とを同時に考慮したる計畫を樹てたのであるが、其初め復興評議會に提出されたる原案は街路擴築に必要なる土地を買上げ主として街路築造に重きを置いたものであつたことは確實なる事實である。幸ひにして評議會に於て斯かる建築敷地の造成に重きを置かざる舊式の道路築造案は修正されて、現在の如き區劃原案が成立する順序となつたのである。若しその當時右の修正方針が徹底せずして原案の如きものが成立したと假想すれば、帝都の復興は甚しき邪路に陷り、憾みを百年の後に殘すような危機にあつたのである。幸にも復興計畫の街路は主として區劃整理の原則に依り、適當なる宅地造成と相待ちて其計畫が成立したのであるから、將來の發展に對して何等支障なきものとなつた。然るに舊市街の部分に屬する街路の擴築に就ては帝都はもとより其他大中の都市に至るまで、區劃整理の原則を適用することを極めて稀であつて、概ね道路敷地の部分的買收を以て、事業の進捗を計るが故に、新建築線に面する宅地の大小形狀は亂雜無秩序を極め、街路の路面そのものは鋪裝を以て完備さるゝも、建築線に沿へる建築物は一箇一箇としても亦其集團としても到底その經濟的及美觀的價値を發揮することの出來ないような場合が頗る多いのである現に我大阪市の最重要なる南北縱貫街路たる廣路の既成部分に就て見るも其建築敷地の亂雜なる驚くべきものがある。凡そ街路擴築に際しては其新たに生じたる建築線に面する從來の宅地は、或は斜めに、或は扁平に、或は又多角形に甚だ不規則のものとなつて殘さるゝを原則とするが故に、其殘地及連續の敷地は凡て之を買上げ得るを都市計畫法には特に規定して居るのである。而して其等殘地及連續の敷地を同時に買收し、それを適當なる數箇の宅地に造成して然る後それぞれ希望者に讓渡し、以て適當なる建築物を造營せしめんとするのである。故に或る街路に於ては建築物の最小の前面及最小の奥行を定めることも必要であらふし、又同時にその最低の高さをも定めることを必要とするのである。

之を要するに我國の各都市に於て其都市計畫事業進行中、街路擴築には一般に其建築線に沿へる建築物の造營に就て餘り多くの考慮が費されて居らぬのである。その結果は其新街路に面する建築物が何れも不適當なる敷地に甚だ窮屈に造營せらるゝことゝなり、建築物の體裁はもとより其集團としての輪奐の美を發揮し得ざるのみならず、經濟上の市民の活動と其利便を阻害すること夥しいのである。斯の如くして我國の都市が何れも其街路擴築に莫大なる工費を投じ、街路そのものは完成されても、其結果が上述の如き建築物の缺陷を見んか、所謂九仞の功を一簣に缺くものと言はねばならぬ、我々は都市計畫事業の進行に際し特に憂を深くさるものである。

昨年中の六大都市の建築

（某銀行調査）

延坪三百三十萬坪、總經費四億五千萬圓

六大都市内外の市街地建築物法施行區域において昨年中に工事落成せる建築物（東京、横濱のバラックを含ます）の合計は（單位棟、坪）

	棟數	延坪
住宅	五六、五七八	一、四七一、七六五
商業	三一、四九五	一、一三三、二四四
工業	一六、七八四	五九六、一八三
その他	三、七七一	一〇四、六三〇
合計	一〇八、六二八	三、三〇五、八一〇

で一昨年の十萬九千五百八十五棟三百二十九萬七千五十六坪に比して大差なくこれを都市別に見れば左の如くである

東京

住宅	二四、〇二六	四四〇、八〇四
商業	一四、二七四	三五一、七四七
工業	八、二三〇	一八九、〇三九
その他	七五〇	一七、一六九
計	四七、二八〇	九九八、七五九

京都

住宅	六、二五九	一八六、八一〇
商業	三、三二九	八六、四一二
工業	八九〇	二三、三九一
その他	八六九	一三、八一〇
計	一一、四四七	三〇八、四五二

大阪

住宅	二一、四〇三	四二〇、五六四
商業	八、八四二	四六六、〇六一
工業	五、六七六	二九四、六二九
その他	九五八	二八、五七九

神戸

住宅	二六、八七九	一、二〇九、八三
商業	五、四一七	一五九、六一七
工業	二八八	四五、〇三九
その他	四七三	三五、六四八
計	六、二三九	一六、八二五

横濱

住宅	三、五六二	六五、九八九
商業	二、二二三	六九、四三七
工業	三二〇	一五、六三三
その他	二七五	五、三一六
計	六、三九〇	一五六、三七七

名古屋

住宅	五、九一一	一九七、九七一
商業	二、五一九	一一四、五四八
工業	一、一〇五	三八、八四三
その他	八五八	二三、八〇一
計	一〇、三九三	三七五、二六三

しかして各種建物の建築費は近年漸落の情勢にあつて、昨年は一昨年に比して略一割方の低落を示し昨年の坪當り新築費は大體左の見當である（增築の場合は新築と同價、改築は新築の九割、移轉、大修繕、大變更その他は六割とす（單位圓）

		大正十五年	大正十四年
住宅	木造	一三五	一五〇圓
	石造	二七〇	三〇〇
	鐵造	四〇〇、四五〇	四五〇、五〇〇
商業	木造	一六〇、一八〇	一八〇、二〇〇
	石造	二三〇、二七〇	二五〇、三〇〇
	鐵造	三三〇	三五〇
工業	木造	一〇〇	一〇〇、一二〇
	石造	一八〇	二〇〇
	鐵造	一六〇	一八〇
その他	木造	一六〇、一八〇	一八〇、二〇〇
	石造	二三〇、二七〇	二五〇、三〇〇
	鐵造	三三〇	三五〇

これによつて六大都市内外における各種建物の建築費總額を算出すれば（單位千圓）

住宅建築物	一八六、一八〇
商業建築物	一八八、八六九
工業建築物	五七、四三六
その他建築物	一六、六〇九
合計	四四九、一〇四

で都市別にすれば左の通りである（單位千圓）

東京

住宅	五七、一七六	一八八、二〇〇
商業	六〇、〇〇四	二五〇、三〇〇
工業	一九、〇四三	二、〇〇五	三五〇
その他	二、七七四	二、四五	一〇〇、一二〇
計	一三八、九九五	四三、三八一	一六一、五一三

京都

住宅	五二、四八一	一八六、一八〇
商業	一五、一五四	七六、五七四	二〇〇
工業	二、〇〇五	二八、一二四	一〇〇、一二〇
その他	二、四五	四、三四三	一八〇
計	四三、三八一	一六一、五一三	

大阪

住宅	四八、一〇四	一八〇、一〇〇
商業	一五、一五四	二五〇、三〇〇
工業	三、三四八	三五〇
その他	三、六二九	
計	四八、六一五	

神戸

住宅	八、八一〇	二五、三一四
商業	二三、一七三	一六、三二四
工業	一、七〇五	三、三四八
その他	九二五	三、六二九
計	二四、六二五	四八、六一五

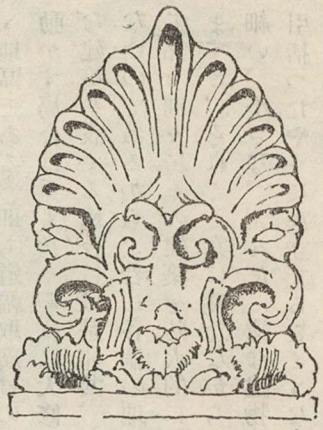
横濱

住宅	七、五四〇	二五、三一四
商業	二三、一三	一六、三二四
工業	一、七〇五	三、三四八
その他	九二五	三、六二九
計	二四、六二五	四八、六一五

名古屋

住宅	五二、四八一	一八〇、一〇〇
商業	七六、五七四	二五〇、三〇〇
工業	二八、二二四	九〇、一〇〇
その他	四、三四三	一四、一五三
計	一六一、五一三	

即ち昨年中六大都市とその近郊に完成せる建築物の建築費總額は四億四千九百十萬圓で一昨年の總額五億百三十八萬圓に比較すれば一割强の減少である



都心地の土地の共同利用

工學博士　直木倫太郎

本記事は博士が十二月二十日大阪放送局に於て公演せられたるものを特に乞ふて本誌に載錄した次第であります。（編者）

演題の趣旨を彼是と說明致しまするよりも寧ろ端的に先づ最も手近な一つの例について述べてみることに致します。

それは我大阪市内で最近に出來上つたあの梅田から大江橋までの道幅二十四間の大通のあの兩側の土地、あれなどは必ずややがて大大阪の表玄關に近き立派な一つの中心地區として發達すべき幾多の要素を備えてゐる。

將來あの二十四間幅の廣路が益々南へ延びて、淀屋橋から御堂筋を一直線に難波にまで達する場合に考へるなり、或は地下鐵道線がその街路の下を這うて大大阪の南北を連ぬる大きな幹線を形造る場合を考へるなり、或は又近く實現さるべき大阪驛の改築に伴つて現在のあの見すぼらしい感じのわるいそして混雜極まる驛前の廣場が必然的に今日の二倍以上の道幅に取擴げられて如何にも大大阪の大玄關らしい體裁を備へらるゝ場合などゝ、次第に想像し來れば來る程、その附近の土地こそは頗る驚くべき發展を、その將來に期待し得るのが當然であります。

然かもその、梅田大江橋間の、あの大通に沿うた土地の現在の利用狀態は何うでありますか、中には大きな建物もないではないが、隨分と小さなものが多い、間口も狹く、面積も小さく、然かもその一つ〳〵が、細長かつたり、偏平だつたり、或は三角形に歪むで居たり、或は鍵なりに曲つて居たり寔に千態萬樣の見苦しさであるのみならず、偶々目立つて高い建築が出來たかと思ふと、それが如何にも薄つぺらで、何とも氣の毒千萬な風情であつたりする。

然し若しそれが、單にあの道路の新設當座の、只一時の過渡期の餘儀ない現象たるに止まるものだとすれば、それは無論何等の問題もないが、然し果してそうだと言ひ切り得やうか何うか。其處に大きな疑問がある。

多分毎日あの邊の樣子を目擊さるゝ市民諸君も矢張なにあれはほんの一時的な過渡期の狀態であらう、やがては堂々たる立派な建築がずつと、美しく立揃うのであらうと宜敷想像して安心して居らるゝのだと思ふが、然し果してそう都合よく運ぶであらうか何うかは、實は大きな問題なのである。

何となれば其處に實際大きな障害が存するのであつて、恐

らく誰もの想像以上にその障害の撤去は困難であるからである。つまり相當大きな現代式の建築には、先づそれ相當な土地の面積を必要とするに拘らず、我都會地の土地は從來餘りに小さく、その所有權が別かれ過ぎて居る、都會の中心地に於て殊にそうである、從來の平家建二階建の建築に相應はしい程度にまで小さく、土地が割れて、それ〳〵に土地所有者が別々である。

然かも土地所有者の誰もが今ではその土地の將來に大きな期待を持つて、何れもその土地を極度に利用せんと氣構へて居るのであるから、その大きな欲望を滿足させる程な、大きな資金を投じて土地の買收を敢てせぬ限り、現代式な建築に必要なる敷地を求むる事が實は容易でないのである。

中には、祖先傳來の土地であるから、金の山を積んでも滅多に賣らぬと頑張り通す話も往々にしてあることである。

あの梅田附近に薄つぺらな、高層建築の出來るのを見てもその半面には相當な建築敷地を取纏めることの如何に容易ならざるかを考へさせらるゝではないか。

所があの邊一帶は甲種防火地帶で現に防火建築の强制さるゝ地區である。即ち道幅取廣けの爲に在來家屋をそのまゝ引動かす場合は兎も角、それに大修繕を加ふるとか、又は新たな建築を設くる場合には是非共、永久建築を以てせねばならないのであるから、若し各個の地主が各その所有地面に據りて銘々別々にその建築を防火的に永久的にした場合を想像しますと、それこそ寔に殘念ながら薄つぺらな窮窟な、狹い、細い、小さな、歪んだ 變な建物ばかりが恰も筍を束にして引括つたやうに簇立することゝなつて、それが永久建築である以上、それこそ永久にあの二十四間道路の兩側を咀ふべき救ふ可からざる狀態に化し去るより外はないのである。

只にあの附近ばかりの問題ではない、それは二十四間道路の開設さるべき、御堂筋線全體も之亦一つの立派な都心地として又同じことが言はれるのである、防火建築の並列は如何にも望ましいが、然かもその以前に於て先づ大に考慮すべき問題が存するではないか。

近頃又或方面では、あの二十四間幅の廣路に面する建築には是非共その建物の高さを、四階以上とか、五階以上とかに制限して、平家建や二階作りの如きを許さぬことにしたいと言つたような議論が唱へられて來た。

無論二十四間道路の品位に照して寔に當然な結構な主張ではあるが、然かも矢張、しかく建物の高さを氣に病む前に、寧ろその根底たる建物の敷地を如何に處理し、統整し能ふかの問題を何う解決すべきかを先づ大に研究せねばなるまい。

即ち茲に私の言はんとする所の『都心地の土地の利用』に就ての大きな問題がそれである。都心地の土地の利用を合理的に經濟的ならしむる工風を最も忠實に、將た眞劍に、考慮し提唱して一般市民の理解に俟つべき必要が大都市になればなる程一層急迫して居ることを思ふのである。

然らば如何にして『都心地の土地の利用』を最も合理的に將た經濟的ならしめ得べきであるか。

我國の都市計畫法には之等の場合を豫想して一二の方法を規定してある。

即ち その一は 超過收用法であり

その二は 地帶收用法である

即ち新に道路を開設し又は大きく擴張する場合に於ては、その事業に必要なる土地の附近地をも、若しそれが建築敷地造成の爲に必要ならば收用使用し得ることを認めたのが超過收用法であり、又宅地としての土地の利用を增進する爲に沿道一團の土地に區劃の整理を施して、敷地造成の後に、もとの土地關係者達に優先的に拂下げしむるのが地帶收用法である。

然かも之等は法には立派に之を認めては居れど、然かし之が實行上には隨分と大きな障害がある。

茲には敢てその詳しいことは言はぬが、早い話が、いくら法律にその道が開かれてあつても、之を實行するには、巨額な道路敷地の買收以外に、ずつと餘分の土地買收費や、家屋移轉費が入る、それを市で實行することは到底困難である。加之之等の仕事は費用以外にもつと社會的にも、經濟的にも實行上幾多の難問題を伴ふのであつて、我大阪市の如く都市計畫事業に最も熱心な都市でさへ幾多考慮の末が、殆ど問題にしないまでに匙を投げて居るのを見ても、その實行難が判るであらう。

然らば遂に都心地の土地の合理的利用、經濟的利用を實行し得べき明案がないのであるか、我々は手を拱ねて只地主が各自の欲するまゝに、之等大切な都心地を我儘氣儘に處理するに委ぬるより道はないかと言へば、否、そうではない、私の茲に主として言はんとするものがある。

即ち或一團の土地の所有者達が御互によく時代の趨勢を理解し、その所有土地の利用を合理的ならしむることが、將來永久に最も利益なる事に着眼し打算することによつて、即ち敢て從來の如く、自分の土地ばかりを見詰むることを爲さず一段高き見地と、廣き考慮の下に大都市内でも最も惠まれたる最も限られたる都心地を所有することの誇りと面目とに鑑み、相互に相融和して土地の協同利用によらざれば都心地の完整は不可能なる事を認め、從來の地上權者及び借家人達とも共に〳〵相提携して以て共同建築の建設にまで努力さるゝのが即ち唯一の方法である、その事柄は六つかしいと言へば或は六つかしいかも知れぬが、容易いと思へば又如何にも容易く相互の理解の下に實行され得るものである。

この方法によるときは土地所有者の利益として

(一)御互の土地に夫々二割乃至四割の空地を存しなければならぬ建築規程に對して、共同建築ならば中庭とか其他の最も適當な場所に一と纏めにした空地を存することによつて御互に澤山の無駄な空地を省くことが出來る

(二)裏地奥地の地主も表地の權利に均霑して高層建築の資格を得られ即ちそれだけ建物の延坪を殖やし得る譯である

(三)建築費にしても、共同建築なれば壁とか、廊下とか、階段とか、エレベーターとか、エンジン室とか、便所とか、洗濯場とか共同的な使用部分が非常に多くなるから單獨建築に比して建築費が非常に低下することも想像され得る

(四)次には煖房裝置とか、冷却設備とか、排水とか、下水とか、糞尿處理とか、さては電氣、瓦斯、水道等其他電氣時計、非常報知機とかの如き現代的百般の最新施設を備ふる上からしても共同建築によれば、その工事費は勿論、將來のその維持管理費が、凡て低廉なるべき理の當然である

(五)之を衛生上の見地からするも採光の上に、通風の上に又下水汚物の排除の上に、幾多の利便が存する

(六)然かもそれが、街路の美觀を備へ、都市の體裁を整ふる上に何れ程大きな効果を與ふるか、又斯くせねば到底滿足すべき防火建築の達成、高層建築への要求が滿されないのであることを思へば、又別段の大きな功德が、それに附隨することをも考へねばならぬ

(七)尙且つ社會的に考慮すべき點は、從來その土地を借受けて家屋を建て、又はその家屋を借用することによりて營業を爲し、且つは廣く大きな『シニセ』を有しつゝあつた處の之等凡ての土地の干係者が道路の取擴げ、又は土地の賣買によつて其土地を離れしめらるることなく犧牲的な憂目を見ることなく、その總てを適當に包容して夫々に從來通りの場所で滿足に營業居住せしむることも、かゝる共同建築による土地關係者の理解から生れ得ると思ふ

それは決して梅田大江橋間の問題たるのみではありませぬ。今後二十四間道路に取擴げらるべき御堂筋線の一體或は堺筋に於てさへも　又は新しく開けた西横堀線に於ても、更に將來の大阪驛前の廣路の取擴げに伴ふその驛前の土地一體の建築に就ても大に考慮すべき問題、是非とも大阪市民諸君が各自の問題として、之を理解し、市民自身の力で行ふべき都市計畫として大に考慮し、その實行に邁進して貰ふべき大きな事柄だと思ふ。

現在の法制の下では土地の共同利用及び共同建築に對して如何なる協同の方法があるかと言ふに、一は民法による組合組織と、他は商法による會社組織とがありますが、その何れを問はず、私は斯かる都心地の最も有利な土地を所有せらるゝ諸君の心情に訴へて、その相互の協力からして必然的な、然かもより經濟的な、より合理的な、土地の利用方法が生れんことを欲して止まぬのであります。

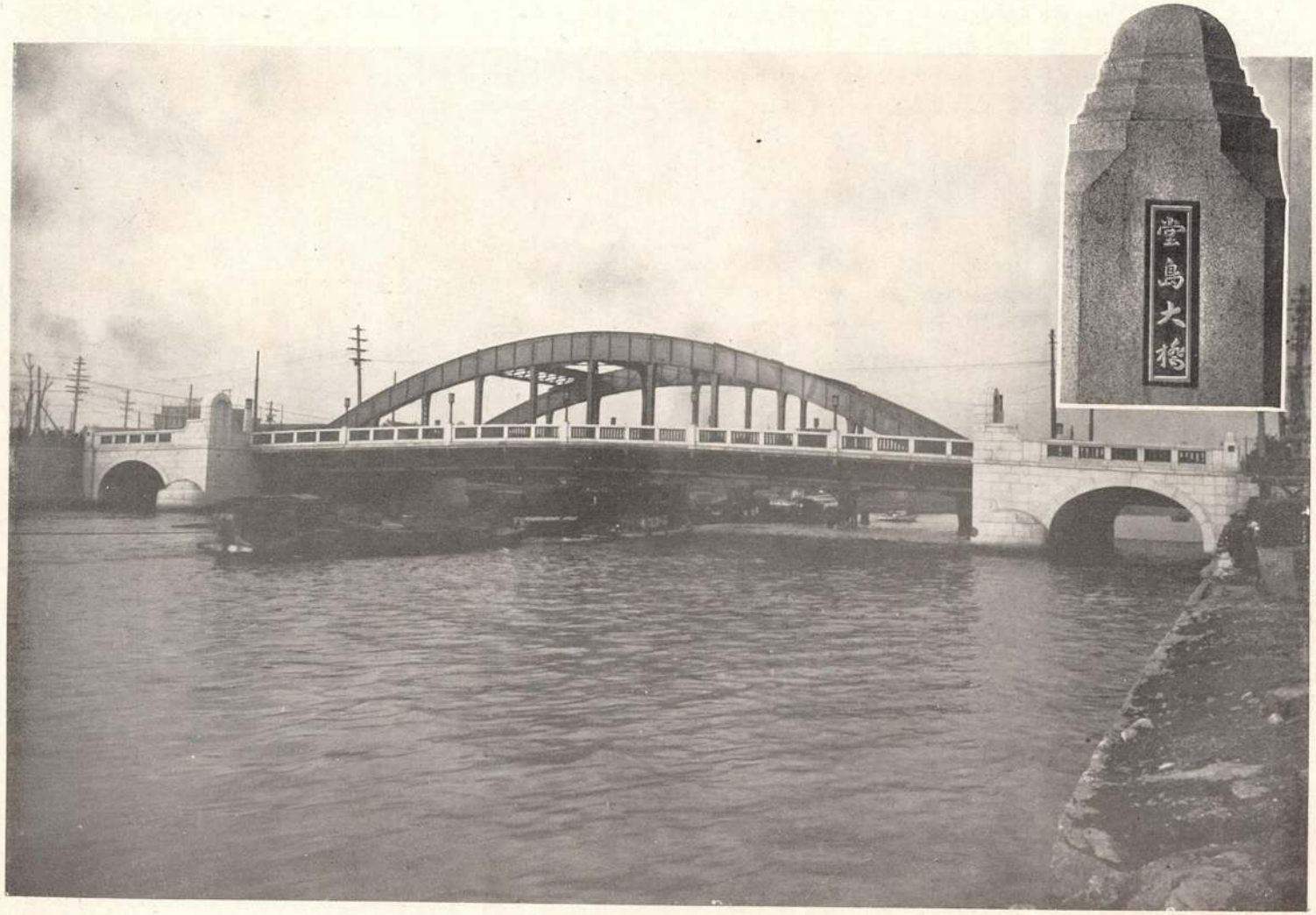
復興の東京市に於ては共同建築法の制定が追々必要視されて來つゝあります、即ち一團の建築敷地に共同建築を營まんとするに方りては假令少數者の反對あるとも、之を法の力によりて强制すべき、所謂强制加入の規定を、彼の耕地整理法などゝ同樣に制定したいとの主張が頗る有力に行はれ來つて居るのであります。

何れはそんな法律の制定を必要とすべきではありますが、然かも我大阪に於ては、都市計畫に最も理解ある市民諸君の力によりて、かゝる法規に先んじて先づその利害の打算から實際の解決が隨處に行はるゝであらうことを信じたい。

或は土地家屋の信託を扱ふ信託會社に、その事業の達成並に完成後の管理をまで委託するなども一つの便利なよき實行方法ではないかと考へます。

恰も道路の取擴げに際して土地の賣上げ代、家屋の移轉料などが土地關係者の手に入る場合を機とし御互が夫々の出資をなし一切の事務を信託會社で取纏めさすことなどは何んなものであらうか、茲には夫等の詳細を述べず、只せめて我大阪市の一地點に於てだも、その土地關係者諸君の相互の理解と協和から組合を成立させて、かゝる土地の共同利用、並に共同建築への唯一つの先例でもが出來上つたならば、それこそ千の議論、百の研究にも增して、實際に的確に大きな光輝を發揚することだろうと信ずるのであります。

問題が大きくて、十分に委曲を盡し得ませぬが、兎に角大阪の如き大都市中心地に於ける土地利用上、寔に大切な當面の問題として寧ろ問題のまゝを市民諸君の前に提供して大なる考慮を煩はしたく存ずる次第であります。



偉大なるアーチは四邊を威壓してゐます
ゐてし現貝儘其を名橋つ有の己自に眞
ます字題名橋司は上右

完成され行く都計工事

堂島大橋工事概要

位置　堂島――十三路線堂島川渡邊橋下流に架す、

設計監督　大阪市都市計畫部技術課

起工　大正十五年一月廿二日

竣工　昭和二年十月十日

工事請負人　株式會社大林組

總工費　金五拾六萬圓也

意匠　細部に伊太利式ロマネスク風を取入れ全體としては近代的のものとす

構造　〔下路二鉸鋼拱
　　〔下路二鉸鋼拱

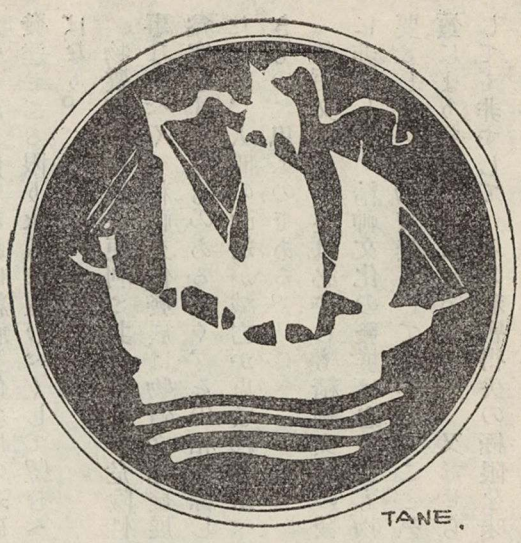
渡長　四拾三間六四

幅員　〔主徑間　一二間九
　　〔側徑間　一七間二

面積　六二一坪三四

徑間數　三

開通式　昭和二年九月十七日



交通機關と建築

會員　八木幸次郎

文化と交通機關

交通機關といふものは動く事を以て目的として居る以上、便利且迅速といふことが甚だ簡單なる使命と考へるべきものである。

その中便利と云ふことは永久不易のモットーでなければならぬが、迅速と云ふことには間々若干の例外無きにしもあらずである。例へば大公望の釣舟、物見遊散の乘物の如き敢へて迅速を要するものもないではないが、絶對に迅速といふことが不必要である譯ではない。何となればその出動歸來には迅速多々益便すべきであらう。一般に目的簡單にして結論明白なるものは何と云うても甚だ御し易い。僅か一世紀を人間に與へたるに過ぎざるに、徒歩或は牛馬又は川舟等の幼稚なる交通が、汽車汽船、電車自動車、モーターボート、飛行機飛行船等の如き迅速なる交通に進歩したことも宜なる哉と云ふべきである。

交通機關と記錄機關と云ふものは共に人生に缺くべからずして、精神的にも物質的にも人間の文化と密接なる關係があるもので、實に兩機關は文化發展の基本となるものと云つてもよいのである。

私は過去に於ける劃期的の發明は蒸汽機關の產物たる汽車汽船及印刷機械に指を屈したく、又近世のそれは爆發機關及電氣機關の產物である自動車航空機電車電信電話ラヂオ等で將來のそれは飛行具、自動行走器、ラヂオによる肉聲物品の印刷化であらうと思ふのである。

人間といふものは出生と同時に精神といふ不可解なるもの

を持ち、極めて多くの物質の間に介在してゐるものである。各人の精神といふものは生命といふ極めて短かきものによつて存在してゐるものであるが、風教といふ傳統的潮流によつて支配されるものである。物質といふものはその形式に於て一定不變の性質あるものであるが、精神によつては支配せらる可き運命にあるものである。物質文化發展とは各人の精神によつて支配し得可き物質の能率的增加を意味し、精神文化發展とは各人の精神を支配すべき風教の進歩向上を指すものとする。物質文化發展の結論たるや極めて明白にして、滔々として進歩すべき性質のものなるも、精神文化發展の結論は不可解にして凡俗の捉へ得べきものに非ざるべし。故に交通記錄機關の發達も獨り物質文化に幸して何等精神文化に貢献する所なきものとなるべき傾向あるは已むを得ざる現象といふべきか。何となれば精神文化發展の基礎は各人の腦細胞の發達せざる限り永久に望むべくして望むべからざるものなればなり。

物質文化發展は便利と共に著しき危險性を伴ひ、前途益多事なるべく、精神文化發展は物質文化發展と逆行して、前途益寒心すべきものあるべく、その相錯綜して融和の途を失ひたる時、人間の改造か滅亡か兎まれ呪ふべき運命を招致すべきものと思ふのである。

物質文化の發展は必ずしも精神文化の發展を促すべきものに非ずして、精神文化の發展は必ずしも物質文化の發展を必要としない。物質無くして生存することを得ない人間は、物質により益せらるることある可く、又毒せらるべきことなきにしても非ずして、その利害得失の極限を味ひて始めて人間の傳統的存在の意義を知るべし。今日に於ては寧ろ物質に益せられつゝあると見るべきも、その極限の遠からざること明白にして、その極限の經過はやがて恐るべき毒せらるゝ極限の來ることなきにしも非ずで、その時期の如何が人間の求めんとして求むべからざる神秘でなければならぬ。物質文化によつて益せらるゝ者は幸なるも、益せられざるに至らば不幸といふより外なかるべく、物質文明必ずしも謳歌すべきものでない。

交通機關の發達は物質文化の急激なる發展を誘發する一大衝動を與ふるもので、それが極限に達せざる限り誠に望ましきもので、私は發達の速かなるを望むものである。

曰く飛行具曰く自動走行器、自動遊泳具益可なりで、之を要するに交通機關の立體的發達と普及とは來るべき時代の產物として、物質文化の粹を味ふことの愉快は何人も欲するところのものであらうと思ふのである。

都市計劃と交通機關

都市といふものは私の近視眼的解釋を以て說明すれば、主として物質文明に浴すべき有力なる人間の集團であつて、集團の生じたる經緯は利を以て集つた人間が不知の間に築き上げたもので、決して物質文明に浴すべく威力を發揮せむことを盟つて同志相集つたものではないのである。從つて都市の發達と云ふものは發達せしめんと欲して發達すべきものでなく、又滅ぼさんと欲して滅ぶべきものでもない。發達すべき時に發達し滅ぶべき時に滅ぶものと考へて然るべきものである。

◇

都市計畫といふものは本來の目的は物質的にも精神的にも文化の惠に浴すべく萬遺漏なき良都市を新規に建設することにあるものなれど、都市といふものは計畫的に建設しやうとしても出來得べき性質のものでないから、已むを得ず都市をして文化的に威力を發揮せしむるに都合よきものに改造せんとする所謂都市改良計畫となつたものであると思ふ。故にその目的とするところは各人の共通の利益で、しかも實行せんとするところは泥繩式彌縫手段の外を出でないことゝなるのは已むを得ないことである。現在の各人に對する共通の利益必ずしも將來の共通の利益と一致するものとは考へられず、寧ろ却つて禍根を貽すものとなるとも考へられるのであるから、先づ現在の共通の利益に立脚して計畫しその結果泥繩的改造計畫となることは當然の歸結として諦めねばならぬことゝ思ふのである。泥繩的といふことは何も計畫の失敗とか無能とかを指すものではないが、單に都市計畫の方が都市の進歩よりも常に遲れるといふことを意味するものである。これは前述の如く全く自然的の現象で都市といふものは計畫したからと云つてその通になるものではないのであるからである勿論我が都市より進んで居るものは先進國にはざらにあるのであるが、我が都市が先進都市の如き狀態に進むといふことは絶對に保證出來ないし、今更歐米文化の請賣で滿足する者もあるまいし、その歐米都市に於いても泥繩的の現狀を脫し得ないのであるが、井中の蛙にはそれでも理想的に見へる位なものであるに過ぎない。故に或る意味に於ては一定の期間都市計畫の實施を停止して互に不便を忍びつゝその成行を注視して後一擧に有利に實施する方針も悪くはないことゝ思ふもので、何れにしても今少し都市計畫の眞の價値を都人に知らしめることは目下の急務であると思ふのである。

都市計畫と云ふものは必要なものに違ひないが、如何に立派な計畫をしたからと云つてその効果が適切に表はれぬものであるから、一般都人には甚だ難有味が薄い樣に思はれるものであるが、如何に無神經な人間でも最近の行詰つた平面的交通機關の發達狀態や、關東震災時に於ける不完全な橋梁の慘禍を思ひ浮べればこんな事では困ると思ふことであらう。人間と云ふものは勝手氣儘な性質を持つて產れて來るもので他人が困ることは餘り感じないものだが、扨自分が他人と同樣な目に遭つて見ると始めて痛切に感じて噪ぎ出すものなのである。尤も他人と同じ樣に感じて困つて見ては一つの命では逆も暮して行けぬかも知れぬけれど、電車が出來た時には三錢位の金を出せば樂に乘れたものだから大して有り難いものとは思はないで、有つても無くてもどうでもよい位に思つて居たものが、近頃のように六錢も出して乘つても押すな〳〵で立たされた揚句虫の居所が悪いと車掌と喧嘩してみたり、所謂ラッシュアワーて乘り切れない電車を見ては青筋を立てたり、車掌も車掌で、前には乘る人の顏色迄伺つてゆる〳〵乘せて動き出すことや、曲ること等一々丁寧に敎へたものが、此頃になると乘せることが罪悪かの樣に考へて客が待つて居やうが居まいが一向無頓着で走り過ぎ、中には乘りかけた者迄も降して迄走つて行く樣になつて來ると始めて電車の價値を痛切に感じて來るのである。結局如何に運轉系統を

考へて車臺を增しても是以上の人間を運ぶことが出來ないと云ふ事に氣が付いて見ると、やあ重大問題だなんといふ事となるのである。

自動車が出來た時は金持階級の遊び道具で、プロの御用としては藝者を乘せて見得を張る道具位にしか通用しなかつた贅澤品は、實際有つても無くてもよかつたものなのだが、大阪市の大半を疾驅して一臺一圓一人當り僅か二十五錢位となつて見ると成る程便利なものであると思つては居るが、堺筋で向側に急用があるのに二三丁先から連走して來る自動車をやつと通り過して、向側に走り着いてほつとする樣になつては、有難いのか危險なのかわからないものとなつたのであるたまに一圓を張込んで圓タクを飛ばせば何時衝突をするかも知れないと云ふ杞憂に堪へられないのみか、十字路に出合ふ度毎に待合せ走る時間より待つ時間の方が大なりなんと云ふことになつて見ると、道路擴張交通整理なんと云ふ問題は何人の頭にでも浮んで來る重大問題でなければならないのである。

故に私は都市計畫の必要を都人に明瞭に認めしめんとするならば、机上の空論や理想の宣傳位ではちと緣が遠すぎるものではないかと考へるのである。須らく交通機關を利用することが一番近道であると考へるのである。即ち所謂有力者なるものを特に電車の運轉手臺に立たして市内を乘廻して見せることもよいし、又圓タクに乘せて最も混雜する街路を疾驅せしめるも面白いが、一層の事電車や自動車を運轉せしめたら更に妙ではないかと考へるのである。

要するに交通機關といふものは都市計畫の必要を直覺的に說明すべき重要な役目を持つてゐるものと考へる必要があると思ふのである。

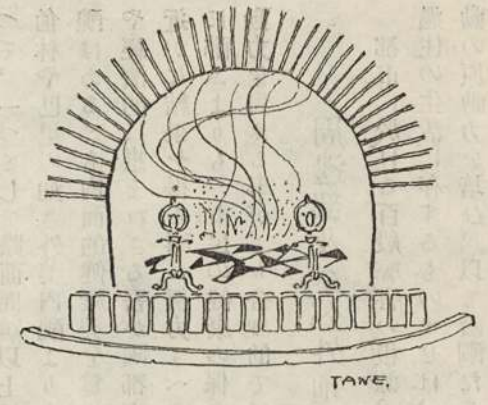
交通機關と建築

交通機關の發達は吾人の離るべからざる建築界に對して内面的にも外面的にも甚だしき革命を起しつゝあることは、特に注意すべき必要があるものである。

即ち内面的として建築構造材料を著しく普遍的のものとし一個の建築が其の土地及その附近の材料より出來上つたものが、既に日本全土は元より遠く海外より來る材料をも加へる樣になり、しかもこの傾向は將來益增すものと思はれるのである。斯の如きことは敢へて拒むべき必要もなく又拒むべき理由も認められぬけれど、次の外面的變化に至つては誠に厄介なものと思ふのである。

一般の建築に於て今迄は單に外觀の進步位の變化のみより認められなかつたものが、近き將來には根本的のプランに於て當然の變化を生ずべき運命にあるものである。

自動走行器、飛行具、地中の利用の極端に發達する場合、現在の如きプランの建物は果して用を成すや否や頗る興味ある問題で、空中への出入口と空路との連絡、地中への出入口と地下道との連絡は共に建物の生命を左右するものとなるべく、交通機關の立體的發達と建築の革命といふ事は、重大なる問題で、今後の建築には最も考慮すべき必要あるものでなければならぬ。此の考慮なき現在の建物は或る時期に於て廢物に等しきものとなることは全く已むを得ぬことゝ云ふべきである。



都市周邊部の改良問題

醫學博士　藤原九十郎

都市計畫と保建狀況

路面の擴大と町家の軒切とのみが、其の全ての事業なるかの如き思ひさへ起さしめた吾が國の都市計畫も、最近に到つて漸く其の本來の軌道に立ち戻らんとする傾向が見え初めて來たのは、たとひ其の覺醒たるや餘りに遲く、待ち疲れたる感はあつても、市民に採つては誠に慶すべき事と云はねばならぬ。顧みれば大正八年初めて都市計畫法が施行されて、六大都市以下全國主要なる都市に於て、都市改良の問題が論議せらるゝ樣になつてから既に九星霜、其の歲月は決して短かしと云ふを得ない。而も其の間該事業のために費したる公費も亦實に巨額なりと云はねばならぬ。然るに如何、今本邦都市の過ぎ來し方を顧み、又其の現狀を冷かに考ふる時、果して那邊に其の成果を認め得るや、大なる疑義なきを得ない。

即ち長き歲月と巨額の出費を以てして吾等市民の生活上にかち得たる良果は何か、彼の不自然に高き死亡率は果して減少せしや、結核は如何に、乳兒死亡は如何に、擧げ來つて一つとして吾人を首肯せしむるものなきを悲しむ。此處に於てか從前に於ける都市計畫事業の成果の餘りに微々たるを甚だ遺憾とせざるを得ないのである。

斯くの如きは要するに今日迄の都市計畫事業なるものが、直接市民生活の改善に即せざるもの勘らざりし事を立證するものでなくして何だらう。

勿論道路の擴大も可なれば、必要ならば家屋の軒切りも亦止むを得まい。また外觀の美も整然たる街路も不必要な事ではない。然しながら總ての事業が立ち遲れ易く、而も糜爛其の極に達して居つた我が國都市に對しては、外觀よりも先づ內面的根治療法の方にその全力を盡すべきではなからうか。

少くとも産業都市に於ては保健生活難の救濟を第一の目標としなければならぬ。實に都市計畫、都市改良の必要なる所以は市民の保健上不良なる原因の纖除と其の發生豫防とに資せんがために外ならない。産業革命の産んだ近代の都市が餘りに急激なる發達と膨脹とのために、ただ當面の瀰縫的必要に迫られて何等の計畫も、何等の統制もなく、無秩序に放任したる結果は、遂に疾病と貧困と罪惡との巢窟と化したのである。

從つてこの病弊に堪へ兼ねて起つたものは、悲慘なる都會内面の實際的な改良策を以て最も當然の急務となすは云ふまでもない。即ち死せるが如き都市に向つては先づ空氣と日光の服用を第一義となし、自由空地、公園の擴大、不良住宅地區の改良、勞働者住宅の經營、上下水道の完成、屎尿、塵芥の完全處理等、諸般の衛生施設の完成は最も當面の事業であつて、一つとして路面問題以上に緊要ならざるものはない。伯林や巴里の如き外美内醜よりも、英國諸都市の如き外觀の醜はあるとも内面的健康美を尊ぶは茲に云ふまでもなく、況や經濟的に惠まれざる吾が國都市に於ては、一文の出費も手近かな結果を得る事に努力すべきであらう。徒らに街路の美に醉ふよりも、市民の健康の保全を計り、以て其の活動の原動力を與ふる事がより合理的ではなからうか。

周邊部及び郊外地の問題

都市に於ける百般弊害の根源、疾病の巢窟が實にその家密過住の生活に存するものとせば、其の保健生活難を救ひ、活動の原動力を培ひ、以て潑溂たる都市の發展を期せんとすれば、先づ第一に家密過住に對して最良の方策を講ずる事が最も當然にして賢明なるものたるは自明の理である。即ち其の對策としては一面に密集家屋の整理改善が必要であり、他面には其の人口分散の方法を講ずるに在る。茲に都市の周邊部並に郊外地に對する問題は最も重要なるものとなる。

大都市の周邊部並に周圍にある農村地域に於ては、動もすれば最も不良なる小建築が簇出し、貧民の集合地となり、都市の所謂不衛生地區を形成する。即ち都市の高き死亡率も詮ずればその周邊部並に接續町村に胚胎するもの多く、都市改良の第一策は先づこの不衛生地區の發生豫防に在るはこゝに贅言を要しないと思ふ。

如何に大都市の周邊部又は隣接町村の衛生狀態が惡化するものなるかは、之れを大阪市に就いて見ても略々窺知する事が出來る。大正十四年編入前の接續町村に於てその街路、家屋、排水、給水其他一般生活環境の不良なるは、一と度足を踏み入れなば直ちに感知するものがあつた。又明治三十年第一次編入前の舊市と、當時の編入接續町村との保健狀況の差は今尚之れを認め得る。例へば不良なる環境の最も正確なる表象として擧げらるゝ乳幼兒の死亡率に就いて見るに、其の高低の率が大凡そ帶狀をなし、即ち船場、島之内、上町、江戸堀、靱方面は最も良好にして大正十五年中生産百につき乳兒死亡は九・八に當り、之れに接續する第一次の編入町村たる木津、今宮、西濱、難波、櫻川、松島、本田、九條、本庄北野方面は稍々高くして一六・一、更に最近まで隣接町村であつた元今宮、鶴橋、生野、豊崎、中津、鷺洲等の舊市を輪狀に繞る方面に於ては最も高率にして一八・三なるが如き、都市

の周邊部並にその接續部落に於て惡弊が釀生され易く、又その惡化が更に周圍に傳播するものなるを立證するものなりと云はねばならぬ。而して今茲に到る原因を考ふるに工場に近く住まんとする勞働者住宅の簇生も一因であり、小なる家内工業に都合よき狀況や、從つて工場法の適用を免れんとする不衛生工場が旺んに發生する事等が、惡化の因となるべく、又都市的文化施設の皆無なる事、市街地建築物取締法を免れんとする建築物は小にして暗黑、密集して日光と空氣を遮斷し、最も甚だしき過群の狀況にある事など擧げ來れば其の原因を求むるには決して苦しまない。

都市的施設と取締法の適用

然らば其の惡化の防止策としては保健的、產業的に必要なる町村を包含する都市計畫區域が定まらば、現在の行政區たると否とを問はず、一樣に都市的施設と取締法の適用が第一である。特に道路、排水、給水の如きは市域と關聯的なものであつて、之れを分畫すべきものならざるは勿論、又彼の市街地建築物取締の如き、之れを周邊部並に郊外地に於て適用する事は、不良住宅の發生を未然に防止する意味に於て最も有意義なりと云はねばならぬ。斯樣な事は極めて明々白々たるものなるに拘らず、世間には往々不可解の事柄が平氣で通用する。大正九年建築物取締法が施行されて以來初めの六、七年間の最も重大な時期に於て、比較的固定したる舊市のみに之れが適用され、時々刻々に進展し、法を遁れんとする建築の甚だ旺んなる周圍の接續町村に於ては其儘に放任され、始末のつかぬ不衛生區を默認して來た事は余等が最も不可思議に堪へない處である。最近に到り六大都市に於ては漸く之が全計畫區域に適用される樣になつたのは、六日の菖蒲の感なしと雖もまた賀すべき事であるが、他の中小都市にして同じく都市計畫法の施行されたるものに於ては、未だそれに到らざるが如く、前者の轍を踏む事の如何に大なる犧牲なるか、識者の大いに憂ふる處である。

以上の意味に於て吾が大阪市が一莊千里と稱せらるゝ接續農村まで、之れを市域に編入せる事の最も賢明なるを賞讃せざるを得ない。彼の大都市に市農會あるを不思議がり、或は餘りに尨大にして都市的施設の不徹底に終らん事を嘲笑するものあらば、そは近世都市の眞相を解せざる輩である。吾が大阪市に於ては一莊千里の肺臟組織を有する事に於て初めて蘇生され、その生物としての機能も初めて全ふされ得るのである。

餘りに人工的になり過ぎたる產業都市の生きる道は、唯一その自然への還元でなくてはならない。從つて新編入市域に對して行ふ諸般の施設たるや、舊市の過住過群の緩和、即ち人口分散の主旨に添ふものたる可く、それに對して最も收獲の大なる而も最も合理的手段を採らねばならぬ。以下二、三の事項につき簡明に意見を述べて見たい。

都心への最短交通機關の完成

人口分散、舊市域の過群生活除去のためには、郊外生活の奬勵が必要であり、そのためには交通機關の完備と衣食住に關する生活要素の供給と、健康の保全を保障すべき施設を以てせねばならぬ。

如何に郊外生活が保健的であり、安らかで樂しきものとしても、活動の本城たる都心に達するのに一時間以上の時間を費す樣では、決して其の發達は望まれまい。其れ故其の地質地勢、排水の諸點から見て保健上將來住宅地として有望なる地方に向つては、先づ完全なる交通系統を立て或は路面電車、尙進んでは高速度鐵道等の完成を急がねばならぬ。これは間接に適當なる住宅地を撰定してやるわけで、低濕地の利用を豫防する上にまた有效である。其他鋪裝道路の如きも之れを舊市に普くするよりも、郊外地に向ふ幹線の完成に努力した方がより有利なるべく、路面電車の如きは之れを電鐵會社の經營に任せずして宜しく市營のものとなし、乘車賃の低廉と均一を圖る事は郊外生活を奬勵する上に最も有效である。

今日歐米に於ける都市の趨勢から見ても郊外生活は益々旺んになるのは明かである。如何に都市が人工的に不安は去つても、都市の衛生狀態は改善されても、都人の心は再び自然を愛し田園に還らんとする傾向あるは否むわけに行かない。即ち彼等の求めんとする田園は從前に於ける如き耕作すべきものではなくて、慰安的休憩所としての田園である。而も一方に於て彼等は決して都市を離れて生活し得ざるものである。都市的利便を享けつゝ田園に樂まんとするものである。而してこの傾向は都市として出來るだけの手段を講じ、益々助長を計らなければならぬ。

衛生設備の完成就中住宅と便所の問題

更に必要なる問題は保健施設の完成を急ぐ事である。上水の供給は勿論、排水設備、屎尿下水の處分法等は最も急を要する。而かもかかる保健施設は郊外に於ては部分的に完成する事が得策な場合がある。例へば郊外住宅地に於てその一區劃の衛生設備を完成して、少くとも傳染病だけなり發生しない部落を建設せしむるが如き企圖は最も名案と云ふべく、而してかかる問題は住宅地經營の當初に於て企てらるゝならば甚だ容易な事であると思ふ。殊に地主組合に於て、或は區劃整理組合に於ても之れを行はしめ得べく、電鐵會社經營等のものにあつては更に容易ならん。思ふに吾が國の都市に於て地上道路あつて、地下水道のなき畸形的發達をなせるは、道路を立體的に考へないためである。即ち下水道と路面とは決して之を切り離すべきものでなく、下水營なくしては之れを完全なる街路と稱することは出來ない。この意味に於て、住宅地計畫の當初、街路と共に之れを決行すれば甚だ容易であらう。

樂しき休憩を目的とする郊外生活に於ては、當然水槽式排便の法を採るべきは勿論なるも、不幸にしてこれが實行されざる場合に於ても、少くとも今後發生せんとする郊外住宅に於ては、舊式の日本便所の改良だけは實行すべきものであらう。即ち傳染病を發生せしめざる部落、蠅の見附からぬ場所たらんとせば、先づ便所の改良に俟たねばならぬ。これに關しては最近公表せられたる內務省案の便所の如きが病原菌、寄生虫卵の撲滅上最も有效であつて、郊外住宅にして水槽便所に依らざる場合には甚だ推奬するに足ると思ふ。住宅經營者の一考を促す次第である。

郊外住宅地に於ける住宅の衞生的問題に就いては餘りに云

ふ處が多いが、要は生活の享樂を傷くるが如きものは絶對に之れを排する事に在る。例へば住宅間又は道路に面して高き塀を築く事を禁ずるが如き、又家の前面及び後面には必ず相當の空地を殘し、而も敷地と建坪の割合は市街地建築物法の住宅地域に對する十分の六は、決して郊外住宅に於ては適用せず少くとも十分の四以下の建地とすべき等の注意を拂はねばならない。之れ等の點に關しては住宅組合、地主組合等に於て十分なる監督を要するわけである。最近大都市の郊外に簇出しつゝある住宅が何れも法規の制限一ぱいに建て詰められ、高く黒塀を圍らして日光と空氣とに制限を加へて居るが如きは、實に郊外生活の眞味を解せざるものにして、また癪て次代の不衛生地區の素地を築きつゝあるものと懸念に堪えないものがある。

區畫整理と自由空地の問題

其他密住過群の防止策としては、現在大都市の郊外に企てられつゝある所謂區劃整理に就いて、最も周到なる監視を要する事である。多くの土地所有者は目前の利慾に眩み、將來の大計を誤り勝ちであるが、自由空地或は公園等の設置が地價の騰貴上からも將來如何に大なる影響を有するものであるか、十分に其の利害得失を說き聞かせ、大計を誤り周圍に迷惑を及ぼさゞる樣、今に於て盡す所なくてはならぬ。

之れに關してフラウエル、シアートレフ氏はその著「都市計畫の施行」中に次の好資料を記して居る。即ち一九〇八年より一九一一年までの間に於ける紐育の大小九百四十三ヶ所の公園につき、其の地價一覽表を載せて居るが、之によると十九ヶ所の公園にては二百割一分以上、二百七十三ヶ所の公園は二十割一分乃至二百割、九十一ヶ所の公園は五割五分乃至十五割四分、又殘餘の九十一の公園は二割五分以內の割合に於て、僅かに三ヶ年の間に何れも地價を增加して居る。即ち自由空地、公園の廣さは其の肺臟組織の健全を意味するもので、最も良き保健地と云ふべく、斯る地所が、密住地域に比して地價の高き、また其の昇騰率の大なるは誠に當然なりと云はねばならぬ。一文惜しみの十文失ひは最も愚昧なる短見者流の陷る所、十分に猛省すべき點なりと思ふ。

然らば新らたに區劃をなし、郊外住宅地として提供する場合、如何なる割合に於て自由空地を存すべきや、之れに就いて言ふ事は極めて至難とせんも、アタムス氏の記する所によれば、戶數百に對して約一エーカー當りの休養用地を豫め設置すべきものとしてある。加奈陀の或る洲に於ては宅地十エーカーの中一エーカーは空地として存置し、之れを公衆の用に供せしむべしとの規定を設けてあるが、之れを假りに一エーカー（約千二百二十四坪）につき約五戶の家屋を建造せしむるとして、十エーカーには五十戶であるから、五十戶毎に一エーカーの運動場一ケ所を設置する事になる。假りに一戶當りの建坪百二十坪內外とすれば、家屋百戶當りに自由空地一エーカーの割合となるのである。

綠林と生產的農業地帶の存置

其他特に住宅目的の區劃整理に於ては綠林の問題を忘れてはならない。即ち充分なる樹木を維持する事は或る程度まで土地の風致を添へ、多くの建築物の間に目を樂ましむ可き綠

樹、翠葉を點綴して、無味乾燥なる感じを除くに最も力あるものである。

樹木が夏の日覆として防暑上必要であり、又或る程度までは防火用としても役立ち、又住宅衞生上最も忌む所の濕潤の防禦上に甚だ有効なるは茲に喋々を要しない。就中大都市郊外の引濕地に於ては特に植樹の利益は大なりと云はねばならぬ。

次に周邊部の都市計畫上必要なるものは、ブライト氏の所謂生產地帶の設置である。永久的農業地帶を保有せしむる事である。都市の周邊部又は郊外地に於て生產的農業地帶の設定は、彼の田園都市及び農場都市建設の運動と共に、凡そ現代都市を發達せしめて行くに當つて準據すべき原則なるものに對し、新らしき觀念と方途を指示して居る。茲に最も大なる意義を有する。即ち帶狀又は楔形の生產的農業地域は、將來の都市に於ては公園若しくは運動場と同じく必要缺ぐべからざるものである。現代の大產業都市が尙この上、膨脹した時に起るべき頽廢と分裂とを未然に防がんがためには、須らく都市として從來よりも大規模の肺臟組織を有せしめなければならぬ。そのためには生產的公園は、遊樂的公園よりも經濟的であり且つ實際的である。

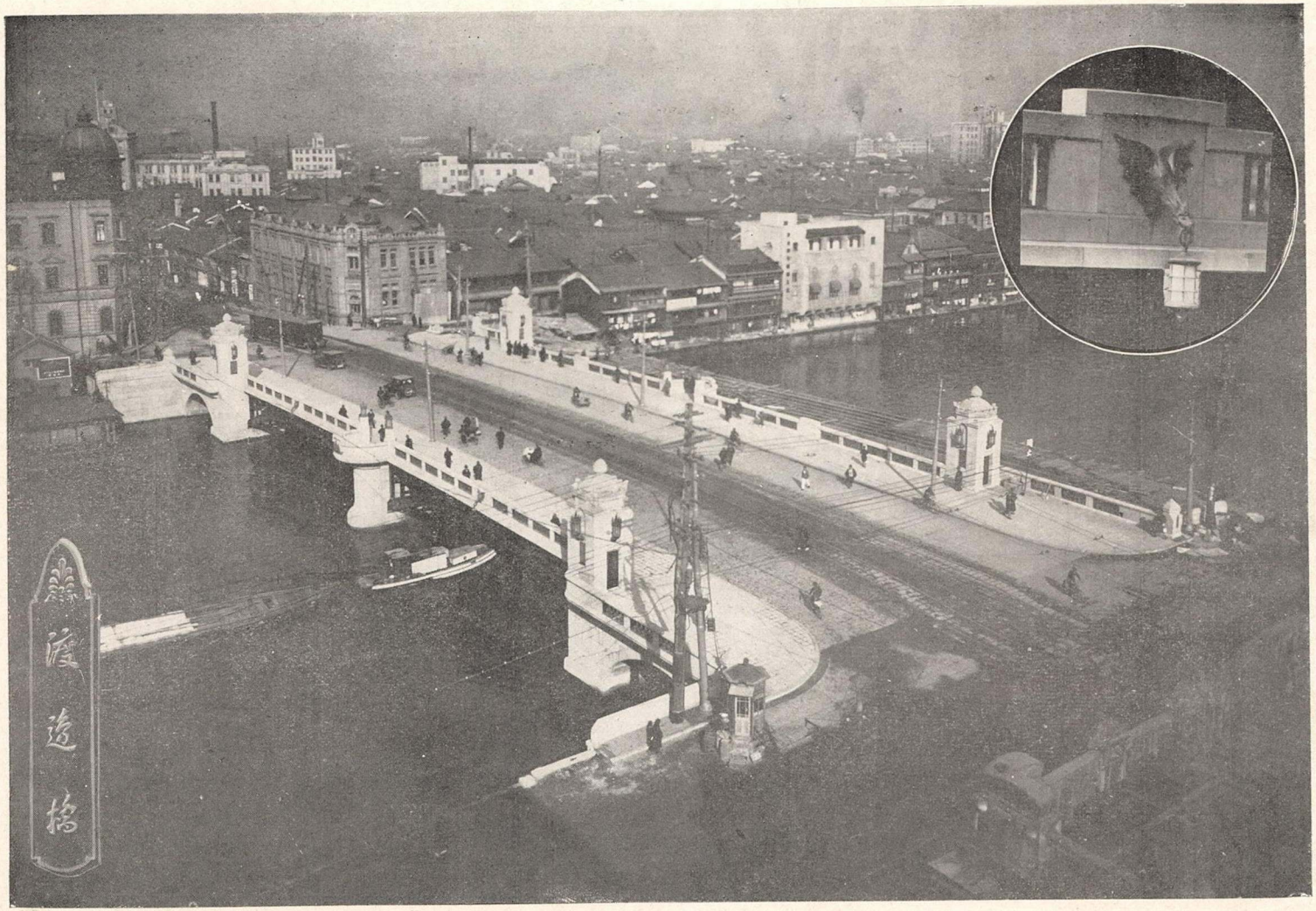
都市住民の天然と空地とに對する欲求は遊樂地即ち不生產的基礎の上に實現し得べきものに對する欲求よりも大きい。吾が大阪市に於ける都市農園の施設の如き更に〳〵增設し而も永久的のものとして保有すべきである。

生物學的施設の完成を期せよ

要するに都市計畫事業は、都市を一個の生物として、その生理的要求を充たす事に其の基礎を置かねばならぬ。肺臟組織の健全を圖らんがためには、自由空地、公園、農園の擴大と建設、並に不良住宅地の改良と健全なる郊外住宅の經營とに待ち、新鮮なる空氣と十分なる日光とを賦與せねばならぬ。又消化器系統の健全を圖らんがためには、安全にして豐富なる上水の供給と、安價にして衞生的なる食糧を與へなくてはならぬ。彼の中央卸賣市場や公設小賣市場は食糧の消化吸收を行ふ處の都市の消化器管に相當する。其の健全なる發達と細心の監視を要する所以である。

最後に生物として必要なるは排泄機關の順調を圖る事である。即ち排水、屎尿、塵芥は都市の排泄物にして之れが完全なる處理は、生理上最も重大なる結果を及ぼす事は云ふまでもない。その完全なる處置は、都市を便秘の狀態より救ひ、傳染病流行の根源を絕つ所以にして一日一刻も忽がせになすべからざる理である。

余等は以上三つの機能の完全なる發達を以て、現代都市を救ふ最良の策なる事を信ずる。然らずしては決して市民生活の安寧を期する事は出來ない。郊外地計畫の必要も茲に存する。



完成され行く都計工事

右上圓内は橋の側面に附せられたる裝飾にして航行の標識燈です、
左下は橋名題字であります、

渡邊橋工事概要

位置　梅田――九條路線堂島川に架す、

設計監督　大阪市都市計畫部技術課

起工　大正十五年四月五日

竣工　昭和二年十二月十日

工事請負人　合資會社　錢高組

總工費　金六拾貳萬圓也

意匠　スパニツシユルネツサンス

構造　〔主徑間　上路二鉸鋼拱
　　〔側徑間　上路鐵筋コンクリート拱

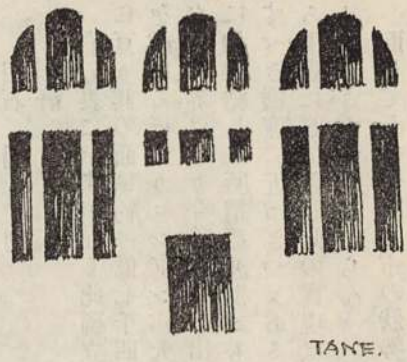
渡長　五〇米七

幅員　〔主徑間　九〇尺
　　〔側徑間　一一〇尺

面積　五二七坪

徑間數　三、

開通式　昭和二年十二月十日



大阪灣頭を圍む都市計畫

會員　置鹽章

茅渟の浦邊淀の流のデルタに惠まれて先住民族の早く茲に集り住みたる古昔より我が天孫民族によりて更に開拓せられたる浪速の津を中心として西に南に海邊に沿うて開け行く津々浦々西には武庫の水門ありて神功皇后の頃既に良港として知られ難波の津は孝武帝の宮都として繁榮し更に南に堺の浦あり古來商に工に或は詩に歌に名所として讀まるゝもの亦數多きのみならず港灣都邑として何れも之等沿岸に於て徐々に發達を續けて來たのである爾來星移り物變はり年を經る千幾百年德川三百年の泰平の夢破れて明治維新となり外國との交渉起り封建の世と全く趣を異にせる狀態に立至り此沿岸諸都市も亦遂に時世の進運には抗し難く世界各國の大勢に順應して都市人口集中し趨勢相當急なるものがあつた從て都市生活上一大驚異の事情を生じ我が國家に於て未だ嘗て經驗せざりし新しき難問題が續々として此大阪灣頭の都邑にも襲ひ來つたのである若し之れが自然の成行のまゝに放任せられたならば都邑は其の夥しき損害に堪ゆる能はず不健全なる發達をなして都市活動の能率を減退するは明かにして殊に之等諸都市は比較的早くより開けたるに拘らず不幸にして急激なる都市事情の變化と膨脹に對しては何等の備ふる所がなかつたので徒に都市を混亂狀態に陷らしむるのみであつた其の結果として經濟上にも亦精神上にも多大の損害を來し結局は單に之等諸都市の不振に止らず國家衰運の禍根を生ずるのである。

明治の御世も四十五年を經過し大正に入りて今日は辛じて其の被害に堪へ來りしも遂に早や放任的進展を許す能はざる狀態に立至り漸く都市計畫促進の機運に到達し大正九年一月一日を以て都市計畫法が實施せられ先づ我が六大都市が施行の指定を見るに至つた而も此の六大都市の內大阪、神戸の二大都市は實に我が大阪灣頭に其の雄姿を橫へて最も重要なる商工及港灣都市として第一に指定を見たるは當然なる事である次で大正十二年七月一日尼ケ崎市及堺市が指定せられ更に

大正十五年四月一日西宮市昭和二年四月一日明石市が指定せらるゝに至り大阪灣頭最も重要なる部分を扼する諸都市が悉く都市計畫を施行する事となり茲に一大都市計畫聯立を形成

	市面積(坪)	區域面積(坪)	大正九年十月一日市人口	大正九年十月一日區域人口	昭和二十六年に於ける區域推定人口
明石	二、三四三、二〇〇	二六、五二八、九〇〇	三三、一〇七	五八、〇八四	七五、〇〇〇
神戸	一八、九三七、七七七	四〇、二四七、〇〇〇	六〇八、六四四	六八六、五九六	一、五〇〇、〇〇〇
西宮	一、五四六、六〇〇	一九、二〇三、一五三	二八、四二八	六五、五〇三	一三〇、〇〇〇
尼崎	二、二八、二七〇	一四、〇〇九、八五〇	三八、四六一	七八、三四一	一四四、〇〇〇
大阪	五五、五七七、七六八	六七、四五三、七七四	一、七六八、二九三	一、八〇六、一〇八	四、〇〇〇、〇〇〇
堺	二、八三、〇七一	六、四五三、七七四	八九、六七五	一〇〇、〇四三	一七五、〇〇〇
計	八三、四四五、六八六	一七三、九一九、四四四	計	二、七九四、六七四	六、〇二四、〇〇〇

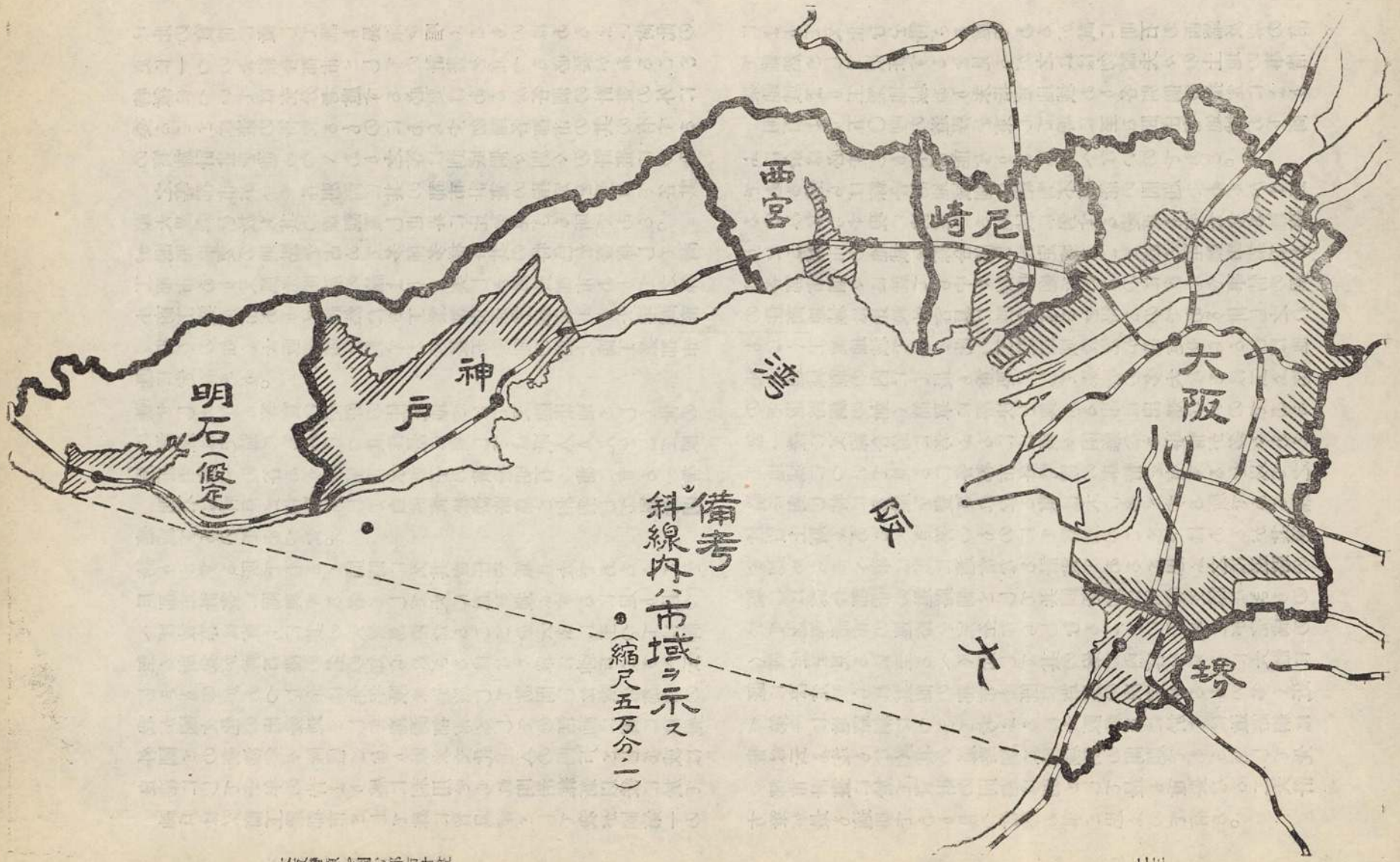
堺	四、〇哩
大阪	――
尼崎都市計畫區域	五、〇哩
西宮　同　同	一四、〇哩
神戸　同　同	九、〇哩
明石　同　同	五〇、〇哩

右の表に示すが如く此聯立都市計畫區域は延長實に五〇哩に亘り其の面積約一億七千四百萬坪其の抱擁人口は六百萬人を越ゆるに至りロンドン市大パリー、大ベルリン大紐育を凌ぐ大都界は成り今後百年を出でざる内に必ずや之等諸市は互に相聯結して所謂難波都とも云ふべき偉大なる大都市が出現すべき機運に近づきつゝあることは今より推察するも明かなる事實にして蓋し此の實現は其の可能性に於て確實なるものと認むるも大過なからん。

而して今之等諸都市の狀勢を見るに各々特徴を有す、大阪し之等諸都市は各種の施設に於て協調して共同的事業を爲すことを要するに至つたのである今試に之等諸都市の人口面積等の情勢を左に示さん。

神戸は我が國第一の商工業都市として或は水都と稱せられ水を離れて大阪の繁榮を語る事は出來ないと云はるゝ程水利の便にありて商工業の發達を來し陸上施設と相俟て今日隆盛を見るに至り堺は又大阪と相似たる商工業都市として小規模ながらも古來工に商に名工狹商に依て歷史を飾る事柄多く今日大阪と相聯絡して其の活動發展の著しきものあり。

尼ケ崎は大阪と神崎川を境して兵庫縣の東端に位置し其の勢上工業施設に便にして實に理想的工業都市として發展すべく西宮は御影灘方面と相聯絡して銘酒の産地として知られ所謂灘の生一本は古來上戸黨の一日も缺ぐべからざる飲料として其の名聲世界に冠たるもの實に酒を離れて灘地方の繁榮を語ることは出來ないのである神戸都市計畫地域設定に當りては之等酒造倉庫地帶に對しては多大の考慮を費したるのである。


西宮
尼崎
大阪
神戸
明石（假定）
灣
阪
大
堺
備考
斜線内ハ市域ヲ示ス
（縮尺五万分一）

神戸は又商工業都市として殊に貿易港として我が國第一の良港にして千年の昔より盛に利用せられ明治維新以後に於て外國との交渉益々隆盛となり歐米文化進入の門戸として或は我が國文化の出發地として港灣都市としての活動は實に目覺しきものがあつた余は先年歐米を旅して訪問した歐米都市の至る所我が神戸港の名の知られざるはなく單に神戸とさへ云へば彼等は直ちに其の大貿易港たることを云ふに至つては神戸都市計畫に關與する者として大に意を强ふするに足り且つ誇りとする所で有ると同時に又其責任や重且大であることを痛感するのであつた。

明石は神戸と相聯絡して白砂青松淡路島と相對して風光明眉東須磨一の谷あり鹽屋垂水舞子の濱邊明石の浦に亘る一帶の海邊は史跡に富み且つ其佳景に對しては歌人人丸をして感歎せしめたる等實に絶好の住宅地として又健康地として世の既に定評あり。

斯くの如く大阪灣頭を扼する延長五〇哩の地大商工業都市小商工業都市あり又純然たる工業都市産業都市あり大港灣商工都市あり又風光明眉の繪よりも美しき風致都市ありて之等が灣頭樞要の地點を占めて多種多樣各其の特色を發揮して灣頭大異彩を放ち其の雄觀蓋し世界に比を見ざる所である。

之等都市が今や各別箇に其の都市計畫の指定を受けて各其の實施計畫を進めつゝあり之等は到底個々別々の計畫にのみ委ることは策の得たるものにあらず勿論各都市の其の有する特徴については充分考慮する必要はあるが各個の計畫の外に更に一つの大綜合都市としての計畫を立つる必要があることは此の實情に徴して誰も異議を唱ふるものはあるまい尙此の方策が最も適切であり且つ當然の事と思ふので有る。

都市計畫に於て資財の問題は別として最も重要なる二大計畫は云ふ迄もなく其の道路網と地域制の問題である而して先づ第一に道路網につきて考ふるに大阪神戸に於ては道路網は既に決定せられ其他の都市も既に草案の決定せるもの多く近く確定を見るに至るべく而して其の案の內容を見るに大體に於て之等諸市の連絡を完全ならしむることに努め之が完成の曉には綜合都市の道路網として共同活動に何等支障なきものと認めらるゝ事は誠に適當なる計畫であると思ふ之は道路の性質上斯くあるべき筈のものにて當然のことではあるが其連絡に對し特に考慮を費されたる事は大に多とする所である飜て地域について見るに各都市各特種の事情を有するを以て之を一樣に又綜合的に考ふるには種々困難なる事情が多々あるので道路網の如く簡單に解決を與ふる事は出來ないのである凡そ地域制の內にて最も重要にして影響の多大なるは云ふ迄もなく工業地域である此の工業地域設定が確定せらるれば他の住商地域は比較的容易に設定するを得るのであり併し之れは各都市個々に就ても中々難問題であるのに況んや事情の異りたる都市の地域を綜合的に設定することは頗る至難事業であるのみならず現に決定せる地域に對する變更も亦大なる難事である然らば綜合的地域制は絶對不可能の問題であるかと云ふに余は必ずしも不可能なりとは考へないのである。

明石より五〇哩の道程を東して堺に至る間住宅地域あり商業地域より工業地域あり未指定地域あり各別個の指定によりて雜然として散在するを見るが之れは勿論夫々の土地の事情によりて又止むを得ざる處であるが試に明石の西端及堺の南

端の一角とを結びたる一線を海上に引く時は此線内の海面に於て大綜合都市の地域制を適當に處置することが出來る樣に考へられるのである

之は或は余一個の空想と考へらるゝかも知れないが余は將來綜合的地域就中工業地域の解決は此の直線内に於ける海面の處理に依てのみ解決せらるゝものなることを確信するのである今日各都市の陸上に於ける地域制の現況を見るに現に行き詰りたる事情に在り之以上發展する餘地は殆んどないのである故に之を直線内の海面に求め或は沿岸又は海中の埋立により或は適當なる運河の設備等に依り工業地を求めて之に適當なる他の地域を案配し水運陸運と利用を完全にするならば理想に近い綜合的工業地域を得或は海中に一島を得て危險なる特別地區の解決をもなすを得又近時各方面に於て唱へらるゝ自由港問題も比較的容易に解決することも出來るのであろうかと思ふのである。

綜合都市地域問題に關する詳細なる事は他日好機を得て更に意見を述ぶることゝし茲には單に此の大綜合都市をして最も有効に且つ有機的に其の能力を發揮せしめ物質的にも亦精神的にも大活動をなさしむるに足るべき綜合地域設定の方針を述べたに過ぎないが將來の此の大綜合都市の運命は一に此地域制の適不適に負ふ所多大なることを痛切に感ずる次第である。

之を要するに富國安民の方策は各方面に於て澤山ある事と思ふが其内でも多數の人口集中せる都市の改善は國運の隆盛に關しても亦社會政策上についても刻下の急務なることは論を待たざるも特に我が國に於ける最も樞要なる此の聯立都市の好適なる改善は國家富強の基を確固たらしむる上に於て重要なる大問題にして吾々建築家殊に此聯立都市に住する建築家の任務實に大なるものがあるのである。

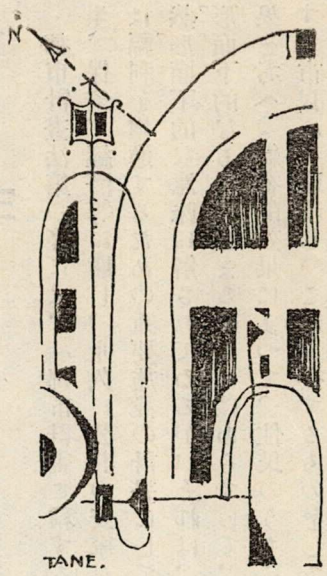
由來歐米に於ける都市計畫の過去現在について見るに多方面に亘つて種々彼に學ぶべきことは澤山あるが我國民性の此の都市計畫に付ての能力は過去に於て立派に認めらるゝ事實は歷史のよく物語る所である即ち今日より千三百餘年の昔我が平城京の都市計畫は如何次で平安京の規模は如何今日より之を見る時は其の計畫の雄大整然たる千古の時代に於ける計畫として實に驚歎に價するものにして例へ範を支那のそれに取りたるとするも尙ほ且つ當時之を決行するの大英斷に出でたることは實に我々の祖先が如何に進取英邁の資ありしかた證するに足るのである飜て當時歐米各國諸都市に於ける狀勢は如何歐洲に於ては西ローマ帝國は既に亡びて東ローマ帝國も其勢力を失ひアラビヤにもハメット出でゝサラセン王國を建設して其の勢力四方に輝き西は地中海諸島アフリカ北岸及スペインに入り更に北方に進み今日の獨逸、フランス方面に迄達しサラセン文化の移入せらるゝありしと雖も都市計畫に付ては未だ見るべきものは無かつた更に米國は如何であつたか我が奈良朝當時に於てアメリカはコロンブスによつて發見せらるゝ以前數百年の昔にしてアメリカ土人が各所に其の蠻風を擅にし所謂未開の蠻地に過ぎず今日の大紐育の繁榮シカゴセントルイスの殷賑等は夢想だに及ばざりし所なりし時代に於て現に卓見を以て此の大都市計畫が行はれたる事を思へば吾々祖先の偉大なる意氣を忍ぶと同時に私かに我が國民性の都市計畫に充分なる理解と能力を有することを誇るのであ

る然れども玉磨かざれば光なしの諺の通り元來輝くべき玉を持ちながら今日迄都市問題に對し不用意にして其の光彩を放つ能はざりし事は甚だ遺憾とする所である故に吾々は研磨精勵我身神に藏せられたる此の寶玉の光を發揮し我が重要なる綜合都市計畫の上に一層の光輝を添ふることは吾々建築家の使命であり義務であることを確信するのである。



新年號の發刊に當り恰度我が大阪灣頭を飾る都市計畫の指定が完結せられたるを以て聊か自己の常の感ずるまゝを記し各位の御指導を乞ふ次第である之等各都市計畫は各個に夫々近く其の計畫が確定せらるゝ等に付其の時機に於て更に尙具體的に私見を述べたいと思ふ。

（終り）



市民心の表現

═都市計畫の綜合的効果═

藤田進一郎

一

市民心とは Civic Spirit といふ英語の飜譯である。この英語の本來の意義については、正確な智識はもたない。或は誤解であるかも知れないが、私の意味することを、適當に表現する日本語が、ちよつと見當らないので、假りにこれを借用したのである。

このきゝ慣れない言葉によつて、私の代辯せしめんとする意味は、ある一つの都市のうちにすむ市民全體の理想とか、好尚とか、品格とかいつたやうな、精神的要素を綜合した、一種のアスピレーションを指すのである。アリストテレスは『市を定義して、『人々が一つの高尚な目的に對して共同の生活を營む場所』といつてゐる。もちろん當時の都市は、いはゆる都市國家であつて、今日の意味にひき直すと、都市よりも、むしろ國家に相當するものであるが、この哲人が、都市國家についていつたことを、更めて今日の都市に適用するのも一興であり、『高尚な目的に對して、共同の生活を營む』といふ言葉が、あつらへむきに、最もよくこのアスピレーションを說明してゐるのである。われ〳〵人間が、共同の生活を營むのは、たゞ漫然とさうしてゐるのではない。高尚なある目的を懷いて、それを達成せんがために、互ひに共同の生活を營んでゐるのである。しかして、都市は、實に、この共同の生活をする場所であり、市民全體の心が、高尚なある目的に對するアスピレーションに燃えてゐるべきである。かうしてこそ無限に、都市の生活は向上し、創造されてゆくのである。それを、かりにこゝに市民心と名づけるのである。

二

市民心を表現するものは、無論いろ〳〵の形而下的な事物である。建築物とか、街路とか、公園とか、港灣とか、美術館とか、交通機關とか、これらの事物の形式を仲介として表現されるものではあるが、しかし、これら事物の形式を、全體的に綜合したところに、ちやうど綜合藝術のやうに、一種の精神的雰圍氣が磅礴されるのを認めなければならない。た

とへばある建築物の用材といへば、石か煉瓦か木材か、冷い死物の色彩や形式にすぎないけれども、それらが、非凡な建築家の創造的考案によつて、一つのまとまつた建築に仕上げられると、心なき石や煉瓦や木材のはしくれも、熱き血潮を注射され、強き生命の力を吹きこまれたやうに、忽ち生々躍動して、目に見えない色彩、耳にきこえないリズム、手にふれない形式をあらはして、一種の靈氣を醱酵するのである。

都市格といふ言葉があつて、普通に用ひられてゐるが、都市格とは、都市の人格といふことであらう。人間に人格のあるがごとく、都市にも人格があるとみるのは不穩當ではない一つの建築物をみても、何となく上品なのと、何となく下品なのとがあるが、それとおなじく、都市にも人格がある。市民心の表現された一つの形ちが即ち都市格なのである。しかして人格とおなじく都市格にも上下の區別はあり、その向上が即ち市民が共同の生活を營む目的であつて、『高尚な目的に對して共同の生活を營む』といふアリストテレスの言葉に合致するのである。

三

都市計畫法第一條には、『都市計畫と稱するは、交通、衞生、保安、經濟等に關し、永久に公共の安寧を維持し、または福利を增進するための重要施設の計畫にして』とあり、全然形而下的（フィジカル）な意味に解されてゐるが、それは、單に純然たる形而下的（フィジカル）なものに止まるべきにはあらずして、その綜合的効果を考へ、綜合的效果によつて、住民のうちに充實し、燃燒する市民心を表現し、これに接するものをして、熱烈なるアスピレーションに感激せしむべきである。

かの藝術において、冷き死物の大理石をして、血あり、涙あり、骨あり、肉ある生物として躍動せしめなければ、彫刻家の思ふとほりの美的觀念を創造し、表現することができないとおなじやうに、都市計畫においても、交通、衞生、保安經濟等に關する各種の形而下的（フィジカル）な計畫を、全般に綜合したところに、ある理想、ある好尚、ある品格をふきこんで、一つの形而上的（メタフィジカル）な存在物にまで持ちあげなければ、窮極の目的が達せられたとはいへない。

都市計畫も、要するに一つの藝術に外ならぬ。それは、演劇にも比すべき綜合藝術なのである。演劇が、音樂や、繪畫や、彫刻や、舞踏や、詩歌や、あらゆる藝術を驅使し、綜合して、一つの生きた人生、生きた生活を再現さるやうに、都市計畫は、建築物や、街路や、公園や、港灣や、美術館や、交通機關や、すべての施設物を綜合したところに、一つのある高尚な目的、理想を表現し、すべての市民をして日夜にこれを仰望せしめ、もつてその生活を向上し、純化すべきよすがたらしめねばならぬ。都市計畫も一つの藝術である以上、それは、創作であり、創造でなければならないからである。

四

こゝに一つの街路があるとする。街路の機能は、交通を達するにあるので、これを設計し、開築する技師たちが、たゞこの機能を果しさへすればいゝと考へたり、一本の街路は起點と終點と、これを連絡する中間部だけに關係を有するので、他の部分とは、全然沒交涉に獨立するものと考へるなら

ば、大なる間違ひである。それは、その實用性と同時に、都市藝術（シヴィックアート）としての價値をも考慮しなければならぬ。個體としての絶對性と同時に部分としての相對性をも考慮しなければならぬ。建築物においては特にさうである。建築家の技倆、天才は、建築物そのものゝ構造の上におけると同樣に、その周圍との調和の上に發揮せられなければならない。ボストンのコンプレース・スクェーアは、三角形の芝地に面して、よく調和した美しい建築の立ちならんでゐるので有名であるが、そこへ、かつて、ある個人が、他の建築物を威壓するやうなスカイ・スクレーバーを建築しやうとしたところ、市民の間に、それはこの廣場の美觀を傷けるものだとの批難が囂々としておこり、遂に州の最高裁判所にまでも持ち出すといふ騷ぎまでも演じたことがあつた。ボストンの建築物の高さは、商業地區百二十呎、住宅地區八十呎に制限されてゐるのも、この物議の結果だといはれてゐる。

パリにおいては、建築物の高さを制限するのみならず、強制的に修理せしめたり、色彩を塗りかへさせたりしてゐる。法律上の用語に「Racordement et l'harmonie des lignes construction」といふのがあるが、これは建築家もまた絶えず念頭においてゐなければならぬ言葉とされてゐる。また市參事會員、公園、建築の技術家その他のものによつて一つの審査機關を設け、最も美しい建築物として表彰された建物の所有者六名を限りて、街路稅半減の特典を與へ、かつその建築物の設計者には、金賞牌、請負人には銅賞牌を授けたこともあつた。商業中心區にあるレオミール街の新設に際し、一八九六年一月から、一九〇〇年一月までの間にできた建築物のうちで、最も優秀なものとして表彰されたのが四つあつた。

街路や建築物ばかりではない、橋梁にしても、地下、高架路面の交通機關にしても、それを一つの素材として、綜合的藝術を組みあげ、それによつて高尙な精神、氣魄を磅礴せしむるやうにするのが、都市計畫の創作、創造でなければならぬ。美觀はたゞ、美觀地區のみに限るとするのは、舊式な頭腦である。

五

ニューヨークにいつても、パリーにいつても、ロンドンにいつても、その都市計畫の綜合的効果から出てくる市民心の表現を觀取することができる。ニューヨークの大仕掛けな摩天閣や、壯大な橋梁、快速な地下高架の電車などを見ると、いかにも、何事にも世界第一をほこり、宇宙を一飮みにするといつたやうな市民の氣慨が、はちきれさうに溢れてゐるやうに思はれ、またロンドンのウエストミンスター橋をよぎらんとし、セントポール寺院のドームを、狹霧（さぎり）のうちに望んでその幽玄にして莊嚴なる光景にうたるゝとき、いかにも古き歷史に富んだ市民の誇りの本體に觸れたやうな氣がするのである。パリーは、藝術の都、すべての文明は、パリーからといつたキゾーの言葉も、自惚れの誇張でないこともうなづかれる。

都市計畫の事業にかけては、まだ極めて幼稚であり、その初歩にふみ出したにすぎないわが國にあつては、特にこの都市計畫の綜合的効果といふことに留意し、市民心の表現としての意義を發揮し、これによつて、市民の理想、好尙にもとゞくアスピレーションを具現し、さらにそれを市民心に反映せしめ、具象と抽象とが、市民の理想と、環境との間に相互交錯して、因となり果となり、もつて市民生活の向上を促進せんことこそ望ましいのである。（完）

新刊紹介

佐野工學博士序
內田工學博士序

工學士 井上新二著

鐵筋混凝土構造計算表と圖表

第三丁形梁

既刊 第一床版 第二矩形梁
新刊 第三丁形梁
近刊 第四柱 第五基礎

目的

在來の繁雜なる鐵筋混凝土構造の計算を廢し、計算表、又は計算圖表によつて簡單に容易に結果を求められるものである。
これを使用せば時間と勞力を節約して能率を增し、而も誤算の虞なく精確を期すことが出來る。
計算表の使用法は簡易に計算に初心な人にも自由に求むる結果が得らるゝのである。
尙普通計算法を初心の人にも容易に理解の出來る樣に說明し、耐震計算も例を擧げて詳述してある。
呎吋式計算法に加ふるに將來使用せらるゝ米瓩式計算法をも自由に出來る樣にしてある。

定價

第一床版 金四圓八十錢
第二矩形梁 金五圓八十錢 他に郵稅二十錢
第三丁形梁 金五圓三十錢

發行所 神戸市下山手通三丁目外六番 建築研究會

丸善でも賣つてゐる



完成され行く都計工事

右下精圓内内は橋名題字であります
此の橋は直ぐ北方に架せられたる
渡邊橋と共に姉妹橋に姉と云えます

ひごはし工事概要

位置　梅田――九條路線土佐堀川に架す

設計監督　大阪市都市計畫部技術課

起工　大正十五年四月五日

竣工　昭和二年十二月十日

工事請負人　合資會社　錢高組

總工費　四拾壹萬圓也

意匠　スパニツシユルネツサンス

構造　主徑間　上路二鉸鋼拱
側徑間　上路鐵筋コンクリート拱

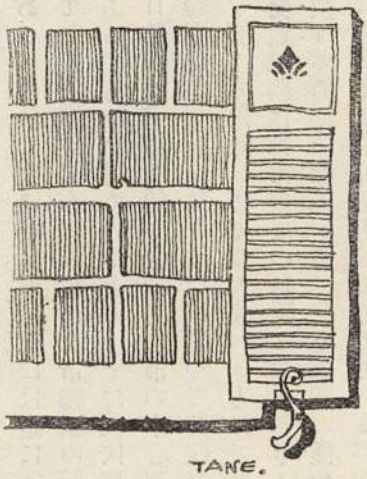
渡長　八〇米五

幅員　主徑間　九〇尺
側徑間　一一〇尺

面積　七〇七坪二

徑間數　四、

開通式　昭和二年十二月十日



高速鐵道都市計畫觀

大阪市技師　花井又太郎

はしがき

標題は標題として、私は本文に於いて高速鐵道論とか都市計畫論とかに就いて記述する考へはない、唯だ高速鐵道が、單に利益を主眼とせる他の營利事業と異り、都市計畫上道路港灣上下水道等の施設と共に最も重要なる施設の一つであり、交通衛生保安經濟等都市計畫の大目的に立脚して、永久に公共の安寧を維持し又は福利を增進する目的のものであることを意味する爲に殊更附した迄である。大阪市の高速鐵道も都市計畫法に基づき大正十五年三月、其計畫に對する內閣の認可を得、追つて事業及年度割の認可も申請する順序となつて居るが、一方では軌道法に基づいて、既に昭和二年六月四日附を以て、其の敷設並に運轉に對する鐵道內務兩大臣から特許を得てゐる。そして其內容なり計畫の骨子なりに關しては既に本誌第拾輯第七號に、大阪市高速鐵道に就ての題下に淸水部長が發表されてゐるから、今更私が駄足を附する必要もない、さらばと云ふて設計構造の詳細に關しては、未だ確定の域に達せないから記載も憚らなければならない、そこで私は唯だ簡單に都市計畫の見地から、極めて概括的に高速鐵道の一般に就いて記述することにしたいと思ふ。

一　高速鐵道の由來

輓近都市の發展は甚だ急激であつて、人口の增加市域の膨脹極まりなく、一般文化の發達も之に伴つて其勢の旺なることは實に驚くべきものがあるのである。都市は政治經濟文化の中心であるから、近世都市に人口集中の結果を招來するは自然の理であらうが、近年特に其勢の著しいのは、畢竟產業組織の變革と交通機關の擴充とが齎らした結果に他ならぬのである。そして都市人口分布の跡を檢すると、人口の密度は何れも市の中心地域に於いて濃密に、外方に向つて漸次減少してゐるのが通則であるが、之に反し人口の增加率は却つて都市の周圍部並郊外方面に多くなり、中心地區は大體に於い

て寧ろ遞減する傾向を示して居るものである。之は地價の暴騰其他の關係で、市民の多數が中心地居住の希望を滿たすに由なく、一面からは市内の雜閙喧騷を避け、郊外閑靜の地に安住を求むるに至つた結果であらうが、斯樣な現象は我國の大都市に於いても夙に顯著なる事實となつてゐるのである。惟ふに將來市の中心地域並に幹線道路に沿ふ箇所は、都市活動の源泉たる官公署、銀行、會社、商店等の占むる處となつて、所謂商業地域の實を齎らすことになり、市民は漸次都市の周圍部並に郊外地に介在する住宅地域に移り住んで、朝に市内に入りて業務に執掌し、夕に歸來清閑なる家庭に入つて終日の勞を慰すると云ふ樣な狀態に進み行くものと思はれる

斯樣な次第で人口の增加が都市の膨脹を齎らすのであるが都市の膨脹には自づから一定の範圍があつて、決して無限に擴大すべきものではない、假令相當の發展を遂げたとしても其都市が雜然たる寄合世帶であつてはならない、現代都市の主張は、何所までも有機的機能を完ふすべき都市であらねばならない、都市計畫上より衛生保安等の施設も素より必要であるが、特に交通機關の擴充には寔に密接不離の關係があつて、交通機關分布の程度が都市膨脹の範圍を限定するものであるとも謂ひ得るのである。また現代都市の有機的範圍は、日常市民が經濟的、合理的に市の中心部に往復し得る時間の範圍で有らねばならない、從つて其往復に數時間若くは半日を要する地點にまで擴大すべきものではない。斯樣な次第で交通機關は都市發展の基礎となるべきものであるが、往復に要する時間の關係から、交通機關の種類も亦都市の發展膨脹に重大なる關係を有するものである、即往時徒步時代に於ける都市は徒步により市の中心地區に來往し得べき範圍に止まり、馬車時代に於いては其範圍も亦自づから馬脚の許す程度に限られて居たのであるが、後年路面電車の敷設を見るに至つて市民の往復に多大の時間を節約し得るやうになり其普及に伴つて都市の區域は著しく擴大するといふやうな結果を齎らしたのである。が斯くして都市が膨脹に膨脹を重ねると、市中心より周圍部への距離が次第に遠くなる、或範圍を超へると最早速度の遲い路面電車では用を爲さぬことになる、謂ひ換へれば往復に無用の時間を費し、甚しく都市生活の能率を減退することになる、即朝夕周圍の住宅地から市内に通勤往復する人の數が多數になり、また商取引上の往復等も盛になつて、從來容易に乘車し得た電車も朝夕の雜閙時には非常な混雜を呈して來る、遂には混雜に伴ふ輸送力の退減から容易に乘れない、辛ふじて乘車するも滿員鮨詰で身動きも出來ない、殊に長距離になると、客の乘降難に伴ふ電車走行速度の鈍りから、其乘車に多大の時間を苦痛に浪費することになる、朝夕最も重要なる時間を出勤往復の途中に於いて、精神上肉體上苦痛の中に費し、延いて日常活動能率の上に大なる損失を及ぼすものである。斯樣な次第で從來の路面電車のみでは、結局都市交通の用を滿たさなくなつて來ることは自然の勢である。

そこで此間必然起る問題は路面電車の改良であつて、輸送量を增加するか、速度の增大を計るかしなければならぬことになるが、輸送量を增加する爲には主として線路の增設、車輛の增大又は發車回數の增加等に據らなければならないが線路の增設は街路の新設擴張を要し、土地の取得建物の移轉に

勘からぬ費用を要するから、其所に自づから限度がある。また車輛の大さも街路及軌道（驛員などの關係で恣まゝに車幅の擴大を許さない、車體の長さも亦屈曲點に於ける曲線等の關係で或程度以上の延長は許されない、英國では二階附の電車を運轉して居るが、架空電線の高さ（歐米の市街には殆んどないが）現存高架橋の桁下高其他種々の關係で考究を要する點があり、又歐洲大陸の諸都市では路面電車の連結運轉を行つて居るが、之も軌道構造とか路面交通とかの障害を慮つて我國では法規で禁じてゐる、假りに許された所で路面電車としては三輛位が限度である。さて問題は發車回數の增加であるが、之には多數車輛の準備を要し且つ多數從事員を增さなければならないから、著しく費用を增大する弊がある、また費用は別問題としても、街路上珠數繼ぎの樣に車輛を並べることは許さるべきでない、說明する迄もなく同一線路に或程度以上多數の電車を運轉すると、車は走行の暇もなく頻々停車するやうになり、今度は車の速度を減退することになる。凡そ發車の回數と速度の間には一定の關係があつて、或限度以上發車回數の增加は許さるべきものではないのである。之は大阪市の電車なり東京市の電車が事實上之を證明してゐる即大阪及東京の電車は朝夕雜閙時間內其主要線路には一分間一車位の割合で頻繁に發車してゐるのであるが、車の速度は停留時間を入れると一時間平均七哩位しか出て居ないのであるから、若し之以上發車の數を增したならば平均速度は益々遞下して六哩にも下るであらうし、さすれば折角發車回數を增加しても輸送力は毫も增加せず、何等改良の實を齎らさないことになるのである。

然かも走行速度の增加は路面電車の性質上、他の交通即ち車馬步行者の安全を計る爲め、一定の限度がある（我國では法規を以て平均十哩、最高十五哩に運轉速度を制限してゐる）或程度以上より速度は許されないされば路面電車には其性質上、或程度以上に輸送量竝に速度を增加し能はざる輸送力上の限度がある、そして都市の人口百萬乃至百二三十萬を超えると必ず此限度に達するのである。勿論斯くなつたとて路面電車の放任は許されない、經濟の許す限り益之が改良に腐心するの必要なることは勿論であるが、一方には乘客の增加が急激で、多少の改良が行はれ、或は乘合自動車の如き補助機關が現はれても、其効果の著しく目に立つて來ないのが普通である。

斯樣な事情は私の說明までもなく大阪市の發展と交通機關の歷史が既に雄辯に之を物語つて居るのである。市の當局が最善の努力を拂ひ、線路の增設車體の改良等に依つて輸送力の改善を計つても、乘客の增加は其効果以上に甚しくて、電車の混雜は日を逐うて激しくなりつゝあるのである。

近時朝夕の雜閙は如何でありませう、斯る狀態に放任しては、社會風敎上に惡果を齎らすは勿論、風紀衛生の上にも勘からぬ惡影響を及ぼすものと稱して差支ないと思ふ、之は獨り我國のみの例に止まらず歐米の大都市皆其軌を一にして居るのである。そして斯樣な事情に、多年苦しめられた結果が高速鐵道の出現となり、歐米の大都市では既に數十年前から其運轉を開始し、近時尙其增設を續けつゝあるのである。さて高速鐵道になると、其線路は路面交通と直接沒交涉であるから、速力も思ふまゝに出せる、車輛も適當に大きくして、

五輛十輛と必要に應じて連結し、電氣牽引と信號裝置によつて發車回數も相當多くし得られるから、後述する如く其輸送力は容易に路面電車に比し十數倍以上に增加することが出來る、謂ひ換へれば路面電車で苦心改良すべき諸點は、直ちに容易に實現し得られることになるのであるから、遠き將來は兎も角都市の交通難は高速鐵道の開設に依つて解かれ、進んで將來都市交通の要求を充分に滿たし得るものと信せられるのである。斯く申せばとて私は決して路面電車の無用論を稱ふるものではない、倫敦及巴里の例に、都市商業地域內車輛交通の雜沓する箇所に、路面電車の存在は交通上甚しき障碍を與ふるものとして、若干の區域に路面軌道の敷設を許して居ない例はあるが、高速鐵道は其建設に比較的多額の經費を要する關係上、殊に市の周圍部に對しては、乘合自動車と共に都市の近距離交通機關として益々必要なものであるから、經費の許す限り更に線路の增設を計り、一面に於いて益々其改良に努めなければならぬことは勿論である。斯くて高速鐵道の開設と相俟ち、都市活動の能率增大を計つたならば、益々都市發展の趨勢を馴致するであらうことは、毫も疑を容れないところで、既に先進都市の例が明瞭に之を示して居るのである。

二　高速鐵道の意義

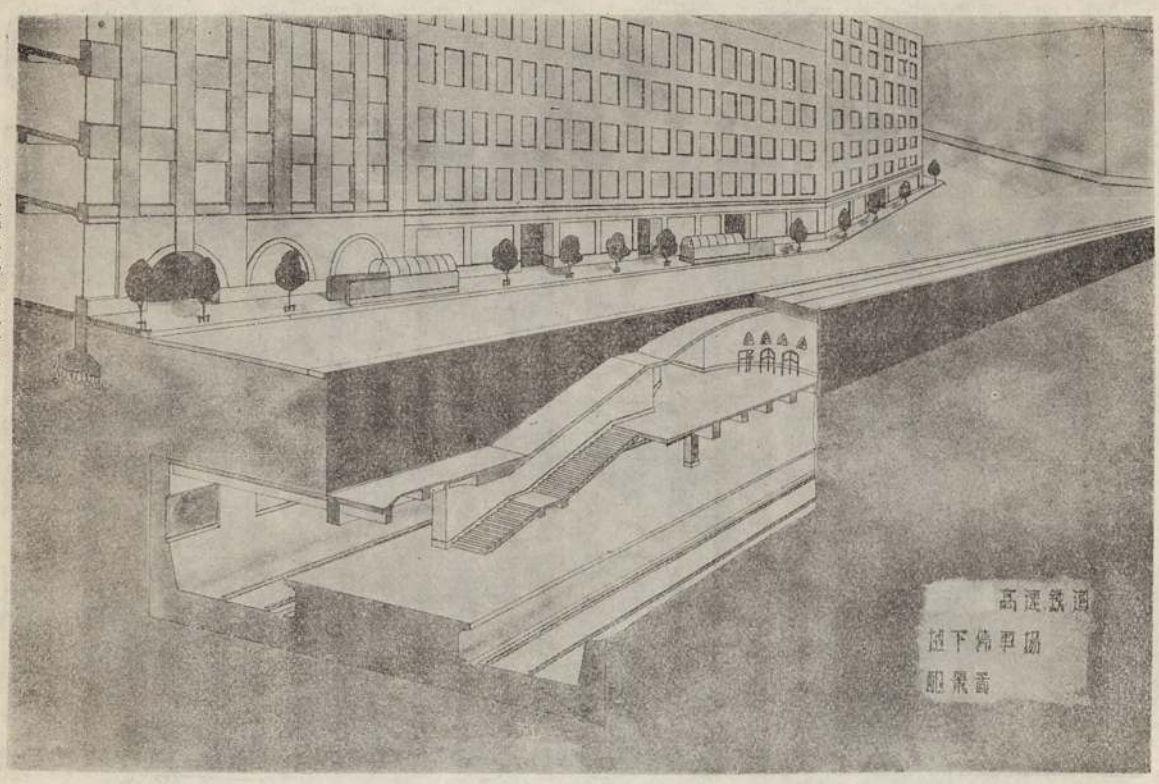
高速鐵道とは一體如何なるものであるか、速力さへ早ければ總べて高速鐵道と謂へるか、此邊の意味を少しく說明することも强ち徒爾ではあるまい。

高速鐵道は一般に大都市鐵道（メトロポリタン、レールウエー）又は都市鐵道（シテイー、レールウエー）と稱へらるべきもので、巴里では一般にメトロと簡稱せられ、倫敦では隧道が管形であること、鐵道が大部分地下にあることから、チユーブとか、アンダーグラウンドとか呼ばれて居る。

我國では高速鐵道又は高速交通機關と名付けられたのは、亞米利加で謂ふラピッド、トランシッドの輸入語であるが、獨逸では都市鐵道であることに意味を持たせて、スタットシユチルバーン即ち都市高速鐵道と稱へてゐる。紐育の高速鐵道は地下鐵道と、初期建設の遺物である高架鐵とであつて、地下鐵道は街路の下面、淺い箇所に敷設してサブウエーと稱へ、市民は日常之を略稱してサブと呼び後者をエルと簡稱してゐる。そして一般に從來の市街電車は、路面に敷設する關係上、高速鐵道に屬する高架鐵道及地下鐵道と區別する爲にストリート、レールウエー又はサーフエース、レールウエー即ち路面電車と稱へられてゐるのである。

路面電車は他の路面交通に障碍を及ぼさない爲めに、速度竝に車輛連結に制限を受け、然かも停留場が近距離にあるから、速力も遲く市民の往復に多大の時間を費すものであるが高速鐵道は街路交通と無關係に、高速力を以て大きな車輛を五臺十臺と連結し、發車回數も多く、大なる輸送力を以て市內比較的遠距離の交通に充てらるべきものである。

高速鐵道の定義に就いて、紐育市交通委員會の顧問技師ディー、エル、ターナー氏は次の如く述べて居る。即ち高速鐵道はサブウエー、高架鐵道及他の電氣鐵道にして街路の上下若くは專用用地に運轉し、迅速なる都市交通輸送を司るものであると、從つて單に高速度運轉を行ふ事實のみを捉らへて



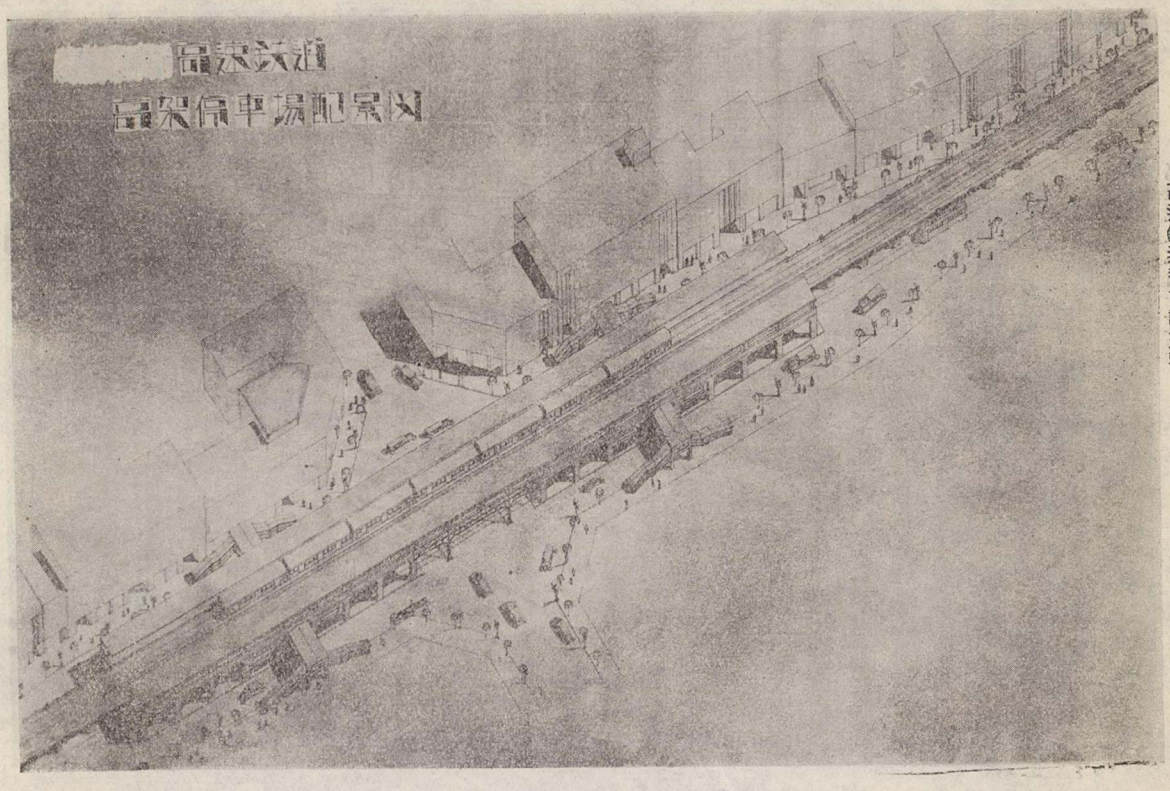
高速鐵道とは稱し難い、東京、下の關間に特別急行列車を運轉して居る東海道線及山陽線は依然として一箇の鐵道線である。また將來東京、神戸間に六七時間で走る急行電車が生まれても之も高速鐵道とは謂へない、假令高速鐵道の名稱が附せられたにしても全くの同名異體である、高速鐵道はどこまでも都市の交通機關であらねばならない、都市と都市とを連絡するものは市間鐵道（インターアーバン、レールウエー）として都市と都市の郊外とを連結するものは、郊外鐵道の部類に屬するものである。

三　高速鐵道の計畫

高速鐵道は其建設に比較的多額の經費を要し、且市内比較的遠距離に亘り短時間を以て乘客の大量輸送を策するものであるから、前提として比較的大都市を其對象に措かなければならない。されど其計畫は道路、公園、港灣及運河其他と共に都市計畫上一の主要なる基礎を爲すものであり、路面電車線の配置、郊外鐵道起點の撰定、都市用途地域の決定にも重大なる關係を有するものであるから、豫め之が調査を遂げて置くことは、都市計畫上遺することの出來ない基本調査の一である。

都市高速鐵道線路の撰定は、市の内外に亘り、路面電車及各種鐵道の交通調査に依つて得たる結果を基礎とし、尚其都市一般の狀勢に鑑みて、之に適應する樣にしなければならぬことは勿論であるが、都市の孰れを問はず高速鐵道網選定上一般に準據しなければならぬ要件は大體次の如きものである

（一）高速鐵道は都市の中心地域から四周に向ひ放射狀に設



けなければならない。

(二)高速鐵道は都市の中樞地區を貫通して所謂直通線（ヌルールート）を構成せしめなければならない。

(三)各種鐵道及路面軌道との相互連絡を至便にしなければならない。

(四)都市の周圍には必要に應じ環狀高速鐵道を設くる必要あるが、之が實施は放射線の後にするのが通例である

大阪市は夙に大正九年二月之が調査を帝國鐵道協會長及土木學會々長に委囑し、同十三年十月其報告書を得て之を計畫の基礎とし、地質其他の實査と相俟つて既定都市計畫路線の一部を通じ、更に市域の大擴張に伴ふ新市域の都市計畫に關聯して、本市の實狀に適合すべき高速鐵道四線延長約三十四哩の第一期計畫を確立するに至ったのであるが、市民の利用便の點から謂へば、市內何れの土地からも半哩の處に高速鐵道、四分の一哩の到達圈內に路面電車若くは乘合自動車線の存在を必要とするから、將來第二期第三期の擴張を要すべき時機の到來するであらうことも勿論である。

四　歐米高速鐵道の現況

現在歐米に於いて高速鐵道の施設を有するは大體次の十數都市である。

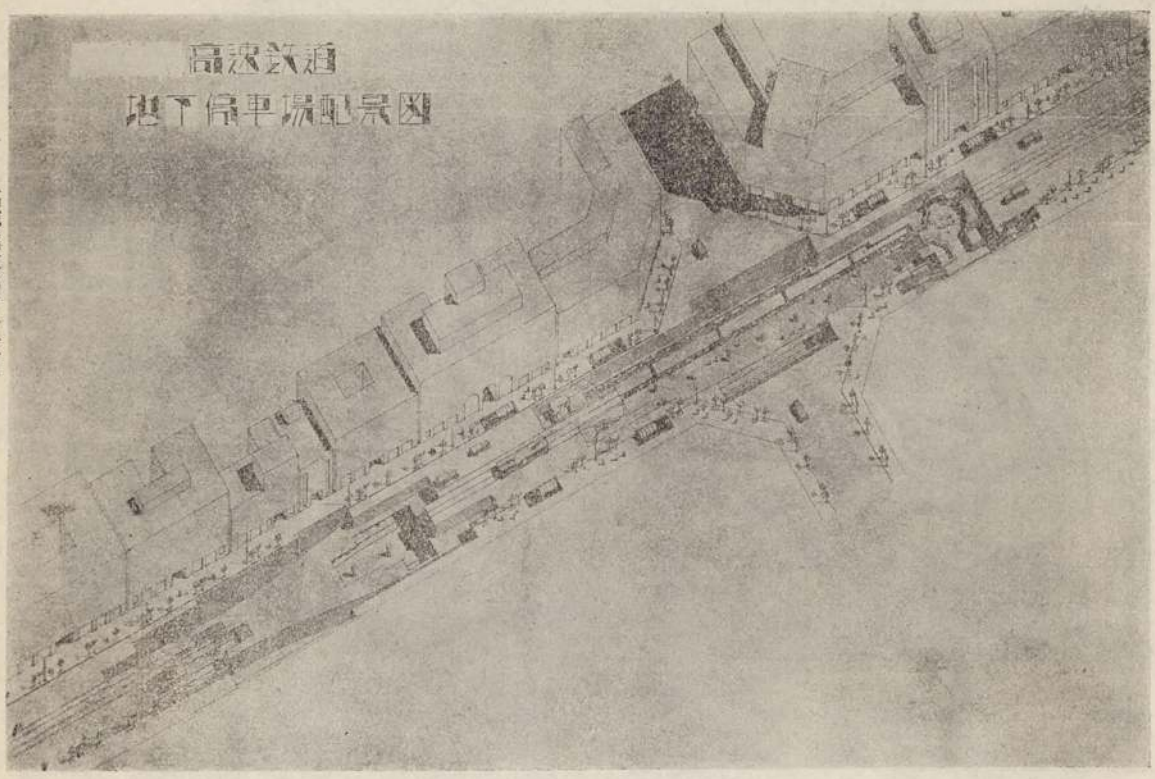
北米、紐育市、市俄古市、ボストン市、費府

南米、ヴエノスアイレス市

英國、倫敦市、グラスゴウ市

佛國、巴里市

獨逸、伯林市、ハンブルグ市、エルベルフエルト市（架空



電車）

墺地利、維納市

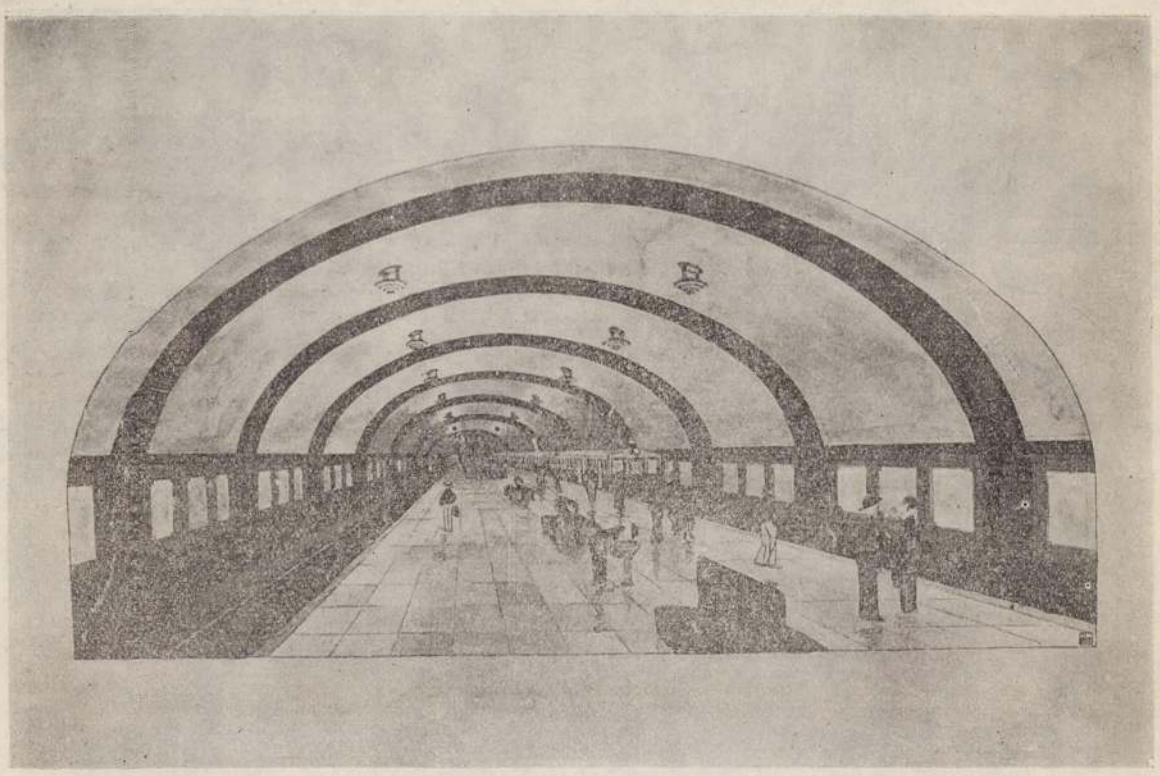
匈牙利、ブダペスト市

西班牙、マドリッド市、バルセロナ市

此中主要都市について其現況を述ぶれば大體次の通りである

倫敦高速鐵道　倫敦は世界最大の都市で、所謂大倫敦區域は面積約六百九十平方哩を擁し、人口七百六十餘萬に達してゐる、其高速鐵道は今を去る六十五年前の千八百六十三年、早くも地下鐵道三哩餘の運轉を開始して居る、爾來必要に應じて其普及に努め、今日では線路延長約百三十哩に達し、年約六億に近い乘客を輸送して居る、列車は最大八輛迄を連結し、市の中央部では約一分半位の間隔で運轉して居る、此外倫敦には約三百哩の路面電車線と、同じく三百哩に近い乘合自動車の營業線とがあつて、年乘客路面電車十億、乘合自動車九億數千萬を輸送して居るのである。

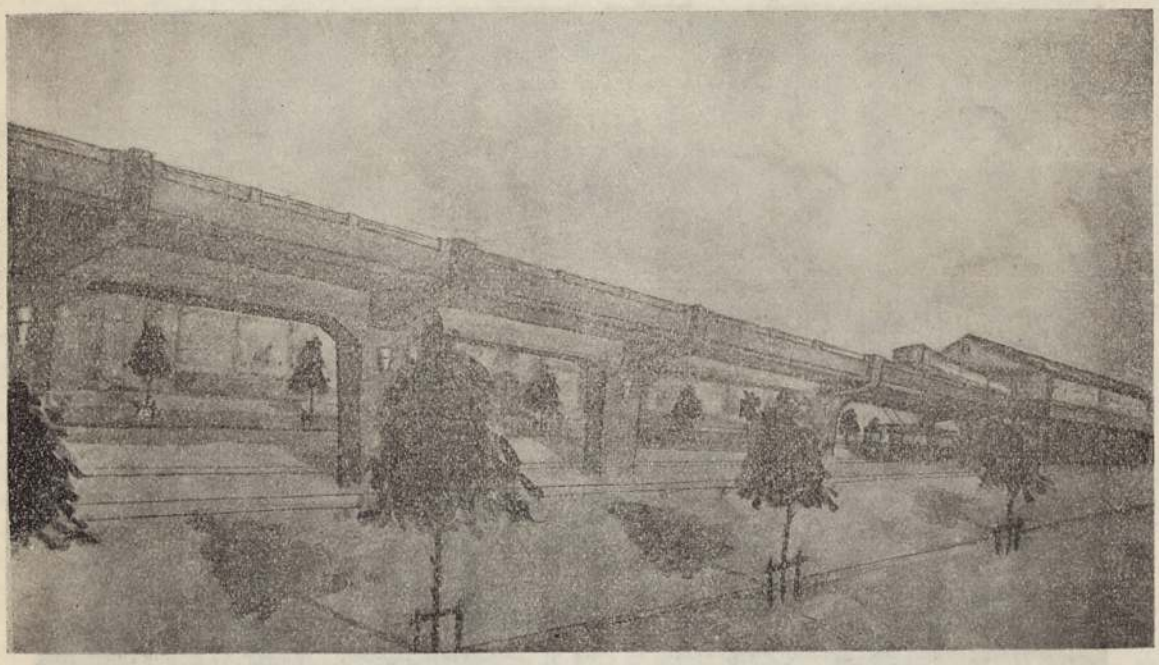
紐育市高速鐵道　紐育は世界第二位の大都會であつて、市域面積三百十五平方哩、人口五百九十萬を擁してゐる、市の高速鐵道は今から五十餘年前高架鐵道の一部を開業し、其後二十餘年間は高架鐵道萬能で其擴張に努めたのであるが、次第に高架鐵道は批難が多くなつて、千九百年に地下鐵道の工を起し、千九百五年始めて其開通を見、爾來二十餘年の今日迄殆んど年中行事の様に繼續的に擴張に努めて、今日では高架地下併せて線路總延長二百五哩に達し、年約十七億の乘客を輸送してゐる。そして紐育の高速鐵道は單に複線のみでなく三線又は四線に敷設せられてゐるから、單線延長にすると五百九十餘哩となるのである。此三線及四線の線路は紐育の



特徴であつて、三線式は高架鐵道に見られるが、午前午後の交通の主なる流れによつて中央にある一線の運轉方向を換へ午前は下町の商業中心地の方に、午後は上町の住宅地の方へと云ふ風に運轉してゐる。四線の線路は地下で並列して居るのと、道路幅員の狹い所では地下で上下二段の複線に建設して居るのとあり、並列の場合は中央二線、重ね併せた場合は下段複線を急行運轉とし、各地の二線に普通運轉を行つて居る。然かも斯くて猶足れりとせず、事業費總額六億弗、既設地下鐵道倍加の計畫を樹てゝ、既に三年前の千九百二十五年から着々工事を開始し、非常な勢で其工を進めて居る、此外紐育市には路面電車線も線路延長六百三十餘哩に及んで居る筈に壯なりと申すべきである。次に列車は既に八輛及十輛連結を實行し、今度の擴張工事では、十二輛連結を目標として居る、其上將來十四輛連結を實行し得る樣豫め停車場に擴張の備を爲して居るの狀況である。

巴里市高速鐵道　巴里市は面積三十平方哩、人口約三百萬で、其高速鐵道は今市に蜘蛛の巢の如く普及してゐる。今から約三十年前一部を建設開業して以來、次第に擴張を續けて現今線路延長約六十哩で大部分地下鐵道である、猶月下盛んに工事を繼續中で、軈て計畫全部完成の曉は總延長約九十哩に達するとのことである、此外路面電車と線路延長百五十餘哩を有し、乘合自動車運轉線路も百餘哩に達して居る。高速鐵道列車は概ね五輛連結で、年乘客約五億數千萬人を輸送しつゝあるの狀況である。

伯林市高速鐵道　伯林市は千九百二十年市域を擴張して、現今面積約三百四十平方哩、人口約三百九十萬を有する大都

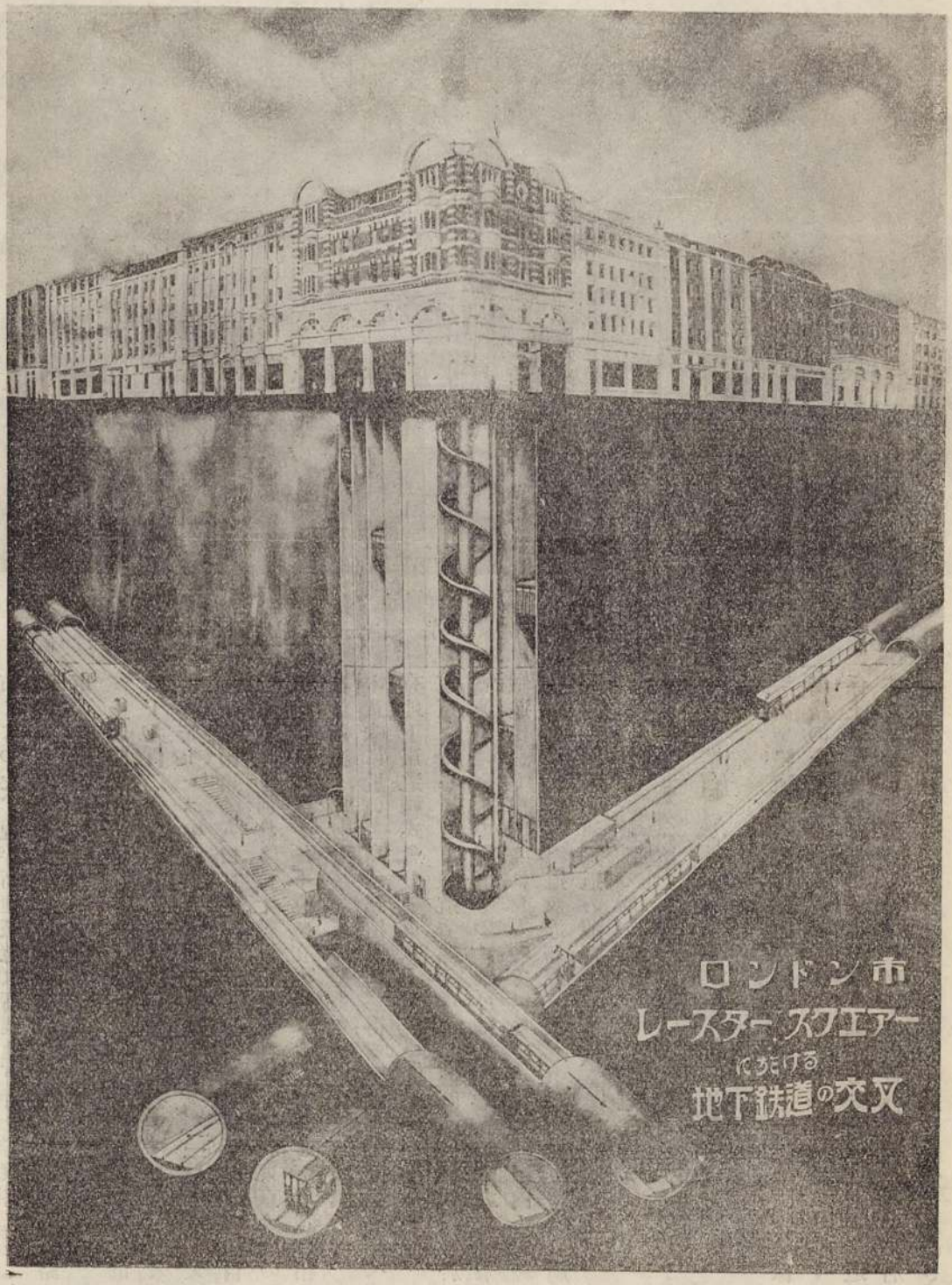


市となつた、現存高速鐵道は高架地下併せて線路延長二十四哩位のものであるが外に工事中のものが十數哩あり、路面電車の線路延長も百十哩程を有して居る。

上流四大都市を除き高速鐵道を有する歐米都市中、市俄古は千九百二十六年の概計人口三百五萬を算するも、南米ヴエノスアイレスの二百三十萬、北米費府の二百萬餘は大體大阪東京兩市の人口に匹敵すべく、其他は墺國維納市の百八十餘萬を除き何れも百十數万以下の都市で、我東京大阪の兩市に比すれば遙かに下位に立つべきものであるが、既に相當の高速鐵道を敷設して居るのである。之に反し我國では、純粹の意味に於いて高速鐵道と稱し得るのは、最近工を終へた東京地下鐵道株式會社の東京上野淺草間約一哩半可りで、偶々東京を中心とせる鐵道省線の電車運轉區間は、大體に於いて高速運轉をして居るものと謂ひ得られやうが、之は元來高速鐵道として施設されたものではない、又大阪市内に起終點を有する市間電氣鐵道及近郊電氣鐵道中、大大阪區域に屬する區間は、準高速鐵道の運轉をして居るとは謂へやうが、構造設備に於いて缺くる所が多い、また鐵道其者の使命も、單に市間鐵道、郊外鐵道の範圍に存するものと思はれるのである。

五　高架鐵道と地下鐵道

高架鐵道は一般に路面交通に障碍なき程度の桁下を保つて街路の上空に設くるものであるが、多くは街路に建設する關係上、或は其下部に路面電車を通ずるとか、或は散歩道に供するとかして居るが、中には臨時の野外市場を開いて居るやうな箇所もある、そして一般に横斷交通に障碍を及ぼさない


ロンドン市
レースター・スクエアーに於ける
地下鉄道の交叉

様、また沿道家屋の採光を遮り若くは都市の美觀を損しない様に、二本脚とか一本脚とかの構造にし、上部構造にも經費の許す限り相當美觀を保たしむるのが普通である。されど街路敷地以外に設けられたる高速鐵道即ち專用鐵道にあつては其下部を建築物とし、店舗若くは倉庫に利用してゐるのも尠くない。

高架鐵道は要するに一個の連續した橋梁で、其構造は鐵鋼構造、石造若くは煉瓦造としたものもあるが、近時コンクリート工法の進歩其他の事情で、鐵筋若くは鐵骨コンクリートに改むるものが多い。紐育の高架鐵道は開床式鋼鐵構造で、外觀も醜く騷音實に甚しきものがある、高架鐵道に對する一般の不評も蓋し之に原因するのであらう、斯る騷音も鋼鐵構造以外の閉床式構造とし、且つ軌道の構造に充分なる注意を拂へば大に減殺し得らるゝものである。

地下鐵道は一般に地下に築造する高速鐵道の總稱で、之に淺地下式と深地下式の區別がある、紐育の地下鐵道は街路面下淺く敷設してサブウエーと呼んで居る、路下式地下鐵道の意味である、伯林巴里兩市の地下鐵道も此路下式に屬してゐる、倫敦の地下鐵道は一部に淺地下式もあるが、大部は所謂チエーブと稱して、地表下二十呎乃至百九十三呎、平均して七十五呎位の深さにある、構造は圓形の鑄鐵管構造で、前述の如くチユーブと呼ばれて居る、畢竟倫敦の街路が屈曲甚しく且つ幅員狹隘であるのと、土地の買收を要せず地質が此構造に比較的容易であつたが爲めに此方式を採つたものであらう。斯様に深地下式は敷地の買收、建築物の移轉を要せず、從つて慾するが儘の位置、望むが儘の方向に建設し得らるゝことは申す迄もないが、地下停車場への昇降にエレベーター若くはエスカレーターを設備しなければならぬから、之が爲に多額の費用を要する、又空氣の疎通が不充分であるから通風裝置にも相當の費用を費さなければならない、用地費は少くて濟むが建設費維持費に比較的多額を要する、乘客の側から見ても深地下停車場は、昇降の設備があつても猶且相當の不便を免れない、時間も相應にかゝる、そして一朝異變のあつた場合には避難が容易でないのである。

之に反し淺地下式は停車場の昇降概ね階段を以て足り、エレベーター等の設備を要しない、空氣の疎通も良く、事變に遭うても避難が容易に出來、且つ必要の箇所には非常口を設くることも簡單で、建設費營業費も比較的少くて濟むから從つて乘車賃金も安いといふやうな結果になるのである。斯様な次第であるから今日特殊な事情のない限り、各都市共に努めて街路下を利用し、所謂路下式地下鐵道を建設するのが常態である。されど本式も河底貫通の爲若くは地盤高低の關係で地下相當の深さに達するは免れ難き自然の結果である。地下鐵道の形狀は深地下式若くは河底隧道に管形を用ふる以外、概ね函形若くは拱形を採用し、一般に鐵筋又は鐵骨コンクリート構造と爲すが普通であるが、或は單にコンクリート若くは石、煉瓦造とするの例もある。地盤軟弱なれば其程度に應じて構造を强固にするの必要はあるが、相當の厚さに築造せる鐵筋、鐵骨コンクリート構造は、大概な軟弱地盤にも勿論安全なるのみならず、强度の地震にも充分堪へ得らるゝものである。

そこで次に起る問題は、高架地下何れを採擇すべきかであ

るが、之は高速鐵道の方式決定上最も重要の問題で既に屢論究されてゐるが、各利害得失あつて絶對的意味に於いて其優劣を斷ずることは難しとせられて居る。今兩者比較の主要點を列記すれば次の通りである。

（一）地下高架何れも其構造に種々の型式を有することは前述の通りであるが、型式の何れたるに論なく、建設費は高架の方遙に低廉である、河底貫通の場合など特に然りである。

（二）鋼鐵構造の高架鐵道を除き建造物の維持費は兩者略ぼ等しと謂はれるが、地下鐵道にあつては照明、通風、排水等の爲、相當多額の經常を要する。

（三）地下は高架に比し、概して工事困難である　河底貫通の場合若くは地質不良、地下湧水多量なる場合に於ては困難殊に甚しいものである。

高速鐵道を街路に敷設する場合、高架にありては道路交通に相當の阻害を及ぼすことは免れ難いが、之も都市計畫の街路工事と關聯施行するに於いては、高架鐵道建設其者の障害を大に輕減することが出來る、之に反し地下鐵道は、之を道路下深く設くる場合は勿論、淺く設くる場合でさへも、交通上の必要程度に應じ床面によつて路面を維持することも出來、殆んど交通の停止を要しないから、繁華な街路と雖交通に阻害を及ぼすことなく工事を遂行し得る利がある、が淺く設くる場合は高架に比し地下埋設物整理の爲めに相當多額の費用を要することは免れ難いのが普通である。

（四）街路面と乘降場間の高低差に伴ふ乘客の昇降は、倫敦の如き深地下式の場合、假令エレベーター若くはエスカレーターの設備を有しても猶且つ相當の不便を伴ふものであるが、淺地下式にあつては高架鐵道と殆んど遜庭はないのであるが、鐵道軌面上一定の高に乘降場面を設くる關係で多少でも高架に比し高低差少いのが普通である。

（五）乘車觀よりせば高架は外氣日光に直接して街路の上空を走るから、乘客にとつて大に壯快の感を與へるが、地下は陰鬱不愉快である。地下鐵道は一般に空氣の沈滯濕潤に伴ふ微菌の繁殖と、制動機及軌條車輪の磨滅によつて生ずる鐵粉、竝に乘客の出入列車の運轉によつて發生する塵埃の鬱閉によつて、乘客竝に從業員の健康上懸念されてゐるが、千九百二年倫敦市で、セントラル、ロンドン地下鐵道に就き試驗した古い試驗の結果によると、地下鐵道の內部は地上に比し程度に差はあるが四季を通じ濕度高く、二酸化炭素の量も多ければ溫度も一般に高いと云ふやうな結果を報じてゐる同時に又地下鐵道空氣內に於ける細菌試驗の結果では微生物の數は多いが、其種類は外氣中のものと等しく病原菌と云ふやうなものゝ發見も無かつたし、細菌の數も人の住むで居る室に數へらるゝ程度のもので、好ましからずと稱する程の狀態ではなかつたと報じてゐる。されど本試驗は權氣採取量五リットル宛の少量であるから、本試驗の結果のみを以て病原菌の有無を斷ずることも早計であらうし、一面に於いて換氣設備不充分なる時代の空氣試驗であるから、多少の空氣汚濁

は免れないまでも、二酸化炭素恒に多量なりと結論することも妥當でないと思はれる。また紐育の地下鐵道で傳へらるゝ處によると、運轉開始前夏季は涼しく冬季は暖かであつたが、運轉開始後、地下鐵道内の氣温は著しく上昇し、七月初には外氣に比し華氏で平均五度、七月末には七度半、十一月には十八度高くなつた之は倫敦でも地下の深度に相違はあるが大體同じ狀態で、前記試驗の時の報告に徴しても、酷寒盛暑の場合の記錄はないが、三月及九月は平均外氣の氣温に比し華氏で十二度位高く、六月のでさは外氣に較らべて九度半位のものであつた。そして細菌に關する紐育の試驗によると、地下鐵道内バクテリヤの割合は大體市街の半分であるが、危險と思惟されるバクテリヤは市街に於けるよりも壽命が長い、例せば肺結核菌の如き市街地の壽命は四日位であるのに、隧道内では二十一日位生きて居るとのことである。次に鐵粉塵埃等に關する紐育地下鐵道の例によると、鐵粉は主として制動機の磨滅によつて生じ、其他軌條、車輪及第三軌條接觸片の磨滅によつて生ずるものであるが、其量は塵埃の六割を占め、長くトンネル内に居た人の衣服は褐色を呈し、肉眼でよく見える程で、馬蹄形磁石を車内四尺位の高さに保つと、二三日の後には厚さ二粍位の鐵粉を附着するとのことである。

制動機の磨滅から計算すると、之のみで毎月延長一粁の地下鐵道で、六百三十瓲の鐵粉を生むことになつて居る、が紐育で從業員二百人に就き健康診斷を行ふた結果によると、地下鐵道内の空氣は健康上に格別著しい惡影響を與へて居ないと云ふことになつて居る。謂ひ換ればトンネル内空氣の臭氣を發すること、溫度の高いことは不快には相違ないが健康上に與ふる影響は云々すべき程度のものではないと傳へられて居る。

地下鐵道で拾集される塵埃量は誠に驚くべき多量で、千九百十六年紐育インターバロー、ラピッド、トランシット會社、即アイ、アール、テイー會社のみでも、階段及乘降場から一晝夜毎に拾集される新聞紙が五噸塵埃が七噸半で、一ケ年年に積つて見ると、當時同會社營業線の總乘客七億二千八百萬人が千五百噸の塵埃を落し、新聞紙三萬六千束、平均乘客一人當り十五封度宛を捨てゝ行くことになつて居るとのことである。

(六)高架は構造の如何によつては、相當都市の美觀を傷つけるばかりでなく、騷音を發し、街路及隣接家屋の採光を遮ぎり、車馬の往來を阻害する等一般市民の被る影響が尠くない。之を鐵筋若くは鐵骨コンクリートとせば、大に騷音を減殺し、甚しく街衢の美觀を傷くることなく構築することも出來やうが、之等の點に關しては、一般に地下の方遙かに優つて居ることは勿論である。

(七)河川の汎濫若くは海濱等の襲來を免れ難き區域にあつては、地下鐵道に對し充分之を防護するの施設を講じなければならない、乘客輸送中一たびトンネル内に洪水海濱の押寄するところとならむか、其慘狀は蓋し想像に餘りあるもので、既に巴里に此例を見たとのこと

である。また先年紐育地下鐵道で、漏電に依りトンネル内で電車の火災を起し、多數乘客を窒息せしめたる例はあるが、現今では全鋼車の採用によつて大體之を防止し得るのである。併かし要するに高架に較べると震災其他の異變に際し、乘客に對し危險率の多い傾向は免れざるべく、尠くも不安の度が多からうと思はれるのである。

之を要するに、經營者竝に乘客の側よりせば高架線を利とし一般市民としての側より觀れば地下線を利益とするもので、妄りに其適否を斷ずべきではないが、大體に於いて、經費が之を許すならば勿論地下を採るべきであると思ふ。現今歐米各大都市が、新線建設に際し、地下鐵道萬能に一致して居るのに徵しても、都市民要求の歸趨は何はれるのであるが、元來高速鐵道は都市交通機關中、最も多額の經費を要するものであらう、既に歐米大都市の施設に晩れること少くも二三十年の我都市を觀れば、徒らに市の體裁のみを顧慮し、延いては理想論に捉はれて、其計畫を架空のものたらしめてはならぬと思ふものである。

六　高速鐵道の工事方法

高速鐵道は、前述せる如く要するに一個の連續した橋梁であるから特に記述を要しない。

地下鐵道亦單に之を土木學上より見れば、一種の鐵道隧道に過ぎないものであるが、地下鐵道は都市の高速運輸を司る爲めに、市街の中央、商業殷盛なる巷の街下をも貫通するものであるから、專ら工費の節約と輸送力の增大、即ち線路勾配の緩和と距離の短縮とを主目的とせる、普通鐵道の山嶽隧道に比し、工法上種々なる點に於いて特種の所がある、そして大都市は多く海岸若くは河川に沿ふて發達せる關係上、概ね河川運河を擁するものであるから、地下鐵道の工事に河底隧道の伴ふことも其特徵である。深地下式の隧道、殊に地下湧水の多い所ではシールド、トンネル法と稱し、壓搾空氣を應用して地下水を排しつゝ、水壓機械を以て地盤崩落防護用の盾構を推進し、掘鑿の進行に伴ひシールドの後部に直接し鑄鐵材で圓形の隧道を組立てる方法を採るのが普通であり、大河の河底トンネル等は概ね此シールド工法によつて河底を貫通するのである。之に反して地下湧水に苦しまず地質亦適良である場合は、勿論普通の鐵道隧道と同一工法に據つても施行し得られるのである。巴里のメトロは路面下概ね淺く、甚しい箇所は拱形隧道の天端が路面下僅かに八十五糎、ざつと二尺八寸と云ふやうな箇所もあるとのことであるが、大體普通鐵道のトンネル開鑿式に據り路面を崩さず地下で拱形隧道を築設して居る。

次に淺地下式隧道工法としては、巴里の工法は寧ろ例外で普通路面を開鑿し、此處に地下鐵道を築造して、其上部を舊の如く埋戻す工法を採るのが一般である、但し巴里の施行法と異り本工法は一旦路面を開鑿するのであるから、商業殷賑の街路にして自動車其他車輛交通の特に激甚なる箇所にあつては、街路開掘の上面に一面の床を張つて街路交通上障害を及ぼさない樣にするのである、が之には亦尠からざる經費を要するものであるから、交通上甚しき支障なき箇所及都市周圍部の交通比較的閑散なる街路に在りては、街路の中央部地

下鐵道の建設に必要なる區域を開鑿のまゝ工事を進行し、交通上多少の不便を忍ぶも蓋し止むを得ないのである。

其他河底トンネル工法中特種の方法としては、沈埋式と稱し、鐵若くは鑄鐵又は鐵骨コンクリートを以て隧道の形狀に造り、之を現地に運搬して、豫め所定の深さに掘鑿せる河底に沈置を採ることもあり、又河川運河の半幅若くは全部を締切り、唧筒揚水によつて陸上工事と等しく施行する場合も尠くない、大阪市の地下鐵道も亦、河川線切法によつて施行する豫定になつて居るのである。

七　高速鐵道停車場

停車場は乘降客の出入口であるから最も便宜の箇所に設けなければならない、普通の蒸汽鐵道及電氣鐵道の終端驛、若くは乘降客多數を算する主要驛には、乘換連絡を便にする爲め、停車場内に地下鐵道の昇降口を設くべきものであるが、殊に地下鐵道では地下で自由に連絡路を選み得る關係上、高速鐵道の近接停車場まで相當距離を距てゝ居ても、其間に連絡地下道を設けて居るのが多いのである。又公共的の大建築物に於ては、其建築物内に地下鐵道の入口が設けてある、中には大規模のホテル若くは百貨店内に入口を設けて居るものもあり、フイラデルフイヤでは地下鐵道の一停車場に、恰も隣接してゐるワナメーカー百貨店が地下停車場のプラットホームに沿ひ一面に裝飾窓を繕ひ、且つ其地下室より直接地下停車場に出入する改集札口を設備して居るといふやうな例もある、其他高速鐵道の停車場は一般に主要街路の交叉點若くは交通上殊に必要なる地點を撰み設けるものであるが、車輛交通繁激なる箇所にありては、車道横斷の危險を避くる爲め、街路交叉點の四隅に出入口を設け、地下道に依つて安全に高速停車場との連絡を計るやうにしなければならない。

停車場の乘降場は、複線鐵道を狹んで兩側に設ける所謂對向式にするのと、複線の中央に共通に設けて所謂島式にするのと二樣の設置方法がある、島式の停車場では乘降場出入口を街路の中央地下にとらねばならぬから、伯林市の地下鐵道の樣に、街路交叉點に設けられたる廣場若くは中央遊歩道中に出入口を設けて、直接地下乘降場に通せしむる例もあるが乘客の車道横斷難を救ふ爲、主要停車場の構造を二階造として、道路は階下に地下は階上にメザニン(中二階)を設け、歩道に入口を設置して架道橋及地下道に依つてメザニントに導き、斯くして中央の島式乘降場に達せしむるのである。對向式乘降場の場合は、兩側各別に附近歩道の一側に出入口を設備すれば足りるのであるから、メザニンを設くる島式乘降場の場合に較べて構造も餘程簡單であり、メザニンを伴はないから鐵道の軌面を、高架は低く地下は淺く構築し得るのである。乘降場の長さも一般には長短區々であるが、紐育市の第三次鐵道では總べて延長六百呎とし、將來六百六十呎にして延長五十呎の車十二輛若くは十四輛を連結運轉し得る樣、擴張の餘地をなし置くことになつてゐる、現在の處高速鐵道乘降場中最長のものである、一般歐米都市乘降場の長さは先づ二百呎乃至五百呎の間にある。乘降場の幅員は、對向式で片側十呎乃至十三呎位で、中には六呎八呎と云ふやうな狹いのもあり、又巴里でオペラに近い箇所に新設中の停車場では、其乘降場を幅員五米に築造して居る、概して巴里の乘降場は

幅が廣い、次に島式乘降場の幅員は、大體對向式片側幅員の二倍二十呎乃至二十六呎位である。

普通の高さに設くる高架及淺地下鐵道にあらざれば、街路より乘降場への昇降は單に階段又は傾斜路を設ければ充分であるが、昇降三十呎以上に達する場合は、階段による昇降次第に困難を感ずるから、乘客昇降の便を計る爲め、エレベーター若くはエスカレーター（英國では夫々リフト、ムービングステーアと稱す）の設備を必要とする。然らば兩者のうち何れを是とするか、之は費用の關係もあるが、エレベーターは合乘客の待合せと、箱詰の窮屈さを忍ばなければならぬからエスカレーターの方が遙かに評判が良い、大阪市の高速鐵道でも深度比較的大なる停車場、高架地下の連絡停場車其他主要なる停車場には、是等昇降設備を設置せらるゝことになるであらう。

八　換氣防水及排水

之は高架鐵道とは問題ないのであるが、地下鐵道にあつては衛生保安上重要なる設備である。

淺地下式の鐵道は、停車場の出入口と街路に廣く開いて居り、停車場の中間にも通風口を設け得るから、常態に於いては列車の運轉に伴ひ、相當外氣を流入し得て、換氣は充分であるが、トンネル内は電動機、制動機の摩擦其他により相當溫度の上昇を伴ふものであるから、夏季に於ける空氣の冷却用に、或は電氣事故其他によりトンネル内に生ずる煙、瓦斯等を消散する設備として、換氣用送風機の施備が必要である殊に深地下式の鐵道は、換氣常に不充分であるから、送風機を以て換氣作用を充分ならしむる必要がある。

防水設備は地下水位以下は勿論、地下水の上部でも、雨水の滲入を禦ぐ爲め構造物の外周に施す必要の有るもので、之は充分アスファルトに浸たせる碁目の布を、熱したアスファルトで三重以上に貼り付けたものである、從つて地下水位以下の鐵道は勿論、假令河底のトンネルであつても水の浸み込む虞はないことになるのである。然かも猶多少水分の滲入を慮つて内部に排水路を設け、低所に導いて水溜に集め自動唧筒の働きによつてトンネル外に排出する設備を加へるのである。排水設備は河川の氾濫は勿論、海嘯の襲來等に對しても充分考慮を費やし、構造上可能程度の應急的設備を加へて慘害の防止に努めなければならないのである。

九　停車場間隔と表定速度

停車場の所在は、單に乘客昇降の便よりせば、近接して多數配置すれば益々都合よくなることは逃ぶるまでも無いのであるが、斯くては高速列車が、發後車加速度的に速度を高め未だ充分なる速度に達しないうちに　既に制動力によつて停車の準備に移らなければならない、のみならず停車時間の遞加に依つて著しく平均速度を減ずるものである。由來高速鐵道は市内比較的遠距離の交通に便し、高速度を以て多數の乘客を運輸するのが其最大使命であるから、路面電道の如く短距離に停車場の配置を許さないのである。高速鐵道の使命を果たす爲には、表定速度（停留時間を含む平均走行速度）は少くとも一時間十七八哩から二十五哩位で有らねばならない、さらばと云ふて無暗と高速度にすることは經濟上不利を免れ

ないが、停車度數の多い運轉區間に於いては、走行時間の大部は加速、制動及停留時間に費され、全速度に依る走行時間は僅少となるから努めて之を避けなければならない、普通適當とせらるゝ停車場間隔と表定速度との關係は次の如きものである。

停車場間隔(哩)	二	一	〇、七五	〇、五
表定速度(一時間哩) A	二九、三	三三、五	一九、五	一七、〇
B	三六、〇	二七、五	二一、五	一八、〇

表中Aは設備費及運轉費の點に於いて最も經濟的な數字であり、Bは設備費運轉費に於いて失費を忍び、消費電力量の大なる增加に堪へて始めて許さるべき限度である、然かも上記の速度は線路總べて平坦直線とし且つ停留時間を十五秒の短時間に取つたものであるから、經濟的表定速度は上記の速度よりも低下を免れないであらう、されど徒らに停車場の間隔を長大して、乘車の不便を無視するも亦採らざる所であるから、其所に適當の撰擇を誤つてはならない、先づ表定速度二十哩を目標として、停車場間隔を平均四分の三哩程度にするのが適當と考へられて居るのである。

紐育高速鐵道中アイ、アール、テイー會社は其運轉に、許容最大速力を直線部一時間四十五哩、曲線部九哩とし、急行普通の運轉別により前者の表定速度一時間二十五哩、後者の速度十八哩にしてゐるが、朝夕雜沓時にあつては乘降客の混雜により實際は餘程其速度を低下して居る樣である。

停車場間隔を歐米の例に徵すると、紐育の平均は約二千二百呎であるが、之は普通運轉の停車場で急行停車の間隔は遙かに遠くなつて居る、倫敦の平均は約三千二百呎で紐育の間隔に增すこと約五割、伯林は其中間で約二千五百呎になつて居り、其表定速度は倫敦約十八哩、伯林十四五哩となつて居る。巴里は最小で停車場間隔平均約千七百呎、平均速度十三哩位で、高速鐵道として幾分其機能を疑はるゝ程度のものである。

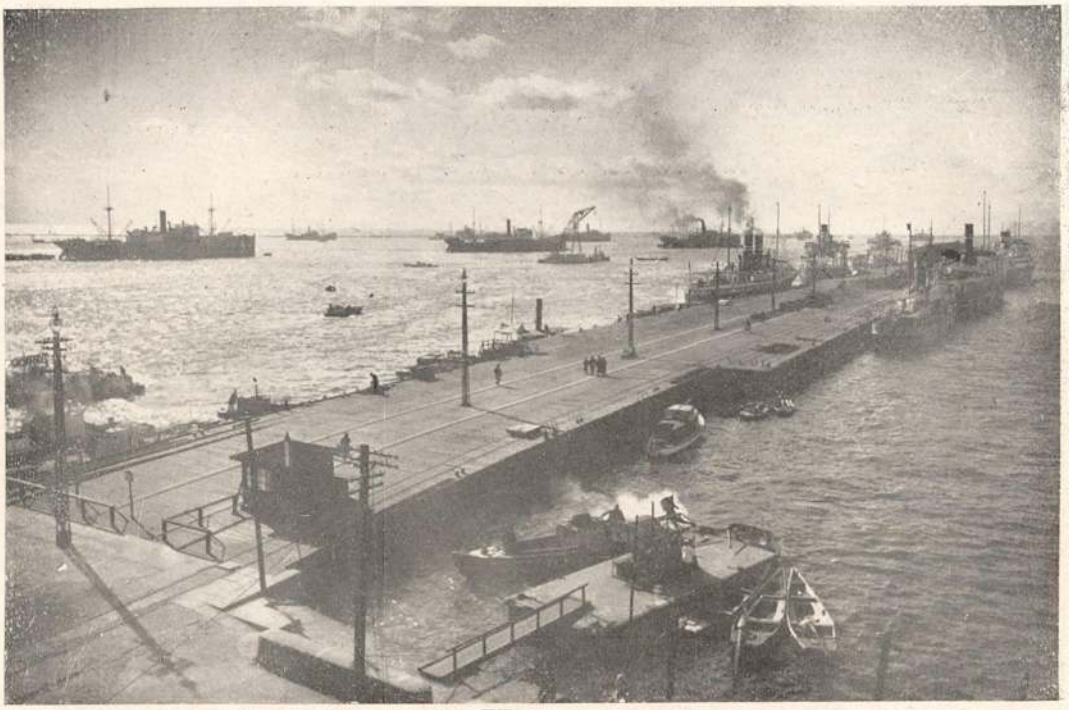
十　高速鐵道の輸送力

高速鐵道は時間に依り、線路に依り、乘客の多少に應じ、二車、三車若くは五車と云ふ風に、列車を編成して運轉するのであるが、其輸送力は車輛の大さ、發車回數及運轉速度の如何によつて非常な相違のあるものである、同じ高速鐵道の車輛にしても現今世界で最大と思はれる、紐育ビー、エム、テイー會社の車は長さ六十七呎、幅員十呎で、伯林の電働車及附隨車の長さ四十一呎十一吋、幅員七呎五吋、巴里の附隨車、長さ四十二呎十一吋、幅員七呎十吋半（電働車は長さ四十六呎、幅員同一）は、車全體の大さから見てざつと前者の半分である、又車輛の連結數にも非常な差があつて、現今實行しつゝある最大連結數は、倫敦八輛、伯林六輛、巴里五輛である。紐育市の連結數はビー、エム、テイー會社が八輛、同市のインターバロー會社は十輛で、後者は地輛の長さに於いて十五呎半短いが、連結數に於いて現在高速鐵道運轉中最大である。然かも猶、更に連結數增加の計畫で現に車下鐵道第三次擴張工事を着々實行して居る、寔に偉なりと稱すべきである。

そこで大阪市高速鐵道建設開通後の將來を豫想し其輸送力を見るに、假りに高速列車の編成を六輛連結とし、一車定員

百二十人、一時間二十哩の速度を以て二分毎に發車するとせば、一線片道一時間の輸送力は四十三萬二千人哩となる、尙將來乘客の增加に伴ひ設備完成に至つた曉は、九輛乃至十二輛の連結運轉を行ひ得るの豫想であるから、更に發車回數も極度に增加して、現在紐育、倫敦及巴里等に行はるゝ主要線の極小間隔一分半迄短縮し得たとしたならば、其輸送能力は片道一時間八十六萬四千人哩乃至百十五萬二千人哩の大輸送力を發揮することになるのである。之を現在大阪市堺筋に於ける路面電車の完員八十人速度平均約七哩、發車一分毎としての輸送量、片道一時間約三萬三千六百人哩なるに比すれば實に二十六倍乃至三十四倍の輸送能力を有することになる勘定である。實際に於いて大阪市現在の路面電車は、朝夕滿員鮨詰で場合により定員の二倍に近き超過輸送もして居るであらうが、之は高速電車にしても大體同じ關係であるから、著しく輸送力の比較を左右するものではない、數に於いて高速鐵道一線の建設は、容易に路面電車十數線の乘客を一擧に輸送し去ることになるのであるから、必要に應じ漸次設備を整へ、終局に於いては僅かに一線の高速鐵道も路面軌道二十乃至三十線の建設にも對向すべき大輸送能力を發揮するに至るべきものである。

以上

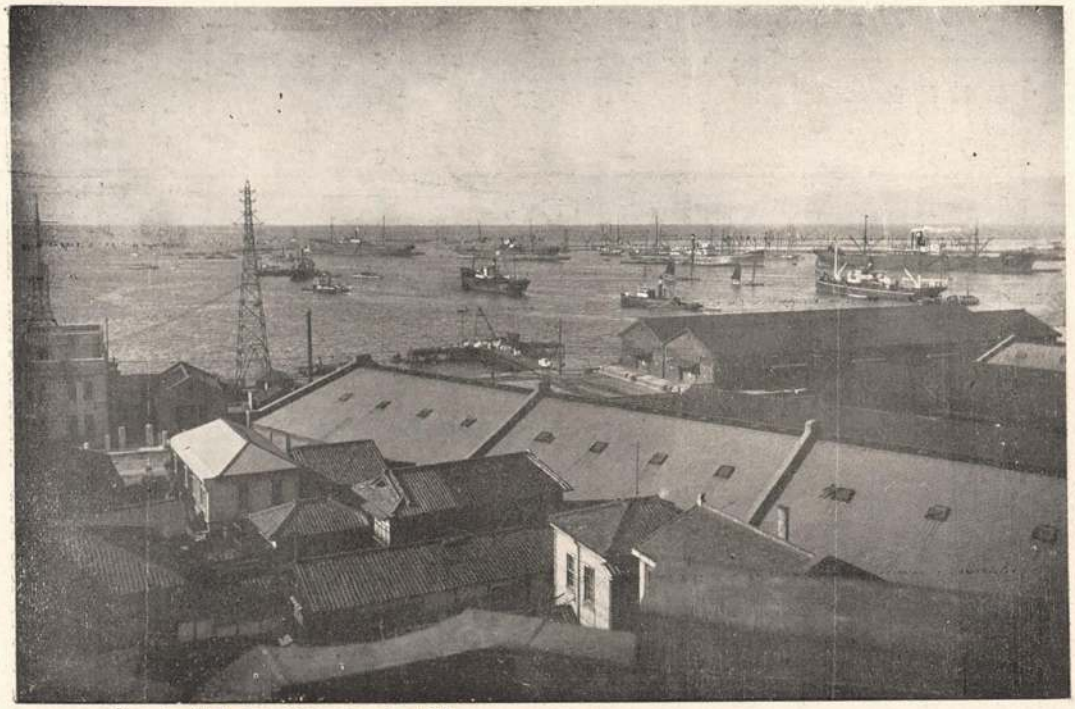


大阪の海の玄關・現在の大棧橋

都市問題より觀たる港灣

大阪市港灣部技術課長
松田健作

從來都市問題として研究されたものは陸上の交通運輸、敎育、社會事業、産業、衞生等の方面であつて、海運關係の港灣のみは都市問題として深く研究されてはゐなかつたやうに思ふ。然るに近時都市問題として港灣といふものゝ研究が漸く喧しくなつて來たやうである、まづ一般の都市として港灣といふものについては地勢上その必要のないところもあるがその都市が海岸に接近してゐる場合には港灣といふものについても餘程考へなければならぬことゝ思ふのである。てうど港灣は都市の交通連輸の玄關である停車場と同一の働きをするばかりでなく、尚ほ廣く國家といふ問題について大なる關係を有してゐるものである。殊に日本のごとき土地狹少なるに比し人口多く而も年々七八十萬乃至百萬人の增殖を見つゝある狀態であるから國民の生活の上においても自給自足は到底不可能である、從つて生活必需品であるとか産業並に工業上の原料品は國內のみにおいては得がたく、自然海外にこれを求めなければならないのである、幸ひにしてわが日本の周



大阪の海の玄關・安治川々口を含む一帶内港

園にはシベリヤ、支那、滿洲或は南洋など國民の生活上或は産業上必要なる原料を豊富に藏する大寶庫があり且又四面環海の國柄なれば海中より得らるゝ漁獲物も無盡藏であるから此等を開發して原料を國内に輸入し之を製産加工して國外に輸出し利益を得て國家を維持するばかりでなく國運の隆昌を計り、延ひては都市の發展を期し得らるゝのである、此等運輸はみな海運により自然港灣の利用に俟つの外はないのである、故に港灣は多くの貨物や人畜を呑吐する都市の玄關とも云ふべき停車場より以上に重要な役目をなすものといつて差支へない。從つて港灣設備の完全不完全はその都市の發展上に非常な影響があるのみならず國運の消長に重大なる關係を持つてゐるものであるから、その設備なるものは十分に研究し完全を期せねばならぬといふことに歸着するのである。

次に港の設備について一通り述べたいと思ふ港も昔は帆船のみ出入したのであるから先づ帆船が港に着いたならば、長い間の航海の疲勞を慰するため先づ二三日は休養して貨物を陸揚するといふ狀態であつたのであるが、今日では船型は漸次大きくなり、之を操縱する乘組員も數百を算するものもあり約一萬トン内外の船に要する一日の經費は約五六千圓を要する樣な時代となつたのである、そこで船を一時間長く港に繫留して置いてもその空費する經費は莫大な額にのぼり且又船の元價その他に對する金利等についても多大の負擔を免れないのである、だから船が入港したならば一時間でも三十分でも早くその船を出帆させなければ經費が償はぬといふことになるのであつて、自然港の荷役の設備といふものは非常に迅速に荷役の出來得るものでなければならないやうになつて

來た。それで港の荷役として普通やつてゐる方法は、大體沖荷役と岸壁荷役とに分けることが出來て沖荷役は本船が港内に入ると、その船の周圍にいろ〳〵な艀船が寄つて來て、その艀船に貨物を積かへて、それを陸岸に曳いて來て陸揚し又は反對に本船に積込むのである、今一つの岸壁荷役は岸壁に本船を横着して機械力を應用して陸揚したり又は船積するのである、この沖荷役に依ると、ヤレ風が來たといつては艀船は遁げ出すとか風波のために難破するとか或は沈沒するとか種々の出來事を突發し此等は必ず荷物の損害を伴ひ自然保險料も高率を支拂はねばならず時間も空費するといふことゝなり有形無形の損害も莫大なものとなる譯である、ソコでなるべく沖荷役を避けて接岸荷役、即ち岸壁又は棧橋に船をつけて荷役をする方法を採らなければならないといふことになるそこで港の設備としては先づ防波堤を設け、港内の波を靜かにし干潮でも滿潮でも自由に船を出入又は繫留し得るやうに防波堤内を深くして、尙陸地に接して岸壁なり或は棧橋を拵へるといふことが先づもつて必要なことである、さらにまた岸壁、棧橋に於ける荷役と最も安全に迅速に經濟的にするために起重機も必要となる起重機には蒸汽力又は電力などがあるが專ら此節では電力の應用が多い樣である、尙岸壁又は棧橋に接近して上屋とか倉庫等の必要も生ずるのである、上屋は船から陸揚した荷物又は船積する荷物を一時的に貯藏して各仕向地に發送する準備なり仕分けなどをする處であつて若し其荷物が外國取引のものであれば稅關の檢査手續をも上屋内にてするのである、倉庫は上屋に接近して設けられるものが多く之は永らく貯藏する荷物を收容するものであつて貯藏期間も長期に亘るから四階若しくは五階建のものが最近尤も多く使用さるゝ樣になつた、又上屋倉庫の近くには近距離に小舟にて輸送する荷物の船積のため物揚場等の設備も必要となり尙陸運のため上屋倉庫物揚場より荷物を直接汽車積又は自動車等に積込み得る樣に鐵道線路なり道路なりを此等と接近して設けることが亦尤も必要なことである、尙又港内と連絡して居る運河又は河川にも前述の樣に水陸連絡設備をすれば尙一層港を有効に利用し得らるゝことゝなる、先づ港の設備としては以上述べた樣なものが重なるものであつて、これらを十分利用すれば輸出入に於ける商取引の競爭に打勝ち自然その都市の發展を招くに至るのであるから港灣設備の完全を期するといふことは最も重要なことであると思ふ。

次に大阪港現在の設備の概略を述べ更に目下工事中の設備の大要を述べて聊か參考に供したい。港内面積は南北兩防波堤に圍まれてゐるところの總水面積百九十八萬餘坪であつて水深干潮面下三十尺を保つものがその中百萬坪あり防波堤その他の設備は左の如くである。

防波堤

名稱	延長
南防波堤	二、四三八、八間
北防波堤	一、五一九、七
北防波堤付根	八一二、〇
内港防波堤	八二〇、〇

棧橋及繫船岸

名稱	延長	幅員
埠頭大棧橋	二五〇、〇間	一五、〇
同丁字形棧橋	一七、五	二、五
櫻島棧橋	一五〇、一	六、〇
櫻島片棧橋	一〇三、〇	四、二
天保山棧橋	七〇、〇	五、〇
南第一號繫船岸	二四〇、〇	一二、七

物揚場

場所	延長
埠頭地沿岸	四〇〇、〇間
安治川筋南岸	一九五、五

繫船浮標　三千トン乃至一萬五千トン級ノ船舶碇繫ニ適スル浮標二十二個ヲ設置ス

起重機

場所	種類	揚力	動力	基數
安治川南岸	可搬	約一噸半	蒸氣力	一
安治川南岸	同	同二噸半	電力	一
大棧橋基點北護岸	同	同噸半	蒸氣力	一
同	同	同二噸半	電力	一
	浮動	同一〇噸	蒸氣力	一
	同	同二〇噸	同	一

繫船突堤

區別	延長	幅員	面積	備考
第一繫船突堤	一九〇間	七三、二	一三、九〇〇坪	干島狀トシ既成埋立地ト間ニ一部船溜ヲ存置ス
第三繫船突堤	二〇〇	九一、〇	一八、〇〇〇	

出入貨

年次＼區別	出貨 内地朝鮮	出貨 外國	出貨 計	入貨 内地朝鮮	入貨 外國	入貨 計	出入計
大正一〇年	二、九四一、八九	三八一、九七八	七八七、八〇四	一、一九二、一〇	三〇二、〇三三	一、四九四、一三	二、二八六、一七
同一一年	二、八五一、七	四三四、五一八	八五四、七〇四	一、三五八、〇三七	四〇三、一六四	一、七六一、二〇一	二、六一七、二〇五
同一二年	六七八、二四八	四五二、一二二	一、三三五、九〇一	一、三七、六六六	三七二、二五九	一、六九、二六五	三、〇二六、一六六
同一三年	三、八、六二四	五〇、三八一	一、二一五、七八	一、三九九、七二九	三五六、〇三四	一、七五六、七六三	二、九七二、五四一
同一四年	五六七、一五〇	五九一、一七三	一、三七八、九三七	一、六八五、一七二	三九九、四四二	二、〇八八、六五六	三、九六七、五九三

工事中の設備

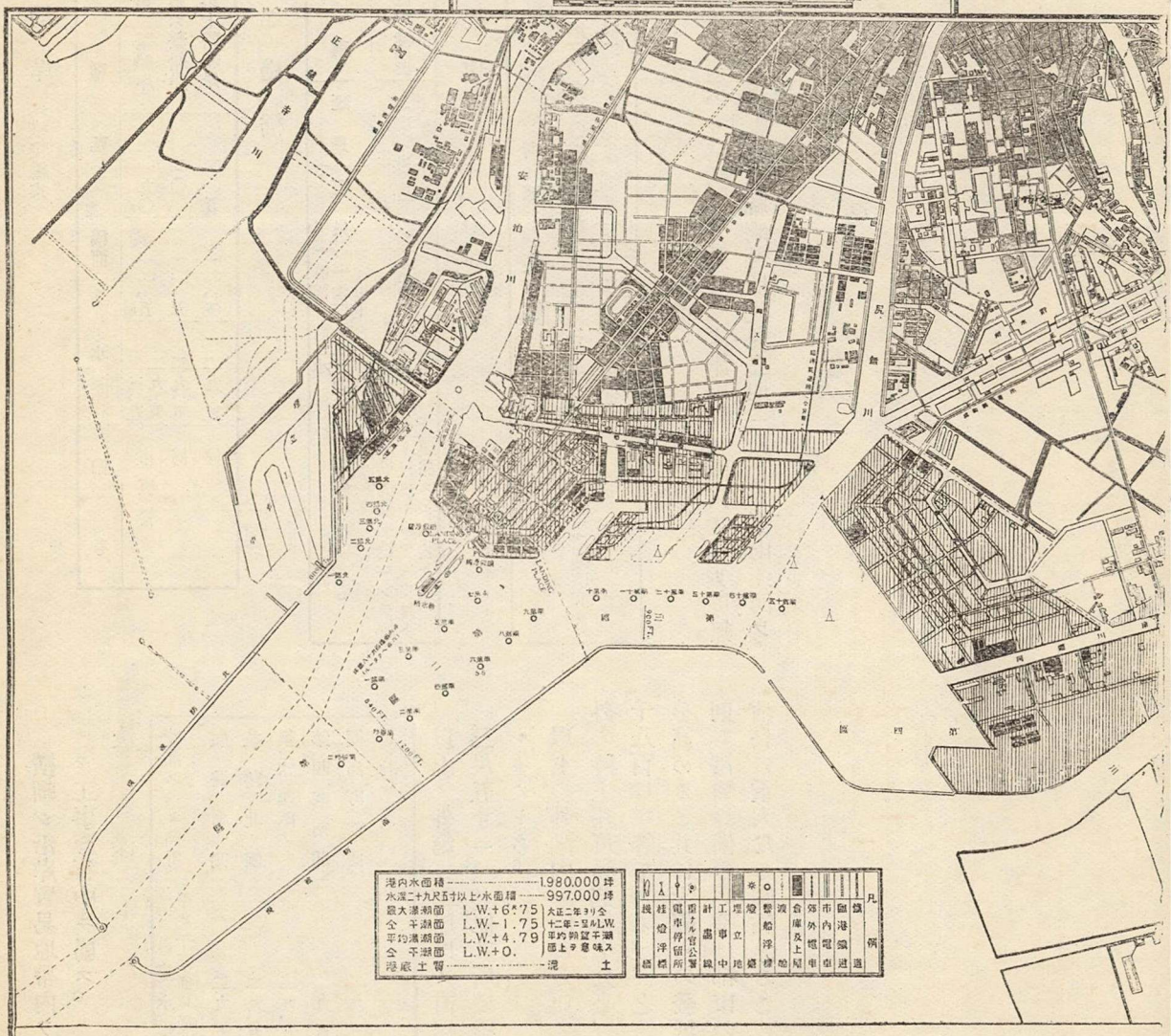
大正七年度以降工事施行中に係る設備の主なるものを擧ぐれば次の如くである。

右の外鐵道にをいては大阪驛より分岐して櫻島驛に至るものが目下盛に利用されつゝある

尙出入貨物について見るに出貨は綿織物、綿糸、藥品、金物（鐵、鐵製品）紙等入貨は木材、石炭、鐵、石材、米、土砂鑛石類等が重なるもので大正十年以降十四年までの統計によれば左の如く漸增を示してゐる。

大阪築港圖

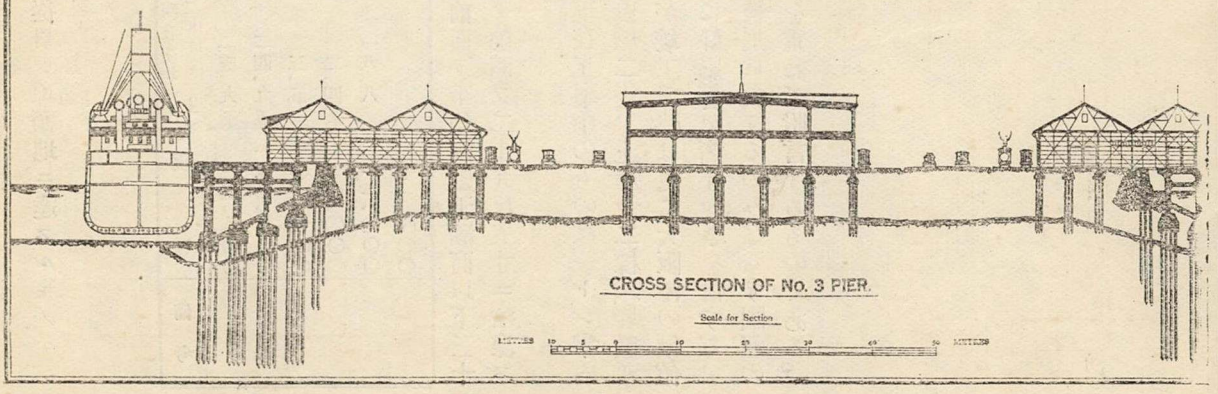
縮尺壹萬五千分之壹



港内水面積		1,980,000坪
水深二十九尺五寸以上水面積		997,000坪
最大潮差面	L.W.+6.75	大正二年三月
仝 干潮面	L.W.−1.75	十二年二望ル L.W.
平均潮差面	L.W.+4.79	平均朔望干潮
仝 干潮面	L.W.+0.	面上ヲ意味ス
港底土質		混土

凡例

- 鐵道連絡
- 港灣鐵道
- 市内電車
- 郊外電車
- 倉庫及上屋
- 燈臺
- 繫船浮標
- 護岸
- 埋立地
- 工事中
- 計畫線
- 電車停留所
- 1人柱燈浮標



繫船岸（横棧橋式）

名稱	延長	橋面ノ高	水深	備考
南第二繫船岸	一九〇尺	一一、五間	三三、五尺	市直營
同第六繫船岸	二〇〇	一一、五	二九、五	同
同第七繫船岸	二〇五	一一、五	二九、五	同

繫船棧橋

名稱	延長	幅員	橋面ノ高（平均干潮面以上）	水深（平均干潮面以上）	備考
北防波堤棧橋	二〇〇間	五、五間	一〇、五尺	二九、五尺	鐵筋混凝土造ニシテ濱ノ棧橋ヨリ埋立地ト連絡スルモノトス

荷揚場

場所	延長	水深（平均干潮面下）	備考
第一、第三、突堤ノ端	一九一尺	七、五尺	鐵筋混凝土矢板造護岸トス
南海岸通二三丁目地先	五一〇	七、五	同

鐵道

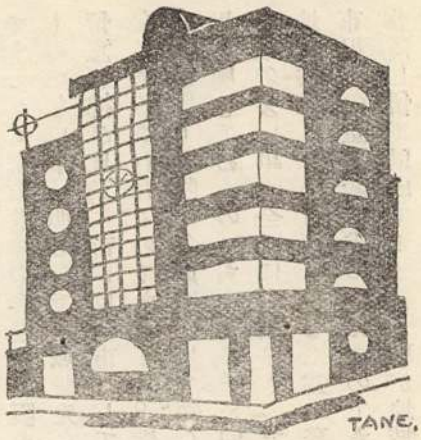
臨港鐵道ハ今宮驛ヨリ分岐シ木津尻無ノ兩川ヲ渡リ尻無川右岸ニ沿ヒテ南福崎町地先埋立地ニ入リ天保山運河ヲ横斷シ沿岸貿易地帶內ヲ從貫シ埠頭地ニ達スルモノニシテ工事施行中ニ屬ス。

浚渫

浚渫スベキ箇所	浚渫計畫水深（平均干潮面以下）	現在平均水深（同上）	面積	備考
航路南側	二九、五尺	二五、九尺	三五、八〇〇坪	
航路北側	二九、五	二四、九五	一六〇、九〇〇	
第三、四區ノ內	二九、五	二三、五	一〇三、〇〇〇	
第四區南部	二九、五	二二、四五	六〇、〇〇〇	
櫻島町前面	二九、五	一八、八	一一、七〇〇	
計			三七一、四〇〇	

以上ノ外第二繫船岸ノ西端前面ヲ平均朔望干潮面以下三十三尺五寸ニ、其他各所棧橋ノ前面ヲ二十九尺五寸ニ浚渫スルモノトス。

以上の外港內設備において現在工事中のものは一トン半內外の陸上用可動起重機九臺、曳船二隻、上屋十二棟（坪數八千八百坪）等であるが、之等が竣工の曉は更に大阪港の價値を高めると共に大阪市の發展に好影響を齎すべきを信ずる、則ち港灣設備の完全は都市の發展に資するのみならず國運の消長に重大なる關係あることを重ねて附言するものである。



堺都市計畫地域に就て

堺市都市計畫部
總務課長　磯村遠

都市計畫事業としては道路、河川、運河、築港、公園等種々有るけれ共就中都市計畫の施設として都市を住居地域、商業地域、工業地域等に區分して建築物を各其最も適應した場所に配置する、即ち建築物の用途地域を指定すると言ふ事は都市計畫の基本的事項であらうと思ひます。而も他の何れの事業も巨額の經費を要するのに代へて獨り地域の指定のみは金が懸らずして都市改造の目的を遂行する事が出來ると言ふ甚だ結構な施設であつて市街地建築物法で此の制度を認めてゐるのであります。

然し乍ら都市を住居地域、商業地域、工業地域等に區分する事は都市住民の實際生活の上に極めて密接な利害關係を及すものであるから如何なる場所に如何なる地域を指定して良いか又各地域をどう言ふ風に配置したものかの決め方は非常に難かしい問題であります。即ち住居地域は安靜快適でなければならず、商業地域は繁榮利便、工業地域は生產能率の增

豫て「建築ト社會」に堺都市計畫地域制に就て投稿する約束して其準備中本月十五日から愈々其地域制が實施せられる事と成りました。そこで制定の趣旨を市民諸君に周知せしむる必要より宣傳の講演會を開催する事となり其準備に齷齪して居りました。かてゝ加へて頃日來ふと病氣に呻吟すると言ふ始末であります。而も原稿の締切も間近になると言ふ事で到底約束を果す事が出來ず誠に當惑したのであります。そこで當部の地域の方を擔當してゐる主任下淵定一君に大體を指示してものしたものが本稿であります。從つて內容等詳細に亘つて猶敷衍したい點も持つて居りますが上述の樣な理由で取敢ず本稿を締切つて送付した次第であります。從て文責は全く小生のもつ處であります。斯樣な意味に於て本稿に就ての御推讀を賜はらん事を一言附言して置きたいのであります。

昭和二年十一月十五記ス　於天下茶屋寓居　識者

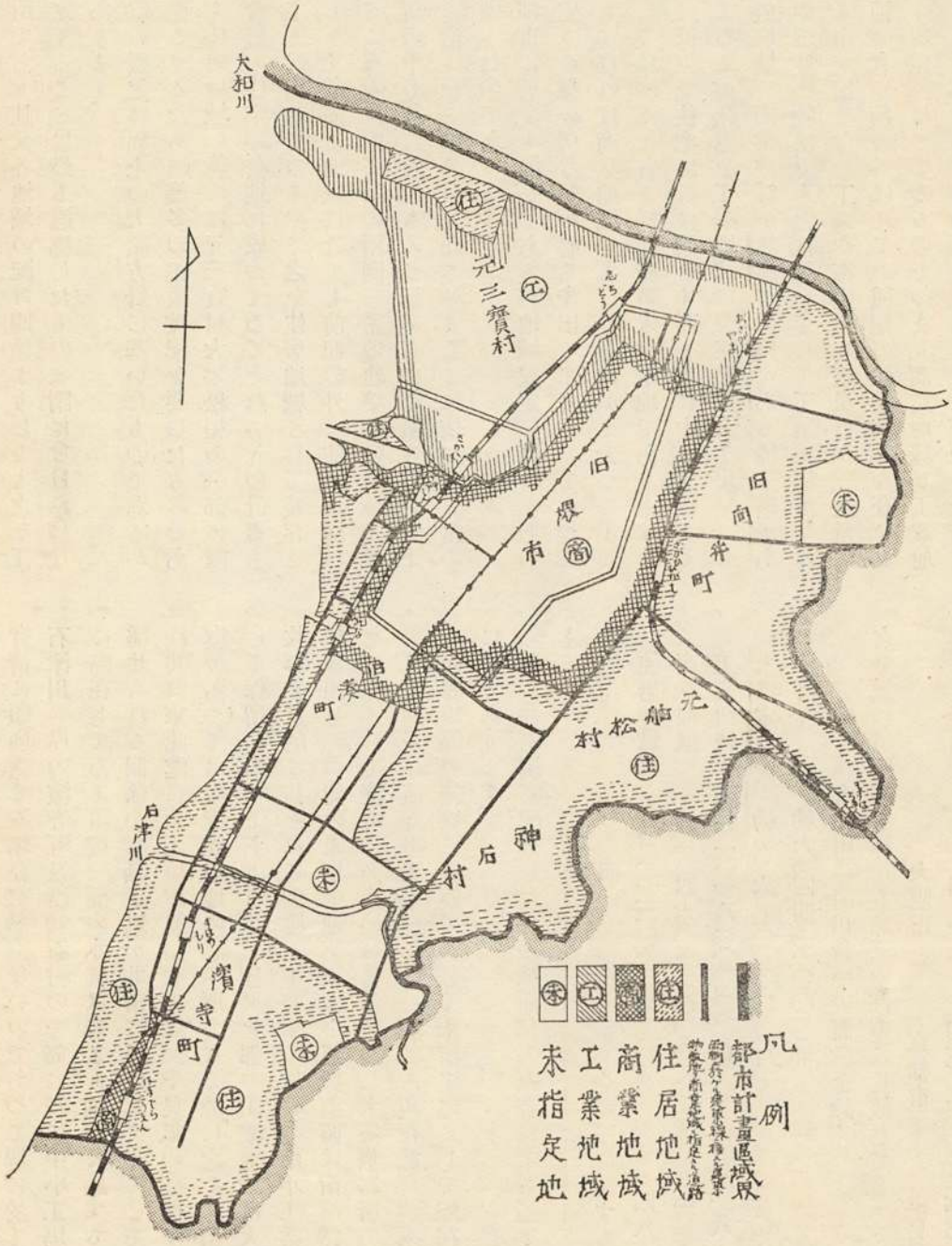
進と言ふ風に各地域が要望する所の特徴を遺憾なく發揮する事が出來る樣に其の位置並面積を撰定配分せなければならないのであります。故に地域の指定に際しては種々な點を考慮に入れなければなりません。地勢、氣象、水陸通運機關の狀勢其他各般に亘つての天然的並人爲的の條件を綜合斟酌すると共に亦都市の將來がどう言ふ風に進みつゝあるか、現在如何樣な發達を爲して來たかと言ふ事も充分考慮する必要があるのです。何れの都市に於ても地勢或は風土の關係に依つてそれ〴〵の特徴を有つて居ります、例ば東京市は現在は商工都市ではあるけれ共畏くも皇居の所在地であつて書猶炳霧に閉されると言ふ樣な將來は豫想されず寧ろ學究の徒の集るべき學問の都としての光輝ある將來を有つてゐるのであります。京都市の如きも平安朝の昔より山紫水明花の都として知られ又大阪市は東洋のマンチエスターと稱せられて日本經濟の中心勢力を把持してゐる都市であります。

其大大阪市に我が堺市は大和川を隔てゝ隣接してゐる都市であるから堺市將來の發達は大阪市に獨立して考へらるべきものでない事は明らかで地域設定に際しては此の點に充分の留意を拂ひ且又堺市には堺市としての特徴を有つてゐる事も能く尊重されたものであります。皆さんも御承知の樣に堺市は古來より刀物の名産地として知られ廣く全國に亘つての需用に應じてゐるのであります。と同じ樣に自轉車附屬品の製産額の多い事も全國に有數なもので從て之等の工場は彼地此地に點在してゐる許りでなく益々發展增加の傾向を示して堺市財源の重要素と成つてゐるのであるから將來之等の工場を保護し併て助成すると言ふ事が地域設定に際して最も考慮されたのであります。換言すれば堺將來の發達は之等中小工業に俟つ所が多いと言ふ考察目途がされた譯であります。

以上は一般的地域設定の要件と堺に於ける地域制立案の基準方針を述べたのであるが次に實際設定された地域がどんな模樣であるかに就てお話したいと思ひます。

今堺の狀態を觀ると市の中央部北は錦之町附近より南は舊市の大部分及び湊町を含む一圍地、東は向陽町、花田口町、瓦町、安井町に亘つての一圓の土地は平坦である許りでなく街衢も概ね整然としてゐて交通の便利も稍整ひ土地發達の現狀は已に商業地域に成つてゐるのであるから現況を保護する意味に於て之を商業地域に指定する事は論を俟たないのであります。次に市の東部香ヶ丘町、田出井町、三國ヶ丘町は舊向井町の緩傾斜地に成つてゐてそれより南へ元舳松村を經て神石村から濱寺町の東部に至る一帶の土地は高燥で見晴も良く尚其間には仁德、履仲、反正の諸陵が存在してゐるので自ら住居地域として撰ばれるべき所であります。又市の西部の大濱公園より出島町を經て濱寺町の西部に連る海邊一帶は土地は高くはないけれ共平濶閑雅であつて住家別莊の簇出する趨勢から考へても等しく之を住居地域に爲すには適切なものと認められます。尚て市の北部の七道附近には大和川染一所大阪織物株式會社、大日本セルロイド株式會社等亦西部の戎島には岸和田紡績株式會社堺分工場及び長崎紡織株式會社等何れも數千坪の敷地と使用職工數が千人以上にも及ぶ樣な大工場が存在して現狀は既に工場敷地として開發せられた所が多くそれより西方に續く元三寶村は土地が低濕で未だ建築物の敷地としての利用は多くはないけれ共地勢は平坦であつて

堺都市計畫地域圖


大和川
元三寶村
旧堺市
旧商業町
元船松村
神石村
石津川
濱寺町
凡例
都市計畫區域界
住居地域
商業地域
工業地域
未指定地

大阪灣に臨んでゐるので將來水陸通運機關を施設する上に於て容易な場所であり且又各地域の配置關係よりしても之を工業地域に撰定することは最も適應したものと謂はなければならないのであります。

地域の位置の撰定は如上の大體方針に基いたものであるが猶實情に順應させるために幾多の工夫按配を要したものであります。即ち住居地域に就ては元三寶村大字松屋の一部は阪海電鐵株式會社の住宅經營地に成つてゐてそれ〴〵の計畫もあり既に住宅も簇出してゐるので之を住居地域として殘存させたのであります。商業地域に就ても前記の外に住居地域內に存在するところの主要街路の兩側一帶の建築物の敷地と將來局部的商業の中心地に成るものと認められる濱寺町大字下の南海鐵道に沿ふた一部分を配在させることに依つて日常の利便享樂に備へたのであります。

扨何れの都市に於ても同じであるが地域設定に際して何の地域にも設定され難い樣な所が必らず出て來るものであつて住居地域でもなければ商業地域でもないそれかと云つて工業地域に指定しては困ると言ふ樣な所謂未指定地であります。例へば土地は低濕で住宅地には適せず而も現に中小工場が多數に存在してゐるが此處を工業地域に設定して大工場を許せば附近の住居地域や商業地域が迷惑する虞がある樣な所であります。市街地建築物法でも之は認めてゐて工業地域でなければ建築する事が出來ない工場や衞生上有害又は保安上危險の虞ある特種の倉庫類の外は凡ての種類の建築物の存在を妨げないと言ふ規定になつてゐるのでつまり商業地域と工業地域の間に位する性質を有つてゐるのであります。此の未指定地なるものを各地域の間に適宜配置することに依つて都市の實情に順應させる場合が尠くないのであつて堺に於ても南方石津川沿岸の濱寺町及び神石村の一部は既に中小工場が所々に點在してゐて附近一圓の水質は昔より晒布に適するものと稱せられる關係から晒工場が非常に發達してゐるのであるけれ共將來此處に大工場が簇出して煤煙や臭氣の發散する樣な虞があつては附近住宅地の忍ぶ所でなく故に之を未指定地として保留したのであります。且又北部の工業地域は大工場の收容を目的としそれに對應して將來に於ける中小工業の發展を豫想して前記の未指定地を東は小栗街道西は南海鐵道本線を境界として湊町の商業地域に迄延長し大阪刑務所の東側東雲町一圓及び濱寺町大字船尾の一小部も現在並に將來に於ける火葬場等の施設に鑑みて等しく未指定地として配在せしめたのであります。

斯くして撰定配分した各地域面積の割合は次の通りであります。

地域別	面積	全面積に對する百分比
住居地域	約三、一三〇、〇〇〇坪	四八・六
商業地域	約一、四六〇、〇〇〇坪	二二・七
工業地域	約一、一八〇、〇〇〇坪	一八・三
未指定地	約　六七〇、〇〇〇坪	一〇・四
計	約六、四四〇、〇〇〇坪	

備考　大和川の河川敷地の面積を除く

之を曩に指定せられたる二三の都市に比較して見ると

大阪市		京都市	神戸市
住居地域	三四・一	四三・九	六七・一

商業地域	一一・〇	二〇・二	一四・二
工業地域	三〇・二	二六・六	一三・四
未指定地	二四・七	九・三	五・三

堺の商業地域は獨り廣大なものであるが之は前述の様に堺將來の發達は中小工業に在りと言ふ方針に基ける結果であつて之等中小工業の代表的たる刀物及自轉車附屬品の製造工場は何れも商業地域に於て建築を許される性質の工場であります

我が邦の建築制限の性質は頗る寬容的であつて住宅は申すも及ばず商店事務所の如きも如何なる地域に存在しても妨げられないのであります。唯工場の類のみが其規模又は作業の性質に依つて工業地域内にのみに限られるものも有るが未指定地や商業地域でも存在することが出來るものも有り又家内工業の様な規模の小さな工場は更に住居地域でも存在することを妨げられないのであるから各地域は事實上に於ては各種建築物の混合所在地であります。故に之等の建築物が如何様な比例で以て各地域を飽和するかと言ふ推測は甚だ困難であつて從つて各地域の適確な所要面積を算出することは到底不可能ではあるが現在市街地に於ける建築物用途の狀態にも照し亦一面には商工都市としての將來を考慮して上述の様に各地域の配分は決定されたものであります。

左に各地域面積の將來に於ける包容力を考察するの參考に供した推定を述べます。

堺都市計畫區域内に於ける從來の人口增加の趨勢に依つて將來を豫想すると三十年後には人口は約十九萬人に達するのであります。而して近年市部に編入された元湊町・元向井町元舳松村・元三寶村等は其發達の狀勢は舊市内とは著く異てゐる故將來の人口密度を豫想するに當つて之を舊市内と同様に見るのは稍妥當を缺く憾があるから之を暫く郊外と見做て三十年後の市内に於ける飽和密度を一人當り十四坪と豫定すると郊外の密度は一人當り約五十坪となつて將來區域内の人口密度としては稍適當なものと思考せられたが故に地域の指定に際しては約三十年後を其考察の目途としたものであります。

先づ工業地域に付て考察すれば我が邦の工場統計が稍整備される様になつたのは工場法の施行以來であつて其間は僅に數年に過ぎないから大正六年以來の工場法及大阪府工場取締規則適用工場と明治四十三年以來の之に該當する所の工場の累年增加の趨勢を見たのであつて統計の正確は期し難いけれ共其の大勢は知る事が出來たのであります。

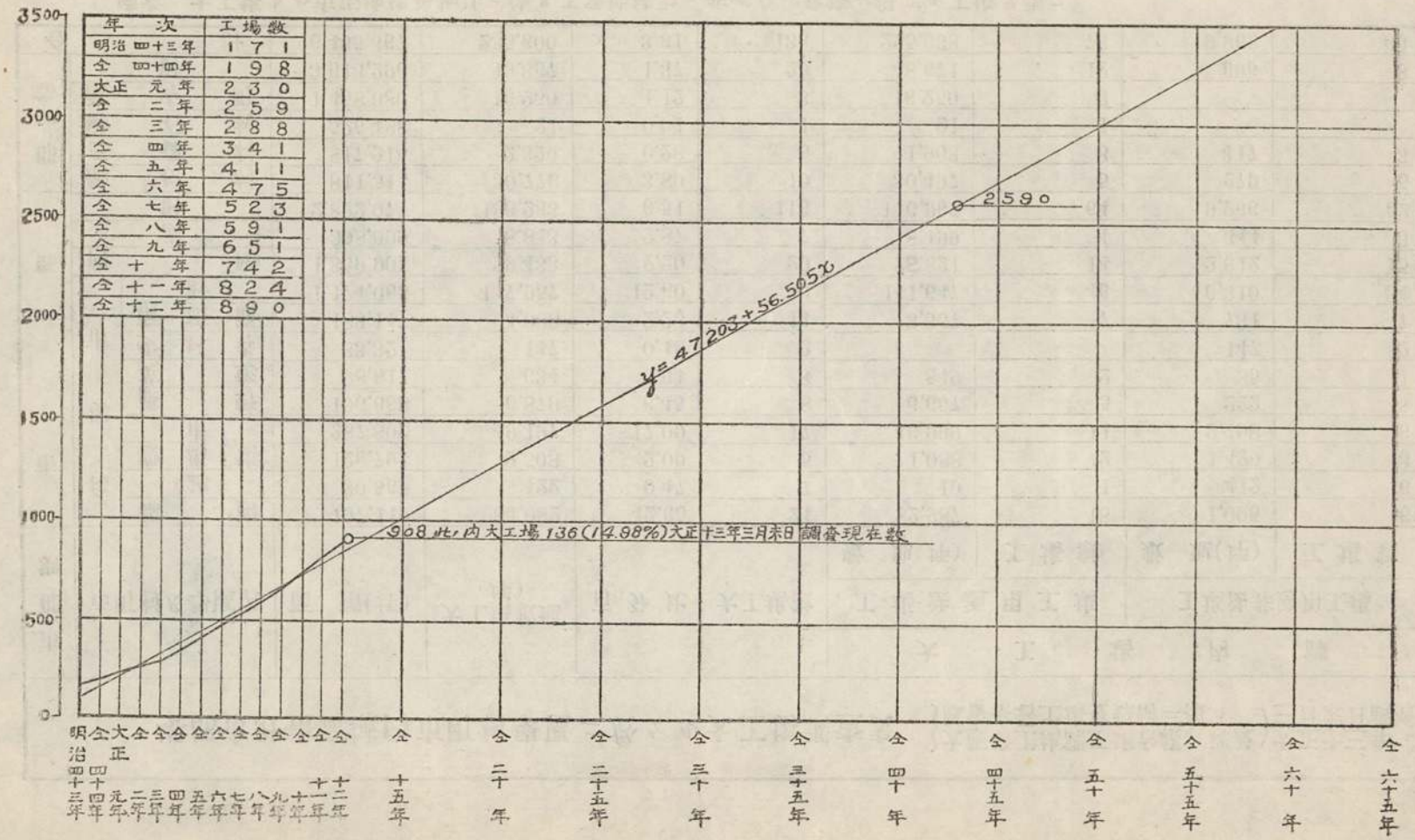
即ち過去十四年間の趨勢に基いて今後も等しく增加するものと假定すると昭和二十九年には工場法適用工場及大阪府工場取締規則適用工場の數は約二千五百九十に達するのであります。此等の工場の内市街地建築物法に依つて工業地域内でなければ建築する事の出來ない大工場（市街地建築物法施行令第三條に揭げられたる工場であつて假に大工場と稱します以下同斷）の數は大正十三年三月現在に於ては百三十六あつて全工場數の約十五％に相當し其敷地面積の平均は約一千七百坪と成つてゐるが將來に於ても斯の様な比率であり且又其地面積の平均も同様と假定すると昭和二十九年には大工場數は約三百八十九に增加して其敷地面積の總計は六十六萬一千坪を要する事になるのであります。然し乍ら前記の百三十六の大工場の内には四個の煉瓦工場が含まれてゐて其平均敷地

堺都市計畫區域內工場累年調査表

（大阪府工場課工場台帳、堺及鳳警察署工場登錄簿ニ依ル）

年次	市郡別	工場數			職工數	敷地坪數
		原動機ヲ有スルモノ	原動機ヲ有セサルモノ	合計		
明治四十三年	市部	46	98	144	6,097	123,708.90
	郡部	10	17	27	445	34,470.60
	合計	56	115	171	6,542	158,179.50
明治四十四年	市部	53	115	168	6,485	130,821.20
	郡部	10	20	30	536	35,415.20
	合計	63	135	198	7,021	166,236.40
大正元年	市部	62	133	195	6,835	134,351.30
	郡部	12	23	35	1,858	49,573.70
	合計	74	156	230	8,693	183,925.00
大正二年	市部	82	143	225	7,095	137,301.80
	郡部	11	23	34	1,831	49,395.60
	合計	93	166	259	8,926	186,697.40
大正三年	市部	91	160	251	7,313	140,218.50
	郡部	12	25	37	1,838	49,760.90
	合計	103	185	288	9,151	189,979.40
大正四年	市部	118	174	292	8,660	143,953.10
	郡部	20	29	49	1,969	52,257.90
	合計	138	203	341	10,629	196,211.00
大正五年	市部	150	199	349	9,793	153,534.10
	郡部	29	33	62	2,087	53,863.10
	合計	179	232	411	11,880	207,397.20
大正六年	市部	188	211	399	10,830	167,498.10
	郡部	37	39	76	2,380	60,793.30
	合計	225	250	475	13,210	228,291.40
大正七年	市部	215	235	450	12,005	183,838.70
	郡部	37	36	73	2,290	62,377.20
	合計	252	271	523	14,295	246,215.90
大正八年	市部	240	274	514	12,522	189,815.10
	郡部	42	35	77	2,333	62,726.60
	合計	282	309	591	14,855	252,541.70
大正九年	市部	266	300	566	15,208	210,263.70
	郡部	42	43	85	2,404	64,583.40
	合計	308	343	651	17,612	274,847.10
大正十年	市部	327	320	647	16,694	214,408.40
	郡部	48	47	95	2,413	64,207.00
	合計	375	367	742	19,107	278,615.40
大正十一年	市部	388	342	730	17,155	214,523.10
	郡部	54	40	94	2,889	63,822.70
	合計	442	382	824	20,044	278,345.80
大正十二年	市部	432	359	791	16,888	216,728.80
	郡部	60	39	99	2,935	63,975.30
	合計	492	398	890	19,823	280,704.10

堺都市計畫區域內工場數增加圖表



年次	工場數
明治四十三年	171
仝四十四年	198
大正元年	230
仝二年	259
仝三年	288
仝四年	341
仝五年	411
仝六年	475
仝七年	523
仝八年	591
仝九年	651
仝十年	742
仝十一年	824
仝十二年	890

堺都市計畫區域內市町村學區ニ於ケル大工場調査表

（大阪府工場課工場台帳、堺及鳳警察署工場登錄簿ニ據ル）　大正十三年三月末日調査

市郡別	市町村及學區名		面積(坪)	大工場敷地(坪)	百分比	大工場數	大工場内譯			
							工場法適用工場		工場法非適用工場	
							敷地(坪)	工場數	敷地(坪)	工場數
市部	舊堺市	錦西	197,149	84,082	42.65	24	82,987	18	1,095	6
		錦	90,567	422	0.47	7	10	1	412	6
		殿馬場	126,794	2,508	2.00	5	1,088	2	1,420	3
		市	287,802	49,197	17.09	17	46,999	11	2,198	6
		熊野	106,668	6,879	6.45	8	6,657	5	222	3
		英彰	98,617	634	0.64	3	549	2	85	1
		少林寺	83,321	147	0.18	2			147	2
		南旅籠	183,147	4,088	2.23	14	3,357	7	731	7
		計	1,174,065	147,957	12.60	80	141,647	46	6,310	34
	向陽		1,339,907	29,433	2.20	29	26,821	14	2,612	15
	湊		308,099	8,843	2.87	7	8,499	4	344	3
	計		2,822,071	186,233	6.51	116	176,967	64	9,266	52
郡部	舳松村		811,514	30,776	3.80	10	30,497	5	279	5
	三寶村		817,214	2,320	0.28	6	1,903	3	417	3
	神石村		526,488	21	0.01	1	21	1		
	濱寺町		1,458,080	16,250	1.12	3	16,250	3		
	計		3,613,296	49,367	1.37	20	48,671	12	696	8
合計			6,435,367	235,600	3.61	136	225,638	76	9,962	60

備考　大工場トハ市街地建築物法ニ依リ工業地域内ニ非ザレバ建築シ得ザル工場ヲ謂フ

堺都市計畫區域內(市町村學區ニ於ケル)面積、人口竝人口密度表

市郡別	市町村及學區別		面積(坪)	人口	人口密度(坪/人)
市部	舊堺市	錦西	197,149	9,802	20
		錦	90,567	7,602	12
		殿馬場	126,794	8,950	15
		市	287,802	10,799	27
		熊野	106,668	8,891	12
		英彰	98,617	6,587	15
		少林寺	83,321	6,031	14
		南旅籠	183,147	11,220	17
		計	1,174,065	70,258	17
	向陽		1,339,907	17,076	78
	湊		308,099	9,510	32
	舊舳松村		811,514	6,131	132
	計		3,633,585	102,975	35
郡部	三寶村		817,214	4,169	196
	神石村		526,488	2,575	204
	濱寺町		1,458,080	12,449	117
	計		2,801,782	19,193	146
合計			6,435,367	122,168	53

備考　面積ハ參謀本部一萬分之一地圖ニ依リプラニメーターニテ測定シ大和川ノ河川敷地ノ面積ヲ除ク
人口ハ大正十四年十月一日國勢調査ニ依リ舊堺市人口計ニ水面人口376人ヲ加算セリ

面積は一萬二千坪を超過する様な工場であるから之を將來の工場敷地面積を推定する規準に採擇するのは工場の種類に鑑みて果して妥當であるかは疑はれる次第であるから假に之等の四個の煉瓦工場を除外して殘餘の百三十二の大工場に就て考へて見ると其敷地面積の平均は約一千四百坪と成り之を將來に於ける大工場の平均敷地面積と假定すれば昭和二十九年には大工場數は三百七十に達し敷地面積は總計　五十一萬八千坪を要する事に成ります。之は將來工業地域内に必らず包容されねばならない大工場に就ての推測ではあるけれ共我が邦地域制の規定に依ると工業地域は無制限地域であつて此の他に中小工場や住宅商店等が混合所在することを妨げられないから將來吾工業地域がどの程度迄大工場を以て飽和されるかは猶將來の産業組織の變化や水陸運輸機關等工業地域として必要な各種の施設の充實するのとせないのとに因つて支配せられるものであるけれ共現在堺市に於て代表的の工業地と認めらるべき錦學區は總面積の四十三%迄大工場を以て飽和されてゐると言ふ例證に據つて假りに四十%を其の飽和の域に達するものと假定すると全工業地域の所要面積は約百、二十九萬五千坪と成つて稍豫想した面積に類似するのであります。

次に商業地域に就ては其比較と爲すべき建築物の用途が多種に亘つてゐて而も其主體に成るべき商店は住宅と兼用されてゐるものが多く今後三十年の將來に於ても各種建築物用途の間に截然とした區別を附するが様な事は豫想が出來ず從て商業地域面積の將來の包容力を推定する基準の擇定は困難であるから各地域に對して人口の包容力を推算して以て商業地域並住居地域の規模を考へ併て工業地域及未指定地に於ける人口分布の狀態を考察したものであります。

前記の都市計畫區域内に於ける包容人口の算定に於て市内の飽和密度を一人當り十四坪、郊外の密度を一人當り五十坪と豫定したのであるが各地域別に據ると多少密度の差異を見るのは當然であつて商業地域は其大部分が市内に屬してゐるので假に其人口飽和密度を一人當り十五坪とし、工業地域の密度を四十坪、未指定地の部分も之に準ずるものとすると住居地域の密度は昭和二十九年に於ての都市計畫區域内の豫想人口の總數十九萬人に達すると言ふ推算に基くと一人當り六十六坪四合となるのであります。此の標準に據つて地域設定後に於ける各地域に就ての人口分布の狀態は左の如くに豫想されたのであります。

地域別	面積(坪)	居住人口	密度(坪・人)
住居地域	三、一三〇、〇〇〇	四七、〇〇〇	六六・四
商業地域	一、四五〇、〇〇〇	九六、七〇〇	一五・〇
工業地域	一、一八〇、〇〇〇	二九、五〇〇	四〇・〇
未指定地	六七〇、〇〇〇	一六、八〇〇	四〇・〇
計	六、四四〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	三三・九

以上は設定された地域が如何なる模様であるかに就て述べたのであるが次に其經過を記して終に致します。

堺に於て如何に住居、商業及工業地域を配置すべきかに就ては既に大正十三年頃から基礎的調査に着手してゐたのであります。其方法及順序に關しては概略内務省並都市計畫大阪地方委員會の指示に從へるものであるが地域設定の効果は市街地建築物法の施行に依つて決定されるものなるが故に基礎

的調査は專ら地域制に依る市街地建築物法の制限を主としたものであつて該法に於て最も重要視されてゐる工場に付ては亦最も入念に調査を爲したものであります。即ち大阪府工場課工場臺帳及堺、鳳警察署工場名錄簿に依つて工場法並大阪府工場取締規則適用工場の內堺都市計畫區域內のものゝみを拔萃して工場各般調査の基礎臺帳と爲し更にカードを作製して地域別に分類して工場の分布圖を作り又各種の統計表を調へ尙明治四十三年以降の工場增加率を調査して將來に於ける增加趨勢の基準としたのであります。と同樣に建物用途別現況調査にも約半歲に近き時日を要して實地踏査の上相當精細なる分布圖を作製し特に市街地建築物法に依つて制限せられる特種建物に付ては適宜必要なる調査書と圖面を作製して其の分布狀態を明にしたのであります。又大阪府令に依つて六十尺以上の煙突を有する作業場は住居地域及商業地域に建築することが出來ない故に亦其分布圖を作製し風向並風速度に關しては適當なる調査機關の施設はなく從て統計表の記錄がないから大阪市のものを參考とし其他市場、銀行、會社、重要商店も市街地建築物法に依る制限を受けない建物と雖商業地域設定に關して顧慮されるもの、土地經營會社の如くに住居地域設定に際して參考となるべきものも適宜調査を爲したものであります。

前記の調査は何れも實地調査を主とせるもので大正十三年四月より大正十四年七月に至る迄約十四ケ月間の時日を要して其結果市當局と都市計畫大阪地方委員と打合せて地域草案が作製されたのであります。茲に於て堺市撰出都市計畫委員は再三協議會を開きて審議し且又關係町村にも計るところがあつて多少の訂正は見たが同年九月成案を得て必要なる關係圖書の作製に從事したのであります。

關係圖書の內最も苦心と時日を要したものは「町村及大字境界圖」の作製であつて堺市內は土木課保管の地籍圖及び稅務署地籍圖を參考として特に地域の境界となるべき箇所に付ては地主立會の實地調査を爲して境界を明かにし又郡部は町村役場保管の地籍圖に據る外更に公文を以て紹介して其の回答を相對照し相違せる部分に付ては之亦町村立會の上決定せる等苦心して正確を期したものであります。故に之等關係圖書の作製にも相當の時日を要したものであるが愈々大正十五年七月大阪府知事より內務大臣に內申するの運びに至つたもので內務省當局に於ても各般の施設計畫と相俟て愼重審議するの必要より時日を閱して昭和二年七月五日原案は都市計畫大阪地方委員會に附議され茲に於て都市計畫大阪地方委員會長は八月二十七日常務委員を招集して意見を聽き續いて九月二日本會議が開會されたのであつたが滿場一致贊同の議決を得て十日二十七日內閣の認可となり十一月一日の官報を以て十一月十五日より施行されることに成つたのであります。

コンクリート建築と住宅の問題

九大教授 工學博士 吉田德次郎

人口の增加

に伴ふて近年我國では住宅の問題が頻りに論ぜられるようになつてきた。併し人口增加に伴ふて住宅の問題が起るのは自然の趨勢で別に奇異に思ふ性質のものではないがこれを實際に就て考へて見ると住宅といふことは人間の生活樣式を形作つてゐる大きな要素であるだけ、問題としては實に大きなものと言はなければならぬ。

將來の人間は鐵とコンクリートとの中で生活するといふ言葉はよく聞くが、これは妄想でもなければ空想でもない。近年頻りに建ち並んで行く大建築物を見ても分るように、どれも皆コンクリート作りの建物ばかりになつてゐる。殊に土一升金一升の都會では地面を廣く擁することは將來益々困難になつてゆかうとしてゐるので其の建築物は孰れも空間を利用した四層建五層建のコンクリート建のものばかりになつて來た。

從來は木造

以外の大きな建築物と云へば花崗石か煉瓦か材料として用ゐられてゐた。この種の材料を使用した建築物は皆外觀が美しく莊麗であるが、これ等の材料は皆コンクリートに較べると値段が高いのと手間を非常に要するのと更に煉瓦の如きは五層六層建となれば壁を非常に分厚く拵へなければ危險であるので近年煉瓦作りの建築物は次第に影を滅してゆく傾向になつた。花崗石の建築は古來幾千年間に幾度か作られたのでこの材料を使つた建築物には構造や樣式が實に美事なものが多い。併しこうした建築物を現在作る爲めには莫大な金と時間とを要するので實際の役には餘り立たなくなつた

鐵筋混合土

建も此頃こそ其處も此處も澤山建ち並んで來たがこんなに盛んになつたのも單に經濟的の點ばかりでなく、一つは鐵筋混合土の發明と其の進歩とに負ふ所が多いのである。

鐵筋混合土の發明

鐵筋混合土の發明は古いことで日本で始めてこれが使用されてから未だ三十年とはなつてゐない。材料のセメントが創めて出來たのが恰度今から百二年の昔である。だから同じコンクリート建築物でも千九百年代に出來たものは實に幼稚なものが多い。鐵筋コンクリートは此のように極めて近年に屬する建築物である爲め幾千年の昔から工夫された他の花崗石や煉瓦作りのものから見ると未だ殺風景なものが多いのは止むを得ぬことである。しかしこの種の建築物が未だ殺風景なのは時間の問題で將來この方面に就て深く研究が行はれれば他の材料のものに劣らぬ見榮えのするものが出來ないとは言へぬ。現に鐵筋コンクリートでも金を少し餘計にかくればコンクリートの露出した部分にタイルや花崗石材或は大理石等で張りつめた優美なものが澤山出來てゐる。併し私は材料に金をかけずしてコンクリートの材料のみで優美な外觀を保てるような工夫を欲してゐるのである。しかし日本に於ける鐵筋コンクリート建て皆大建築に限られてゐるが將來は個人の住宅にもこれが應用されることになると想ふ。即ち日本住宅の唯一の材料である

木材は將來

材料難に逢着することはわかりきつた事だし又火事や地震に對して安價で得られる鐵筋コンクリートが火事や地震に對しても安全であるのにこれを未だ小住宅に應用してゐないのは、そうした方面に就て未だ專門的に研究する者がゐないのと請負する人達も利益等の關係から餘り喜んで建ててくれぬ從つて個人が小住宅を作らうとしても其處いらの大工を頼むように簡單に行かぬので價値は認められても其の發達は阻害された形ちになつたものとも思はれる。

これに就い

て私はこんな事を考案してみた。即ち全國の大都市を擇び政府の出資で其の土地の氣候風土に適するような建方をした鐵筋コンクリートの小住宅を二三個宛作り誰人かがこれにすんで實際の生活に支障を來すところや其他の惡いところを指示して改善を加へ四五年も經れば一つの理想に近いものが完成するのでこれを原型にしたコンクリートの型板に代用すべき鐵の型板を作り、これによつてそれ〴〵の都市の大量生産的に同一の型の家を作れば極めて安價に住宅を設ける事が出來ると想ふ、こうした鐵筋コンクリート作りの家が軒を並べて都會を埋めることが出來れば火事の憂ひは勿論ないのみならず例令飛行機等の襲來をうけても怖るゝ程でもない。日本で東京、大阪、名古屋、神戸、京都等の大都會が若し飛行機等の襲來で灰燼に歸したら日本は心臟を引き拔かれたも同じことになるだらう金にあかして住宅を作る人達は又別だが普通の階級の人々にとりては安價で容易に住宅を設けることが出來ればこれに越した事はない筈である。

木造建築物

は普通百年間位が使用に耐へ得るものとされてゐるが其の間に木造建築物は風雨や其他の原因に依る修繕が必要になつてゐる又白蟻などの爲めに喰ひ荒されることもあるが鐵筋コンクリートは百年位は堅牢で修繕なしに我々二三代は充分に住むことが出來る唯鐵筋コンクリートは木造家屋の濡れ縁で築山の石を眺める風情等に乏しくなるが日本人の從來から行はれて來た生活樣式は實用本位から次第に改善されて行くので我々の家族が鐵筋コンクリートの中に集まつて晩餐を共にすることも時代が移れば稀らしいものではあるまい。（談）



完成され行く都計工事　（末吉橋）　此橋は寫眞で見る如く安綿橋とかれの手に架せられてあります

末吉橋工事概要

位置　長堀路線――東横堀川に架す

設計監督　大阪市都市計畫部技術課

起工　大正十五年四月二日

竣工　昭和二年十一月十四日

工事請負人　株式會社大林組

總工費　金參拾萬六千圓也

意匠　鐵筋コンクリート橋としての特徴を表す瀟洒な外觀を呈し燈柱其他に裝飾を施し全體を引締め且つ東洋的色彩を多分に取入れたり

構造　上路鐵筋コンクリート拱

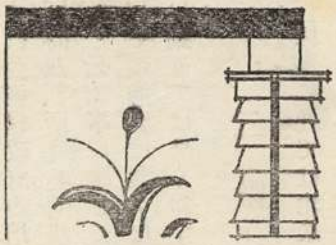
渡長　四一米六五

幅員　拾五間

面積　三四三坪六一二五

經間數　三、

開通式　昭和二年十一月三日



都市美と法律

溝江五月

はしがき

都市の美觀と云ふ問題はこの十年來非常に喧しく論議されて居るがこれは單り我日本に於てのみの現象で無く盛米共に都市研究者間に攻究されて居る。ニューマン、エフ、ベーカー氏の近著リーガルアスペクト、オブ、ゾーニング（地域制度の法律的考察）の第一章には米國が都市美を如何に論及して居るかが述べてあるのでこれを飜譯して見たのであるがあまり大部になるのでその内から重な點を抽き出してこゝに叙した次第である。米國の法律にては大低の事件は裁判の判決により決定さるるのでこの邊の事が我國の法律萬能とは大分趣を異にして居る事を附け加へおく。

目次

一　都市狀態の變遷
二　歐洲に於ける都市美
三　都市美と土地收用法
四　都市美と課稅
五　市有土地に及ぶ美の進展
六　美の向上と警察權の適用
七　廣告揭示板統一
以上

一　都市狀態の變遷

都市に於ける時代變遷を觀るに、一九二〇年に米國民の五一、四パーセントは都市住民であつてそれ以後の六ケ年に於てもこの集中傾向は漸次增加の步調を進めて居る。次の世紀に於ては一千二百萬若しくは一千五百萬の人口を有する都市が出現する可能性を有し而かもその限度に對しては何人と雖も豫測は出來無い。米國の都市のかく急激の發展は國民の保健に於て多くの關聯を持ち來たした事は云ふ迄も無い。都市計畫と地域制度運動の過去十個年間に頻しく起つたのも混淆の將來と無定見の市政に對しての救濟に外ならぬ。人口の都市集中によりて多くの重大問題は生じ、下水排泄、交通輻輳住宅狀態、人種混淆、公衆保健等皆論題となつた。社會的狀態も變化して家庭的生活はアパートメント生活となり家庭に於ける食事はレストラントにて認めらるゝ型式とはなつた。今日の社會に於ては吾等が希望すると否とに係はらず隣人との共同生活の綺絆を脫する事は出來無い。吾等は都市にては

不純とか非衛生と云ふ理由で飲料用の井戸を勝手に堀る事も出來無いし、隣人の不平と非難から吾等の窓の外へ茶椀の水を捨つる事も出來ぬ。吾等は上水道の一部、下水道の一端、燈火の一燭も共同的に所有を餘儀なくさせらるゝのである。法律は都市生活の時勢に從つて變遷する、公衆衞生、保安、風紀の爲めに警察權の下に多くの法律の發布されたのを見る然し都市の美と云ふ立場から法律の確定的のものを見ない、美の向上を曾ては奢侈と見做して居た、若し家屋所有者がその邸内の美を欲した場合にはそれは單に彼一個の事柄であると同時に彼の隣人が汚たなき住宅に住んで庭を雜草の繁茂に委すとするも法律によりてこれを禁止する事は出來無かつた然るに社會團體が散在して存在した限り美は各個に關する事であるとしても人口の集合と社會共同生活を營む以上都市美も亦社會共同の關聯すべき事であるとさるゝに至つた。

美に對する觀念は吾等の學校に於ての講義に日々與へられて居る。博物館の建設とか魅力ある公共建築物には都市美の發現を助けて居る、而して都市に於て美觀は物的價値、經濟價値と同樣美觀價値を持つのである。これは歐洲に於て認められ藝術は政府の培養された注意の下に永年保護されて居る近時裁判所は美的觀念を含む多くの都市條例に注目を喚起し美と云ふ事に關して古い觀念は漸次に變化して來たのであるがその進展は遲々たるものであり而かも都市美觀と云ふ汎野に到りては全く爲す無き有樣である。

二　歐州に於ける都市美

歐洲に於ては北米合衆國に於けるよりもより以上の都市美の發展を見る、こは歐洲諸國の多くの都市が古代的であつて多くの藝術を有しその美を享樂する事に因る。歐洲諸國のこの發展は行政的に分割された合衆國よりも發達の可能性は明かである。自由と權利の保有は殖民時代より米國人に親しきもので聯盟の基礎確立の後一世紀間は行政權の集中、强大とは危險を嚮すものとして危惧されたのである。

英國にては一九一三年に發布された「古代記念物整理法」により美の保存は努められた。佛蘭西にては彼國に有する藝術上の寶物と自然の美を保護する爲めに常に努力して來たのである。一九一三年の『歷史的記念物に關する法律』は記念財産物の分類を施行し州會の決議によりて美術大臣によりて保管さるゝ事を示した。この法律は記念物の移轉、修繕、賣買等を統一し且つ美術大臣はこれ等分類され、等級を與へられたる土地に對して收用權を與へられて居る。永年に亘りて獨逸聯邦は都市美に對して條例を有して居た、これ等の法律は公衆の場所の醜狀を禁ずる爲めに通過されたもので特定地域に於ける建築物の美觀は要求され且つ外界の廣告の醜態は禁壓されたのである。瑞西、墺利亞も亦獨逸に準じて居る。拾五世紀以來伊太利は藝術美の保護に盡くし日本國さえも天然勝地歷史記念物に對して保護するの法律を有して居るのである。

三　都市美と土地收用法

土地收用權を以て都市の美裝目的の爲めに私有財産を收用する事が多くの州に遂行されはじめた、ニコラス氏曰く、以前より公共の金帑は公共建築物に投ぜられて居る、米國

の法制の下に國家も州も都市も記念館、記念碑、記念像及公共建築物の計畫には常に利用一點張と云ふ設計より以上の經費を投ずる事の妥當であると考へられて居た。民衆の意志は美觀表現と藝術美を觀賞する樣に敎育されて、これ等の公共の金錢の投資をも怪しまぬのである。收用法の美裝目的に及ぼすのはこの觀念が單に一步を進めたのに過ぎない。

一八三六年のニューヨークの判決にては公共街路に轉用の目的にて民有土地を各個人から收用し補償金は隣接地帶の所有者に賦課する事を得ると認められた。一八五六年ベルモント町よりの選出人は市廳舍と裁判所附近の私所地に道路を敷設した。一般道路が單に若しくは主として裝飾的の目的により敷設し得べからざるの原則を超越してその道路は是等公共建築物の美觀を一層發揮するものとして承認された。ヒッギンソン對ネーハントの係爭に於て、收用法の適用により敷設された道路の效力に關し『道路は商業貿易の目的とせず又他の主なる連絡地域に關連するものにあらざるとも快適なる自然風光地へ公共の使用に敷設されたるものはその價値充分なり』と判決された。ニューヨークの法律はブルークリン大通の一部分に兩側とも二十呎の帶地を設備すべき事を規定して居る、この帶地はこの街路の利益と改良との見地の外美觀的のコートヤードとして保存されたものでその判決文に曰く、

街路の總ての部分が諸車の交通と步行者のために使用さるゝ事が絕對的の必要に非ず、それが美的趣味、快適、衛生及び一般の便利に關してであれば差支無い。若し市政者にしてクリントン大通にこの法律を準用し街路の中心地帶に四十呎の空地を設定して多くの都市の如く樹木、花卉等を培えるとせばそは一般公用の公園を設置すると同じ意味から問題は無い。

假令都市は街路上の交通を統御する權能を有すとは雖も廣路に沿ふ私有財產の任意の整理をなす事は出來無い、ミゾーリの法律はセントルイス市が土地收用の豫告と土地所有者に前以て通告する事なしに廣路の建築線を設定せる權限を違法であると判決した。

コロラドの裁判に於て、そこにある美しき小溪流や高價な植物がカスケードキャニオンの利用に對し避暑地として利用價値あると認めらるゝや否やの問題に到達した時裁判所は原告に對する辯護士の言を採用した。

吾等は避暑地を設定する事が一つの効用價値ありと云ひ得る。自然的美觀地域を設定する爲めに投資して一般公共が享樂する事が公共利益でありとせざるや、而してこれが公衆衛生、快壯の範圍とせざるや、一枚の麻布が天幕としてのみ價値ありて油繪の下地としては價値なしとするや、一塊の石材が堰堤の壁體として使用さるゝ場合に利用價値ありて肖像の一片として曲線體に刻まる場合には効用なきものなるや、自然觀賞とか保健、享樂、快適とかは金にて勘定し得ざるが故に價値なしとするや、單純の商業的のものを除いては効用價値無しとするや。

公園や運動場は都市へは直接財政的の報酬を齎らさ無いとは云へ効用價値がある。國會の法律はコロンビア區内に娛樂運動場として一地域を保有することを認めた。裁判官シラス氏曰く

現存する吾等人類の記憶に於て所有者の承諾なしに私有土地を公共公園として收用し然かもその費用を公園設定により特別利益を享受した隣接土地へ賦課する事は法律權能の新らしい企である……

カンサス市對ベーコンの訴訟に於て都市は公園としての用途の爲めに二百エーカーの土地を收用し、これに要する費用を一般租稅によらずして受益區域内の課稅によりて支出し得ることが正當であるとの判決を得た。これはセシトポール市と地方裁判所の係爭に於て判事キャンテー氏の判決に準じたものである。

一個の公園の設定に際して一般の利益は都市全體として受けるが又公園を設定された特定地域に於ける特別の利益は認められるべきである。特別受益の實量は各地域により決定され然かも課稅は受益量を超過すべからざるものである。と云ふて公園の設置は公共利益であるから收用法の適用は差支無い。

地方裁判所對グリスウォールドの訴訟に於てセントポール市が收用法の適用によりてフォレスト公園の設定に際し都市境界外の土地をも併せて收用し得らるゝの判決を得た。裁判所の曰く

私有土地は廣汎の意味に於て公共一般用途の爲めには收用し得るのであつて局部的の市域の内外であるとか公園であるとかを問ふ必要が無い。

公共的用途と云ふ事が唱道さるゝ時に公共的用途の法律的見解が疑問とされる。これに對してオルムステッド對キャンプの訴訟にて裁判所の曰く、

この疑問は最も適切で且つ妥當である。則ち公共用途と私的用途との間に存する嚴格なる區別は何であるか。然しその性質として實際に於てこの間の明確なる區別は與へ難い收用法の力は社會的狀態の進歩、變革につれて自由裁量し得らるゝものである。これは冷靜にして且つ不偏の裁判官の正確なる判斷によるべきであり行政も亦かくされべきものである。

この問題に對する二つの判決が例示としてあげられて居るフェリスト鋼鐵會社對ブリッヂポート及びブニアン對パリシエード州立公園委員の係爭である。前者の係爭の主目は港灣線がその附近にある高價な而かも立派の外見を具へて居る橋梁の眺望を兩側の建築物によりて障害されざる位置に決定さるべき事であつたが然し收用法を適用し得る一般公共的のもので無いとされた。後者はニューヨークの法律に於て知るパリシエード州立公園の設立に關してゞあるがハドソン河のパリシエード竝に隣接の公園に沿ふ石材採取場の收用に關し河川及公園の自然美を保存する目的で石材採取の結果が無秩序の地形を構成して一般用途としては可なるも公園としては不適當であるからと云ふ理由であつた。裁判所は石材取場を閉鎖して自然の風光を一層よくする爲め石材取場に附屬する障礙物を撤去して一般公共の用途に適當なる樣にすべしと判決した。

一つの用途が公共的であると云ふ見解に關して物質的の必要を以て云々すべきで無く、公共の滿足と藝術的觀賞と一般の安易、快適の供給力によるものである。ニコラス曰く

從來は土地の收用として單に公共の必要又は重大なる目的

の用途にのみ認められて公共の快適又は美的惠澤の爲めには適用されずと思考された。然しこの玉條もある部分は一般の默許とある點は法の決定によりて侵され今や物質的利益が無くとも公共の性質を帶びるものに對しても亦收用法の適用の可能性を認めらるゝ事になつた。

四　都市美と課稅

尨大なる額の一般租稅は美の發展に使費されて居る、吾等は行政者が法規によりて個々の制限內に於て課稅する事の權限を認むる、これは公共の目的より一步を出づれば越權と見做さるゝは論を俟たない。若し課稅權が私人の利益のため又は私人の用途若しくは事業を助くる爲めに行使さるゝとせば合法課稅と云ふ事は出來無い。土地收用法の場合に收用は公正に公衆の用途に對し適用される、公共の公園、運動場、展覽會場、美術館等の建設の爲めに金策が立てられし時には公衆の目的であるとして課稅權は支持される。公共の建築物は美化され公道は飾られ街路は美しく築造され紀念碑や記念像は公共の金帑にて設立された、これ等の議案は一般に正當であるとして認容される。

キングマン對ブロックトンの訴訟にてマサチユセッツの法律はブロットン市が南北戰爭の戰士並に海員の記念碑を建立する爲めにいくらかの公共金帑を支出する事が一般の目的に叶ふとして判決された。裁判所の曰く

斯かる記念物の建立を一般租稅による金帑により支出さるゝ事は記念碑記念像、門、公式儀禮、都市歷史の發揚、公園、自然風光地點に到達する道路、公衆建築物上に於ける裝飾又は美裝、公衆保安に對する設計、清淨なる戶外快適設備、公衆の敎育又は追憶に對すると同じ意味合で爲され得る。かゝる目的に公共の金帑を費ふ事は合理的であつて多くの法律により承認されて居るが今この條例が通過さるゝ事は行政者の公法的權限を認め得るものである。

佛蘭西にては市政當局者が特定の期限內に最もよき正面容姿を整へた建築物に對して賞與を賦す事を提出した、巴里市に於ては每年『正面容姿審判』或は建築家又は設計家の競技が市會により決議された、六軒の最もよき家の所有者は市稅のあるものゝ半額を免除され而して各家の建築士には賞牌を與へらるゝのである。

この見地からの法律はウキスコンシン州にても通過して建築設計局が設けられ公私の建築物が系統ある優良の設計の下に計畫さるゝ場合にはこの局はある種の保護、補償を與へ近々歐洲に採用されて居る奬勵の權限を賦與する事になつて居る。

租稅は公共の建築物により美の發揮と藝術敎育の向上若しくはこれに類する目的の爲めに費す事を得るのみならず又私有土地の濫用並に無駄の用法を制禦する事に用ひられ得るのである。美觀の缺けた事に就ては米國の都市は歐洲の方式と戶外の廣告に付いての僅かばかりの權限以外何事をも爲し得ざる有樣である。廣告揭示に對する制御は後章に述ぶるところであるが然し市は財政歲入の增加を考慮すると同じ程度に無秩序なる廣告塔を退散せしむる爲めに使用する事も出來るのである。

カナテカット州の法律が問題となつたマーフイー對同州の

係爭に於て、それは地上に於て廣告的に賣らるゝ物品以外の廣告には一平方呎に付き一仙の免許稅を毎年徵收する事であつたが裁判所はこれは都市の美觀に對して警察權を適用せるに非ずして寧ろ課稅權の適用であると述べ、かゝる課稅權の適用は一般租稅徵收の異型であるとは雖も亦合法的であると宣告した。裁判官ホルムス氏曰く、若し都市が高率の稅により廣告揭示板を擊退せんとする希望を有すとするもクサツク會社の訴訟に於て認められた事に禁止の越權とは思はれ無い。現在少くとも米國都市の二十はかゝる戶外廣告に賦課して居る。

これ等の課稅は無秩序の廣告に對して禁止を與ふる程の重稅でも無く又收入も廣告の價値に立脚點をおかずして單に大さにのみよる事からして思ふ通りの實績を上げておらぬ、則ち課稅は收入の點に於ける目的も禁止の點に於ける目的にも觸れて居ない立場にある。然して課稅權は廣告揭示板問題を解決せぬものと見做さるゝ、重稅は廣告板の數量を減せしむる效果はあるがかゝる重稅は裁判所の許可されざる處となるであらふ。考ふるに廣告の大さに從ふ累進稅が賦課さるべからずとの法律的理由は無くこれは間接に大廣告板を抑壓するの效果はあり得るのである。廣告揭示板はかく大なるべき必要の理由を見出し得ない、小さき廣告もその位置と意匠とのよろしきを得れば讀易くその效果は大なるものに匹敵するのである。

ニューヨークの法官ロバート、エドガー氏曰く、都市住民の敎養の程度、精錬の樣子はその都市の美とその都市の魅力によりてのみ見出し得るもので米國の都市は確かに都市美の價値までに敎養されて來た、而して租稅の範圍に於て『公衆の用途』は收用權の範野に於ける定義と同一意義までになつたのである。

五　市有都市に及ぶ美の進展

法律によりて私有土地を統御する事によりて都市美の發展を期する事は勿論であるが公有土地の上にこれを完全に遂行し得る事は論を俟たない。都市はその市の街路、步道、露地公共建築物に對する管理權を有す、而していづれの市民もその市有財產を出來る限り美しくする事に反對せざるを見る。都市は屢々街路及步道の上を侵す者を防ぐ必要に遭遇するのである。ニューオルリンス市對カフマンとの係爭に於て、私人の敷地に接續する步道を越えて同一人所有の敷地まで天蓋を設置する權利無し、而してかゝる設置に對する禁止は市會の權限以內であると宣告された、裁判所は又曰く、市は街路に於て日蔭の製作、修繕をその自治權の範圍內で禁止する事が出來る。

市は市有土地上に於ける總ての廣告を統一制御する事が出來得る。マサチユセツツ州のリーン市にては次の條例を通過した、『何人と雖も步道上に廣告揭示又はこれに類似の目的の下に物品をおき又は運び入る事を許さず』ある違反者が彼の肩から『靴型工總罷業—總ての靴型工はこの紛騷が終る迄シエーリーより立退け』と書いた着物で步道上を步いたのに對し市は條例違反であるとして此處にコンモンウエルス對マツカフチーの訴訟を惹起した、されど結局市の條例は合理にして且つ正當であると判決された。トレントン市にては固定

又は可動の廣告掲示板若しくは固定の日蓋等もある特定の地域にては歩道を越えて設ける事を禁止するの條例を通過した市はその市有財産に對し統整權を有すと同時に廣告板等街路又は歩道に突出したるものに對してはその所有者の別なくこれを統御する事が出來る。カナテカット州ニューロンドン市の條例による街路に突出する掲示は建築物に固着し而かも建築物より三呎以上突出することを禁止した事が正當であると判決された。又ミゾリーの裁判に於てセントルイス市の條例が建築線より拾八吋以上歩道に出た電燈廣告の設置を禁ずとあるは正當であると宣言なされた。

ニューヨーク市とフイフスアベニュー乘合自動車會社との訴訟に於てニューヨーク市の通常諸車に對する營業上の注意書以外に車體に廣告する事を禁ずとの條例はこれを正當であると宣告された。乘合自動車は街路を使用する事に免許されては居るがその乘場に廣告又は之に類似の掲示をして運搬する事は許可されて居らぬ。裁判所は曰く

一見多額の收入の財源と見做し得べき見易き個所へ華美なる廣告を掲揚する權利を有すが如きも若し雇傭により車體の外部全面又は大部分の場所を色彩を以て蓋はれんか、車は廣告權を有す職業者と同一に見做され得るのである。あらゆる種類の車輛も廣告の目的を以て街路を使用し得ず、單に車體の一部に廣告を從屬的にするとするもかゝる廣告車の街路利用は街路の幅輳を惹き起すのみならず又街路通行者の注目を引きて充分の廣告目的を達せらるゝものである。

マクナマラ對ウイルコックスの訴訟にては裁判所はニューヨーク市公園委員と一商館との契約を承認した、それは商館が公共圖書館敷地を圍ふ一時的の板圍に廣告する權利を公園委員より與へられたがこれは土地權に對して容認せる事で無いと認められた。トムキンス對バラスの係爭にてはニューヨーク公園委員は市の公園の一部に圍る垣を廣告的用途に許可する權能なしと宣告された。スルバン廣告會社對ニューヨーク市の訴訟にては、ある建築物の所有者が家屋建築に際し建築用煉瓦が歩道に墜落して歩行者を傷くる事を防ぐ目的にて歩道を蓋ふ一時的の蓋小屋設置を市當局より許可された。然し廣告會社がこの上家に廣告又は掲示する事を得るの許可を市はこの上家設置者に與へたのでは無いと判決された、裁判所の曰く隣接所有者は公共土地を私的用途に充つる權能を有せずと、廣告又は掲示板の設置はとりも直さず公共物を私用目的にあつるもので、私有財産を公共目的に收用し得るの法律的精神と雲泥の差である。

若し都市がその市有財産に廣告板若しくは掲示板の掲揚を許可するとせば市は又それによりて生ずるあらゆる損害に對して補償するの義務を有す、ランガン對アチイソン市との係爭にて、市は不完全なる廣告板の倒潰により負傷したる人の損害を補償すべし、何となれば市當局者は都市の街路が交通に安全なる爲めの施設に對する義務を負ふからであると宣告された。

これ等の問題にかゝはらず都市はその市の美の發揚の爲めにその市有財産上の廣告を禁止すべきである。かくしても廣告板の問題は解決出來るのでは無い、多くの廣告板は概ね私有土地上に設置さるゝからである。さりながら私有土地上に設置さるゝとは雖も道路又は街路に接近するからして價値あ

るものである故に市有土地、街路に於けるが如く嚴格に統一されずとも近き將來に於て現今より尚一層の何等かの制限は考慮さるべきである。

六　美の向上と警察權の適用

都市の美觀向上に對する總ての場合に公共の金帑と收用法の適用は出來ぬ、假令收用法は美的目的の爲めに用ひ得るの場合と云へども補償は常に準備され土地收用は都市の一小部分に限られねばならぬ。租稅によりて準備されたる金は都市全體として魅力ある種々の用途に費やされねばならぬが然し都市の大部分の土地は私有財産であつてその外觀の美は一般租稅によりてさへも改良する事は出來ぬ。これは亦市有土地の上に美の向上統一する場合も同樣である。吾等は都市美の好結果を希望するならば警察權の發動を必要とする。最近この問題に對してシャンドラー氏曰く

限定された私人に何等の直接補償無く統制し得る警察權の發動により美の認知が正當なる要素を具備してゐるやを考ふるにこはその性質として常に補償が支拂はるゝ處の土地收用法の汎野に附隨すべきものである。警察權は常に峻嚴であつてその命令權も威力を有し且つ裁判所もこれを支持する事に注意深い。同時に美の向上に對しては私有土地の用途の統御もその活用が一般的である。若し市の美を完璧に遂行せんとせば警察權の下に於てなされねばならぬ、同時に吾等は收用法の適用により保健、保安と同樣に出來るだけ美の向上に努めねばならぬのである。

警察權の細目に定義を與ふる事は非常に難しい事である。マサチユセツツ州上席裁判官シャウ氏の曾て曰く、『この權利の適用範圍の限界を決するよりもその起源と由來に對して會得した方がより易い。警察權の一般定義は合法の限界內にて秩序、安寧、保健、衞生、風紀を保つべく法律に支持されし行政權の繼承である』この權力は各個人の自己保全の權利に法律上の除外無しに國の統治と存立とに歸趨するのである假令この權力が美の向上に土地收用權、課稅權の及ぼし得ざる範野に於ても用ひ得るとはいへ吾等は目的が純粹の美觀と云ふ事の爲めに土地の用途の制限例へば建築物の高さに限度を與ふるとか、醜い廣告板を禁止すると云ふ一般に常識的に正當である事が否認されて居る。然し吾等は裁判所のかゝる判決あるにかゝはらずこの原則の凋落を見るのである、警察權は純粹なる美觀目的又は美の向上に用ふる事を得ずとはなり居るも裁判所は他の見地、則ち秩序の困惑、保安、保健、風敎又はこれに準じた廣い意味からこの美裝目的の基本に到達しつゝあるのである。

七　廣告揭示板統一

廣告板統一に就ても同樣である。ヘーラー廣告會社對體育學校の訴訟にあらはれて居るイリノイ法律の、總ての公園又は廣路の五百呎地域內に廣告の目的による建設物の設置を禁止すると云ふ項目は無效であると判決された。裁判官ヴイツカー氏曰く、如何に藝術により美の享有に努める事が吾民衆の趣味開發上望ましき事であるとするも吾等の政府は原則としてかゝる事を法律によつて奬勵する事は出來無い。若し保安、保健、風敎及國民の物質的福利に關せざる場合は直接關

與すべき事で無く、これ等は社會及學校教育によつて漸改すべきである。

マサチユセツツの法律はボストン公園委員に公園附近及び公園より見ゆる廣告の統一に關する一定法規の作製權限を與へた、この法規は苑道に於ける人々に露骨に見ゆる揭示を禁止した、然しこれは目的が單に美觀と云ふことにある事から統一は不合理であると宣告された、ブライアン對チェスター及廣告會社對アトランテイク市の二係爭にて、公共保安に危惧を與へる廣告にあらずして私有土地上に設置する廣告を禁止する法律は不正當であると判決された。ニュージャシイのバザイック市の市會にては廣告板はその高さ八呎以上なるべからず、又街路線より十呎後退して建立さるべしと發布したこの條例はバザイック市對バタースン廣告會社の訴訟の結果不當であると判決された。裁判所はこの條例目的が公共の保安よりも寧ろ美觀におくものと見做した、同樣の結果はクヲン會社對デンバーの係爭にも見られる。裁判所は曰く

衣服の長短、上衣の色彩、帽子の型、建築の樣式及色彩等はある精錬された意味から無趣味のものが喜ばれるかも知れ無い。されども政府はかゝる事柄を制御し統一する事は出來無い。

トペカ市の條例には廣告板はその高さ五呎以上のものは街路線より後退すべしと要求されたものであつたがこれも不合理であると判決された。ヴアーネー、グリーン對ウイリアムスの係爭にて裁判所の曰く、美の向上と美的考慮を毀損せざる事は爲政者として一つの目的ではあるが然しこの考慮を以てしても私有財產の上に廣告板の制御、統一する權利を賦與さるゝことは思はれ無い。

警察權も又此處に於てか廣告板又は揭示板による醜狀より都市を救護し美の向上に適用する事も出來ぬが然しこれ等舊來の法則から超越して時代に適應した望ましき結果の判決をも見出し得るのである。ウイルシエア事件に於て都市團體は警察權の適用によりて廣告板の高さを合法的に統一する權能を有し、廣告板の限度を六呎とせる事の不正當にあらずと宣告された。裁判所の曰く、

廣告板は通常その形を如何樣にも變改し得るもので、安價の木造を普通とし而かも土地の一局空地に建設されそれは街路通行者の眼に觸れ易く出來て居るものである。かゝる構造物は高さを決定し置くにあらざれば風により吹き倒され、又は地震により搖り倒され街路に接近する場合には公道に顚倒して通行者に危害を及ぼす事無しとせず、尙都市側より觀ずれば若し美で且つ障害無く、魅力あるものであればそれに一步を加へた民衆の快愉を附與さるべきものを望も當然である。

ガンニング對バッファロー市の訴訟に於て市の條例は廣告板の限度を七呎とするにあつたがこれはニューヨークの高等法院のローチエスタ對ウエストの判決と同樣に正當であると宣告された。この事件は市條例が通常市會の認可と二百呎以內に於ける隣人の許可證を得るにあらざれば廣告板の高さは六呎を超過するを得ずとあるがこれは正當であると判決を得た。裁判所の曰く、若し原告が無制限の大さの廣告板を建立する事の權利を認めるとせんか、この建設物は街路通行者並にその附近のものに生命に對する危惧の觀念を間斷なく包

懐せしむるものである。

最も重大な廣告板問題の係爭はセントルイスガンニング廣告會社對セントルイス市に見らるゝ。それは市條例が次の統一を與へたるに對し異議を申立たものであつた。則ち廣告板は高を十四呎を限度とし下部に四呎の空間を設け且つ總ての建築物より六呎、又他の廣告板より二呎の距離を保たしむる事、この全面積は五百平方呎を超過せず且つ街路より十五呎後退せしむる事であつた。裁判所曰く、

火災の場合には廣告板はその延燒を助くるのみならず鎭火消防の障害をなす。高速の風の場合にはその廣い面積と一時的の構造は倒潰の機會を與へ危險を惹き起し、若し連續的の構作とせば廣告板の背後は土塊其他塵芥等の不潔物を投棄して公共保健に障害を與ふる事明かなるのみならず野合相曳の場所となりて風紀を亂し犯罪行爲の作爲を容易ならしむべく加之光線の遮斷、日光、空通の流通を障害して公共衛生、保健を防ぐ。

この判決によりて示されたる趣意は廣告板取締問題の通俗的解決を示して居る。而かして多くの係爭事件もこの意見に從つて居る。

一九〇五年イリノイ高等法院は市俄古市の條例を不合理と宣告した。それは廣告板の大さ、高さ、後退等を制限したものであつたが裁判所は警察權が取締の必要を認め合法的に適用さるゝに先立ち市條例がこの問題に觸るゝ事は不合理である。然し裁判所は數區に對する廣告板地域制度を推奬して居る。曰く、

條例全般としては不合理であるが、かゝる事柄もある特定の場合には必要である事は明かである、要、不要はその地方地域によつて定まるものでこれに從つて警察權の取締を要すべきである。制限なしに市俄古の如き大都市にこの廣告取締條例を適用すべきものに非ずして市の特定地域に限つてこの適用をなす事さへも不合理であると云ふのでは無い。

その後市はこの暗示に基き住宅地域内にてはその地域に於ける街路の兩側土地正面の大多數の所有者の同意なくして二十呎を超ける廣告板の建立を禁止するの條例を通過しこの條例は州の高等法院及合衆國の高等法院によりて正當であると判決された。シャンドラー氏はその判決文に次の趣味ある叙述をして居る。

廣告板の設置はその場所をく醜すると云ふのでは無いが然かし危險を與へるものである。それは倒潰して何人かを傷けるやも計られず、又火災によつて生ずる損害を增しそれは犯罪者の隱れ場所たる事を構成す。合衆國の高等法院は住宅地域に廣告板の統一は保安、風紀、保健、社會端正の福利から見て正當であつて美と云ふ一句からで無い。

現今に於ては一般に警察權は都市を風紀上、保安上、福利上、保健上よりよくする爲めに廣告を取締り得る權能ありと認めらるゝ樣になつた、然しこの目的が裁判所により認められず而かも市條例がその主たる目的が美の向上にありと思考されし間はいつも不當であると宣告された。

廣告板は交通輻輳する街路にては交通の遲延を與へ又事故を誘引する原因となる事は明かである。ハーリアンジェームス氏曰く、

自動車の運轉手が一警官が『止』と云ふ言葉を高く掲げて居る繪を見てそれが單に次の町角にサンドウイチとガソリンが賣られて居る事を發見した。次に彼は眞實の交通整理の信號『止』を見た時に廣告による潛在觀念が働いて正に停止地區を突破せんとした。乘客は勿論危險を感じた事は云ふ迄も無い。

廣告や揭示板が雜沓した街路又は混雜した道路にありて注意を惹く樣にしてあつたらそれは道路を不安ならしむるものである事は事實である、然し何故に廣告板は住宅、小屋、又は垣根より直接に危險となる原因を作るとするや、若し地震が起つた場合には地上のあらゆるものは總て危險でありと云ひ得る。裁判所は都市美の向上に盡力して居る樣に思はれるがその判決文には警察權が合理的に都市美の目的に使用されると云ふ事を重大視して法律的禁止に屢々反對する。吾人はこの叙述を次の一節を以て結ぶ。

今日に於ける米國の爲政者の多くは過去二十年間に美觀又は美の考慮に導かれし事は確かである。而して都市中心をより魅力あるものとする希望が一般人心に固く宿つて居る事を見出した。この傾向は年と共に發展する事が明かである。而してこの見地に於て法律は都市の醜狀を惹きおこす原因を制御し統一を附す爲めに廣汎の解釋を與へ終には物質魅力と藝術的美觀を認むる爲めの制限を認可するであらふ事と思考する。

大阪市の第二次都市計畫

新市部總經費五億圓

大阪市の都市計畫事業は現在舊市部において總額二億五千萬圓を投じて道路橋梁その他の新設、擴築を行ひつゝあるが更に先年新に編入した新市部すなはち舊東西兩成郡の地域にも同樣の都市計畫を確立する必要を認め、それには十分人家が稠密してゐないこの際理想的の計畫をなすを眞策なりとし、都市計畫部では、今夏來これが草案を內務省に內申し打合せ協議中、このほど漸く成案を得たので、目下省內關係各局課と協議中であるが、順調に進めば來月初旬ごろ鈴木內務大臣から大阪都市計畫委員會に對し第二次大阪都市計畫として附議されるはずである、しかしてこの計畫は街路、運河、下水道、公園、墓地の五種類で總經費約五億圓を要することになつてゐる、即ち大阪全市の人口が五百萬人を以て飽和狀態に達するものとされてゐるのでそれに應ずるための施設がこの計畫の實現によつて完成されるわけである、計畫案の概要左の通り

街路　路線數百一線、延長約七十里、總工費二億千百六拾萬圓となつてゐるがこの計畫立案の根本方針は舊市部における一平方マイル人口九萬人、新市部は四萬人を基礎としたもので、幹線の間に補助路線を配し格子目狀に作られてゐるのであつて其格子目の一は大體一平方マイルとなるわけである、しかして百一路線を幅員別にすると三十米一本、二十七米三本、二十五米二十三本、二十四米一本、二十二米八本、十八米一本、十五米十八本、十三米三本、十一米四十三本であつて、二十五米（十三間七五）十一米（六間）が全體の六割五分を占めてゐる、なほ二十二米以上の幹線道路の幅員並に起終點は左のとほりである

幅員三十米

今宮平野線（東四條三丁目より喜連町にいたる）

幅員廿七米

北野豐津線（豐崎西通町より豐津町にいたる）
北野善源寺線（豐崎西通町より澤上江町にいたる）
天王寺我孫子線（天王寺町より淺香町大和川右岸にいたる）

幅員廿五米

吹田伊丹線（吹田町より府縣界にいたる）
大道塚口線（江口町より府縣界にいたる）
淀川北岸線（南大道より布施町にいたる）
御幣島豐中線（野田町より南豐島村にいたる）
歌島吹田線（三津屋町より吹田町にいたる）
宮原國次線（宮原町より國次町にいたる）
西野田傳法町線（茶園町より島船町にいたる）
中津川島町線（豐崎西通三丁目より赤川町にいたる）
赤川柴島線（赤川町より柴島町にいたる）
蒲生生江線（蒲生町より生江町にいたる）
新庄平野線（上新庄町より平野泥堂町にいたる）
森小路大和川線（關目町より大和川右岸にいたる）
玉造古堺道線（玉堀町より深江町にいたる）
足代線（猪飼野より巽村にいたる）

平野瓜破線（平野本町より喜連町にいたる）
喜連敷津線（喜連町より釜口町にいたる）
平野柴谷線（平野野堂町より釜口にいたる）
平野木津川線（平野元町六丁目より津守町木津川左岸に至る）
阿部野木津川線（天王寺町より津守町木津川左岸にいたる）
桑津矢田線（林寺町より鷹合町に至る）
恩貴島尼崎線（恩貴島南之町より中島町府縣界に至る）
大阪伊丹線（一等大路三類廿九號終點より府縣界に至る）
幅員　廿四米
天滿谷町線（一等大路第三種廿四號線起點より谷町六丁目に至る）
幅員　廿二米
西野田中津線（茶屋町より中津町に至る）
梅田線（梅田町地内）
上本町線（上本町二丁目より大阪上野町にいたる）
大連寺橋通線（南恩加島町地内）
今池帝塚山線（一等大路第三類第八號線より住吉町にいたる）
難波河原町線（廣路第一號線終點より日本橋筋三丁目に至る）
難波泉尾線（元町三丁目より大山通四丁目にいたる）
傳法尼崎線（一等大路第三類第三十三號線終點より兵縣界にいたる）

運河　總計十五本で總延長四萬三千米、淀川以北の東淀川、西淀川兩區を横斷するもの二本、（その一は神崎川下流から分岐して新淀川と市郡境界線の中央を東へ東淀川區江口に至り神崎川と淀川本流を連絡するもの幅員四十五米張長六千米、その二は神崎川より新淀川下流に至るもの幅員四十五米、延長二千六百米）東大阪方面で重なるものは東成區の城北運河（幅員四十五米、延長五千五百米）寧屋川運河（幅員四十五米延長二千五百米）以下中本運河、城東運河等、更に住吉區では住吉運河（平野より細井川に至るもの幅員四十米延長三千四百米）以下幅員十八米、平野川運河、同十三間川運河等である、これが經費約二千萬圓

公園　新設の公園は大公園卅四ヶ所、小公園十二ヶ所でこれが總面積二百萬坪、大公園として面積の最大なのは卅萬坪の服部公園、廿萬坪の臨南寺公園で以下神崎川公園（一萬坪）大和川公園（一萬六千坪）北港公園（五千坪）安治川公園（六千坪）片江公園（三千坪）田邊公園（四千坪）帝塚山公園（五千坪）等を重なるものとする、小公園は舊市では泉尾、市岡、稻荷町、賑町、眞田山の五ヶ所で、他は長柄以下主として新市方面に設置される、これが經費約三千五百萬圓、これが立案者たる內務省の某當局者につきその方針をきく、「都市の都市計畫は貳億七千萬、新市の事業は四億六千圓だからズット大きい譯であるがしかし事業の計統は一筋で現行の事業を中心にして府の十大放射路それにこんどの計畫がつなぎ合つてこゝに完全な綜合都市計畫が實現されるわけである、今回の「案」についていふと道路の新設が百一線これは交通上から新舊兩市を握手させるものであつてそのうちの主要道路はいづれも電車の併用路として完成の上は各線を通じ延長八十五哩の市電が通じ、また計畫中の高速高架線もその頃には新市を縱横に走る事になるから草茫々の今の新市は期せずして立派な文化都市に生れ變はる譯である、運河は大小を合せて十五本、これは都市計畫地域制による工場地帶に設けられるのであつて、新市の工業家らはこの惠まれた新水路の利用によつて商業都市の舊市に對する工業都市としての「一王國」を築き上げる事も出來やうと思ふ、改良下水の施設も文明都市としては當然の事、公園は新市丈のプランでは大公園三十四、小公園十二となつてゐるが舊市における現在の公園をとり入れると總計五十八、總面積二百五十萬坪に上り、新市の服部、臨南寺の二公園に大阪城を加へてこゝに面積二十萬坪以上のものが三つも出來て公園總面積を人口に割當てると市民一人當り一坪二〇となる、墓地整理も新市開發には必要なことで、いまの長柄や阿部野はその儘でおき、こんどは南と北へ一個所づゝ新設して公園式のものとし春は櫻、秋は紅葉の名所といふ風に明るい、のんびりとしたものにするのも面白いと考へてゐる、兎に角こんどの案が決定すればとりあへず先づ建築線を設定し、主要幹線には二三間おきに頑丈な石標を突込んでおくつもりで、從つて直ちに財政計畫に着手するが自分としては各事業のなかゝら緊急を要する部分だけをとり纏めてこれを第一期十箇年繼續事業として着手し、追つて第二期、第三期と漸進的に行くのが順序かとも考へてゐる、なほ今回の案と密接の關係をもつものは現在施行中の土地區劃整理である、これらの事業がずんずん進めば新計畫の實現が早められるわけだから市としてはこの上とも整地事業の發達に一段の努力を要する次第である

下水道　下水處理區を大阪市の中部、南部、北部の外淀川北部、東部の五ヶ所に設ける、その總面積一萬五千五百ヘクタール（一ヘクタールは一町歩）で處理法は地下十尺より二十五尺のトンネルを設け糞尿もあはせ吸集してこれを各處理區にとり入れ淨化の上河海へ放流するもので都市計畫中の大事業であつて工事費は一億六千萬圓を要する

墓地整理　現在の阿部野、長柄の兩墓地はそのまゝとして新たに新市の南部と北部に各一ヶ所、總面積十三萬坪のものを設け、新市方面に散在せる群小墓地をそれ〳〵整理してこの二ヶ所に統一せしめる、經費約三百萬圓、なほ市では事業案の確定を待つてこれに要する財政計畫を立案し同時にまた事業年度をきめるのであるが多分十ヶ年以上の繼續事業とするらしい

都市計畫事業に對する最初からの立案者として苦心した市の阪出都市計畫部長は計畫案の內容について語る「計畫案はすでに成案となつて完全に內務省の諒解を得たからもう變るやうなことはない、現在施行中の舊市の都市計畫は貳億七千萬、新市の事業は四億六千圓だからズット大きい譯であるがしかし事業の計統は一筋で現行の事業を中心にして府の十大放射路それにこんどの計畫がつなぎ合つてこゝに完全な綜合都市計畫が實現されるわけである、今回の「案」についていふと道路の新設が百一線これは交通上から新舊兩市を握手させるものであつてそのうちの主要道路はいづれも電車の併用路として完成の上は各線を通じ延長八十五哩の市電が通じ、また計畫中の高速高架線もその頃には新市を縱横に走る事になるから草茫々の今の新市は期せずして立派な文化都市に生れ變はる譯である、運河は大小を合せて十五本、これは都市計畫地域制による工場地帶に設けられるのであつて、新市の工業家らはこの惠まれた新水路の利用によつて商業都市の舊市に對する工業都市としての「一王國」を築き上げる事も出來やうと思ふ、改良下水の施設も文明都市としては當然の事、公園は新市丈のプランでは大公園三十四、小公園十二となつてゐるが舊市における現在の公園をとり入れると總計五十八、總面積二百五十萬坪に上り、新市の服部、臨南寺の二公園に大阪城を加へてこゝに面積二十萬坪以上のものが三つも出來て公園總面積を人口に割當てると市民一人當り一坪二〇となる、墓地整理も新市開發には必要なことで、いまの長柄や阿部野はその儘でおき、こんどは南と北へ一個所づゝ新設して公園式のものとし春は櫻、秋は紅葉の名所といふ風に明るい、のんびりとしたものにするのも面白いと考へてゐる、兎に角こんどの案が決定すればとりあへず先づ建築線を設定し、主要幹線には二三間おきに頑丈な石標を突込んでおくつもりで、從つて直ちに財政計畫に着手するが自分としては各事業のなかゝら緊急を要する部分だけをとり纏めてこれを第一期十箇年繼續事業として着手し、追つて第二期、第三期と漸進的に行くのが順序かとも考へてゐる、なほ今回の案と密接の關係をもつものは現在施行中の土地區劃整理である、これらの事業がずんずん進めば新計畫の實現が早められるわけだから市としてはこの上とも整地事業の發達に一段の努力を要する次第である

× × ×

市街地建築物法、令及規則に關する改正の意見及希望

昭和二年十二月十九日

社團法人日本建築協會會長工學博士　片岡安

大阪府知事　田邊治通殿

市街地建築物法、令及規則に關し種々不便有之調査研究の結果別紙の通改正意見及希望開陳致候條可然御詮議有之度此段及建議候也

甲、改正意見

一、法

一、法第一條の地域に依り指定したる殘餘の地は未指定地などの制限に依らず無制限にする樣改正すること、但し必要あらば地域の種類を增すこと

一、法第七條の建築線を道路數地の境界線とする原則を改めて道路幅の境界線を以て建築線とするか又は夫れより何尺かを後退したる線を以て建築線とすること

一、(法第八條)(法第九條)

(イ)建築は建築線を犯して建て得らるゝものは八尺以上の高に於て敷地境界迄とあるを步道を有する所に於ては其步道上の借料を支拂ひて庇に限り步道境界迄出すことを得る樣に擴張すること、自動車諸車は步道に入るを得ざるを以て雨天の節濡れることも助かり又夏季酷暑の時日光を避けて步道を通ることを得、但し公道の都合により何時にても其撤回を命じ得る保障を要するは勿論なり

(ロ)右は路上制限の擴張なれども同時に步道地下に於ても建築物は敷地の境界を越えて基礎を出すことも禁じられて居るのを同樣借料を支拂ひ人道境迄地階を擴張し得る樣改むること、之は多く煖房を地下表等にとると石炭投入等直接街路より「マンホール」に入れ得て大變便利でもあり步道の通行をデイスターブすることがない但し公道所有者に於て其部分の必要を認めたるときは直ちに敷地堺にて引取り取毀ちの保障をおくこと

一、法第十條の制限は市街の體裁上のみならず交通上をも考慮に入れ得る樣改正すること

一、法第十一條「高」の次に「階數」を加ふること

一、法第十三條第二項中建物の部分を爲す防火壁とあるを單なる防火壁に改正すること

一、法第二十六條の道路の幅員を十二尺以上に改正すること

二、令

一、令第一條乃至第三條但書の認定は內務省令等に於て具體

的に例示すること

一、令第一條乃至第三條の內容を一層適確精密に取捨すること

一、令第四條の建築物の高の最高限を單に漫然百尺又は六十五尺と規定したるは不可なり宜しく當該建築物の面積又は土地の狀況等に應じ相當考慮し支障なき限り之が最高限を緩和し得る樣制限を改むること

土地の狀況を考慮に入れたる但書の適用は其の範圍不明確なるを以て實際問題として設計に當り不安にして見解の相違に依り動もすれば不利を招く虞あり依て出來得れば命令を以て具體的に箇條書の體裁に依り規定すること

一、令第五條中木造の軒高「三十尺」を「三十五尺」に、從て高「四十二尺」を「四十八尺」に改むること

一、令第七條の高の限度は道路幅を基準とし「ピラミット」型の高を形成し得る樣改むること、從て二十五尺を加へたる限度は之を除くこと

一、令第八條の適用に就ては今少し緩和の餘地なきや

一、建築物の高の最低限度の實施に伴ひ其の建築敷地に限り其の敷地境界線に接し建築する場合に於て其の基礎の深の最小限度に付適當なる制限を付すること

一、令第十二條第二項の「屋窓」の次に「階段塔」を加ふること

一、令第十五條

建築面積の測定法は不審の場合多々起り得るを以て明確に規定すること

一、公道を越ゆる「オーバーブリッジ」及隧道の出來得る樣特別の規定を設くること

一、令第三十一條を削除すること

一、令中の「高」を「全高」とし法中の「高」と用語上の區分を明にすること

三、規則

一、建築物は前面突出部のみに限らず特殊のものに在りては建築線より突出せしめ得る制限に改正すること

一、規則第四條の前面突出部中「三尺迄」又は「一尺迄」を「道路幅の境界線迄」に改むること

一、規則第四條中但書を削除すること

一、地階は建築線よりの突出を緩和し其の限度は步道と車道との境界線とすること

一、規則第六條の屋上突出部の制限を今少し緩和すること

右制限中特に昇降機塔の幅又は面積の制限を緩和すること、理由昇降機を一ケ所に集むるに困難なるを以てなり

一、屋上突出物の幅

規則第六條中の最大幅を增加すること

一、規則第六條中屋上突出物の高(H)幅(F)及面積を制限せり若し同第十二條にて階段塔を認むるとせば階段塔としての高及幅の最少限度を是認する樣緩和するの必要あり

一、規則第十八條の天井高は七尺五寸以上に改正すること

一、規則第十九條の制限は特殊の廣間を要する居室に付不都合の場合なしとせず、一般的に規定の採光面積不足の場合は之に代ふるに適當なる照明方法あるときは除外し得る樣緩和の趣旨を以て適當條項を追加すること

一、規則第十九條中に洋館に於ても椽側の類と看做し得らるゝものを追加すること

一、規則第十九條、第二十條
中庭に於て「トップライトガラス」を以て被はれたるときの採光面積は最上階に於て1/1の採光を認め居らるゝも尚之を下階に行くに從て其割引歩率を增大するも採光を認むる樣改正すること
若し內壁に窓なき時には此增率を尚餘計に認むること、但し「ベンチレーション」の適當なる設備を强要すること

一、地階
地階は一階に限りたるものに非ず湧水なき場合「マイナス」二階、「マイナス」三階と云ふことは土地利用の上に於て甚だ有利なりと考ふ此用途が住居に非ざる限り其「マイナス」階數を認むること
「ベンチレーション」に對しての徹底的の制限を設くること、其採用に就ては人工光線を認むること

一、地階の採光面積を今少しく緩和すること
事務室等は當然なるも大商店自家用食堂、婦房扱者の詰所等は採光なくとも照明法に依る位にすること

一、規則第十九條
地階採光のため deck glass を使用する場合に於て之を天窓と看做して採光面積を三倍に見るは過大に失す、尚地階通風に對しても非常なる缺陷を生ぜる實例多し

一、規則第三十條

一、規則第四十二條に左の但書を加ふ
但し鐵骨又は鐵骨鐵板造のものにして鐵部の露出せるものにして其の下部が地盤に接するものは之を要せず

一、規則第四十三條に左の但書を加ふること
但し工業用建物にして行政官廳其用途により已むを得ざると認むるものは此の限に在らず

一、第三章の構造設備に關する規定適用に付ては大修繕又は大變更に限り第何條乃至第何條を適用せざる旨明記せる條項を追加すること

一、規則第八十五條に左の但書を加ふること
但し適當なる「シリング」を施工せる場合は剪力及曲能率によるものゝ外過半を柱に直接傳達しうるものとす

一、規則第九十一條に左の但書を加ふること
(4)但し「ピヤーリングウォール」に於ては此の限に在らず

一、規則第百二條
(1)「リベット」の抗壓力度は應剪力度の二倍まで取る事を得
(2)風壓による算定の場合鐵の應力度を適當に增加せしむるを得

一、鈑の「ベヤリング」
鉸鋲繼手に於て鈑の「ベヤリングフォース」は鋲の應剪力度の二倍(一萬一千二百斤吋)マデ採り得ルコト

一、規則第百五條
(1)住家 二百 kg/㎡ 事務室 三百 kg/㎡
(2)本條の動荷重は震力算定に於ては七割以內を減ずる事を得

一、床の活荷重
一平方米に付住家は二百キロ、事務所は三百キロ、とすること

一、震力計算に用ゆべき床の動荷重
震力計算に際し震度を乘ずべき床の動荷重は規定せられたる動荷重の三割となすことを得
但し倉庫、書庫、陳列室、觀覽席、集會室の如きものは之を減ぜず

一、防火地區内に於ける建築物にして小規模の增築に付ては緩和する旨明記せる條項を追加すること

一、美觀地區に於ては建築物の高さの最低限度を制定するのみならず道路幅によりて其最高階數窓高も同一高に定むること

或通りは三階、或通りは四階、或通りは五階となり然かも其窓下はどこ迄も揃ふ樣になれば誠に宜し

一、或種の工場を他の種の工場に其の用途を變更する場合及一の工場内に於て各建物の用途を部分的に變更する場合は果して規則第百四十三條第二項の用途變更と見做すべきや否疑義を生じ易きを以て明確に規定すること

一、木造四階建に就て

府令建築取締規則には木造四階建を認めざれども市街地建築物法には何等の規定なし、軒高三十尺以下にて四階建とすれば建築可能なるが如く而も柱の小徑に就ては三階建迄を規定して四階建の規定なし右は規則の不備と考へらる明記せられたし

乙、改正希望

一、令

一、令第十四條中「十分の六」を「十分の四」に、「十分の八」を「十分の六」に、「十分の七」を「十分の五」に改正を望む

一、住居の用に供する建物の空地は地域の如何を問はず相當の面積を强制する樣改正すること

一、住居地域内に於ては一定面積内に建て得る建物の戸數を制限すること

二、規則

一、規則第四條に「出入口の階段凹庭の手摺地覆、腰石、根石其他之に類するものは一尺迄」突出を許し、規則第二十四條に「出入口及窓の扉は開閉の際と雖建築線より突出せざる構造となすべき」規定あり第二十四條の制限は多少緩和するの要あらん

一、規則第二十四條に關し非常口の外開扉を除外すること

一、窓の「エーンシエントライト」の權利を保護すること

一、建築物法の取締は建築其ものゝみに限りたる範圍なれども附帶設備に對する取締制限と同時に其權利をも認むること

通風、煖房、電氣照明、動力等

一、高層建築は鐵骨鐵筋「コンクリート」構造となすべし、市建法は鐵筋「コンクリート」にのみ重きを置き寧ろ之を奬勵するが如き弊なきや若し然りとせば此種建物の强度は地震に遭遇する都度其强度を著しく減殺するは顯著なる事實なり其結果よりして將來の危險又は不安を豫想するときは洵に寒心に堪へず此意味に於て今後大建築物は宜敷鐵骨造をも奬勵すべきに非ずや

一、出願手續の形式は各都市共夫々區々にして不便尠からず之が統一に付ては内務省令を以て規定しては如何

一、建築認可申請又は建築屆出後二十日を過ぐるも當局より何等の通知なきときは建築手續完了せしものと看做し建築工事に着手することを得る旨の適當なる條項を追加すること

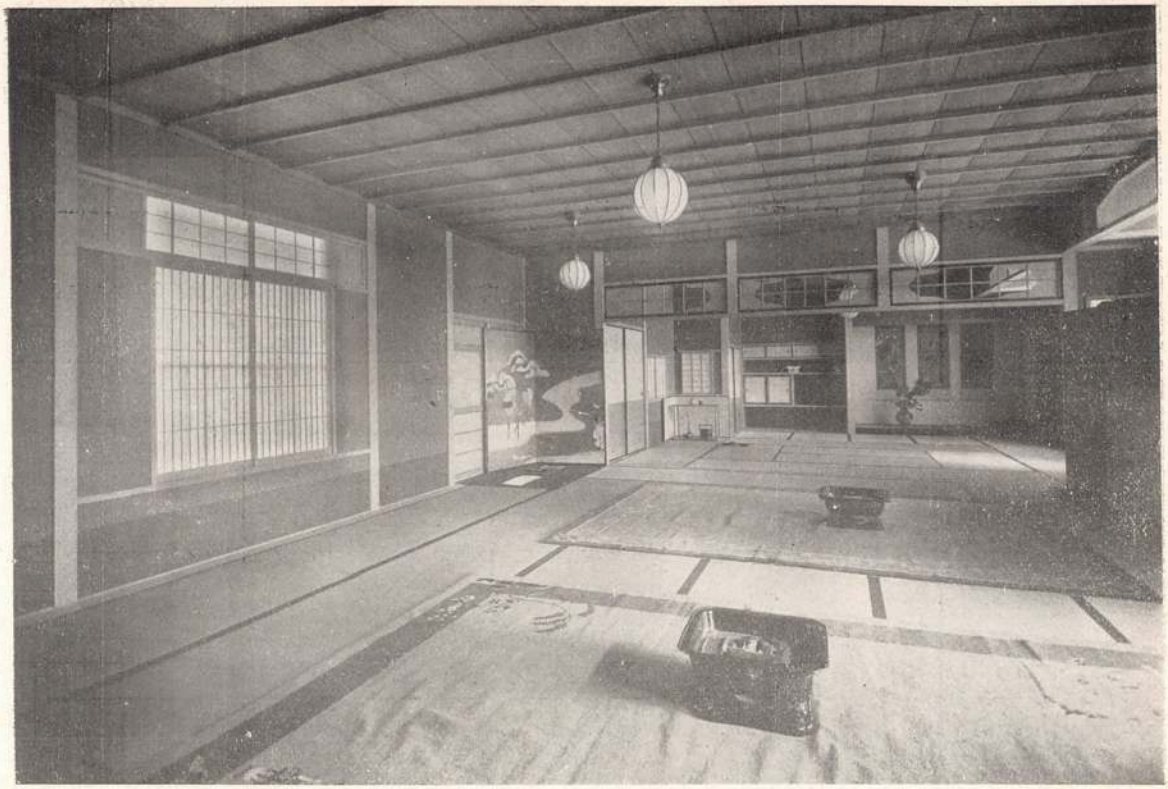
一、建築書類を同一知事に幾通も提出せざるべからざる事由なきが如し努めて重複認可を避ける樣せられたし、他の法令に依る手續と建築法規に依る手續との重複煩瑣を避くる意味に於て市街地建築物法適用區域内に於ては他の法令の手續中建築に關する事項に付手續を要せざる旨夫々の關係法令を改むることを望む



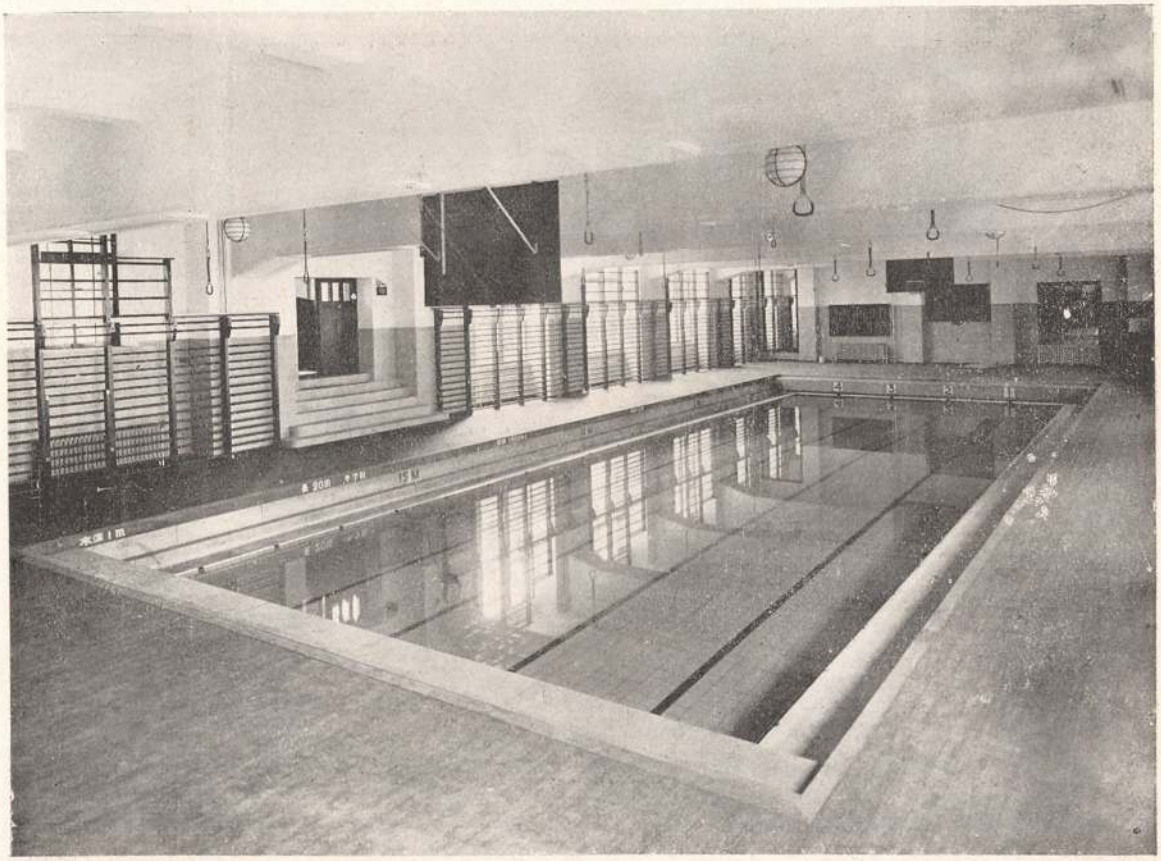
大阪・集英小學校・外觀



同・講堂

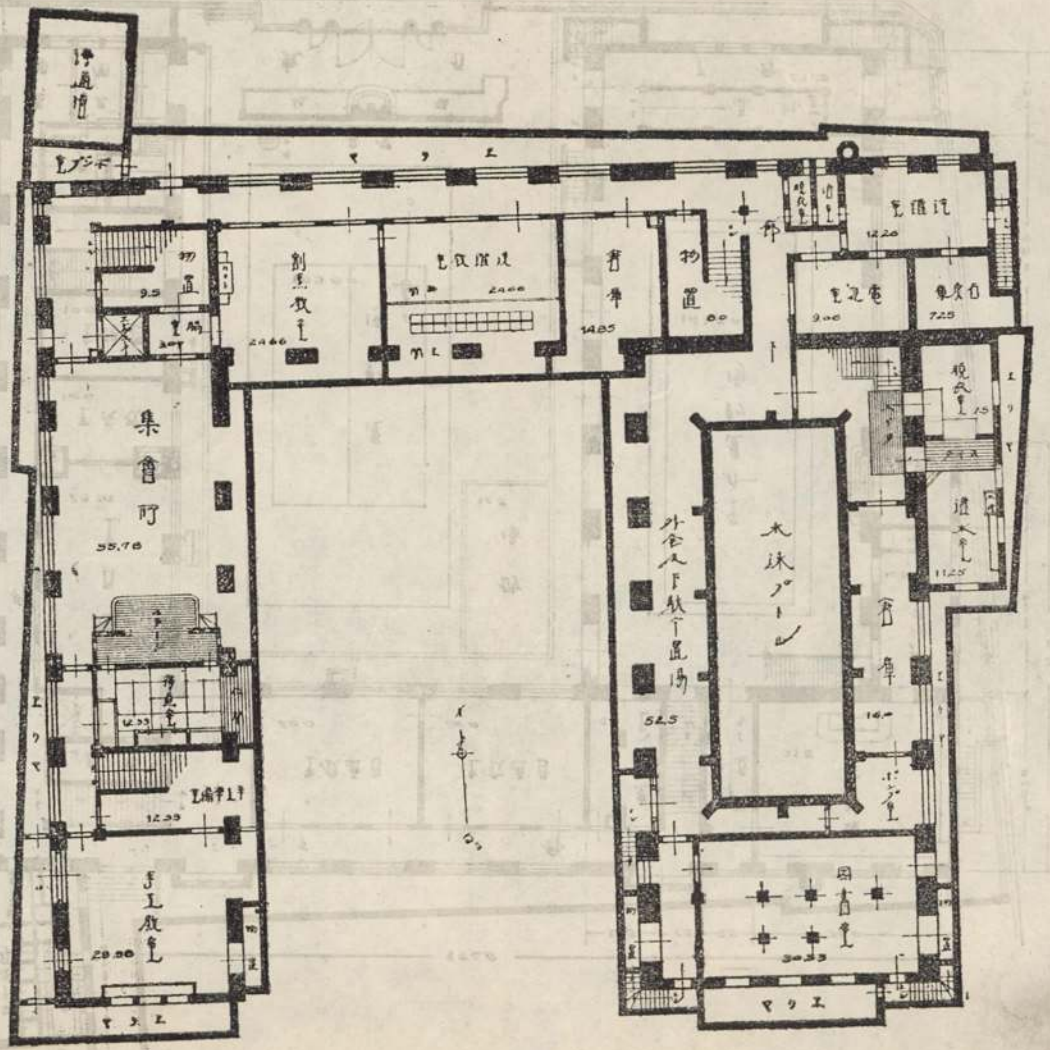


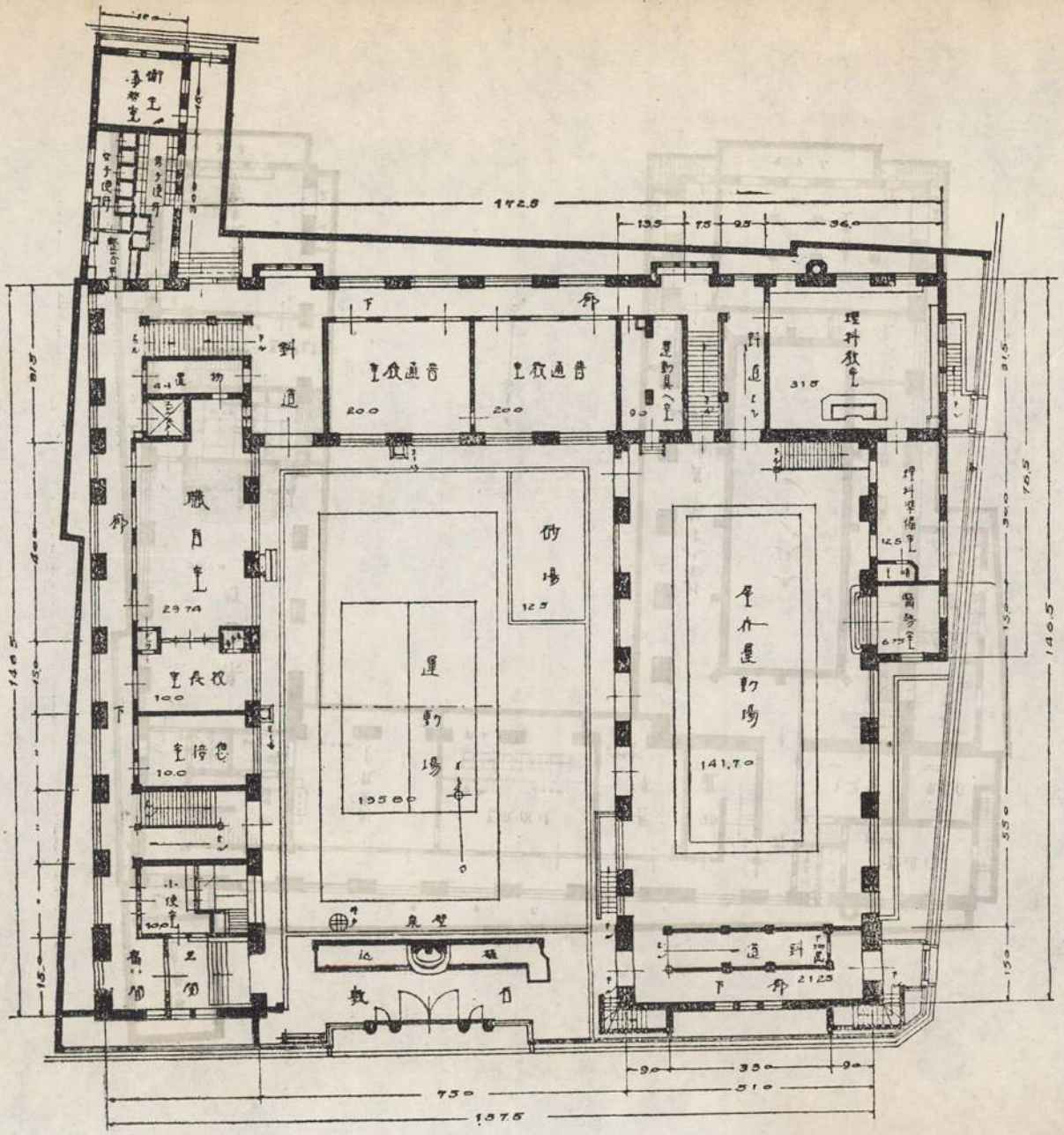
同・作法室



同・地階プール

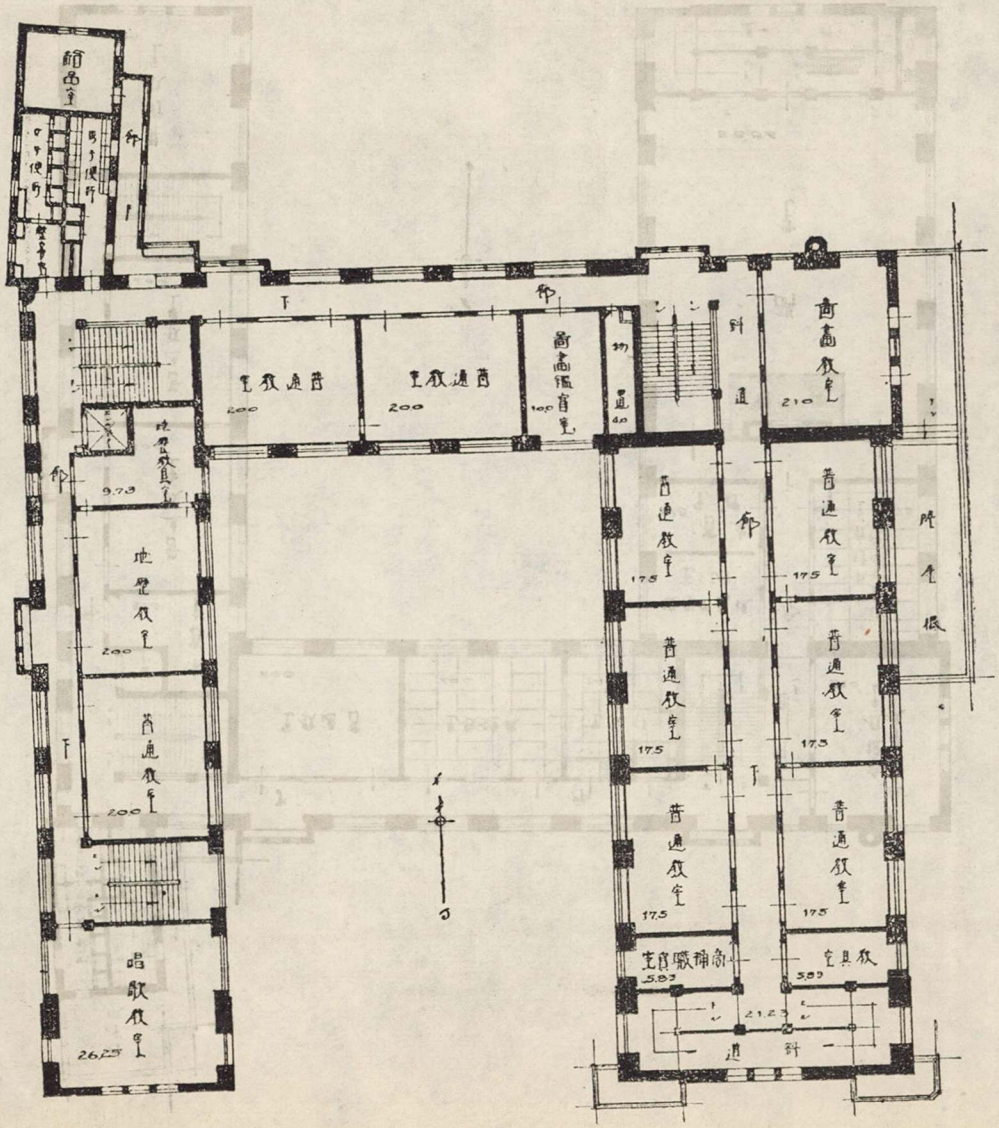
地階配置圖


集會所
55.76
12.33
29.80
倉庫
14.85
物置
9.5
2.46
2.46
12.26
7.25
9.46
11.25
14.1
52.5
30.33

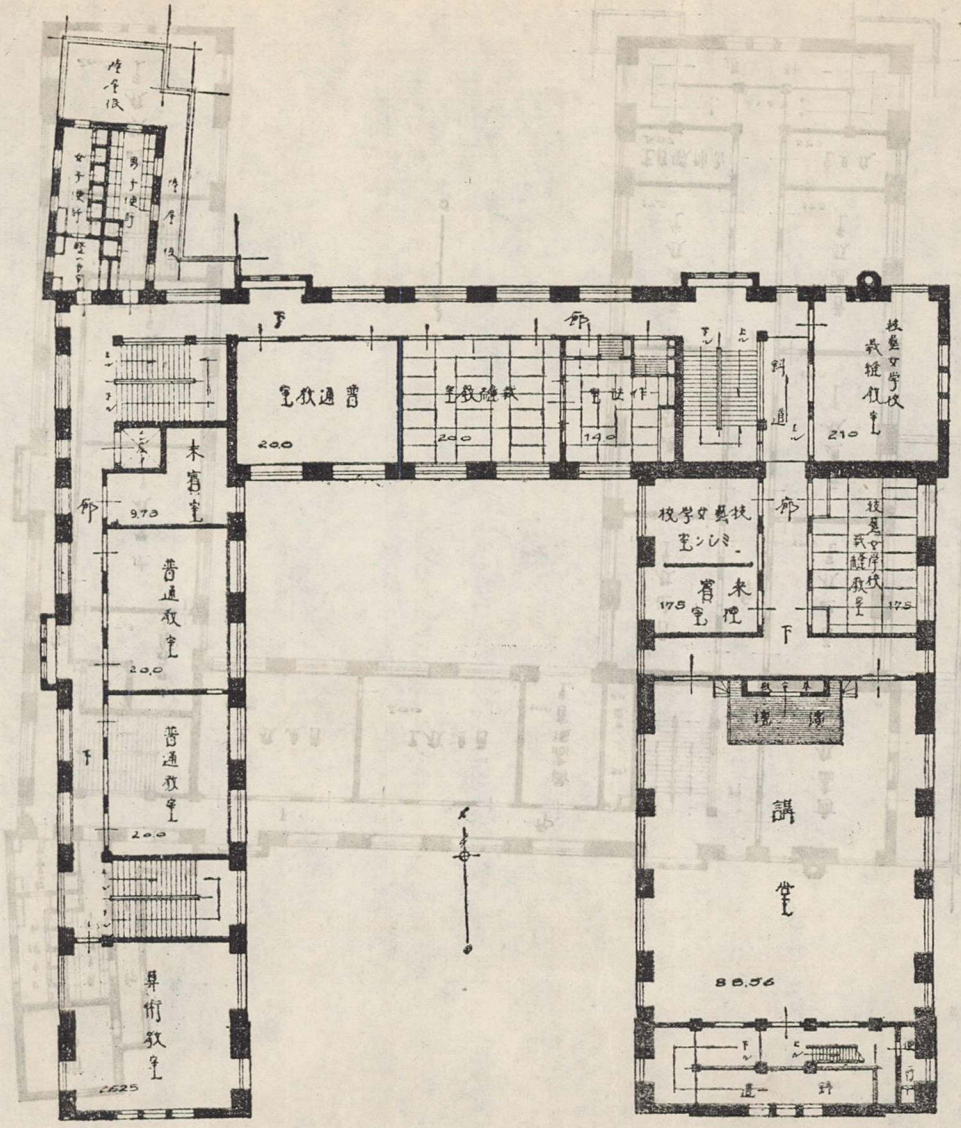


壹階配置圖

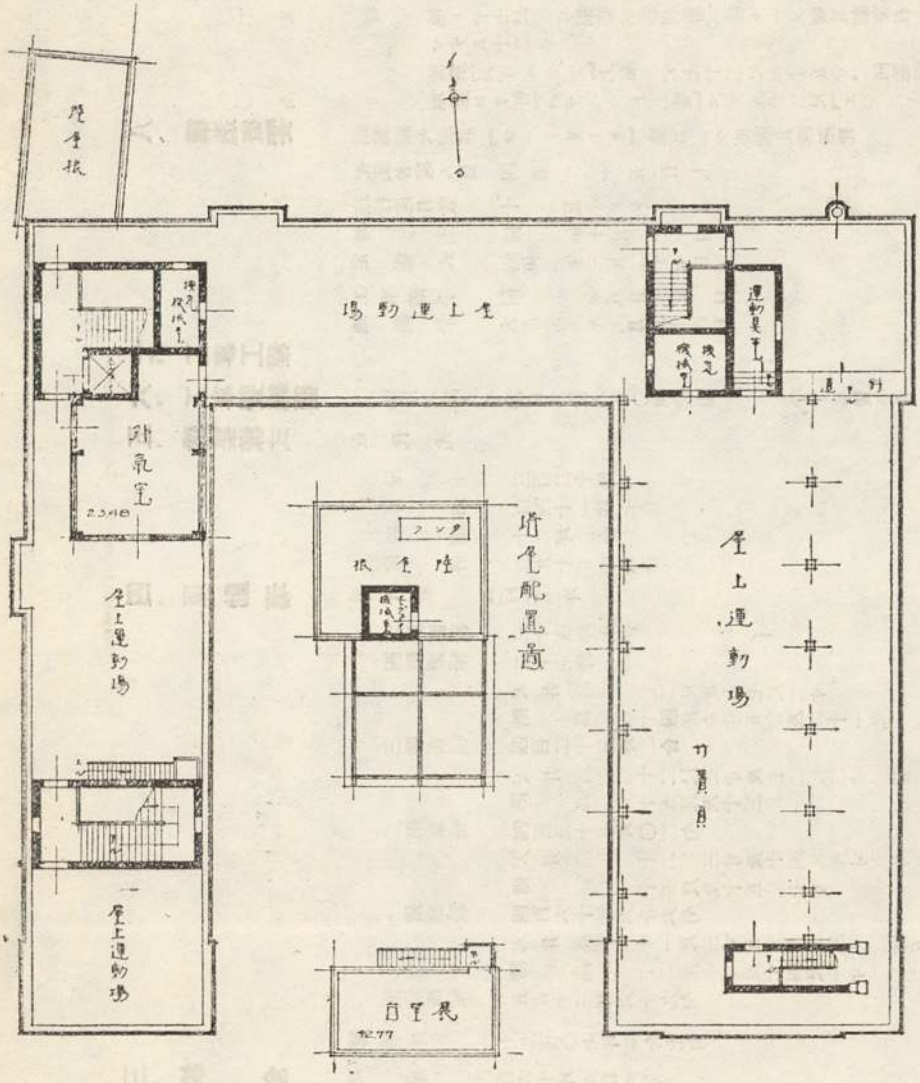
貳階配置圖


普通教室
200
普通教室
200
普通教室
100
物置
4.0
廊下
階段
普通教室
210
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
普通教室
175
廊下
9.73
地歷教室
200
普通教室
200
唱歌教室
26.25
廊下
廊下
廊下
階段
廊下
廊下
廊下

參階配置圖


普通教室
200
普通教室
200
普通教室
200

屋階配置圖



建築概要

一、位置　大阪市東區今橋一丁目四、五、六番地及北濱一丁目二十一ノ二七番地

二、校地　敷地面積　八百六十六坪五合三勺

三、校舍　建坪　四百六十坪六合六勺

總延坪　一千九百〇七坪三合七勺

地階面積　五百十三坪六合九勺

階高　十二尺一寸及十四尺一寸

天井高　十一尺三寸五分及十三尺三寸五分

一階面積　四百六十坪六合六勺

階高　十五尺及十五尺七寸

天井高　十二尺三寸及十四尺九寸五分

二階面積　四百三十八坪〇二勺

階高　十五尺及十三尺

天井高　十二尺三寸及十二尺二寸五分

三階面積　四百二十三坪二合

階高　十四尺六寸五分及二十一尺一寸五分

天井高　十二尺及十七尺二寸

四階面積　三十七坪一合

塔屋面積　三十四坪七合

四、運動場　總坪數　六百七十坪

屋外　百九十五坪八合

砂場　十二坪五合

屋内　百四十一坪七合

屋上　三百二十坪

五、建築樣式　近代式

六、工事費總額　五拾六萬八千參百九拾六圓〇四錢也（附帶工事費ヲ含ム）

七、工事工程

地鎭祭　大正十五年七月二十四日

工事着手　同　年八月　二　日

定礎式　昭和二年三月二十七日

竣工　同　年十月　二　日

施行延月數　十五ヶ月

從業者延人員　四萬二千五百人

耐震耐火鐵筋『コンクリート』造ニシテ地階共四階建

八、構造概要

（一）高サ　地盤ヨリ軒『パラペット上端』マデ五十二尺『エレベーター』機械室『パラペット』上端マデ七十二尺六寸五分、同避雷針頂上マデ八十二尺

（二）基礎　地下十七尺二寸掘鑿ヲ砂利層ニ達セシメ硬質割栗石ヲ搗キ固メ鐵筋『コンクリート』層ヲ造ル

（三）壁體　外壁及内部耐震壁ハ鐵筋『コンクリート』造トシ其他ノ内部仕切ハ鐵骨『ラス』張テナシ兩面ヨリ『コンクリート』塗トス

（四）内外壁仕上　外部ハ總體有色擬石塗ニシテ一部分『中村式グラニット』張ヲ施ス、内部各壁ハ大連『ドロマイト』塗ニシテ講堂及集會所ハ

『コルク入』トス、教室内部ハ水性『ペイン』塗仕上トシ校長室應接室、唱歌教室及來賓室等ハ壁紙仕上トス
各階腰ハ木造腰羽目付ニシテ屋内運動場、一階廊下及各階段ハ腰羽目共大連『コルク』入『ドロマイト』研出仕上トシ、玄關内部腰ハ中村式『グラニツト』張トス
床面及屋根面ハ左ノ七種トス

(1)『タイル』張　表玄關、集會所、圖書室、灌水室
(2)『アスファルト』『コンクリート』塗　地階（手工教室ヲ除ク）一階廊下
(3)木造『テツキ』張　屋内運動場
(4)木　煉　瓦　敷　屋外運動場、『スロープ』階段
(5)『ロツク』『アスファルト』敷　屋上運動場
(6)疊　敷　作法室、裁縫教室、技藝裁縫教室
(7)板敷並ニ一部人造研出仕上、其他　地階及四階塔家ヲ除ク外全部　重天下トシ、講堂、集會所及唱歌教室等ハ音響防止ノタメ特殊ノ塗工ヲス

（六）天　井
（七）外部出入口及窓　外壁出入口ハ『スチールドーア』トシ磨キ網入硝子ヲ嵌ム窓、『スチール』『サッシュ』上下建ニシテ上部廻轉欄間付厚硝子嵌トス
江　東　大阪鐵工所
サッシー　スティールドアー

（八）防水工事
地階總體、土付壁總體、一階玄關、使丁室、屋内運動場、屋外運動場、周圍明リ取リ『エリヤ』蓋上部、『プール』ノ内外部各階便所、淨化槽、並ニ屋上全部ハ『ラバロイド』及『アスファルト』五層敷トス

九、設備概要

（一）暖房裝置
東亞眞空式低壓蒸汽暖房裝置ニシテ米國『ラヂエーター』會社製『アイデアル、スモークレス』『ボイラー』二臺ヲ設置シ各室ノ『ラヂエーター』ニ連絡ス

（二）水道設備
市水道管ヨリ引込ミ『ル本管ハ二條ニ分レテ屋上二箇ノ貯水槽ニ入リソレヨリ私設水道ニヨリ各所ノ給水所、便所及噴泉等ニ連絡ス
プール用、撒水用及防火栓ハ本管直結トナル『サイヤシンス、コンネクション』ノ設アリ
又市消防署『ポンプ』ニ直結トナル『サイヤシンス、コンネクション』ノ設アリ

（三）衛生設備
各階便所及割烹室等ノ汚水ハ汚水處理槽ニ集リ自動『ポンプ』ニヨリ排水ス、又別ニ東校舍三階便所用處理槽ヨリコレガ汚水ハ喞筒室ニ導キ『プール』ソノ他ノ排水ト共ニ二臺ノ自動『ポンプ』ニテ排水ス
汚水處理槽ノ構造ハ西原式特許徹菌淨淨法ニヨリ各階便所ハ同氏特許簡易水洗式トシ職員用及東校舍三階便所ハ洗滌式トス

（四）換氣裝置
『エキゾース』ト『フアン』ニヨル左ノ室ノ換氣ハA、B、C、ノ三系統トス
A、集　會　所、　割　烹　室、
B、講　堂、　C、理科教室　洗濯教室
尙ホ各教室ソノ他ノ各室ニハ入排氣孔及空氣抜ヲ設ケ自然換氣ヲナスト共ニ音響ノ調節ヲ兼ヌ

（五）電氣設備
市電三千三百『ボルト』ノ高壓線ヲ電氣室ニ引込ミ變壓シテ動力電熱及電燈等ノ各種ノ用ニ送電ス

配線ハ總テ隱蔽式トシテ各室ニ導キ『シャンデリヤ』『パイプペンダント』『コードペンダント』等ヲ釣付ケ、割烹教室ニハ電氣『コンロ』洗濯教室及裁縫教室ニハ電氣『アイロン』手工教室及理科教室ニハ實驗用及動力用ノ設備ヲナス、尚ホ集會所、圖書室及職員室ニハ天井用電氣扇ヲ設ク

（六）瓦斯設備　瓦斯ハ手工、割烹、洗濯及理科教室並ニ使丁室ニ燃料用トシテ設置ス

（七）電話設備　本線本番ト私設トヲ設置シ本番ハ電話室ニ設ケ增設二ケ所ヲ配置ス、私設ハ十七ケ所ニ設置シ職員室ニアル交換所ニヨリ相互ニ連絡ス

（八）氣氣時計ト電鈴　親時計ヲ校長室ニ設置シ二十三ケ所ニ子時計ヲ配置ス電鈴ハ『ブザー』ト共ニ大少三十二ケ所ニ配置シ前者ノ作用ニヨリ自動的ニ二種ノ音ヲ發スルモノトス尚ホ別ニ押釦式呼鈴ヲ設ク

（九）昇降機　日本『エレベーター』製造株式會社製乘客用ニシテ積載量二五〇〇封度速度一五〇呎、地階ヨリ四階マデ全高七十五尺各階ニ連絡シ最上ニ機械室ヲ設ケ、入口疊込扉ニハ特殊ノ安全裝置ヲ施セリ

一〇、設計幷ニ監督及工事請負者

設計並ニ監督　工學士　宗兵藏

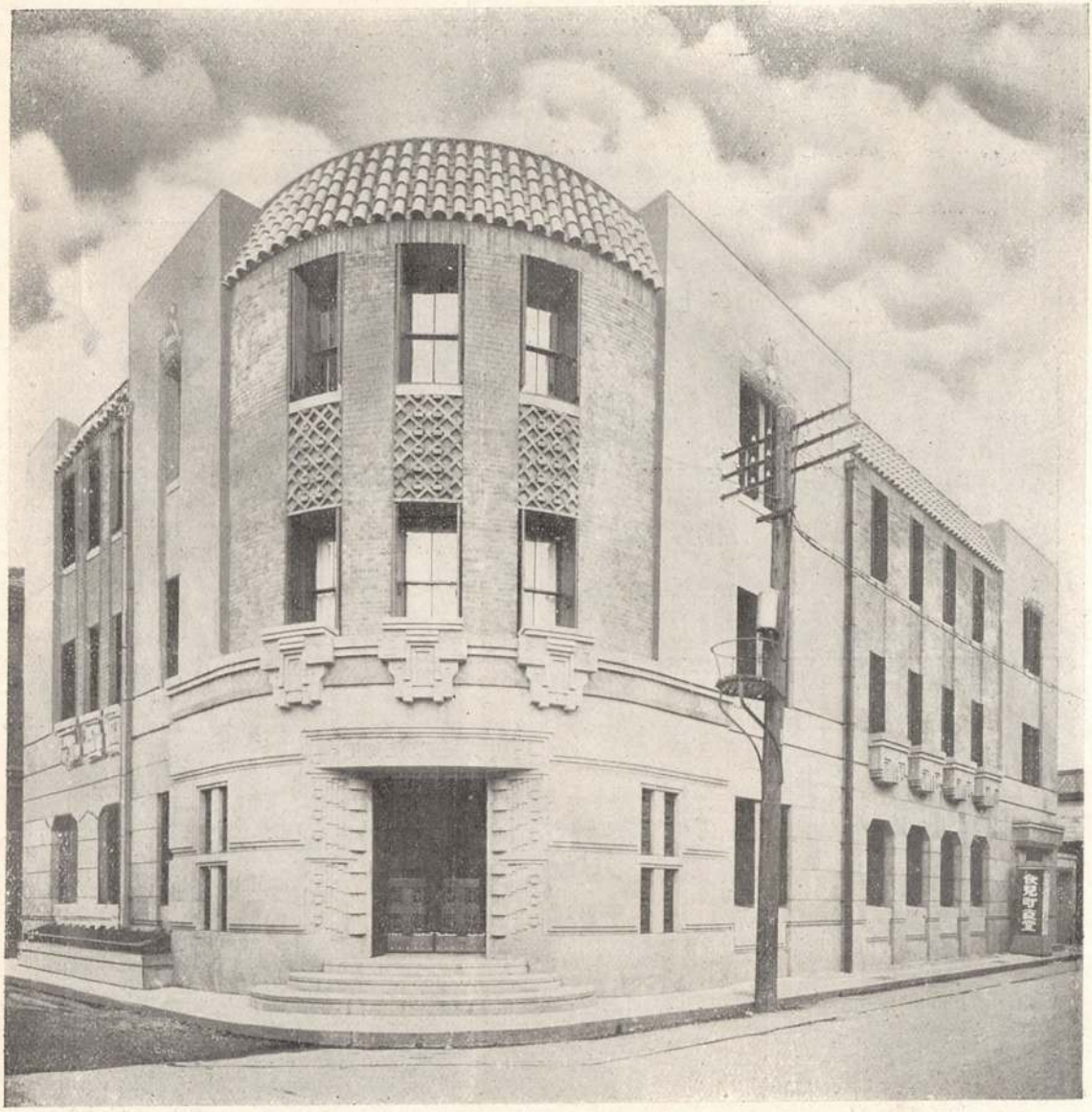
現場主任　坂井米吉

工事請負者　株式會社　大林組

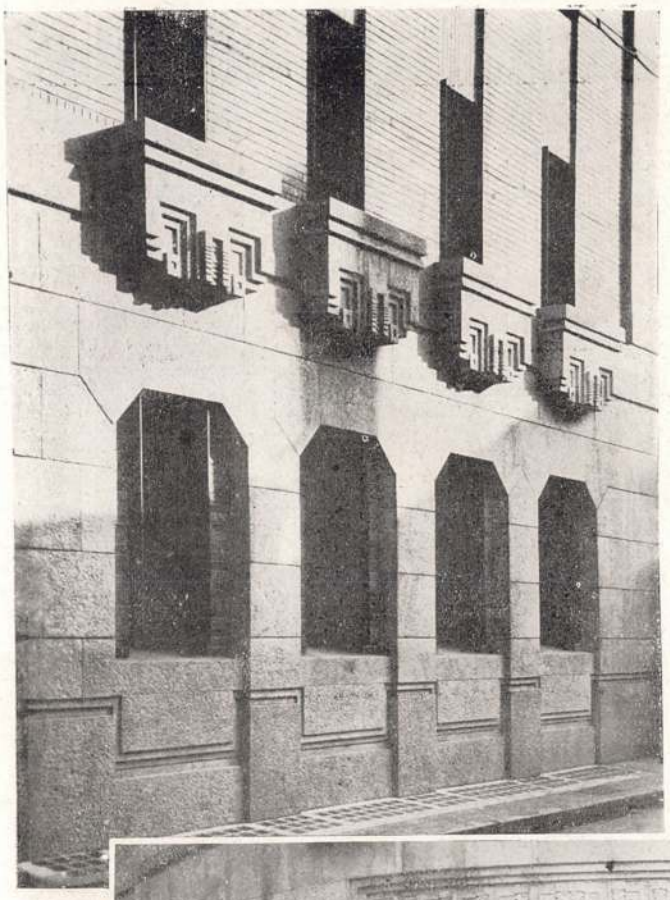
一一、建築委員

（順序不同）

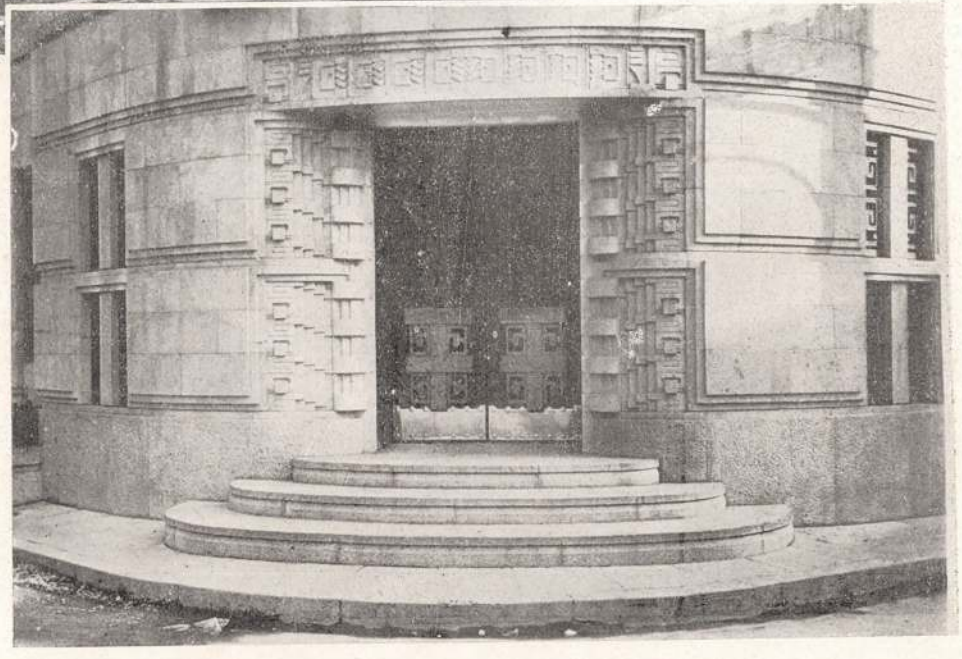
委員長	小西儀助	委員	井上德三郎
委員	小寺篤兵衛	同	中村秀五郎
同	寶田太一	同	山中吉郎兵衛
同	上島益三郎	同	坂口彦三郎
同	竹原友三郎	同	加藤晴比古
同	野々村政也	同	小川平助
同	井上嘉助	同	山中定次郎
同	八代祐太郎	同	辻忠右衛門
同	谷始太郎	同	藤谷此藏
同	高田久右衛門	同	三國仁兵衛
同	藤澤友吉	同	柳原三郎
同	長岡彌太郎	同	伊藤喜十郎
同	福井庄次郎	同	門川定七
同	安井仲藏		



大阪・芝川ビルディング　外観

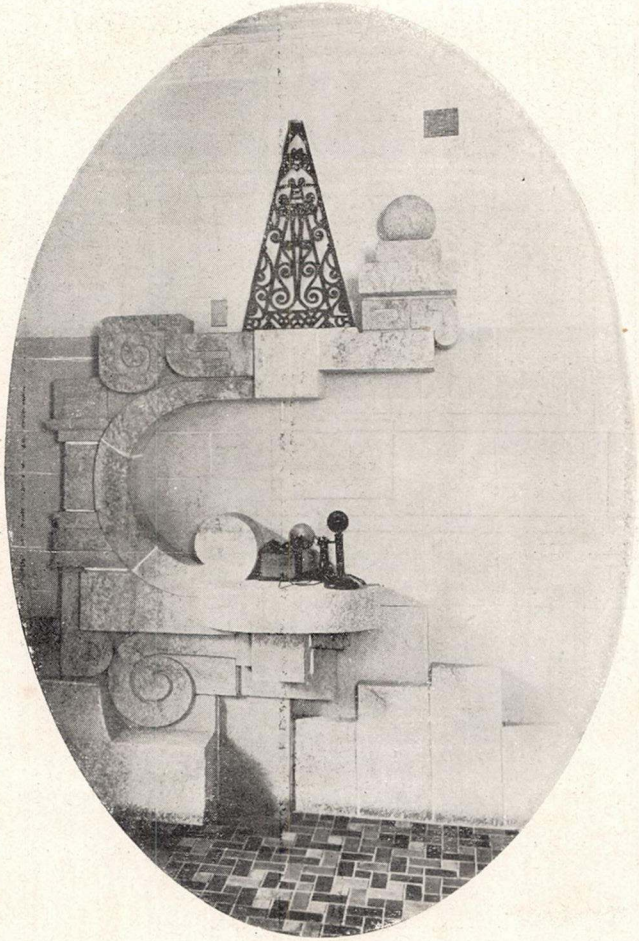


同　窓

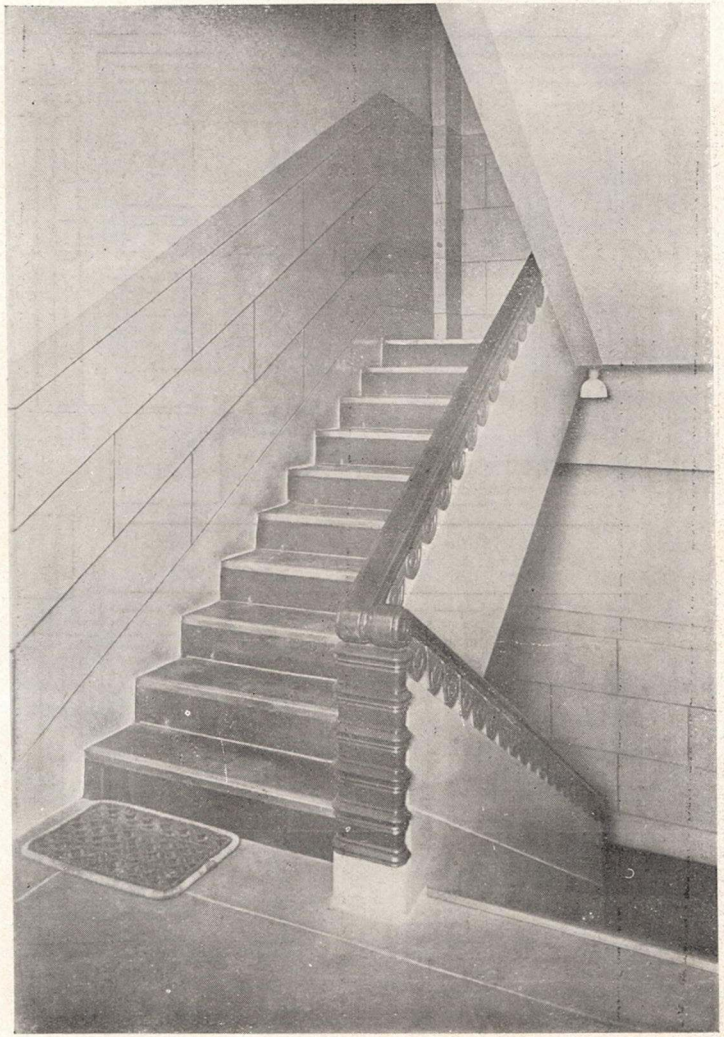


玄　同

關

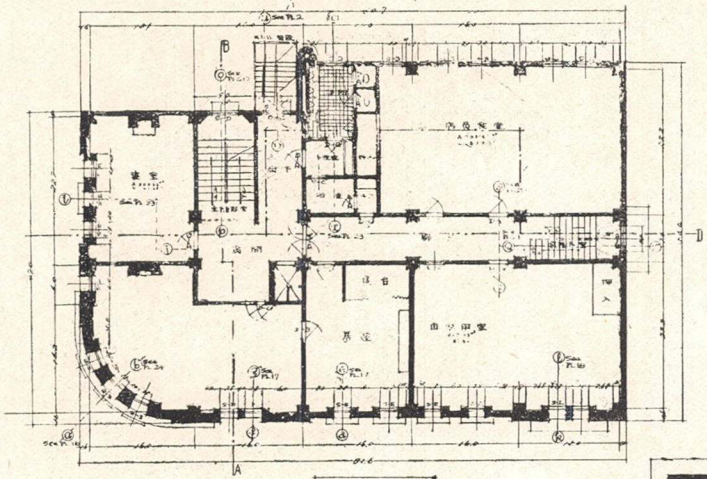


同・電話機臺

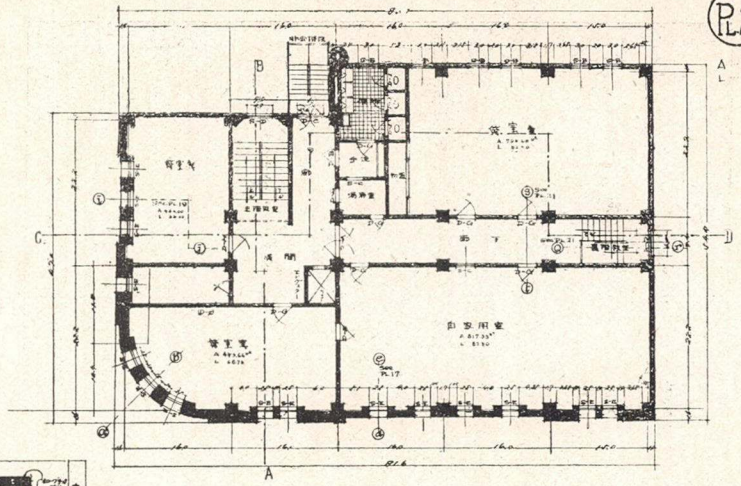


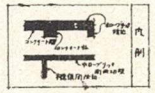
同・階　段

二階平面

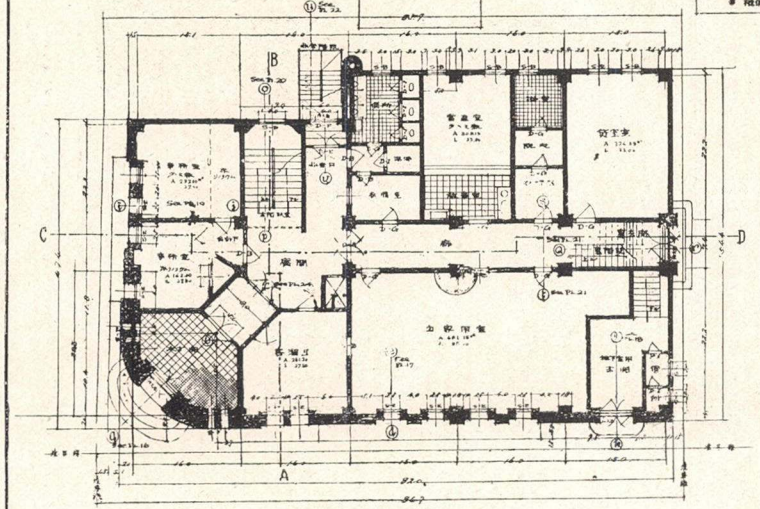


三階平面

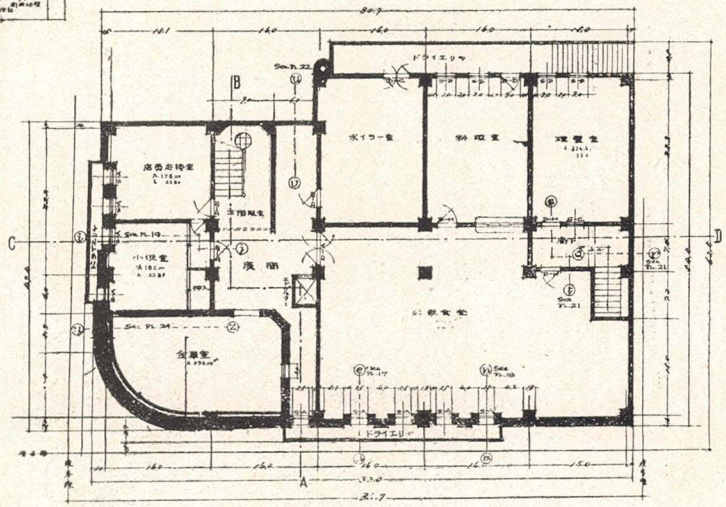


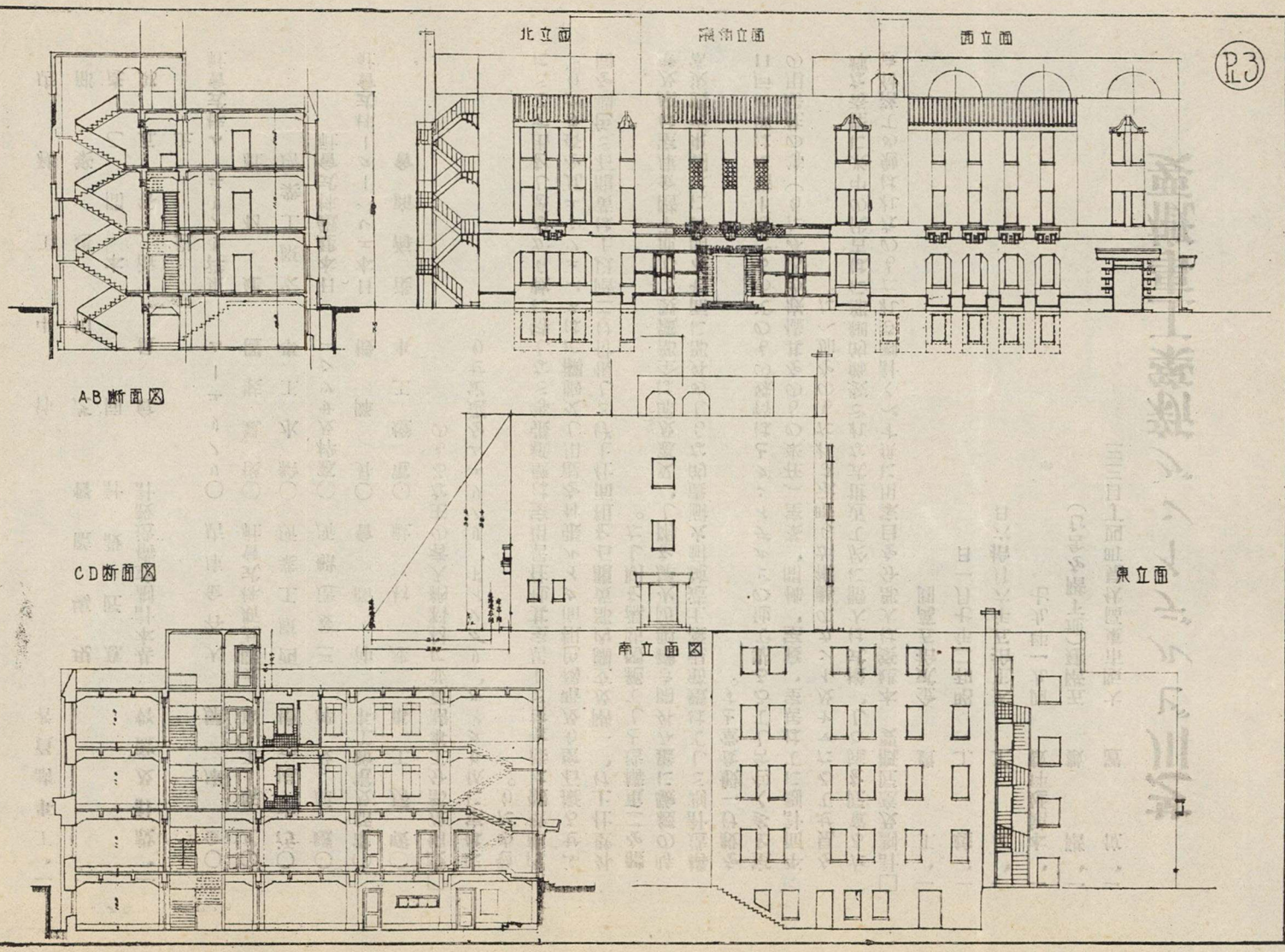


一階平面



地階平面




北立面
西立面
PL3
AB断面図
CD断面図
南立面図
東立面

芝川ビルデイング新築工事概要

一、位　置　大阪市東區伏見町四丁目三三
一、階　數　五階建(地下階を含む)
一、本館延坪數　四九一坪九七
一、起　工　大正拾五年六月拾六日
一、竣　工　昭和二年七月一日
一、工　費　金貳拾五萬圓

□計劃及意匠概要　本建築は大部分を自家用に供すべく計劃されたものなれば勉めて落付きたる意匠を施こし、樣式は大體に於て近世式なれど裝飾的細部には古代の中米に怪奇な輝を見せてゐたマヤ及インカの藝術から暗示されたものを加へた。

平面計劃にては居室、寢室、佛間、茶室(在來のものを其儘嵌め込みたり)等の住居用の室を多く包含してゐる點で他のビルデイングとは特殊のものである。地下階には別に戸口を設け一般食堂とす。

構造計劃としては鐵筋混凝土造純耐火耐震的ならしめ外部に面せる開口には關東大震災當時の經驗に鑑み外開き鐵製防火扉を附し、又窓及扉は全部鐵製とし地下階金庫室は床及壁體を二重構造として絶體防濕を期した。

外壁仕上げ、一階及玄關內部黃龍石を粗面仕上げとし張付け二階以上は黃龍石と色調を同ふせる擬石塗り及暗褐色粗面タイル張付を混用し又胸欄にはスパニツシュ瓦を葺きたり。

內部壁體は漆喰塗とし居室其他住居用室は壁紙張等となし特に軟らかな感じを出すことに勉めたり。

床は室に依りタイル、リグノイド、リノリユムを選定せり。

□設備及部分工事請負並に材料納入者の主なるもの

○暖房工事　建材社　○電燈工事　淺海商會
○電話及電鈴工事　沖商會　○昇降機　日本エレベーター株式會社
○鐵扉及枠　三菱造船所　○窓枠及サツシュ　日本建鐵株式會社
○汚水處理槽　西原工業所　○給水工事　安原工業所
○瓦　斯工事　大阪瓦斯株式會社　○換氣裝置　建材社
○金庫扉　大谷金庫店　○リノリユーム　東洋リノリユーム株式會社

以上

一、設計及監督　基本計劃並構造設計　會員　澁谷五郎
　　意匠設計　同　本間乙彥
　　現場監督　芝川建築部
一、工事請負者　竹中工務店

社團法人日本建築協會會報

役員會

○常務會

昭和二年十二月五日自午後四時半至同八時半

出席者
理事　片岡君　宗君　日高君
監事　横濱君
常務　坪井君　松室君　阪口君
　　德政君　谷君　池田谷君
　　波江君　野呂君　八木君
　　吉井君

報告
一、十一月分會計報告
二、メートル其他の規格統一に關する件
右二件夫々當該常務より報告ありて承認

決議事項
一、昭和三年度豫算に關する件
修正可決
二、昭和元年度決算に關する件
可決
三、評議員會開催に關する件
十二月八日開會のことに決定
四、通常總會開催に關する件
十二月十七日開催のことに決定
五、第二部委員伊藤正文君辭任届出に關する件
承認のことに決定
六、第三部委員會事業計畫に關する件
建築資料陳列館設立促進の件承認
七、役員詮衡委員會開催に付事後承認の件
承認
八、豫備金使用及事業準備金の件
承認
九、金錢支出科目更正及流用に關する件承認
一〇、會員入退會の件
左記諸君の入會を承諾すること
會員
川口一二君　富士岡重一君
谷義三郎君　高松平太郎君
普贊
德光又次郎君
左記諸君の退會を承認すること
會員
片岡長參君　竹平孫一君
脇寅君
普贊
深澤勝久君　栗野豊三君
前田清次君

○評議員會

昭和二年十一月二十九日自午後四時半至同五時半
場所　大同ビル、ライオン食堂
出席者（二十二名）
今林君　池田谷君　德政君　岡部君
小笠原君　和田君　片岡君　横濱君
谷君　高田君　宗君　坪井君
長田君　波江君　永田君　浦君
野呂君　能村君　八木君　松本儀君
松室君　藤枝君　小西君　古宇田君
酒井君　境君　木村君　三木君
光安君　島田君　平島君　須川君

決議事項
一、評議員半數退任の件
定款第十八條に依り抽籤を以て左記二十名退任のことに決定
退任者
今林君　德政君　大林君
岡部君　吉井君　高田君
長田君　中島君　波江君
永田君　八十君　山脇君
松本儀君　藤枝君　兒玉君
古宇田君　阪口君　三木君
島田君　平島君
留任者（二十名）
池田谷君　大原君　小笠原君
渡部君　和田君　片岡君
谷君　坪井君　浦君
野呂君　能村君　松本禹君
松室君　小西君　酒井君
境君　佐藤君　木村君
光安君　須川君

○評議員會

昭和二年十二月八日自午後五時至同八時
場所　大同ビル、ライオン食堂
出席者（二十二名）
池田谷君　德政君　大原君　和田君
渡部君　片岡君　吉井君　高田君
谷君　坪井君　中島君　永田君
能村君　八木君　松室君　小西君
阪口君　木村君　三木君　平島君
須川君　横濱君

決議事項
一、昭和三年度收支豫算の件
德政主計より原案說明ありて二希望條件を附して原案原決
一、昭和元年度收支決算の件
異議者なく承認のことに決定
一、片岡議長より右二件來る通常總會に附議するを以て異議なきやを諮り異議無く附議のことに可決

委員會

○第一部委員會

昭和二年十一月十八日自午後五時至同八時半
出席者
委員　池田君　野呂君　久留君
　　小川君　竹中君　津田君
　　古塚君
常務　松室君
議事
一、建築法規に關する懇談會開催の件
大阪府當局に於て最近建築法規の改

正をなす意嚮ある由仄聞せり依つて此好機に府建築課長其他を招請して本委員は勿論全會員出席して懇談會を開催し法規上の種々不便なる點其他改正を要する點等希望意見を開陳し同法の改正促進をなすことに決定

一、其他

○第一部各分科聯合委員會

昭和二年十二月一日自午後五時至同十時

出席者

池田君　加藤君　宮本君　小川君
竹中君　今林君　平塚君　岡田君

報告

一、本年度委員會委員の任期は明年二月二十四日を以て任期滿了なる旨會長より通信ありたること

二、各分科の今日迄調査したる事項種々

右二件池田委員長より報告

決議事項

一、爾今各分科は合併の上會合すること

但し分科に主査を置くことは從前通

一、法規改正意見を蒐集したるものは竹中委員に於て整理のこと

整理濟の上は委員長名を以て常務會に報告のこと

一、法規の改正意見研究に付ては法、令、規則の改正意見研究のこと、細則、取締規則等は其研究を他日に讓ること

○第二部委員會

昭和二年十一月二十一日自午後五時至同六時

出席者

古宇田君　小笠原君　池田谷君
松本君　酒井君

議事

6、委員伊藤正文君の辭任届は已むを得ないものと認め常務會に回付すること

7、十二月一日第二分科委員を招集すること

○第二部各分科聯合委員會

昭和二年十二月一日自午後五時至同八時

出席者

古宇田君　池田谷君　松本君
酒井君　高橋君　增山君
管田君　佐藤君　松尾君

研究事項

一、建築史料に關する調査事項

左の順序に依り調査を進むること

1、泉南郡熊取村　中辰之助氏邸宅調査

2、二ツ井戸附近調査のこと

（大阪市内街路舊觀の保存）

3、著名建築物の年鑑の作成のこと

4、大念佛寺（平野鄕所在）燒失前の寫眞複製のこと

5、南河內郡高鷲村西村氏邸宅調査のこと

6、南河內郡天野山所在傳後村上天皇行在所調査のこと

一、十二月十八日に中辰之助氏邸宅の實測及見學をなすことに決定

○第四部委員會

昭和二年十二月九日自午後五時至同八時

出席者

波江君　池田君　黑田君　增田君

議事

一、各委員擔當の木造耐震構造の參考圖面を可成本月中に委員會宛送付方を要求すること

一、其他木造耐震構造に付研究を重ねて散會

會合

○十一月例會

昭和二年十一月二十一日自午後六時至同八時半

場所　大同ビル、ライオン食堂

出席者　石本君外二十一名

一、本會の發展進歩に一層の實蹟を擧ぐるには如何にすれば我等の期待する最も熱心なる適當なる役員を選定し得るか評議員半數改選も近づきつゝある折柄各位腹藏なき意見の交換をなし具體案を得たしと片岡會長より挨拶あり各會員より意見の應酬ありて後左の通り決議す

1、役員詮衡委員會を作ること

2、詮衡委員は現任評議員全部、交涉團體幹事若干名（十名以內選定は會長一任）、長老會員若干名（同上）とす

3、詮衡委員會に於て詮衡したる人名を選擧の參考の爲に會員へ周知すること

4、役員詮衡委員會は十一月二十八九日頃開催のこと

○建築法親に關する懇談會

昭和二年十一月二十五日自午後二時至八時半

場所　大同ビル、ライオン食堂

司會　第一部委員會

出席者

大阪府建築課

津田君　平井君　落藤君　長野君
岡本君　玉置君

會員

永田君　木子君　和田君　松本儀君
本間君　松室君　須川君　小笠原君
光安君　坪井君　今林君　加藤君
長澤君　石井君　下浦君　青柳貞君

三浦茂君　山本由君　阿部君　森本君
木原君　足立君　工藤君　森山君
南部君　大澤君　鈴木君　伴野君
新名君　川口君　岩田君
第一部委員會
池田君　野呂君　小川君　竹中君
古塚君　宮本君　久留君
記事
一、久留第一部委員より開會の挨拶及本懇談會に對する希望を述べ法規に對する改正意見、改正希望、質疑問題を夫々出席會員より府當側の方々へ開陳す
途中二回の休憩を經て議事を終る
閉會に當り津田課長より本日の會合は法規改正上參考資料として多くのものを得たり、機會を得て夫々改善されること、信ずと謝辭あり、池田第一部委員長は府當局者並に多數會員各位の來會に對し謝辭を述べ尚將來斯かる會を度々開催したきこと又內務省に於て改正案出來の際は發表前に當會へ諸問ありたきこと等希望して會を閉づ

新入會者宿所

會員
兵庫縣芦屋町打出西吳川
富士岡重一君
一〇
勤先　大阪市役所

川口　一二君
西宮市壽町二三
勤先　大阪市役所
住吉區天王寺町一一四三
谷　義三郎君
ノ一
勤先　池田谷建築事務所
南區末吉橋通四ノ三一
高松平太郎君
自營
普　賛
德光又次郎君　京都市ト京區西洞院御前通下ル四四六

轉居轉勤

名　賛
直木倫太郎君　神戸市野崎通三ノ一二
會　員
前田　武正君　港區音羽町三ノ一〇
此花區上福島北一ノ五
金澤　實直君
藤村　武君　阿部設計事務所（阪神急行電鐵株式會社內）
前內文二郎君　東淀川區本庄西通一ノ二四
森　義弘君　門司市大久保海岸農林省
門司倉庫新設工事場　大阪橋本組作業場內
仲　彦七君　同上
石井　勇君　兵庫縣武庫郡本庄村深江二五六吉村方
松村　次郎君　京都市河原町四條富士生命ビル上田工務店內
湯淺十三二君　府下豐能郡北豐島村石橋

德永　義治君　府下豐能郡豐中南通三ノ一二六
坂口　正雄君　兵庫縣赤穗郡赤穗町中廣
大阪合同紡績會社宅
岡部　顯則君　西區靱南通二丁目ユタカビル三階岡部建築事務所
工藤榮治郎君　府下豐能郡池田町菅原町五八二
岡田初太郎君　兵庫縣武庫郡今津町津門
船本　晉君　岡山縣中洲村酒津絹織株式會社建築場大林組出張所
伊部　貞吉君　東京府下高田雜司ヶ谷町旭出六三
東京市麹町區農林省改築工事場大林組出張所
終　賛
清水芳次郎君　東淀川區本庄西通一ノ一
普　賛
大概　貞夫君　東京市麹町區有樂町東京日日新聞社建築場大林組出張所
田口　清君　農林省農務局建築係
川面　萬吉君　東京市四ヶ谷區永住町三
篠原　實君　兵庫縣武庫郡西鄉町新在家小泉製麻會社建築工事場清水組出張所
高濱　利通君　東京市芝區白金三光町二六〇
吉田光太郎君　東京市芝區赤羽町一簡易保險局建築場內

佐藤　佐七君　京都市夷川通川東七筋目上ル勝見方
今井　團一君　東京市京橋區松屋町二ノ一一大友方

住所不明者

左記諸君住所不明に付御心當りの御方は乍御面倒御通知を願ひます
會員　重本政次郎君
普賛　丸小野貞治君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社
都市人　每號　其　社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其　社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
工政　每號　其　會
經濟資料　每號　東亞經濟調査局
土木建築　每號　其　社
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　大阪工業俱樂部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其　會
工業評論　每號　其　社
電氣學會雜誌　每號　其　會

鐵道軌道經營資料	每號	鐵道同志會
趣味ノ園藝	每號	關西園藝會
土木建築之日本	每號	其 社
工業ト社會	每號	東京工業會
工 業	每號	大阪工業會
滿州建築協會雜誌	每號	其 協 會
庭園と風景	每號	日本庭園協會
圖書室月報	每號	東京市政調査會
大阪綱島工業會誌	每號	其 會
エンヂニヤリング	每號	其 社
工業要錄	每號	其 發 行 所
都市研究	每號	兵庫縣都市研究會
名古屋工業會々報	每號	其 會
大 大 阪	每號	大阪都市協會
生 活	每號	生活改善同盟會
建 設	每號	其 社
都市問題	每號	東京市政調査會
新 建 築	每號	其 社
京都の實業	每號	京都商業會議所
建 築	每號	中央建築會
都市創作	每號	其 會
木材彙報	每號	大阪木材協會
驗 工	每號	其 會
建築學研究	每號	其 會
大阪土木建築業組合報	每號	其 組 合

役員

會長	理事	片岡安
副會長	理事	宗兵藏
副會長	理事	野村一郎
	監事	池田實
	監事	松本禹象
主記	常務	横濱勉
同	常務	坪井誠一
同	常務	和田夏次郎
主計	常務	浦英之助
同	常務	吉井長七
同	常務	岡部顯則
編輯	常務	木間乙彦
同	常務	波江悌夫
同	常務	八木幸次郎
同	常務	木村寛一

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	七拾五錢	貳錢
十二冊	九圓	貳拾四錢

昭和二年十二月廿一日印刷（每月壹回）
昭和三年一月一日發行（一日發行）

兵庫縣武庫郡本山村字北畑
發行兼編輯人 薦田夏治郎
發行兼印刷人

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所 大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所 社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店 柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ
振替又は爲替にて前金御拂込被下度
候

恭賀新年

社團法人

日本建築協會

理事會長　片岡安
理事副會長　宗兵藏
理事副會長　野村一郎
監事　池田實
監事　松本禹象
常務主記　横濱勉
常務主記　坪井誠一
常務主記　和田貞治郎
常務主計　吉井長七
常務主計　浦英之助
常務主計　岡部顯則
常務編輯　波江悌夫
常務編輯　八木幸次郎
常務編輯　本間乙彥
常務編輯　木村寬一

外職員一同

謹賀新年

糸永文吉
東京建鐵株式式會社大阪支店

今林彦太郎
兵庫縣武庫郡深江村

伊藤幸太郎
大阪市北區相生町三五

飯田忠三郎
市内天王寺北河堀町
一一四番地

池上四郎
住吉區天王寺町九二四

磯田竹次
神戸市元町五丁目五九

岩崎甚太郎
京都市下京區四條通烏丸
東入ル安田ビルデイング

生野彌三郎
大阪市北區東野田町
三丁目五九

井堀秀吉
鹿兒島市山下町四三番
地縣廳正門前

池村元之助
大阪市南區北桃谷五〇

池田谷久吉
大阪市西區京町堀上通
一丁目彌生ビルデング

井上準一郎
和歌山市南田邊町四十
二番地

飯田賢次
大阪市港區六條通ノ一丁目四番地

池田宮彥

林市藏

濱恒次郎
大阪市浪速區本津川町一丁目

須賀藤五郎
大阪市東區高麗橋五丁目

伴仲信次
廣島電信兵第二聯隊第二中隊

北條時敬
東京府下王子町北宿一一八番地

東松孝時
兵庫縣寶塚湯本櫻茶屋

土岐嘉平
東京市外澁谷町大山一番地

岡本新次郎
東區橫堀四ノ四十三

小津利一
大阪市此花區酉島町北港住宅三二一ノ一

國藤武

廣田好文
大阪市西淀川區北傳法町鴻池組

岡田平藏
名古屋市西區西菊井町

大谷木廣
東京市麹町區有樂町三丁目一

岡胤信
本郷區上富士前町七三

大原忠隆
大阪市東區谷町一ノ二四

大谷順作
神戸市須磨町下宿道九番地

太田穗積
東京市小石川區宮下町五十一番地

小川繁太郎
大阪市東區今橋二丁目二十三番地

岡村德一郎
大垣市藤江町百八十八番地

渡邊家三
府下布施町永和三六五

渡邊珍久
京都市上京區田中野神町一九

葛野壯一郎
市內北區絹笠町大江ビルデング

川島甚兵衛
大阪市東區淡路町一丁目三一

籠田定憲
大連市山縣通り大倉ビルデング

龜谷開作
大阪市北區鶴野町三六番地

石本喜久治
東京市麹町區永樂町一丁目一番地

加護谷祐太郎
東京市外代々幡町笹塚一一四一

菅谷元治

加納義信
神戸市熊内町二丁目十五番地

加藤善吉
大阪府廳内都市計畫大阪地方委員會

吉武長一
東京市日本橋畔村井ビルデング

横濱勉
大阪府下箕面村櫻ケ丘

吉井長七
兵庫縣武廣郡精道村芦屋辰新田六九三ノ三

吉崎源三郎
大阪市港區南境川町二丁目二〇番地

吉田清
大阪市此花區吉野町三ノ九二

田中譲

武田五一
京都市千本丸太町西入南

高橋直喜
大阪市東區北濱一ノ二六

田邊滿一
金澤市長良町一二ノ六

川崎鐵三
横濱市本町四丁目六十三番地若尾ビル

田中勇
大阪港區大正通一丁目六三

丹下勝隆
濱松市田町二七五

高橋榮治
住友合資會社工作部建築課

谷　民藏
大阪市東區內平野町一ノ二四

高橋定太郎
東京市赤阪區檜町十二番地

玉川貫治
神戸市下山手通五丁目十四番屋敷ノ一

谷口德政
堺市大濱南公園

田中豐輔
大阪府泉南郡淡輪

田中豐太郎
札幌市北四條西十五丁目

竹中藤右衛門
神戸市熊內町六丁目

高野又助
建材社大阪出張所

宗兵藏
大阪市東區北濱四丁目五十番地

坪井誠一
大阪市住吉區天王寺町三一七二

永田三次郎
大阪市東成町猪飼野町二六八

直木倫太郎
神戸市野崎通三丁目一二

中村庸二
東京市日本橋區蠣殼町一ノ一

中島富造
神戸市永澤町三丁目六六

中川彌八
兵庫縣尼崎要西本町一丁目

鍋島辰之助
大阪市浪速區新川一丁目七二〇

中川辰藏
大阪市北區曾根崎上一丁目八十三番地

村井季四郎
大阪府豊能郡箕面村櫻ヶ丘

村上徹一
兵庫縣武庫郡六甲村八幡字山田六六

村野藤吾
大阪・大阪ビルデイング

内山熊八郎
大阪市西區土佐堀通二丁目二番地

上瀧辨吉
大阪市東成區鴫野町五六九地

野村一郎
野村一郎建築事務所

野澤幸三郎
神戸市北長狹通三丁目

黑住福三郎
門司市花山通リ三丁目二三四五番地

久保田小三郎
港區南境川町一丁目二番地

黑田鵬心
東京市外澁谷町靑葉一〇

大須賀巖
丸龜市役所

欅田藤郎
堺市三國丘町三六七

熊取谷熊次郎
大阪市東區材木町七十九番地

山口半兵衛
大阪市東區瓦町二丁目
山口ビルヂング

山中茂一
堺市熊野町東四丁

山本由太郎
大阪市淀川區南濱町
三丁目二九番地

山本潔
大阪市北區芝田町

山口房五郎
大阪市東區北濱四丁目

山添繁藏
內外土木建築材料合資會社

牧野元良
兵庫縣武庫郡住吉村

松本仁重郎
大阪府北河內郡守口町
寺內

松下由藏
大阪市北區眞砂町
四十一番地

松室重光
京都市上京區下鴨森本町
二十六番地

松本儀八
大阪府豐能郡麻田村
山ノ庄阪急寶塚線螢ヶ池

馬淵銳太郎
東京市外澁谷町宇田川
一九

前內文二郎
大阪市東淀川區本庄西
通一丁目二十四番地

舟橋俊一
大阪市港區鶴町四丁目
一八二

藤田建築工務所
神戶市三川口町三丁目
四一

福島祿壽

藤村武
武庫郡本山村野寄六一七

小西兼吉
大阪市北區天滿橋筋四丁目十三番地

小松靜
東京市牛込區原町一丁目十一番地

小松讀之介
京都市上京區上長者町通知恵光院西入須濱町五六

淺野貞治郎
大阪市港區三分町四丁目五〇番地

荒川義夫
京都市下京區五條阪東山線東入五條新通

佐藤四郎
名古屋市東區東芳野町一ノ七五

佐藤正次郎
大阪市西淀川區大仁町百十九番地

佐藤正樹
東京市小石川區戸崎町三番地

佐藤孝三郎
函館市元町六八

佐藤彰美

酒井藤一郎
大阪市港區三軒家東洋紡工場

佐伯與之吉
大阪市港區市岡元町五丁目八番地

木原駒作
武庫郡西灘村稗田一二四

木村喜代松
大阪市西區京町堀通
三丁目一番地

木村梅次郎
神戸市名倉町二丁目三七

宮崎加平
大阪市住吉區天王寺町
一四七〇

宮本長治
大阪府豊中町豊中榮通
二丁目

水上昌三
三重縣四日市市南川原町
九百〇一番地

水口庄太郎
此花區下福島二丁目

白川雄一
大阪市東淀川區中津
本通一ノ一

下浦光衛
神戸市國香通五丁目五七

設樂貞雄
神戸市西須磨上町
十七番地

清水芳次郎
大阪市東淀川區本庄西通
一丁目一番地

日高胖
兵庫縣川邊郡西谷村
花屋敷

森上浩行
兵庫縣武庫郡西灘村
岩屋三一九

森定松之祐
大阪市東區紀伊國町
九〇五番地

森下新造
大阪市東區餌差町四十
二番地ノ一

鈴木克已
福山市西町

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所
大阪建築相談所

所長
建築學士 建築工學士 池田實

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市西成區有樂町37

建築設計並監督
大阪建築所
大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番
六一〇三番

パチエロアー・オフ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階
橋本建築事務所
建築士 工學士 橋本勉
電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號
建築設計監督 小笠原建築事務所
電話北二一五五、二一五六番
建築士 小笠原朝（マヽ）
住所 大阪市此花區四島町北濱住宅二〇號
電話土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險物建三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 宗 兵藏
工學士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市西區靱南通日清生命館四階

安井建築事務所

電話土佐堀二〇七二番

建築士
工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

鐵筋コンクリート建築

設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士 増田清

電話本局 {2673 / 3176}

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築士 設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士 工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三二一號 第六三五四號 第六四二三號 第六一四〇七二號

西原式 汚水淨化裝置

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する勘なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

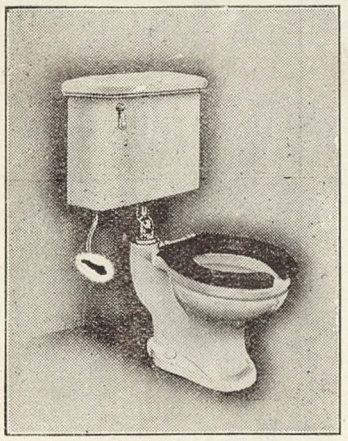
また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

國產優良品

パイロット衛生器具



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

本店 東京

西原衛生工業所 大阪支店

大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話土佐堀三七一八番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話長北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 大阪橋本組
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

福岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番 三四六一番

大阪市東區釣鐘町二丁目百二十八番屋敷
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話東二〇六番

歐風建築金物
家具裝飾金物
眞鍮フロンズ
鐵物製作請負
塗込ペトーブ
各種並附屬品
陳列裝飾金物
長州風呂釜類

大阪市東區北濱五丁目十六番地
井上幸三商店
電話 本局三〇三九番
振替大阪七二八二二番
電略（井）又ハ（井ウエ）

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール並ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用銅鐵工事
御眞影奉安庫

大塚鐵工所金庫部

所主　瀧村松之助
大阪市港區九條南通一丁目
電話西五〇一七番

合名會社 **竹中工務店**

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ內郵船ビル　丸ノ內(23)長一二五〇
　　神戸市熊內町六丁目　萬合　八〇六
　　名古屋市西區菅原町二丁目　長一八四二
　　京都市坊城通三條下ル　中二三八六
　　橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
　　長距町局番(三)
製作所　大阪市港區南境川町　西長八〇四
　　東京市深川區西平井町　大手二〇四六

足代(假設)
材料損料
鳶方(手傳)
工事請負業

中新川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北(局)一五三番
東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目壹番地
電話神田(25)三〇五番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社
佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三三地

久保田組
久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

株式會社
野村組
野村亥之助

東區京橋二丁目四八
京阪ビルヂング二四號室
電話東四八三番

諸石材販賣彫刻請負業

幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
　　高島產錆色（人造石用）石粉各種
　　黃龍石材各種

通名石佐事
熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長）三一一七二一番 三三一五三三番

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
長二五七五番 九八六番
電話牛込 二六八八番 五八四八番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話局櫻川一五五八番

正木工務店

大阪市南區難波新地五番町五參
電話戎三五五四番

木村工務所

大阪市西區京町堀通三丁目一番地
電話土佐堀局三五九八番
自宅 電話平野三〇七番

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番
七七一番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歳生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社　**錢高組**

電話土佐堀（長三四一七／三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（四二九二番／長四二九三番／長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所

電話本局三〇七六番

特許ＯＲＣ式

鐵筋混凝土煙突水槽工事設計施工

合名會社　**大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川長一〇八六・二六二三

神戸出張所　電兵庫一四六九

名古屋出張所　電南局一五九八

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

御眞影奉安庫扉
金庫室用出入口扉
金庫室用マンホール
倉庫用防火扉
倉庫用防火窓
コンクリート扉

大阪市此花區江成町一八七
森鐵扉製作所
電話土佐堀七二四九

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社 **山田大理石製作所**
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 三〇五一

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井 電郡山二五番
工作所 奈良縣郡山町字高田 電郡山二四一番
大阪支店 大阪市東成區東小橋町六ノ一四 電南二七九〇番
大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二 電櫻川二九〇七番
製材部 大阪市港區小林町一九五番地 電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二六二番）（二六三番）

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）（一九九一番）

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八番）（二八八六番）

安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

大阪市南區高津三番丁三番地
電話長戎二八一〇番

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

建築請負業者案内

（次第不同）

營業所本店　大阪市南區鰻谷西之町一六
電話局南六八九番

京城支店　朝鮮龍山漢江通り一一
電話一四二番

東京營業所　東京市神田區小島町六十五番地
電話淺草84五二七九番

別宅　大阪市西成區玉手町千百十四番地

建築請負業
造家汽船ペンキ塗
各看板調製
硝子板販賣

辰巳吉之助

合資會社

清水組大阪支店

大阪市西區土佐堀通
二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番）（六六七番）

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都
博多、京城、大連

佐久間式マルエス印便利瓦

國産として優秀なる

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフイング



御用命

三菱地所部殿
東京府殿
大東京市殿
藏省舍殿
文部省舍殿
鐵道舍殿
陸軍廳殿
警視殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
錢高組殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縱	抗張力 橫	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	磅 70·5	磅 42.9	1.4	糎 0·5	180°	生ゼズ	大正十四年二月二十六日
某舶來一流品プライルーフイング	同 53.7	同 21.8	1.2	同 1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	同 74.4	同 55.9	1.7	同 0.5	180°	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流品プライルーフイング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	180°	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

東京府南足立郡千住町三丁目三百七十番地

佐久間建材工業所

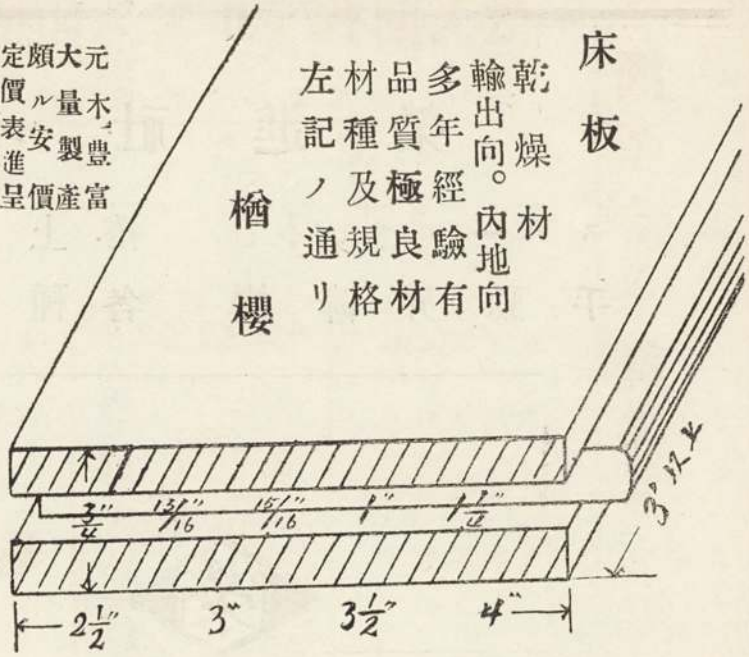
所主 佐久間榮吉

電話淺草五〇六番・千住四〇二番

床板

乾燥材輸出向。内地向多年經驗有品質極良材材種及規格左記ノ通リ

楢　櫻



元木、豊富
大量製産
頗ル安價
定價表進呈
是非當店へ
御引合願上候

福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三十四番地
福原床板製造工場
電話二七一三、一二三
振口小樽二五六七



別府七郎

東京市芝區西久保廣町廿五番地
電話芝(43)二四七八番

ステインド硝子看板所



出張所
奉天千代田通
萬盛商行

榮進社ノ

防火戸　上捲シャッター
鐵戸類　各種昇降機
手動

榮

合資會社

榮進社

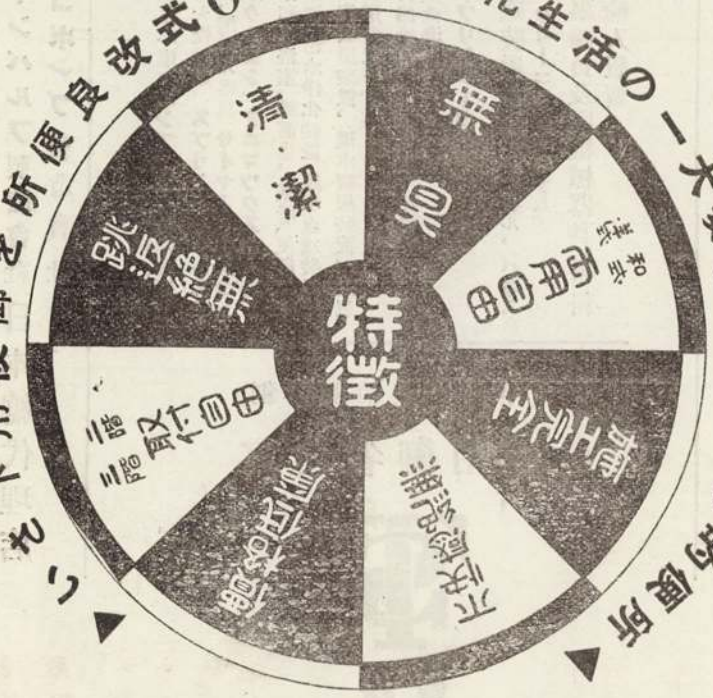
營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町二、七〇九番

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

改良 特許 便所



設備費　金七拾五圓（大便所ノ㎜）
金九拾五圓（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會内

OS商會

電話本局　三四五（番）　九九九　八八八　二一一

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲ 公私水道、**ポンプ**、屋外給水裝置。
▼防火▲ 防火栓裝置、**スプリンクラーシステム**、消防用器具 **サイヤーミンスコンネクション**、**ミニマツクス**消火器。
▼衛生▲ 洋和風浴室、洗面場、塵所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲ 蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲ 自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲ **リフリゼレーター**。
▼眞空式掃除裝置▲ **セントラル**、**バキユーム**、**クリーニングシステム**。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國**スタンダード**衛生器具製造會社
米國**スローンバルブ**製造會社 日本總代理店
米國**シカゴポンプ**製造會社

米國**スペンサークリーナー**會社
米國**ベージボイラー**製造會社 日本總代理店
獨國**ミニマツクス**消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮內省御用達

株式會社 **須賀商會**

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番／一一八九四番／一一八九五番）

支店	
東京	住吉
名古屋	神戸
京都	博多

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロックトイ
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番



見本說明書進呈

販賣店

木下勢三商店　神戸市海岸通三丁目二
神江商店　大阪市西區本田壹番丁
中正社飯田庸治　大阪市西區新町南通五丁目
井上喜商店　福岡市下魚町一三

洋舘・洋室・家具・橋梁・汽車・電車等の

ベンキニス類塗裝塗替のこと

是非共御採用の榮を得ばならないものであります

三菱造船株式會社神戸造船所

神戸市和田岬町三丁目

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム　特許ストンプロツク
セメントプロツク　特許ポーラスライ
ドロマイト　マグネシヤセメント
㊫プラスター

葛生石灰株式會社發賣
㊫プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋根及ビー般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番



各省諸官衙指定工場

株式會社 内外エレベーター

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下山手通二丁目
電話長田局・一七七三番
東京営業所神田区旭町
電話神田・三七〇六番

Nippon
DIAMOND RIBLESS

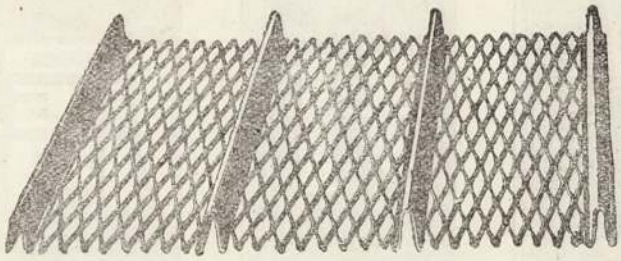
日本で……

初めて出來た

日本

ダイヤモンド

リブラス



厚、重量

錆止其他品質一切輸入品以上なりと大好評を得ております。是非共御採用の程を……價格低廉……

製造發賣元

大阪市此花區四貫島旭町一丁目

合名會社 **日進製作所**

電話土佐堀 〔二八四一番 〔三一三三番

販賣店

大阪市北區中ノ島六丁目

奥村重兵衛商店

電話土佐堀四六一番

◎見本、型錄、御申越次第進呈

輸入品使用の時代は既に已に去れり。

切に國産品の御愛用を希上ます。

耐震耐火

金属天井

サドシマ メタルシーリング

御希望により亞鉛引平板。銅板。亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鉄力板
洋釘
泪目浪板
薄鐵板
セラー釘

型錄贈呈

金屬天井板（羽目浪板）製造發賣元
大阪市南區安堂寺橋通り三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二二番 九三二番 九三三番
薩摩堀倉庫甲新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番

謹賀新年

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

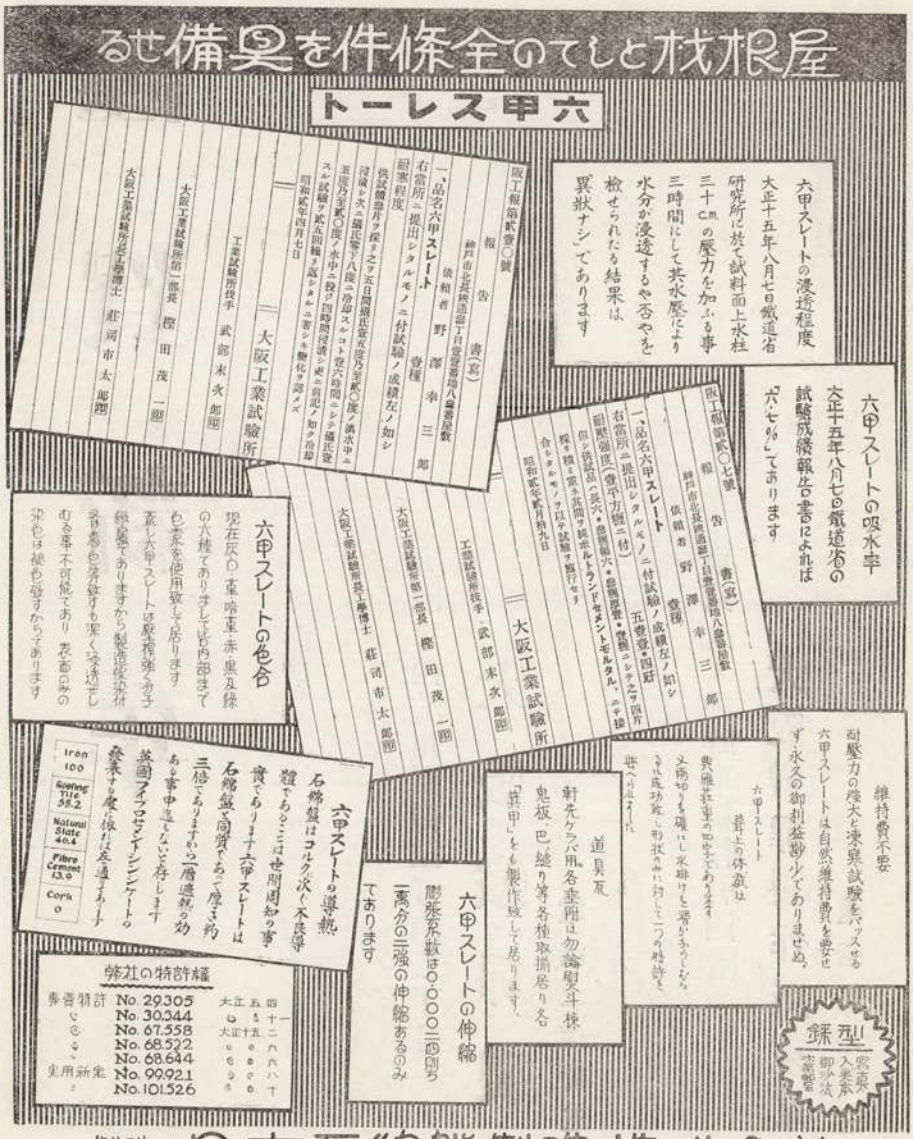
大阪鐵扉製作所

電話土佐堀五九二〇番

東京丸ノ内時事新報社四階

大阪鐵扉製作所東京出張所

電話丸ノ内三六二七番


屋根材としての全條件を具備せる
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十㎝の壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
「異狀ナシ」であります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります
大阪工業試驗所
六甲スレートの色合
現在灰色・煉瓦赤・黒及綠
の六種でありますが何れも内部まで
も素材を使用致して居ります
從て六甲スレートは風雨に強く分子
微塵をも發生致しませんから製造後染付
又は塗色の消滅も少く又決して
むる事不可能であり表面のみの
染色は總て殺すからであります
維持費不要
耐壓力の強大と凍寒試驗をパスせる
六甲スレートは自然維持費を要せ
ず永久の御利益勿少でありませう
六甲スレートの伸縮
膨張係數は0.0002㎝位ゆえ
一萬分の二強の伸縮あるのみ
であります
六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導
體であります
石綿盤と同質であって厚さ約
三倍でありますから層遮熱の効
ある事申さないと存じます
英國ファイヤーメンシンデートの
發表する處に依れば左通りであります
Iron 100
Scoring Tile 38.2
Natural Slate 40.4
Fibre Cement 13.0
Cork 0
弊社の特許權
No. 29305
No. 30344
No. 67558
No. 68522
No. 68644
No. 99921
No. 101526
製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店
神戸 北長狭二TEL 番合2830 2831
東京 丸ビル内 局の3670
大阪 綿業所 大江ビル内 北5994
福岡 舘町端丁三六 1945
振替 大阪415 東京803 四所共通

コルクタイル

最新の機械と製法を發明せる我社は品質優良
と價格低廉な る点に於て他社の追從を許さず

床敷用
■コルク、タイル　■リノ、タイル　下敷用コルク板
■コルク疊床　■絶緣用コルク　其他一般

半額で提供す
他社製品と同等品ならば

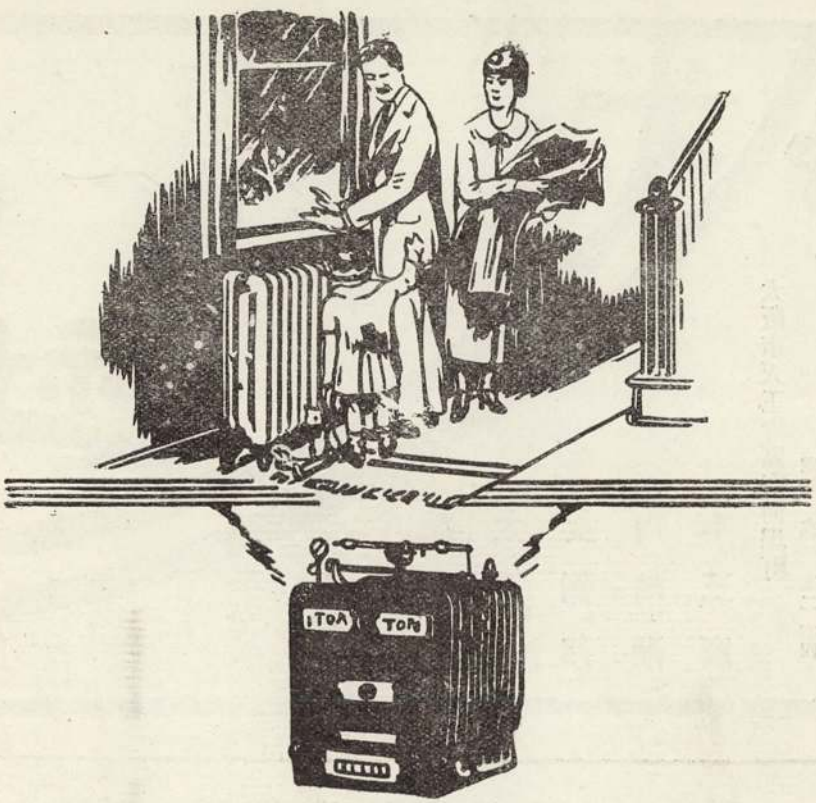
株式會社 高島屋呉服店裝飾部
大阪市南區長堀橋一丁目
電話南(三一一、三一二、三一三、長三四、三一五、三八二三、六三一〇、六三一一、六三一二、七八八一、七八八三)

製造所 大阪コルク工業合資會社
大阪府東成區中濱町三九四番地
電話東(三二三六番、五七六九番)

セメントを早く固めて
あまそと云ふ
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



營業案內

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、クープルカー

合資會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

合資會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

鈴木社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

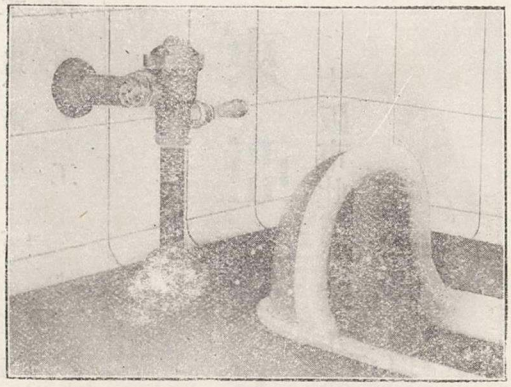
大阪市天王寺區南河堀町
電話 戎 五二一六四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

鈴木太郎
鈴木三郎
鈴木眞彌
鈴木内崎
鈴木木三

水洗便所洗滌辨

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

製造發賣元 米本商店

大阪市西區幸町三丁目
電話 櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

大理石工事請負

合資會社 矢橋大理石商店

本店 岐阜縣不破郡赤阪町 電話五

出張所 東京市京橋區南傳馬町三ノ六 第一相互館四階 電話京橋56七三六七番

大阪市東區北濱四丁目二十三番地 電話本局㊦五三一九

京城府光化門通一九〇

藤村式スチールシヤツター

藤村式スチールサツシユ

藤村式スチールラス

藤村式防水裝置

大阪建材商會

大阪市天王寺區堂ヶ芝町七七 電話南四三二四番

工場 岸和田市沼町五〇八 電話岸和田二三六番 八七二番

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁ヱラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

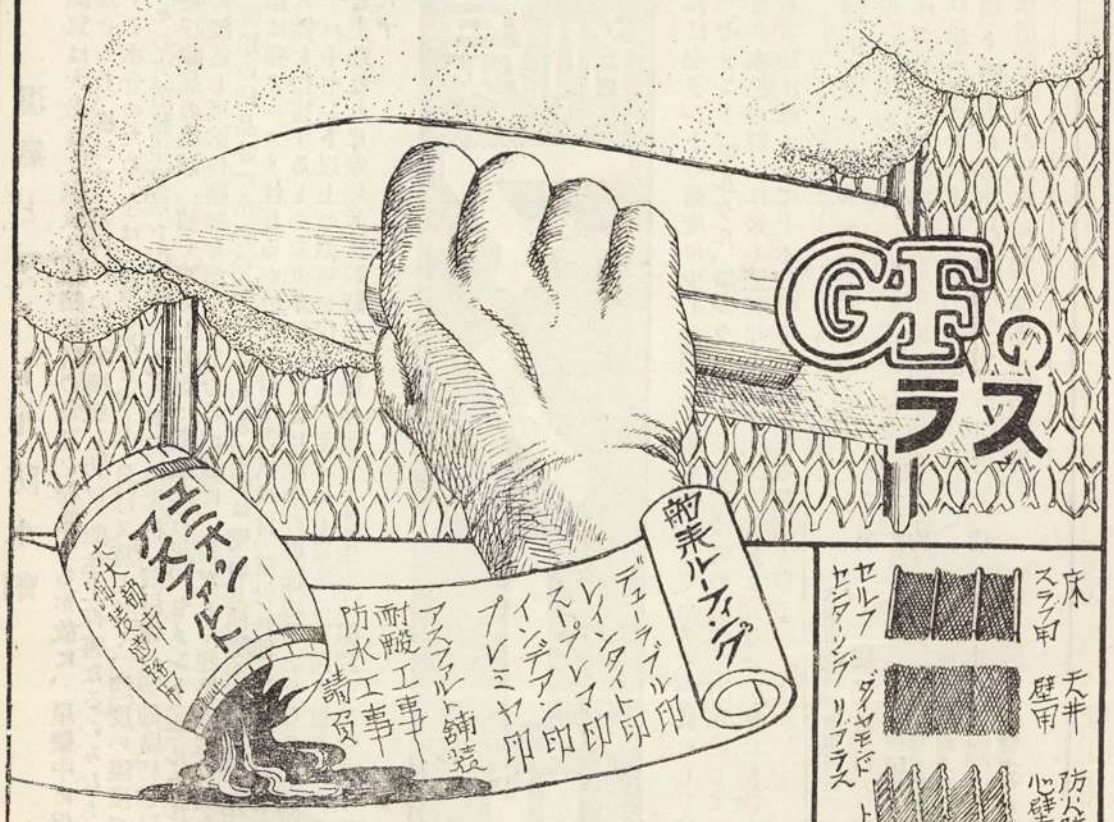
電話長西三四八九番

既ニ！既ニ！漆喰壁ノ時代ハ去レリ。

大連ドロマイト

防火 耐水 硬水性 プラスター

ABC建材月報
各種建材型錄
進呈

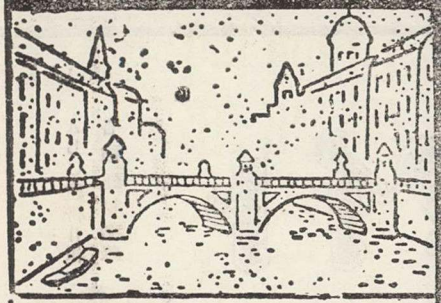


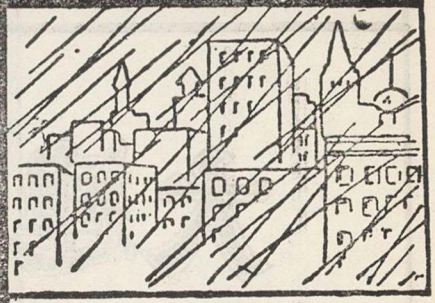
社長 淺野總一郎

淺野物産株式會社

本店 東京市麹町區丸ノ内ビルヂング 電話 丸ノ内六二〇一番
支店 大阪市東區内平野町五丁目至海上ビル 電話 本局七三五六番
大山 瓦ン一一 牛込六三八七番

建築ノ耐久　保健ト衛生





專賣特許　セメント層防水劑

マノール

濕氣とマノール防水劑

建築に濕氣は大敵なり濕氣は建築材料の氣孔を栓塞するが故に、屋壁中に保有する空氣を減却せしむ、從つて、室内外の空氣換氣を妨げ、衛生上有害なるのみならず、間斷なく蒸發する水分のため、冬は一層寒冷を增し、夏は父蒸し暑く、適度の溫度の加はるときは、種々の害菌發生繁殖を促進し、之れがため木材、壁材等の腐蝕腐朽を早からしむると食物貯藏品の腐敗質を來さしめ更に濕氣は石灰、セメント、モルタル、コンクリート中に浸透し可溶性鹽類を溶出せしむるが故に、甚だしく建築外觀の美を汚損すると共に、鹽類の結晶並に水分の凍結より起る膨張は壁面其他隨所に龜裂を生じ、亦溶出する鹽類は强アルカリ性なるが故に石材、木材、鐵材、壁材其他の建築材料を腐蝕し、夥しく耐久性を損害するものなり本邦の氣候は歐米の乾燥地帶と異なり、夏時は、空氣中常に八十パーセント以上の濕氣を保有し、不幸にも家屋に害菌を被り易きこと世界に比類なき土地なれば家屋並に貯藏品の保存耐久と衛生上防濕設備にマノールは必要缺くべからず

マノールはセメントの强度に少しの變化も來すことなく永久不變質にして强大なる水壓に耐へセメント、モルタル、コンクリート及石灰漆喰の防水防濕用としても最も好適の材料なり本品の發明は最も至難なる防水工事を簡易に完全に安價に解決し本邦唯一の權威ある防水劑として土木建築界に多大なる賞讚を蒙る

用途

◎地下室の防水　◎船底船渠の防水
◎壁屋根の防水　◎便所糞池の防水
◎床井戸側の防水　◎高架鐵道の防水
◎炊事浴室の防水　◎水力工事の防水
◎地下鐵道の防水　◎醬油タンクの防水
◎水道貯水池の防水　◎其他衛生的工事

特約店

大阪市西區西道幅堀通二ノ六
建築材料合資會社
電話長櫻川二五六九番
振替大阪七四八〇七番

大阪市西區江戸堀北通五ノ三五
木下謹三商店
電話土佐堀二一六六番

製造元

東京府下蛇窪村
下平塚五三五
油脂化工社

電話高輪特長五四五一
振替東京七〇四五〇

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀（長一八一四番 三〇〇一番 八〇〇一四番）
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジヨイスト鋼
チヤンネル鋼

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話 新町七四番
同 七七五番
同 六番

受電略號オサカ、ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在庫豊富見積書御一報次第提出可仕候

國産品の權威

（瓦利便）

諸官廳御指定品
耐水、耐酸、耐久
屋根地下室防水用

日の出ルーフィングとフエルト

瓦利便
傾斜葺の屋根材陸屋根地下室其他防水材

フエルト
トタン板スレート屋根の下葺便利瓦と共に各種の防水材 各種包裝荷造用

見本進呈

REGISTERED TRADE MARK
HINODE ROOFING
NIPPON KENCHIKU SHIKO KABUSHIKI KWAISHA

本社 東京市神田區小川町一
電話神田六六三・六三六
出張所 大阪市南區鹽町通二ノ一七
電話船場一六九〇・三一二五
工場 東京府千住町四丁目元宿
電話千住七六

日本建築紙工株式會社

永久的耐火的スレート屋根



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
支店 門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

謹賀新年

大阪市西區江戸堀上通一丁目廿五番地

株式會社 **大林組**

電話土佐堀〈特長一四〇一 長一四〇二 長一四〇三 一四〇四 一八〇六 二八九八

東京市麹町區永樂町一丁目一番地　東京支店

電話牛込〈特長一二四六 長六四八 五一四八 二六九二

小倉市米町二丁目三十二番地　小倉支店

電話小倉特一四四番

名古屋市中區新柳町六丁目三番地　名古屋支店

電話本局長一〇二五 一〇二六

横濱市太田町二丁目四十番地　横濱支店

電話横濱長三三六番 二六八八番

京都市下京區富小路高辻下ル　京都出張所

惠美須屋町百七十七番地　電話下六八三番

京城府龍山漢江通八番地　龍山出張所

大阪市港區千島町六番地　工作所大阪工場

電話櫻川七六〇、七六一、長七〇二

東京市深川區鹽崎町一號埋立地　工作所東京工場

電話墨田長二三七九 五五七五

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絕對皆無
現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三 一九 八六番

本店	東京市神田區千代田町十八番地	電話神田 特長 二五二三番 二五二二番	
出張所	名古屋市西區本町三丁目五番地	電話	東二三七〇番
同	京都市大和大路大佛前	電話	下四七二四番
同	神戸市三宮町一丁目百七十番地	電話	三宮一六九八番
同	橫濱市常盤町五丁目八十一番地		
同	廣島市竹屋町百三十五番地	電話	二八〇八番

建築タイル窯元

宮内省御用達

DK

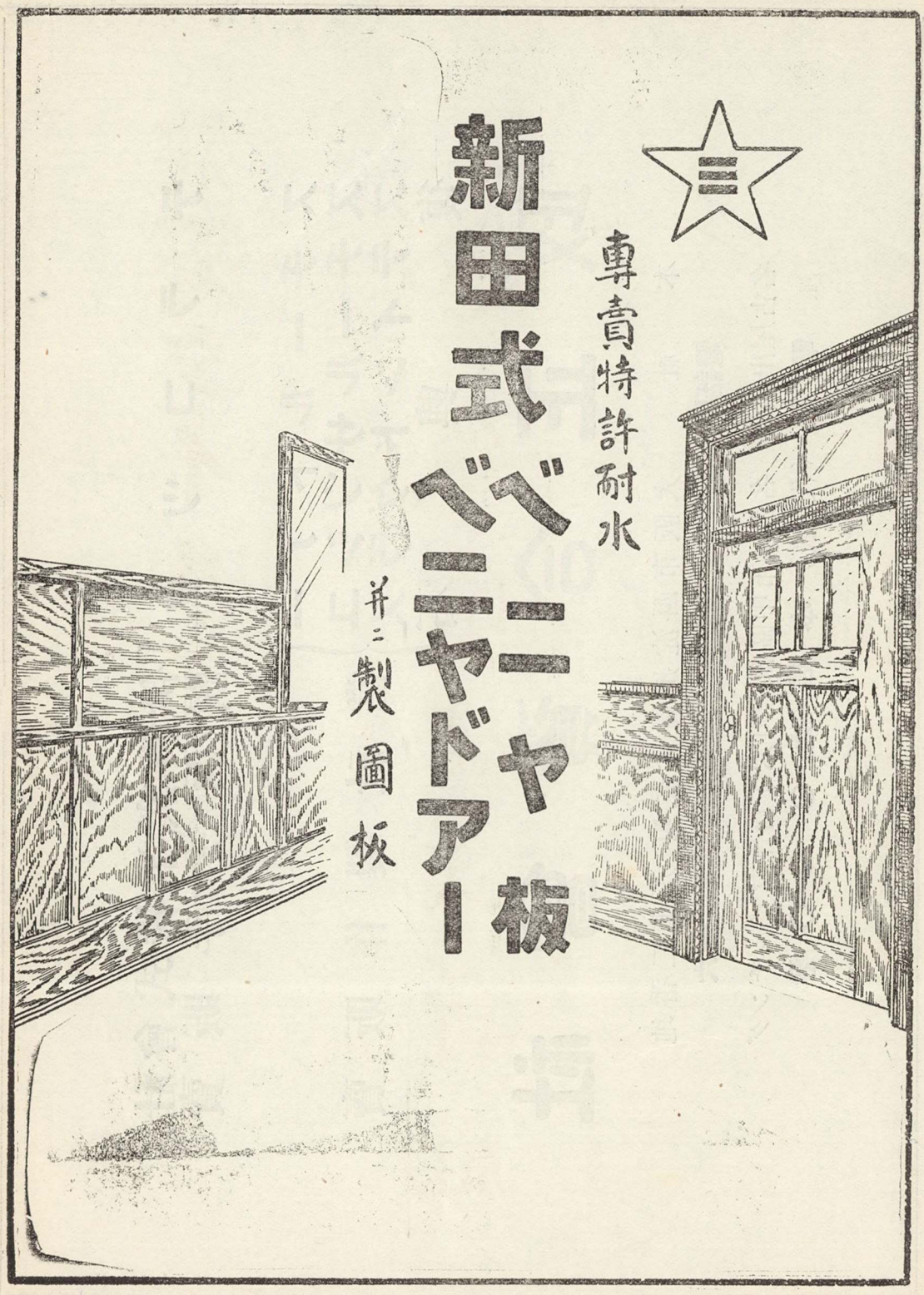
淡陶株式會社

本社　兵庫縣三原郡北阿萬村　電話本社一〇

福島工場　同縣三原郡福良町　電話福良一九

大阪支店　大阪市西區阿波座中通一丁目　電話長新町四五二

東京支店　東京市日本橋區濱町二丁目　電話長浪花六三〇五


新田式ベニヤドアー板
專賣特許耐水
并二製圖板

テラコッタ　伊賀窯業株式會社
関西一手販賣

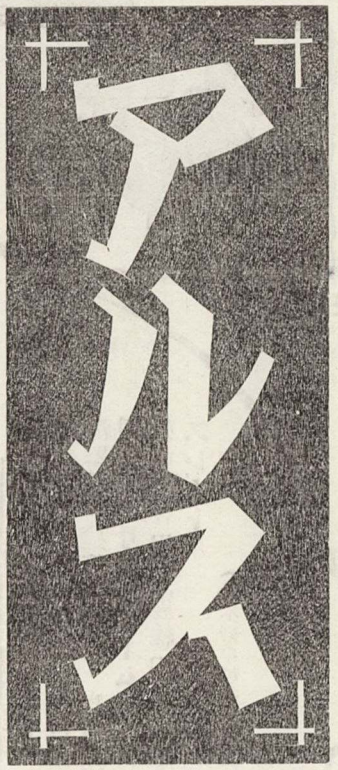
當社製作販賣
アーユス石
ドライシラ
サッシュ
ルーフィング
チールス
スレート
復興

政正合資會社

本　社　大阪市西淀川區大仁町九十二番地
電話長堀一九四九番　振替大阪四五六七六

名古屋出張所　名古屋市中區新柳町六丁目住友ビルヂング
電話（代表）本局六〇六〇番

床張の權威



アルス一層塗、外壁用スタッコ
アルス、コルク塗、塗込式スクールボール
リノリユーム下敷用

製造發賣元
大阪市江區江戸堀北通一丁目
日米商事合資會社
アルス工業部
電話土佐堀長(一九五番)七三〇五番

顔料見本

種類

富士印　丹頂印
同（染色用）　四十鳥印
金鳳印　白鳳印　隼印　鷗印
文鳥印　朱雀印　椋鳥印
金鵄印

用途

塗料用・ペイント用・染色用・陶磁器用
漆器用・建築材料用・皮革用・防水布用
製紙用・リノリユーム用・燐寸用・ゴム
製造配合用・電線用・印刷インキ用
スレート用

（見本御申越次第進呈）

大阪市 西成區 長橋通四丁目九〇〇
合資會社 **大平工業所**
電話 櫻川 二六三八番
振替 大阪六三九二五番
發信略號 オヒラ又ハ（オ）

特長
成分含有的確
色澤鮮麗
分子微細
色相一定不變
多量製産
價格低廉

代理店
大阪市東區道修町二丁目 藤澤友吉商店
東京日本橋區伊勢町 藤澤商店 東京支店
京城府西小門町四二 藤澤商店 京城支店

謹賀新年

大塚鐵工所

瀧村松之助

營業所　大阪市港區九條南通一丁目百三十番地
電話　西五〇一七番
自宅　大阪市住吉公園五十五號
電話　住吉六四番

合名會社　田中タイリング商會

田中勇

本店　大阪市港區大正通一丁目六十三番地
電話　櫻川二〇四七番
支店　東京市深川區東平井町一ノ一
電話　本所四六二番
第二工場　大阪市東成區鳴野町五一一番
電話　鯰江二六八番

万年スレート株式會社

大阪市西區新町通二丁目
電話　新町四〇七〇

關西スティンドグラス製作所

深野玉次

製作所　大阪市港區市岡町五三二
電話　西二二三四番
代理店　金澤市尾張町
電話　五一番

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱電話避雷針工事
設計監督工事請負

淺海商店

店主　淺海治平
主任技師　工學士　齋藤應理

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
大江ビルヂング二階十九號
電話　北(一五七六
一二一五

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目一七三
出張店　下關市田中町本通三丁目
電話一六五三
大分市西町
福岡縣戶畑町
東京工場　東京市芝區愛宕下町二目丁

タイルとテラコッター



山本窯業商店

大阪市北区芝田町

電話園北二八六番

タイルの山本窯業

楢實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番
名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番

三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲本品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

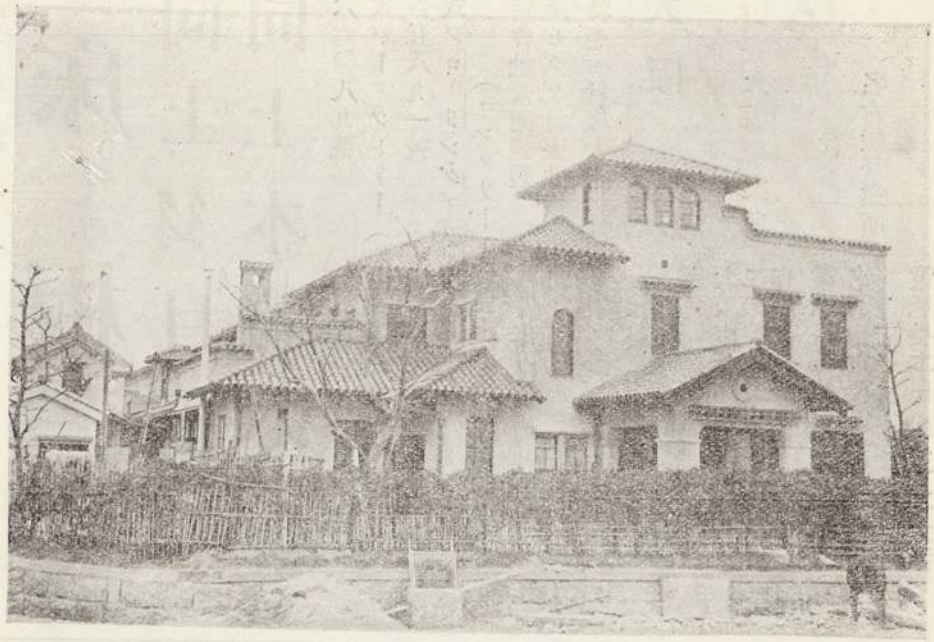
特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀



販路—關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はば委細御說明申上候

價格表御一報次第送呈仕候



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一一五五)六番



建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフェルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

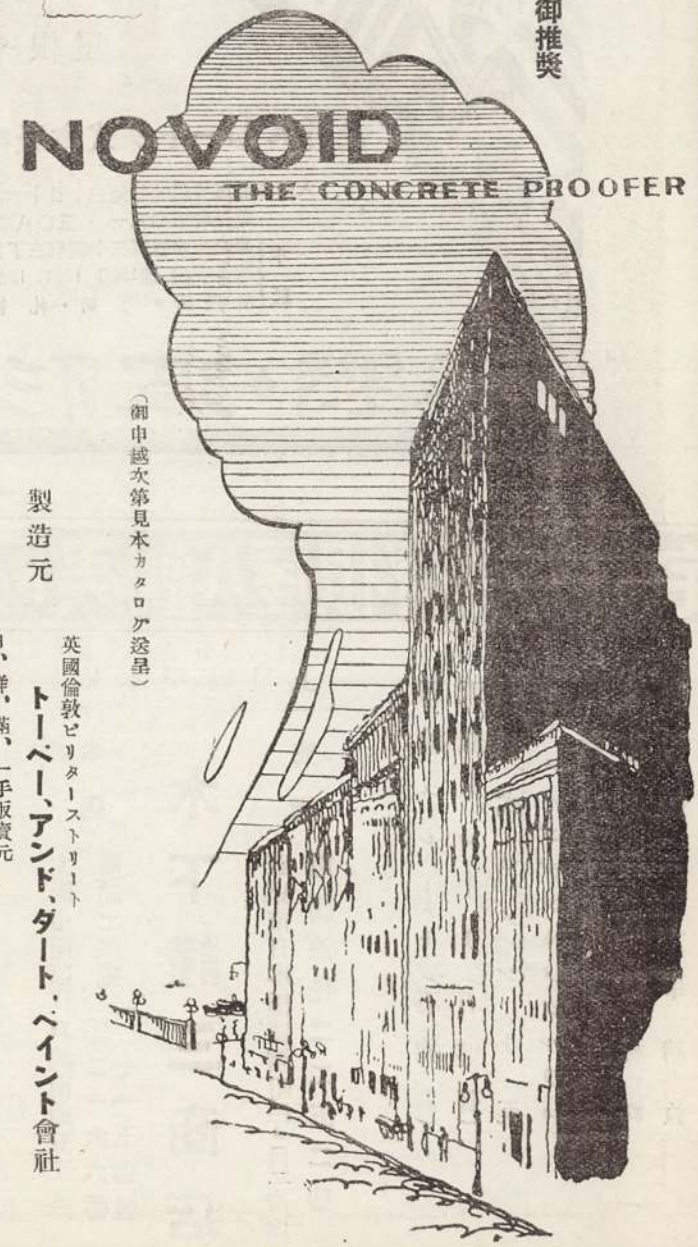
本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(二)一六六番
支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

木下謹三商店

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

土木界の權威
工學博士
吉本龜三郎氏御推奨

幾多防水劑中永遠ニ効果ヲ顯ハスモノ皆無ナル中ニ「ノーボイド」ハ吉本博士ノ詳細ナル調査ノ末大正十年輸入ヲ試ミ博士管掌ニ係ル總ユル工事ニ用ヒテ出色ノ價値アルコトヲ認メラレタル防水劑ニシテ本品ヲ得タルハ斯界ノ大福音ナリトノ御賞讃ヲ博セリ。



（御申越次第見本カタログ送呈）

新ナル理想的
セメント補強劑
防水、耐火、耐酸、防油。

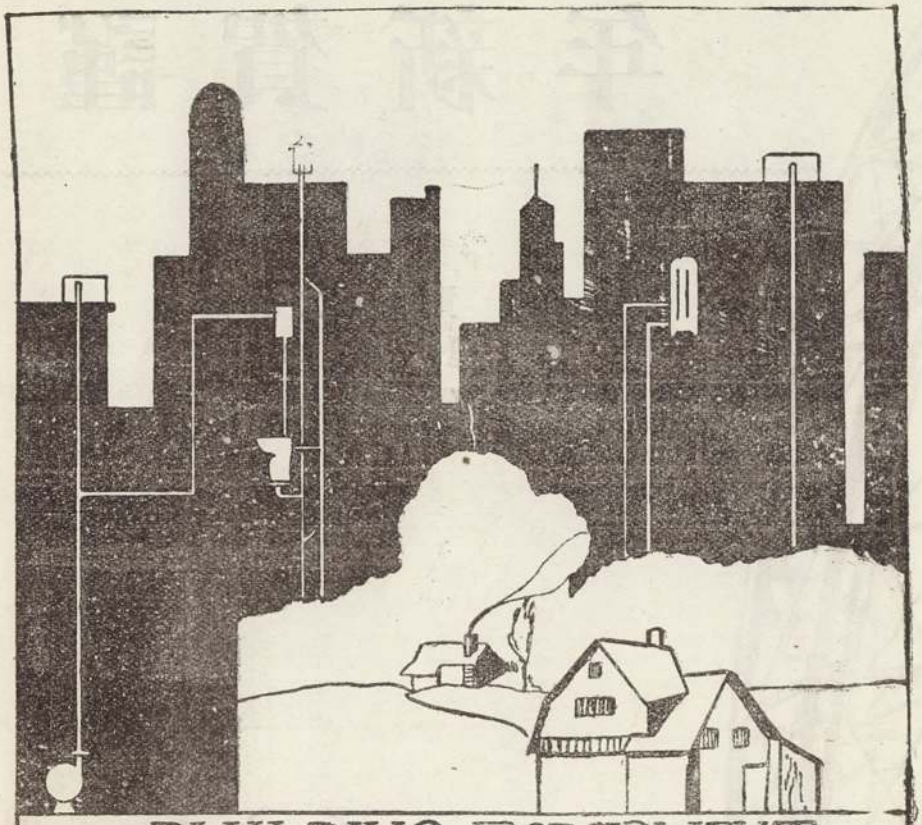
英國政府　專賣特許　第一四一一三號
日本政府　專賣特許　第四五二四九號

製造元
英國倫敦ビリターストリート
トーベー、アンド、ダート、ペイント會社

日、鮮、滿、一手販賣元
兵庫縣明石市王子
日本工具製作株式會社
電話　明石四五〇番
振替口座大阪五四〇五六番

大阪出張所
大阪市南區安堂寺橋通一ノ二六
電話　大阪船場七七三

トンボ印（スコツブ、ショベル）（建築金物、土工用具）製造元



BUILDING EQUIPMENT

都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

謹賀新年

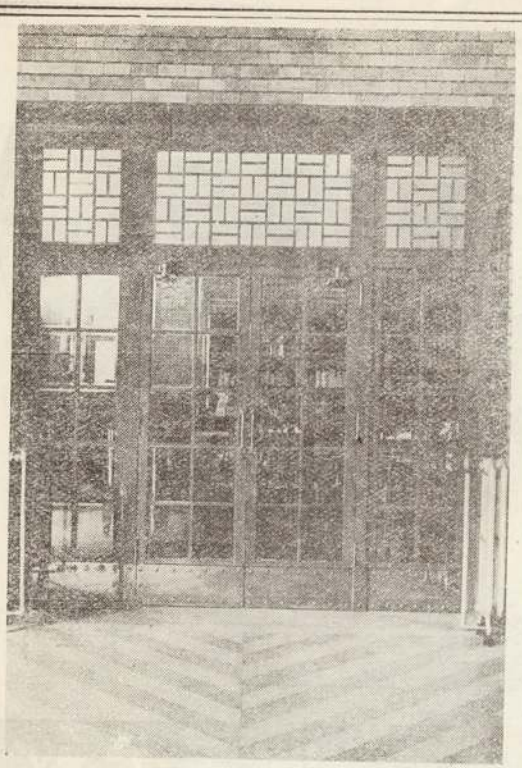
塗裝工事請負
計設ニ並
材料販賣



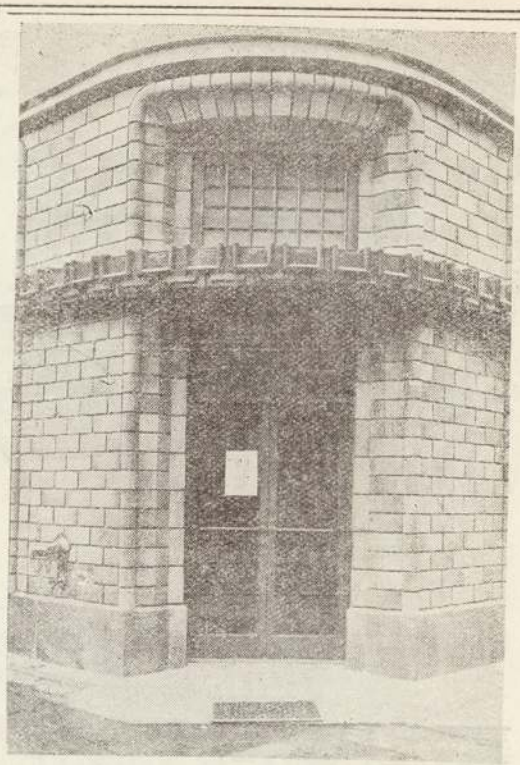
松本商店

店主 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三九一・二一一五・三五〇九番



大阪　高麗橋野村ビルデイング　玄關内スクリーン
弊製作所施工　資生堂森永ショーウインド造作工事



大阪高麗橋ビルデイング　南丸隅資生堂出入口
弊製作所施工

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

賀正

設計　請負

特許壽崎式	スチール、シヤツター
特許壽崎式	スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケ	スチールサツシユ
鋼鐵製	書架類
鋼鐵製	ショーウインドー
鋼鐵製	スクリーン並ニ造作
鋼鐵製	コンクリートドウワー
一般建築製飾金物製作	

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433. 434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話局東 1309. 1310番

營業代表者　淺山米治
工場代表者　崎壽源太郎

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

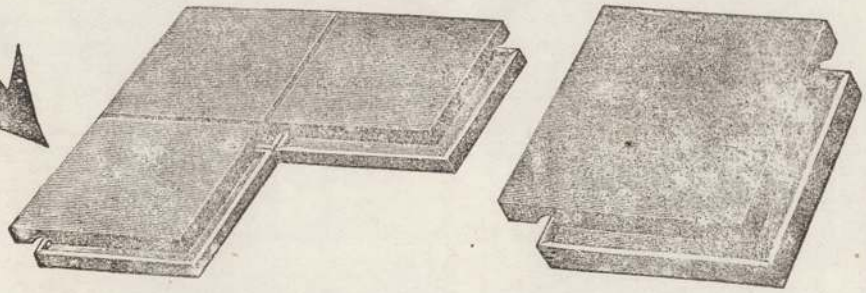
◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

理想ノ陸屋根タイルハ現ルル

專賣特許　新案登錄

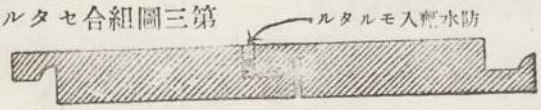
王子組合セタイル

第一圖組合セタイル表面　第二圖組合セ施工ノ圖

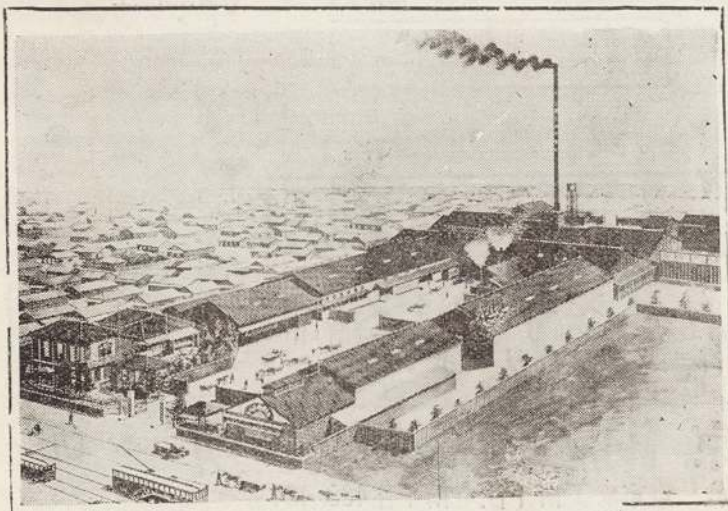


カタログ進呈

第三圖組合セタイル斷面圖



敢テ專門各位ノ御比判ヲ乞フ



特長

原量は砂セメント防水劑及び石綿を配合す。製造は一吋平方、四千ポンドの高壓なれば堅牢なり。理想組合セ式なれば漏水の虞れなし。

東京　王子

王子製瓦株式會社

電話　特長　一一番
小石川　二五一番
長王子　五一五五番
五七五番

◇營業品目◇

王子石綿スレート
王子組合セタイル
王子セメント瓦
各種ツロプ

TRADE MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊫ 佐治タイル合資會社

電話長 東 二二三四 二二三四 二一〇 番

工場電話 東 三四一二 四一二二 番

營業品目

鋼製組立家屋
鐵骨鐵筋
鋼製窓枠
鋼製扉
メタルラス及附屬品
道路鋪裝諸鋼材
鐵骨及コンクリート用塗用
其他

本社　神奈川縣川崎市田島町
工場　神奈川縣川崎市田島町
東京支店　東京市丸の内三菱廿一號館
横濱支店　横濱市太田町二丁目十五ビルデイング
名古屋支店　名古屋市東區東新町萬歳ビルデイング
神戸支店　神戸市榮町通二丁目山口ビルデイング
廣島支店　廣島市紙屋町藝備ビルデイング
福岡支店　福岡市博多上呉服町太平ビルデイング

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルデイング

日本トラスコン鋼材株式會社

電話土佐堀一七七六・三一〇三番

HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

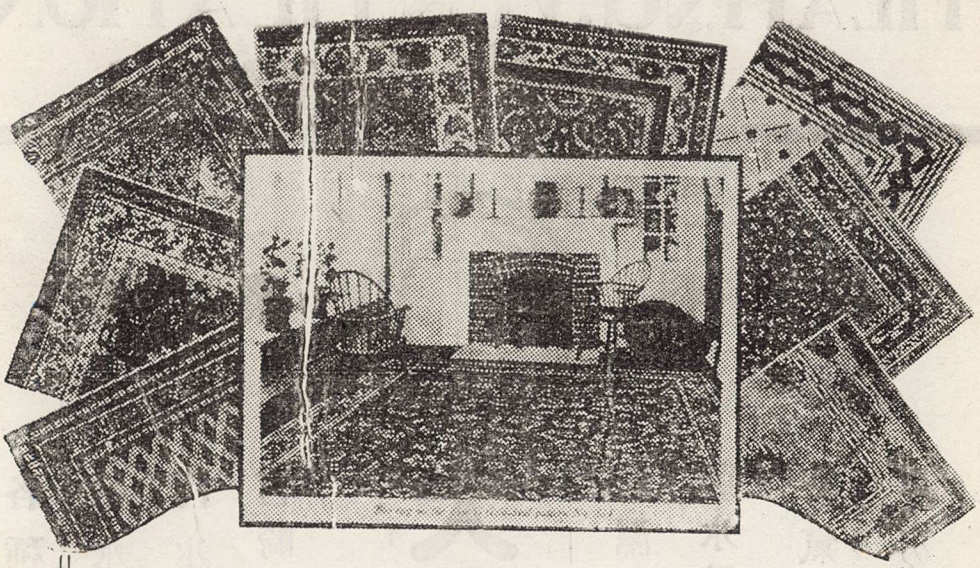
營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

大和(ダイワ)工業株式會社

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置
以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北一〇七八・六二九一番　略受語電(ワイダカサオ)
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五(第一相互館二一六)　電話京橋三二三七番　略受語電(ワイダイケウト)



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

Certain-teed



サーテンティード　リノリユーム　ペイント

便利瓦（ルーフィング）

品質優秀
價格低廉
在庫豊富

アスファルト防水材料**サーテンテイード**便利瓦は近年大ニ優秀品タルチ認メラレ東京大阪及び全國各都市ニ於ケル代表的建物ニ盛ンニ使用スルニ至リ價格モ同社多量生産ノ故ニ甚ダ廉ナレバ現今舶來ノ便利瓦中第一位ヲ占ムルニ至ラントス

リノリウム同社製品ハ質ニ於テ和製品ヲ凌駕スルコト數等價格又タ至當ナリ

日本總代理店　資合會社 **デゥエット商會**

東京市　麹町區内幸町一丁目（大阪ビル）電話銀座一〇八一番
大阪市　東區今橋一丁目（帝國ビル）電話本局三七四四番



製産額東洋第一
模範的品質優良

浅野セメント株式會社

資本金　壹億六百參拾壹萬圓
年産額　壹千貳百萬樽

本店　東京市麹町區永樂町
支店及工場　東京、門司、川崎、北海道、臺灣、大阪

大阪支店

營業所　大阪市北區堂島ビルヂング三階
電話　北三一九八番
工場　大阪市西成區津守町二九一
電話　櫻川九〇八番　九三五番

品目
各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

瓦

營業
土管各種
蜜、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

佐村木勝吉

大阪市東區材木町十五番地
（入ヘ北詰東橋寺寧久）
電話東三六一〇番

噴霧塗裝請負

勞力の機械化は

工費半減・施工迅速・仕上優美

是非一度御用命を乞ふ

米國フーラー塗料會社

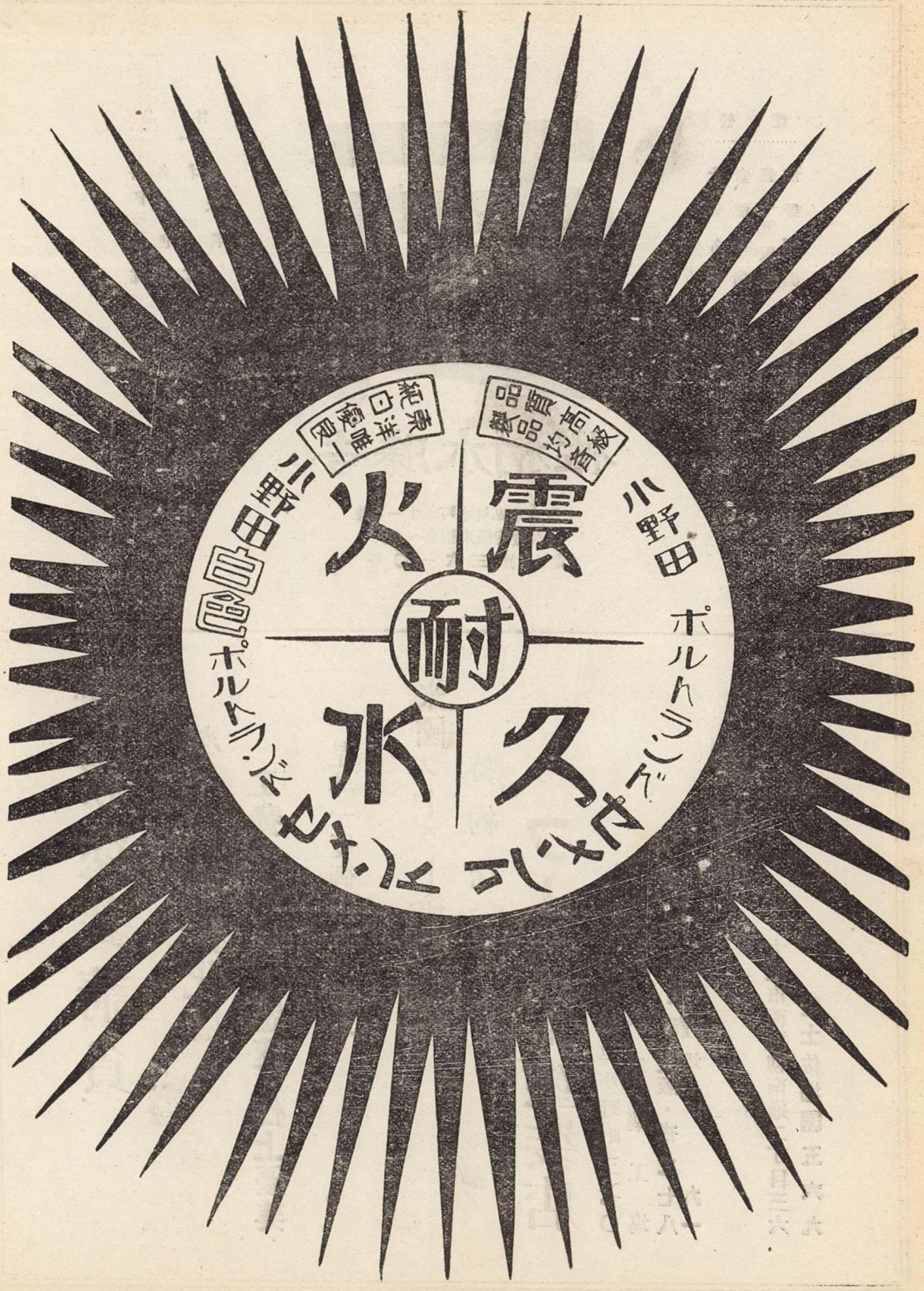
特約店

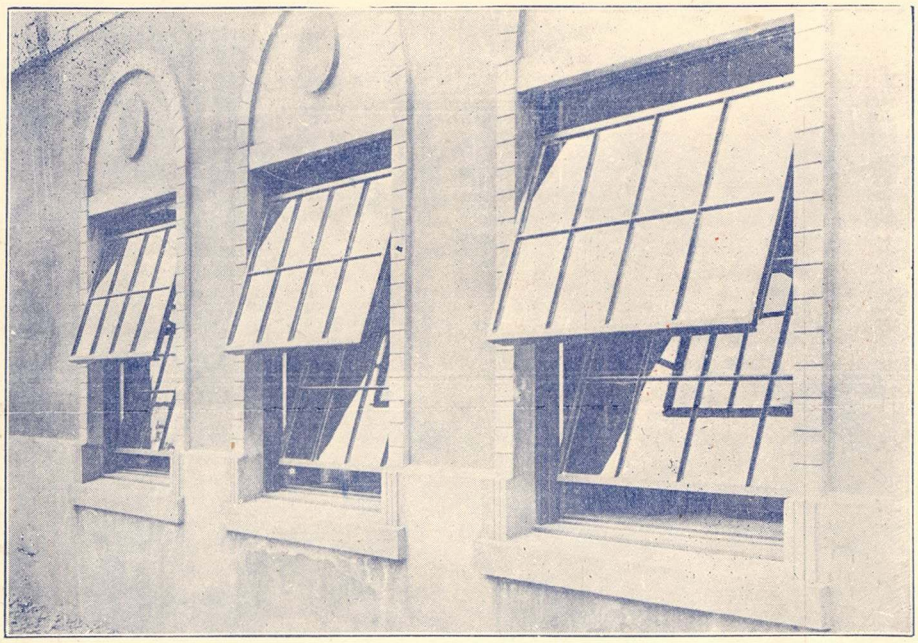
フーラー塗裝店

堺市遠里小野町三七〇
近藤製藥工場
電話 大阪・弐二七八
堺・九一

出張所

大阪市西區靱南通二丁目三六
電土佐堀局五六九


純東洋的優雅
最高品質
震
火
耐
水
小野田ポルトランドセメント
小野田ポルトランドセメント



大阪 造幣局 内ノ一部（弊社製瀬川式スペシアルバランスサッシュ）

確信ヲ以テ斯界ニ推奨ス„瀬川式スペシアルバランスサッシ"

採光 骨格ハ強度ノモノニシテ細ク、従ッテ採光面積大ニシテ且優美ナリ

換氣 開閉任意ニシテ、硝子面ノ傾斜ハ漏斗狀トナリ、換氣全ク理想的ナリ

防風水 上下及兩横共サッシガ外枠ヘ喰込ム裝置ナレバ風水共絶對浸サズ

耐久 強固ナル『レバー』ニテ連續ス故ニ丁番、ワイヤロープ使用等ノ缺點ヲ見ズ、我國ニ於ケル獨創的考案ニシテ、保健上、能率增進上合理的鋼鐵製建具ナリ

東京建鐵株式會社大阪支店

營業部	大阪市東區高麗橋東詰	電東 5566.2823
工場	大阪市東成區中濱町	電東 3508.3468
本社	東京市三河島	
	名古屋市中區西瓦町	
出張所	福岡市春吉一番町	
	函館市會所町	

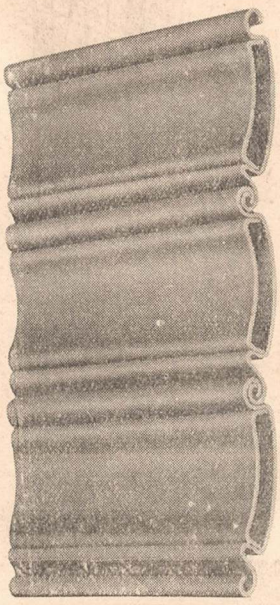
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

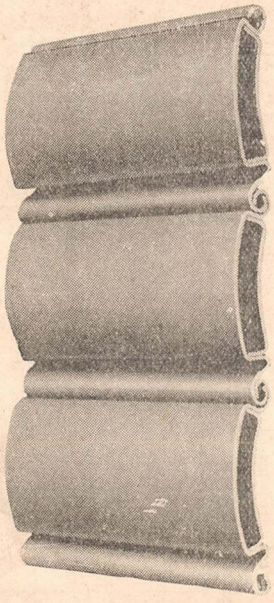
米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果熱の傳導の遲いのが著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式をDREADNOUGHT SHUTTERと英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、函蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町
南消防署

◉昭和貳年參月廿五日

1 ホローシヤタア三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法

3 シヤタア重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉
丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

建築金物商會

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

支店 京都市東山通月見町二